

42817

教科書文庫

4
291
41-1932
20000 31809

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

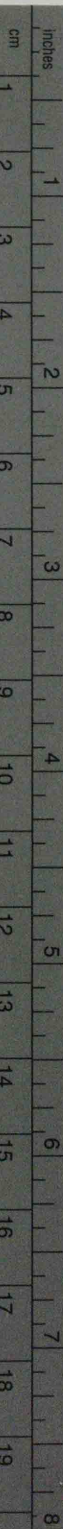


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書文庫

4
291
41-1932
2000031809

新本 地理

(用年學二一據準表乙)

授教校學範師等高島廣
若治三與川谷長

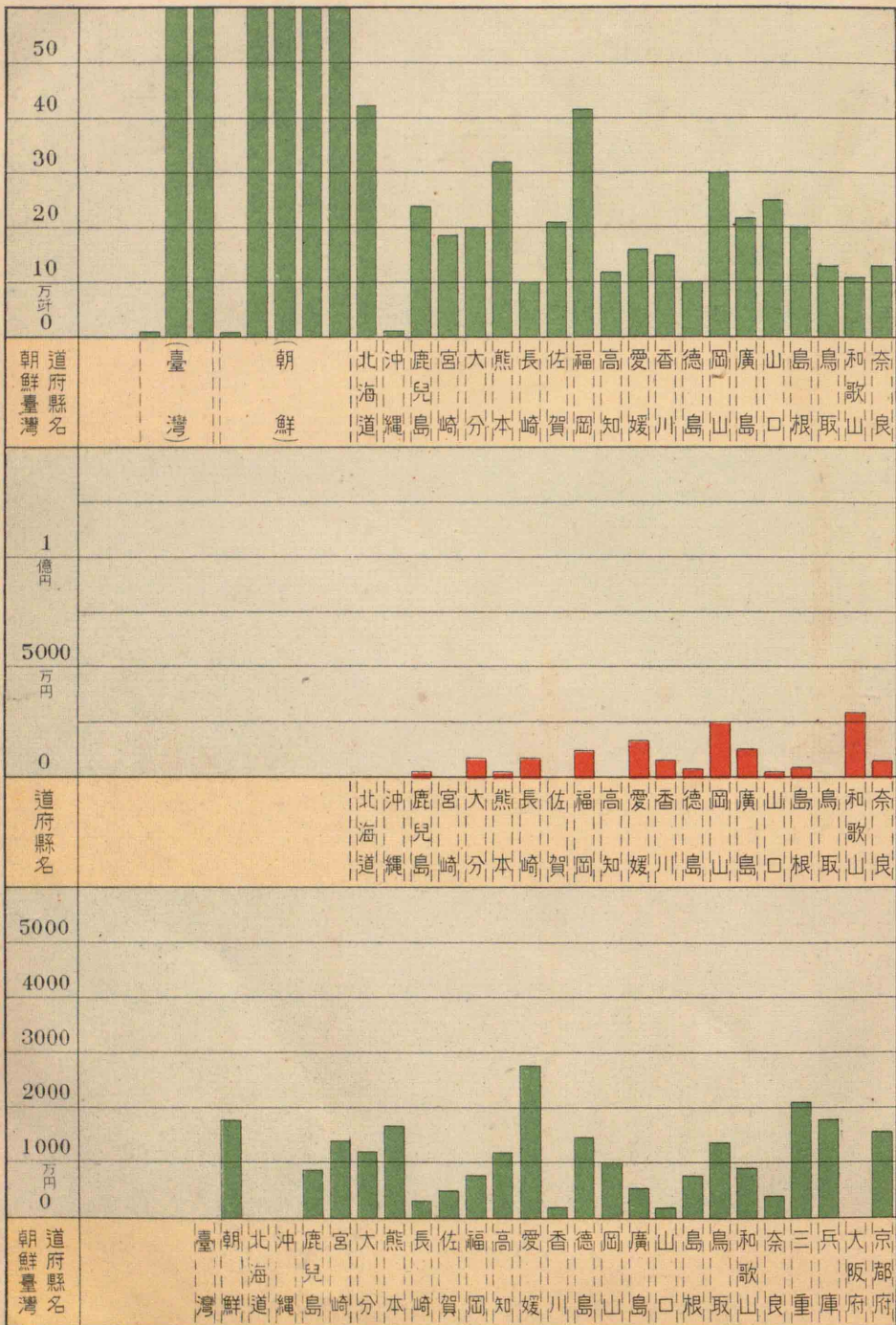


修文館
精製到會者不致

男子二年九月取之知
日本帝國我負はく

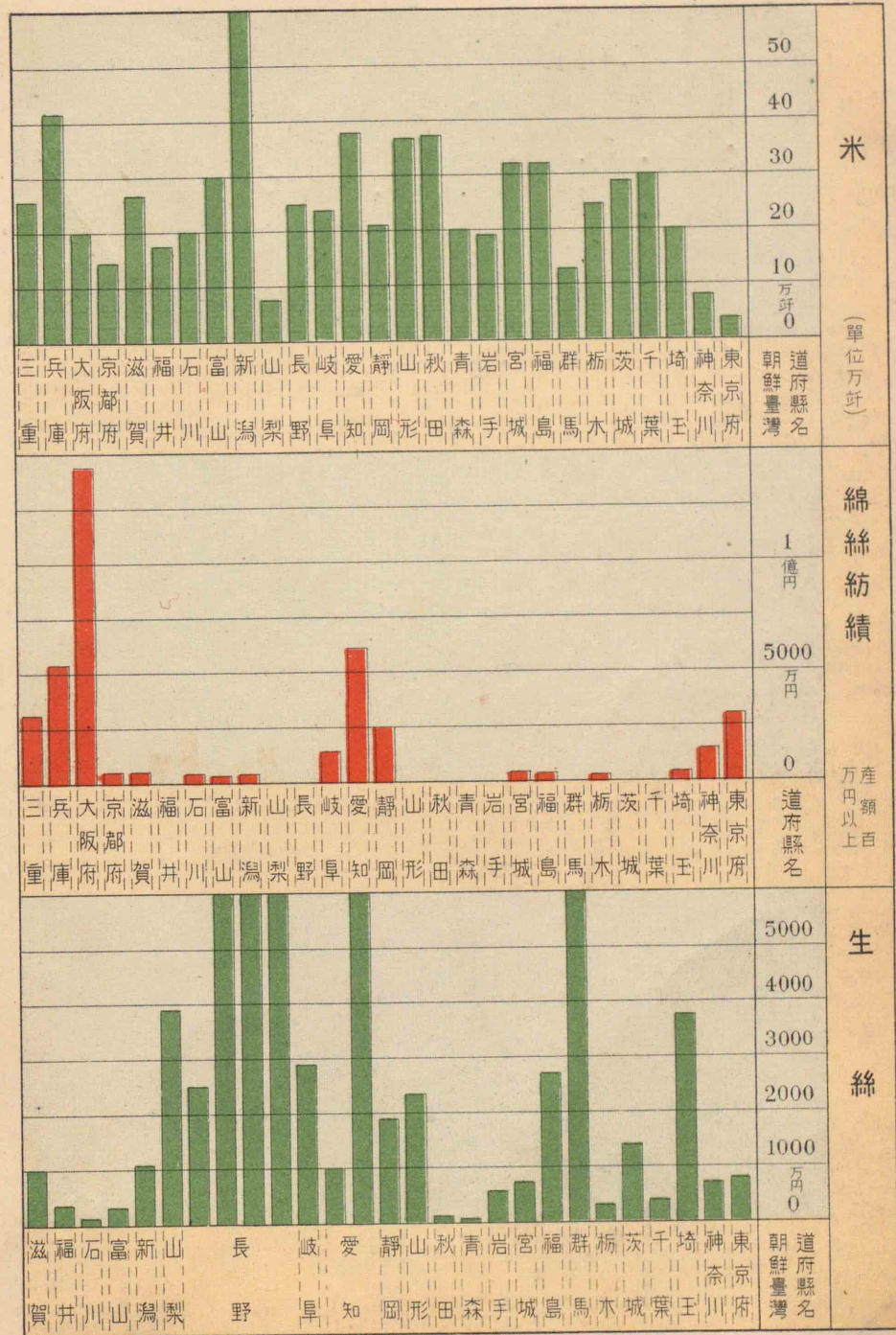
京東
版藏館文修





昭和五年 日本帝國統計年鑑ニヨル

375.7
Hall



教科書文庫

4

291

41-1932

2000031809

文部省檢定濟

昭和三十七年十一月七日 中學地理科用

新制 日本地理

(乙表標準一·二年學用)

廣島高等師範學校教授

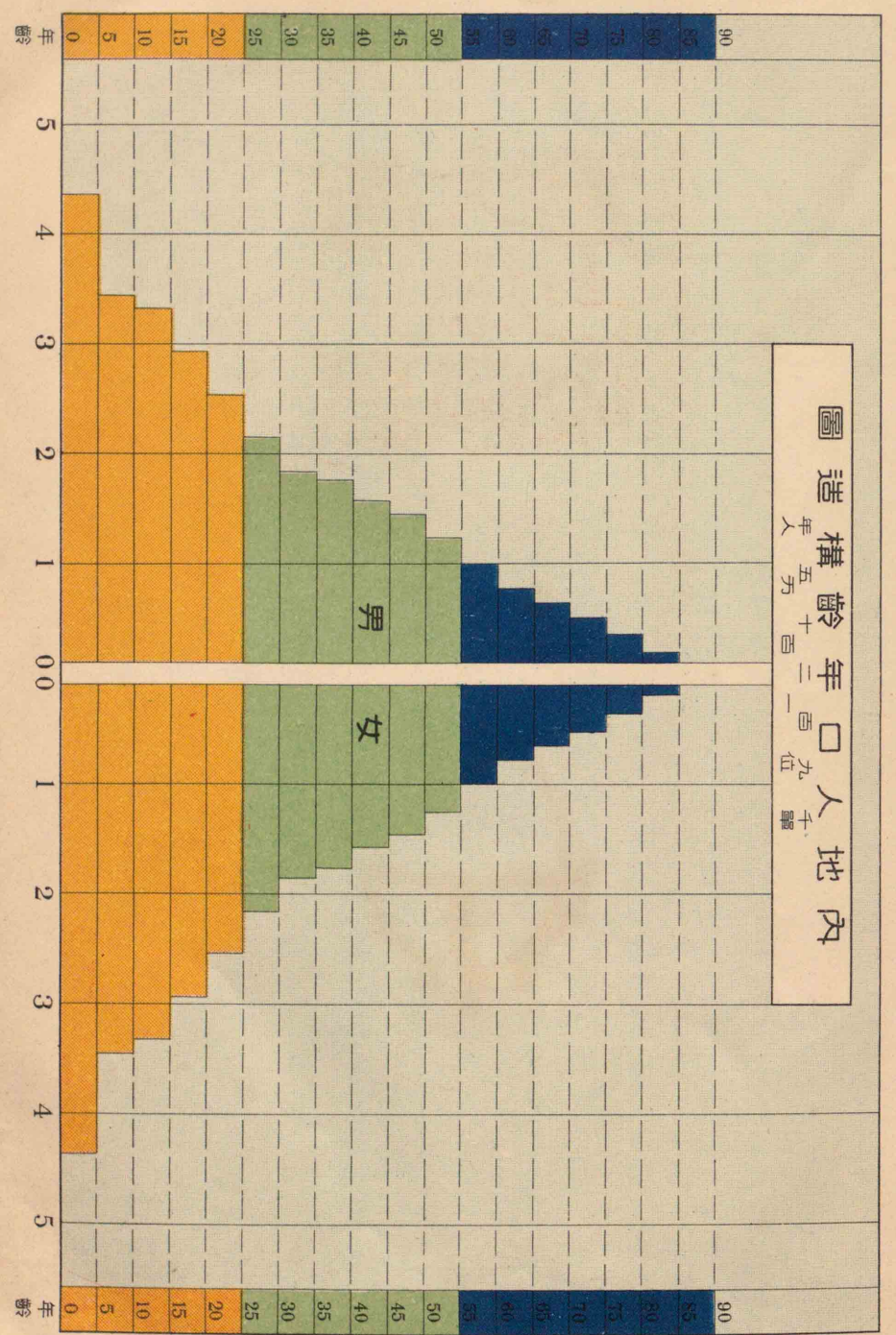
長谷川與三治著



東京

修文館藏版

廣島大學圖書印



生徒諸君へ

生徒諸君 諸君が中學校で地理を學ぶ目的は本邦の國勢を理會し、わが國と關係の深い諸外國の國勢を知り、更に進んで人類生活と自然との關係をも理解し、識見を高め、愛國心を養ひ、國民精神を涵養するにある。この目的で地理は日本地理、外國地理、地理通論の三種を學習するのである。その中、日本地理では、本邦の自然狀態、政治、經濟、產業、交通等の狀態並にそれ等の關係を明にし、わが國の國勢を十分に知るにある。今は世界の列強は競ふて產業を獎め、國力の充實をはかり、平和的の競争は彌、烈しくなつてきた。わが國民たるものは、よく世界列強に伍し、内は國力の充實につくし、外は國威の發揚に努むべき責任と覺悟を必要とする。これが皇恩に報ゆる所以である。地理を學習する目的もつまりはこれに外ならぬと思ふ。

終りに地理學習についての心得二三をのべて擲筆する。

一、尋常小學校で學習した地理を基礎とし、更に一段と深く研究し、單な繰返しとならな
 いやう努めてほしい。

一、地理は單な暗記のみの學科ではない。推理によつて事實の因果關係を理解するや
 う努めてほしい。

一、自然地理のみかたよらないで、人類生活の基調をなす人文地理にもその重點を置
 いてほしい。

一、附圖又は挿圖・圖表を利用し、學習事項を正確に理解してほしい。

終りに臨み、帝國農會は日本農業地圖より、矢野恒太氏は日本國勢圖繪より、新光社は日
 本地理風俗大系(S)より、改造社は日本地理大系(K)より、挿圖又は挿繪(別刷をも含む)の轉
 載を許された。特に記して感謝の誠意を表す。

昭和七年三月

編者識

新日本地理

第一編	緒論	二頁
第二編	地方誌	四
第一章	關東地方	四
一	地文	四
二	人文	七
三	處誌	一四
第二章	奥羽地方	二五
一	地文	二五
二	人文	二九
三	處誌	三三
第三章	中部地方	四一

一	地文	四
二	人文	四
三	處誌	五
第四章	近畿地方	六
一	地文	六
二	人文	七
三	處誌	八
第五章	中國・四國地方	九
一	地文	九
二	人文	九
三	處誌	一〇
第六章	九州地方	一〇
一	地文	一〇
二	人文	一〇
三	處誌	一一
第七章	北海道地方	一一
一	地文	一一
二	人文	一一
三	處誌	一二
第八章	樺太地方	一二
一	地文	一二
二	人文	一二
三	處誌	一三
第九章	朝鮮地方	一三
一	地文	一三
二	人文	一三
三	處誌	一四
第十章	臺灣地方	一四
一	地文	一四
二	人文	一四
三	處誌	一五

一	地文	一四
二	人文	一四
三	處誌	一五
第八章	樺太地方	一五
一	地文	一五
二	人文	一五
三	處誌	一六
第九章	朝鮮地方	一六
一	地文	一六
二	人文	一六
三	處誌	一七
第十章	臺灣地方	一七
一	地文	一七
二	人文	一七
三	處誌	一八

一	地文	二七
二	人文	二九
三	處誌	二九
第三編 總括		
第一章 地文		
第一節	地形	二〇三
第二節	海洋	二〇五
第三節	氣候及び動植物	二〇七
第二章 人文		
第一節	產業	二〇九
第二節	交通	二一〇
第三節	商業	二一四
第四節	住民	二一六
第五節	政治	二一八

第六節 教育・神社・宗教 二二一

第四編 結論 二二三

附 錄

各地方主要都會一覽	一
內地主要物産	七
地理術語彙	二二
度量衡換算表	二四

新日本地理 目次終

新 制

日 本 地 理

乙 表
一・二 學 年 用 據

第一編 緒論

大日本帝國

位置 わが大日本帝國は、アジア大陸の陸島である日本列島と、大陸の半島である朝鮮とからなつてゐる。日本列島は、北東から南西に向つて三つの弓形をつくり、長さ凡そ四千七百軒を算する。この列島の内側は、オホーツク海、日本海、東支那海等の縁海をはさんで、近くアジヤ大陸に對し、外側は太平洋を隔てて遠くアメリカ大陸、大洋洲に對する。朝鮮半島は、朝鮮海峽をはさんで九州島に對し、恰も大陸と内地との橋のやうである。わが國は、四面殆ど海をめぐらした海國で、千島、間宮、臺灣、バシー等の諸海峽は、近く外國と對し、わが國防上重要な處である。國の位置は、北緯二十二度の邊から五十一度邊に及び、東經百三十五度附近が略中央となつてゐる。

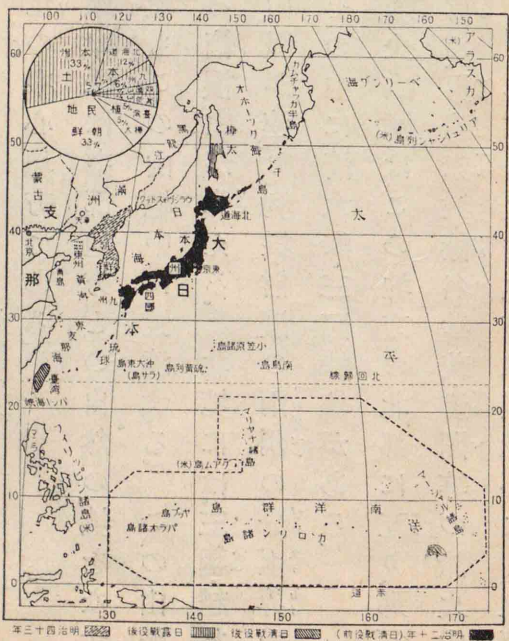
わが國の四極
 極北 千島
 阿頼度島北端
 (北緯五〇度五
 六分)
 極南 臺灣
 七星島南端
 (北緯二一度四
 五分)
 極東 千島
 占守島東端
 (東經一五六度
 三二分)
 極西 臺灣
 澎湖島花嶼西端
 (東經一一九度
 一八分)



わが國の領土の發展及び各地面積百分比の比較

面積人口 帝國の面積は、

凡そ六十八萬方軒で、人口は九千萬にあまる。本州、四國、九州、北海道の諸地方は、本土又は内地とよび、現今は行政上一道廳三府四十三縣にわけける。帝國の領土は、明治の御代に大いに擴張し、まづ臺灣地方を得て南にのび、次に樺太を回復して北にのび、後に朝鮮を併合してアジア大陸に擴がつた。これ等の諸地方は、内地に對して新領土といふ。また中華民國から租借した關東州、國際聯盟の委任によつて統治する南洋群島も、共にわが勢力のうちである。これ等の諸地方には、總督府または廳を置いて治めてゐる。



第二編 地方誌

第一章 關東地方

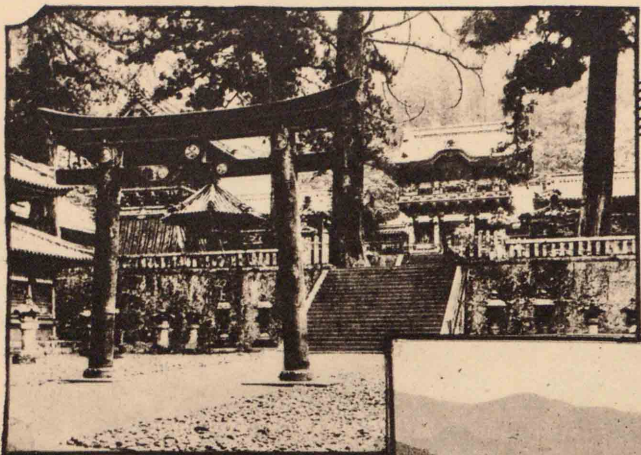
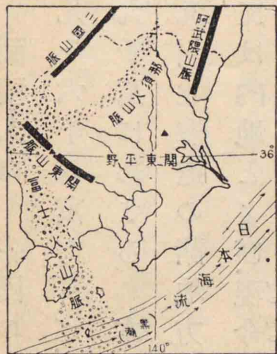
面積 三二二九方紵
人口 一三七七萬人

一 地文

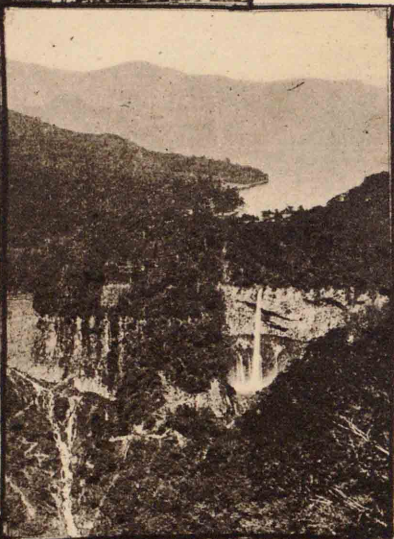
位置 關東地方は、本州の南東部を占め、昔の關八州の地で、早くから開け、今では實にわが國文化の中心地方である。

地形 西境山地をなす關東山脈は、中部地方との自然の境をなす古い低い山地であり、秩父盆地もこの山地中に發達する。この山脈の南西に、富士火山脈に屬する箱根山が聳える。北境には、三國越後の兩山脈が連り、利根・信濃の兩川の分水界をなし、その中に清水峠・三國峠等がある。那須火山脈は、この地方の北部に互り、那須山を首め、男體・赤城・榛名・妙義・淺間等の諸火山を起し、これ等の火山地方は景色がよく、又温

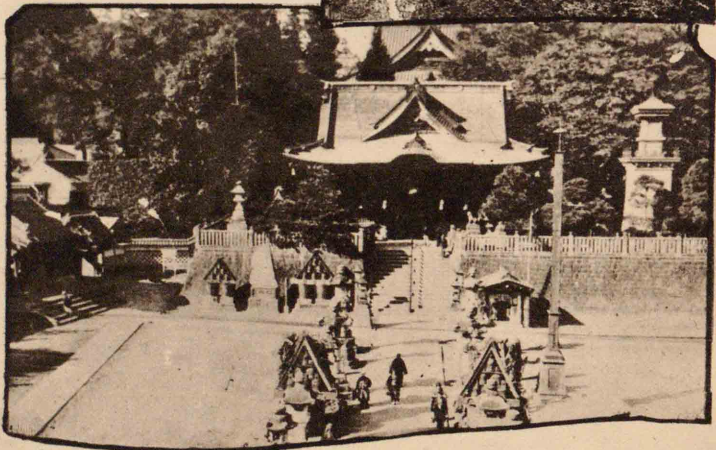
關東地方山系圖



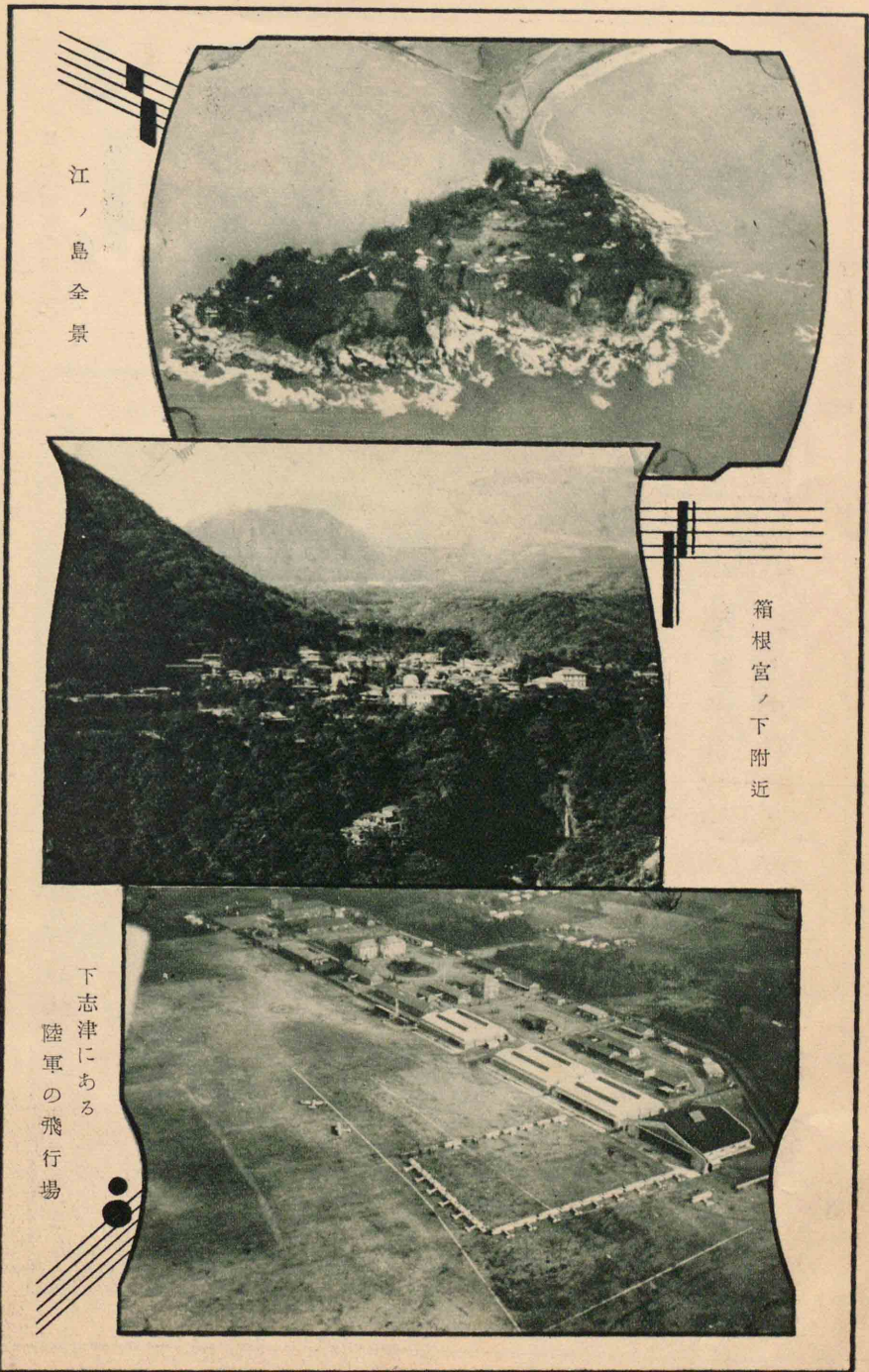
日光東照宮の陽明門



中禪寺湖の一部の華嚴瀧



成田にある新勝寺(不動堂)



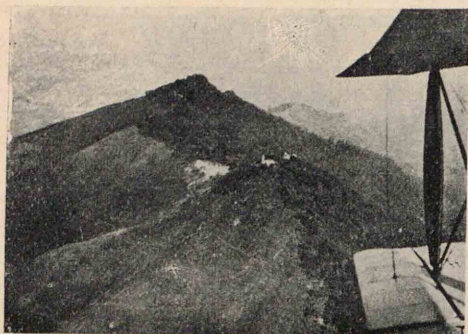
江ノ島全景

箱根宮ノ下附近

下志津にある
陸軍の飛行場

温泉
（下）伊香保
温泉
家屋が階段状に
両側に並んで
るのに注意せ
よ。

飛行機
（上）飛行機
上より見たる筑
波山
男體女體の二峯
からなる。



關東地方地

文

泉も處々に湧出する。中でも伊香保草津鹽原等は著名である。この地方の北東部には阿武隈山地の南端が現れ、その續きである筑波山は關東平野に臨んでゐる。

これ等の諸山地に抱かれて、わが國最廣の關東平野が發達し、太平洋に向つて傾いてゐる。關東平野は、土地が低平であるが、處々に臺地又は丘陵が發達してゐる。河は多くは北西の山地から發し、この平野を灌漑し、又水力發電に利用され、上水を供給するものがある。中にも利根川は、この平野の動脈で、支流の渡良瀬・鬼怒・小貝等の諸川を集め、關東平野の中央を略對角線に南東流し、江戸川をわけ、運河を通じ、更に下流は霞浦北浦を

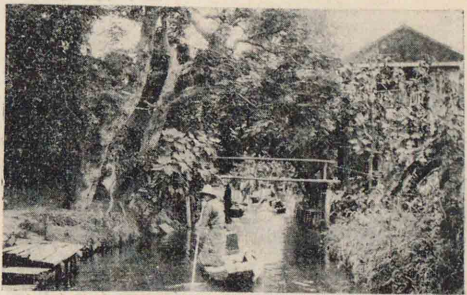


(上)潮來附近の水郷景觀
小舟によつての交通に注意せよ。

東京に中央氣象臺があり、土浦の南西に高層氣象臺がある。

(下)大吠岬右手前に燈臺が見える。燈臺の左の砂濱は西明浦である。

圖解中(S)とあるは、日本地理風俗大系から轉載したものである。また



い。この灣の沿岸海底は大正十二年の關東地方大地震のため著しく變動した。

氣候 北西山地は、北西からの寒風をさへぎり、南東は太平洋に面し、暖流の日本海流が沿岸近く流れるので、氣候は一般に溫和で、雨もかなり多く、表日本の氣候區のよい地帯の一部である。雨は

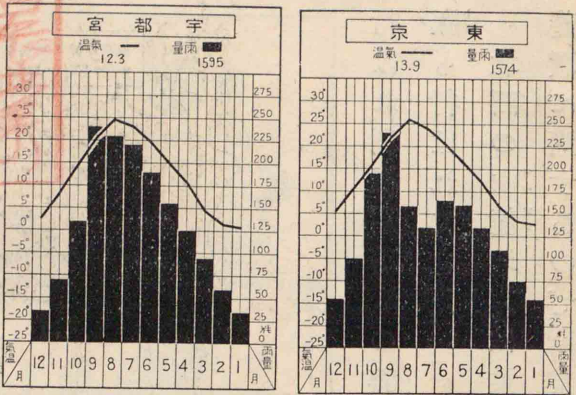


(K)とあるは改造社地理大系から轉載したもので、共にその承諾を得たものである。

(上)東京と宇都宮の雨量と氣溫
圖中雨量の下の數字は年雨量總計を耗で示し、又氣溫の下の數字は年平均氣溫(攝氏)を示したものである。以下之に倣ふ。

東京市に高等蠶絲學校、宇都宮市に高等農林學校、松戸に高等園藝學校がある。

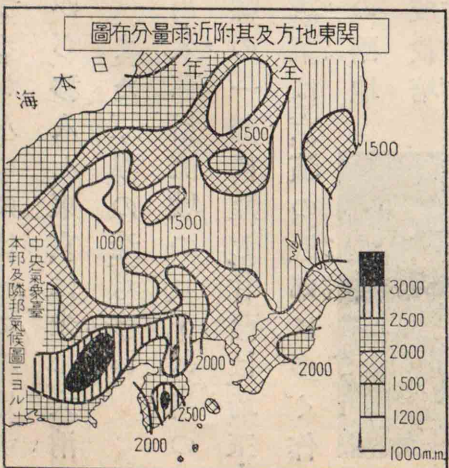
(下)關東地方及びその附近雨量分布圖



夏に多く、冬に少ない。相模灣岸の湘南地方と房總半島の南部とは、氣候が殊によいので、京濱の休養地帯をなし、避暑、避寒地として名高い地方である。

二人文

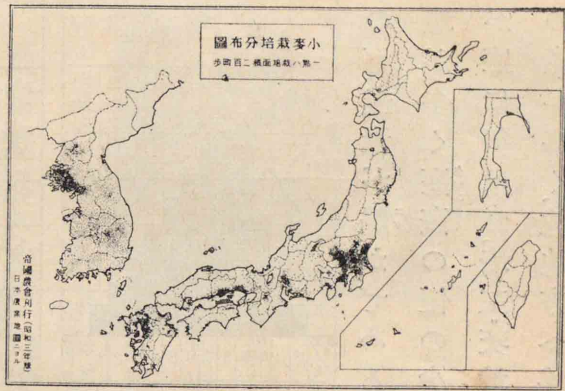
産業 關東地方は、夏季暖濕であり、加ふるに關東平野を有するので、農産が豊かである。關東平野は臺地が多く、灌漑の便の少ない畑地は、麥作が盛に行はれ、埼玉、茨城、千葉の三縣はその産が多く、他地方へ移出する。米は低



1 太田・茂木・秦野はその中心である。葉煙草の産は全國の産額の四割を占める。

（上）小麦栽培分布圖

（下）茂木附近の煙草畑（S）達磨種の煙草栽培状況である。



行はれ、利根川下流の醸造業の盛な地方では養豚も行はれてきた。

北西の山麓地方は、桑の栽培が盛で、且氣候が養蠶に適するので、斯業は著しく發達し、兩毛及

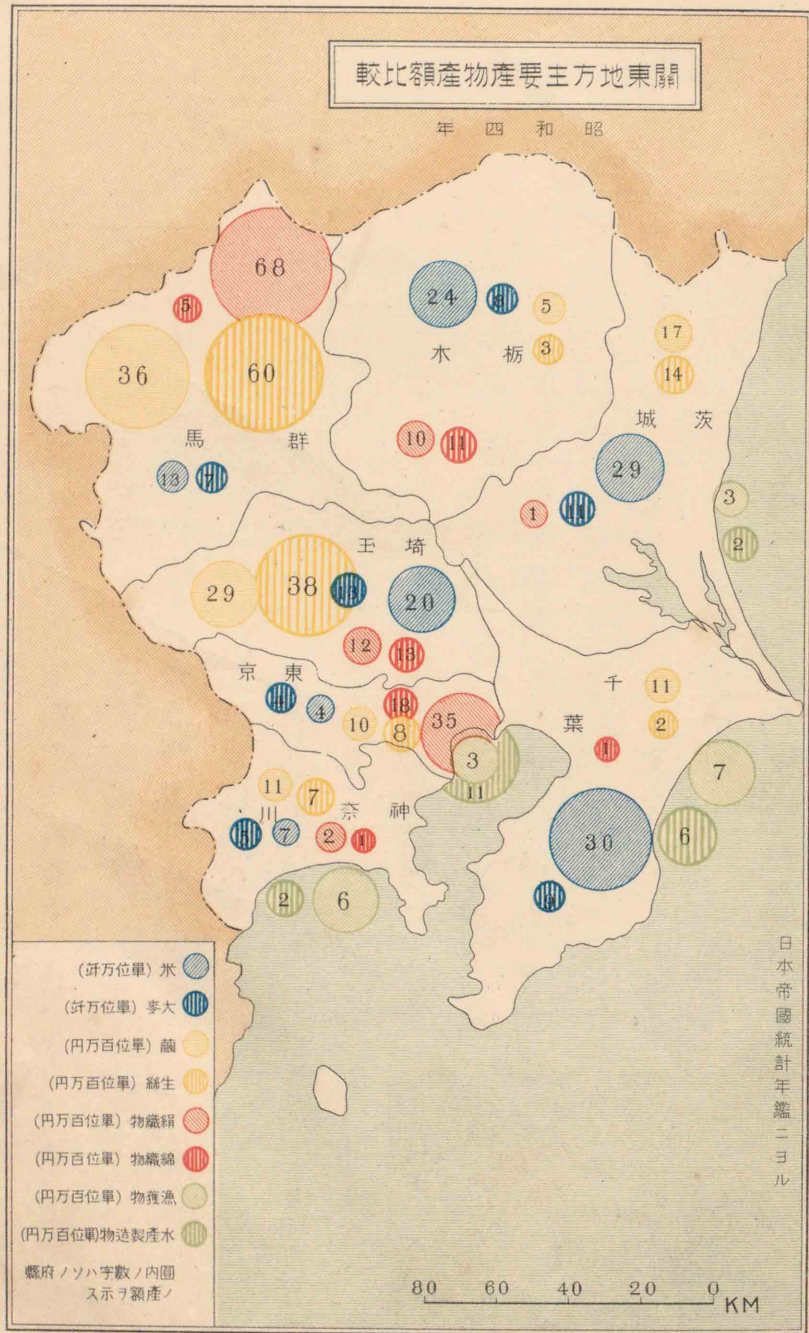


地の水田に産するが、人口に比べて不足するので、他地方から移入し、東京は米の大消費市場である。また豆類の産も多い。

煙草は那珂川・久慈川流域のローム層の地及び神奈川縣の一部に産し、甘藷は埼玉千葉の二縣に、蔬菜は京濱の近郊に多く作られ、湘南・房總の兩地方では、その促成栽培も行はれる。牧畜は東京附近・房總半島に

關東地方主要物産額比較

昭和四年

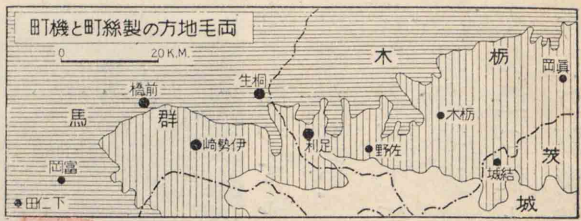


2 高崎・前橋・熊谷等。

方(上)兩毛地方の製絲町と機黒點はそれ等の町であり、縦線の地域は養蠶の盛な地方である。

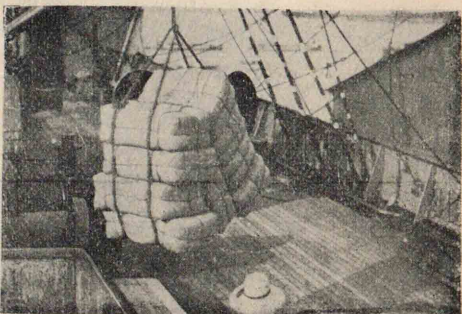
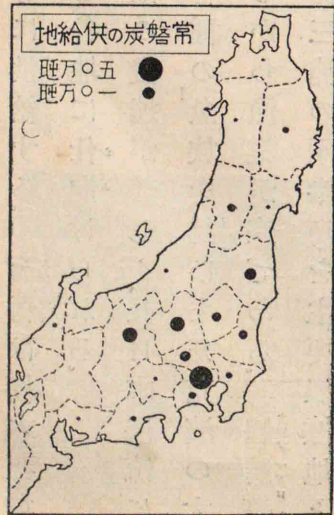
港からの生絲の輸出状況

(下左)常磐炭の供給地



び埼玉縣の諸地方に繭の中心市場が多い。随つて製絲業も起り、この地方産の生絲は、多く横濱から米國等へ輸出される。製絲業の發達につれ、機織業も起り、桐生、伊勢崎、足利、八王子等は、その中心である。この外、纖維工業には、浦和、佐野地方の綿織物、東京市附近の毛織物等がある。

とし、足尾、日立の鑛山は、屈指の大鑛山で、いづれも大製鍊所がある。常陸、磐城の境界地方には、常磐炭田があり、その石炭は京濱工業地帯及び

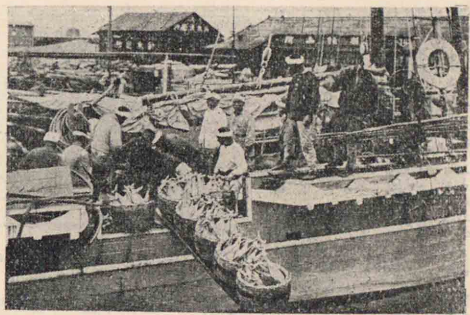


東京市に水産講習所がある。

1 鯉・鯿・鮪・秋刀魚・鯛等。

2 船形・北條・白濱・銚子等。

(上) 船形に於ける鯉の陸揚
(S) 鯉釣船が歸港し、漁獲物を陸揚げする状況である。



(下) 東京市の東部隅田川下流の工場地帯隅田川の右岸に鐘ヶ淵紡績會社の工場がある。對岸に大日本紡績會社の工場・東京毛織物會社の工場等がある。

随つて水産製造も亦盛で、干鯉・搾粕・鯉節等の産が多い。東京灣の北部の淺瀬には淺草海苔を養殖してゐる。關東地方は原料はかなり多く、勞力を得やすく、交通の便と動力の供給とが十分であり、且生産品の販賣消費が盛であるから、工業が著しく



兩毛の機織地等に供給する。石材は栃木茨城の諸縣から産し、各地に仕向けられる。

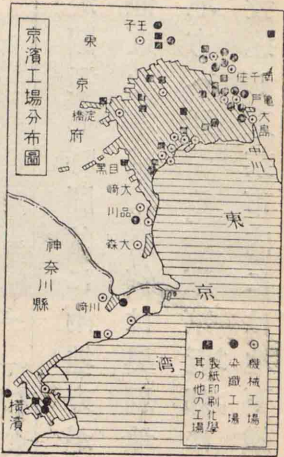
近海は大陸棚の發達が著しく、且日本海流に洗はれるので、各種の魚族を誘ひ、また京濱の大消費地を控へるから漁業が盛である。鯉・鮪等の沖漁業は、房總・三浦の兩半島を主要根據地として行はれ、九十九里濱等は鯉等の濱漁業が盛である。

(上) 京濱工場分布圖
主要な工場を示した略圖である。

1 紡績・製絲・精糖・機械製造・造船・製菓・製薬・肥料製造・印刷等。

東京市に帝大工學部及び工業大學並に高等工業學校があり、横濱市・桐生市に高等工業學校がある。

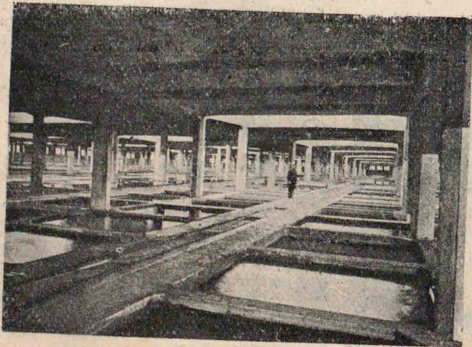
(下) 野田にある醬油醸造工場内部(S)仕込蔵の貯蔵タンクを示したものである。



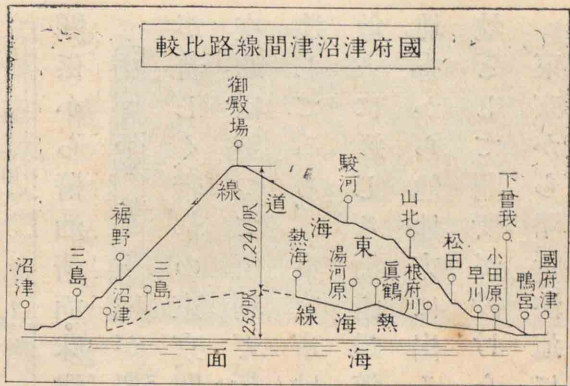
關係から醬油・清酒・味醂等の醸造業が盛である。

交通 商業 土地が概して平坦で、産業の發達が著しく、帝都の東京開港の横濱を有するので、交通は至つて便利で、街道鐵道・航路等はよく發達してゐる。東京市は陸上交通の大中心で、各地方に通じる街道鐵道の起點地である。この地方から他地方に出る境界附近は、昔は要害の地として關所が設けられた處がある。

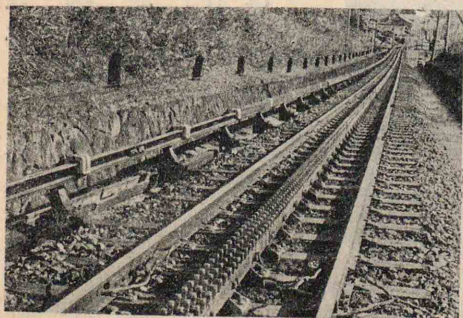
東京から略東海道に沿うて走る東海道線は、



〔右〕國府津沼津間線比較
〔右〕丹那トンネル



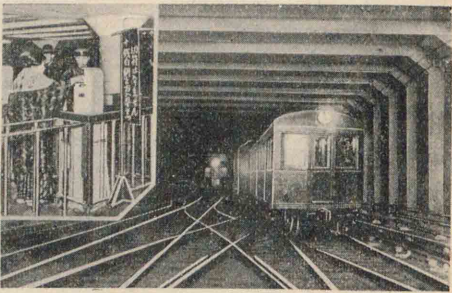
大切な鐵道幹線で、その一部には鐵道の電化が行はれてゐる。丹那トンネルが開通すれば、箱根山迂回の不便がさけられる。中山道には高崎線信越線が通じ、碓氷峠を通過する。この地方と越後平野との間の近路として清水越通過の上越線



が開通し、時間的に兩地方が接近された。その他東北本線常磐線は奥羽地方へ、中央線は中部地方へ通ずる。東京近郊には電車軌道が頗る發達し、東京市内には地下鐵道がある。

〔下〕碓氷峠のアット式軌道

〔上〕東京市内の地下鐵道

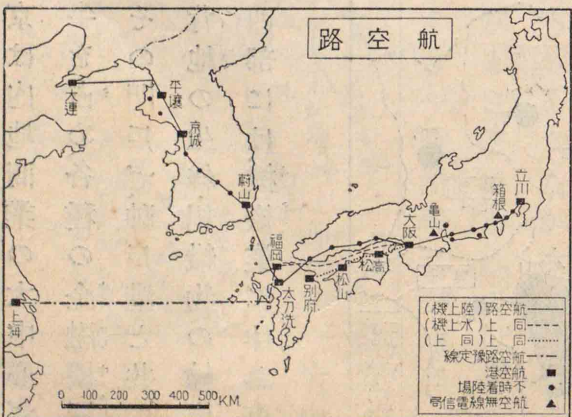


横濱は、内外航路の中心であり、東京も亦近海航路の起點地である。近頃京濱運河の開鑿の計劃がある。利根、江戸、隅田の諸川及びこれを連絡する運河も、舟運に利用される。

發達し、無線電信には東京無線電信局等があつて、遠距離の地方

1 東京無線電信局
送信所 原町と検見川
受信所 福岡と岩槻と小山
〔下〕航空路
東京にラヂオ（J O A K）放送局がある。また大阪との間に寫眞電送も行はれる。

と通信する。海底電線は、東京附近から小笠原諸島の二見に至り、更にグワム島に接続し、米國桑港と通信し得られる。又定期航空路も羽田（東京）を起點とし、大阪方面と連絡し、羽田には航空港の設備がある。かく産業、交通の發達につれて、商業取引



東京市に商科大學・外國語學校、横濱市に高等商業學校がある。

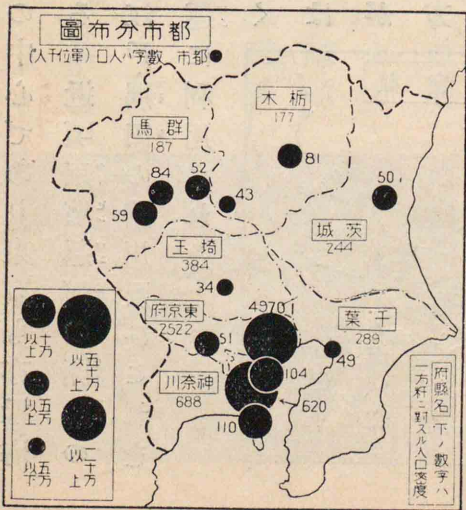
(上)日本銀行が國金融の中樞機關である。東京市に本店がある。



(下)關東地方都市分布圖

總説 關東地方は面積が狭いけれど、地形産業交通等の關係から人口が最も稠密な地方の一で、村落都會の發達が著しく、殊に京濱地方は人口密度が最大である。關東平野の外縁である山麓には、地方中心の都市が發達してゐる。

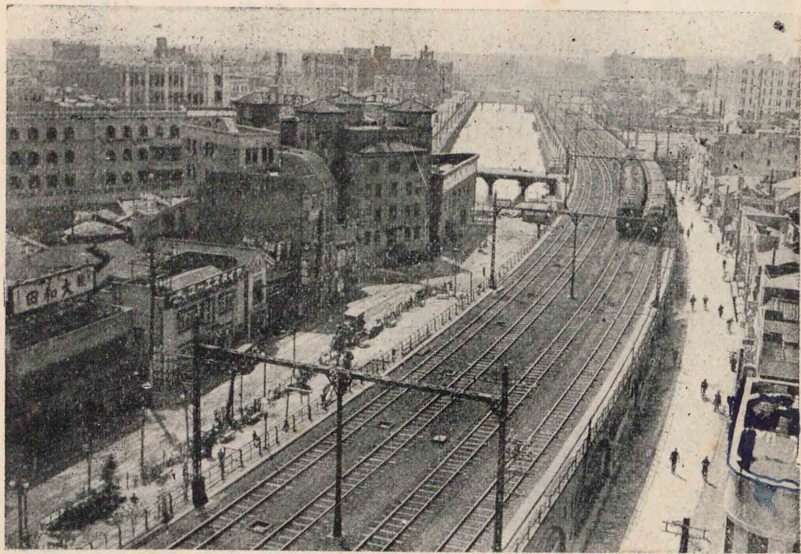
三處誌



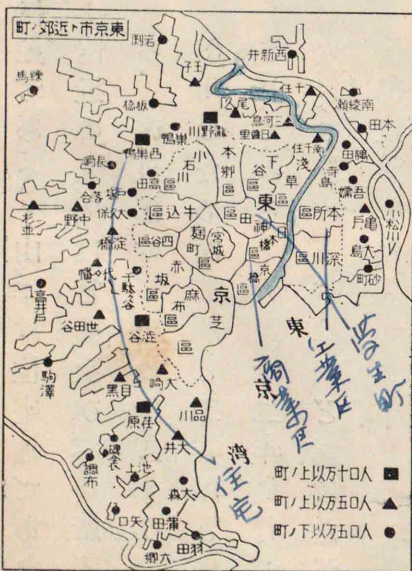
都市名の左横の数字はその都市の人口單位を示したものである。以下これに倣ふ。

(上)數寄屋橋附近の高架線

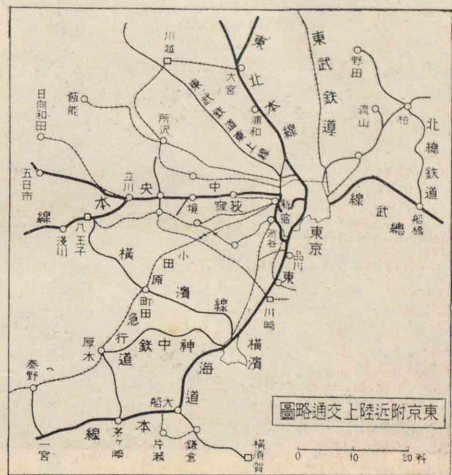
(下)東京市と近郊の町近郊の町村は最近の東京市に編入された。第二の都となつた。



京濱地方 東京市は東京灣に面し、隅田川下流の低地と武蔵野臺地の東端を占め、地形上臺地の山手と低地の下町とにわかれる。この地は昔は江戸とよび、徳川氏の城下町であつたが、次第に發達し、明治初年帝都とさだめられて以來、その發展が著しく、今や政治學藝交通商工業の中心で、わが國の文化の源泉



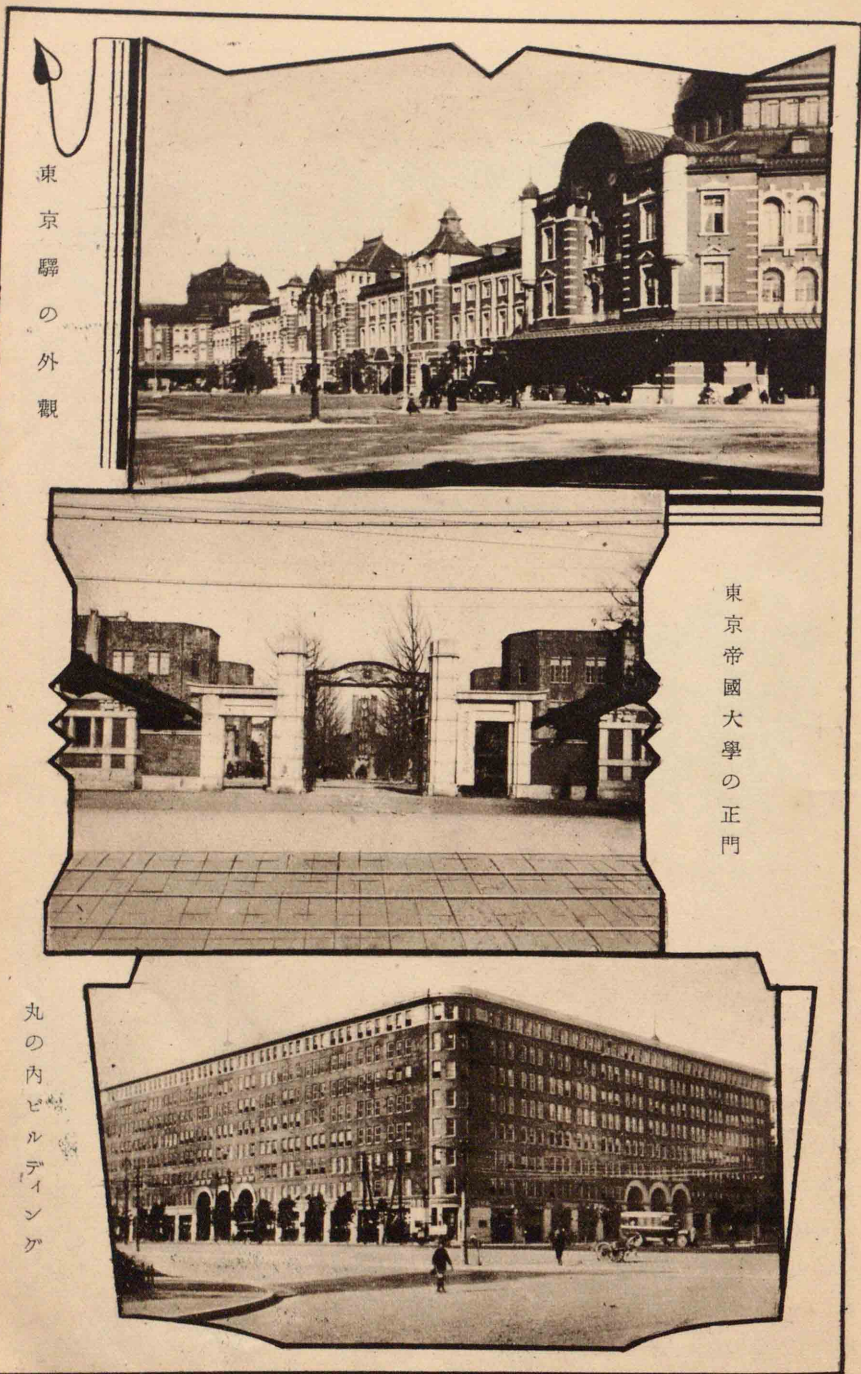
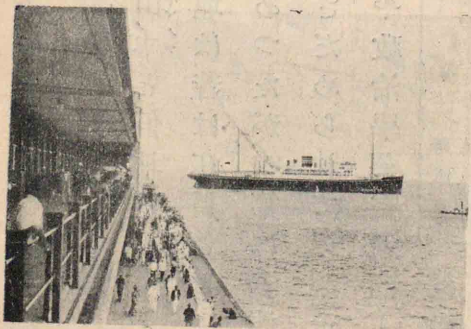
（上）東京附近陸上交通略圖



（下）横濱港の埠頭の解纜せる汽船とその見送人とを示したものである。

第に住宅地と變じ、急速に發達し、今は接續町村を加へ、その人口實に約五百萬を算する。川崎市は京濱間にある一工業市で、京濱をつなぐ鎖をなしてゐる。精糖綿絲電球の産が多い。横濱市は帝都の外港で、神戸と對立する大貿易港で、港の設備がよく整ひ、内外汽船の出入

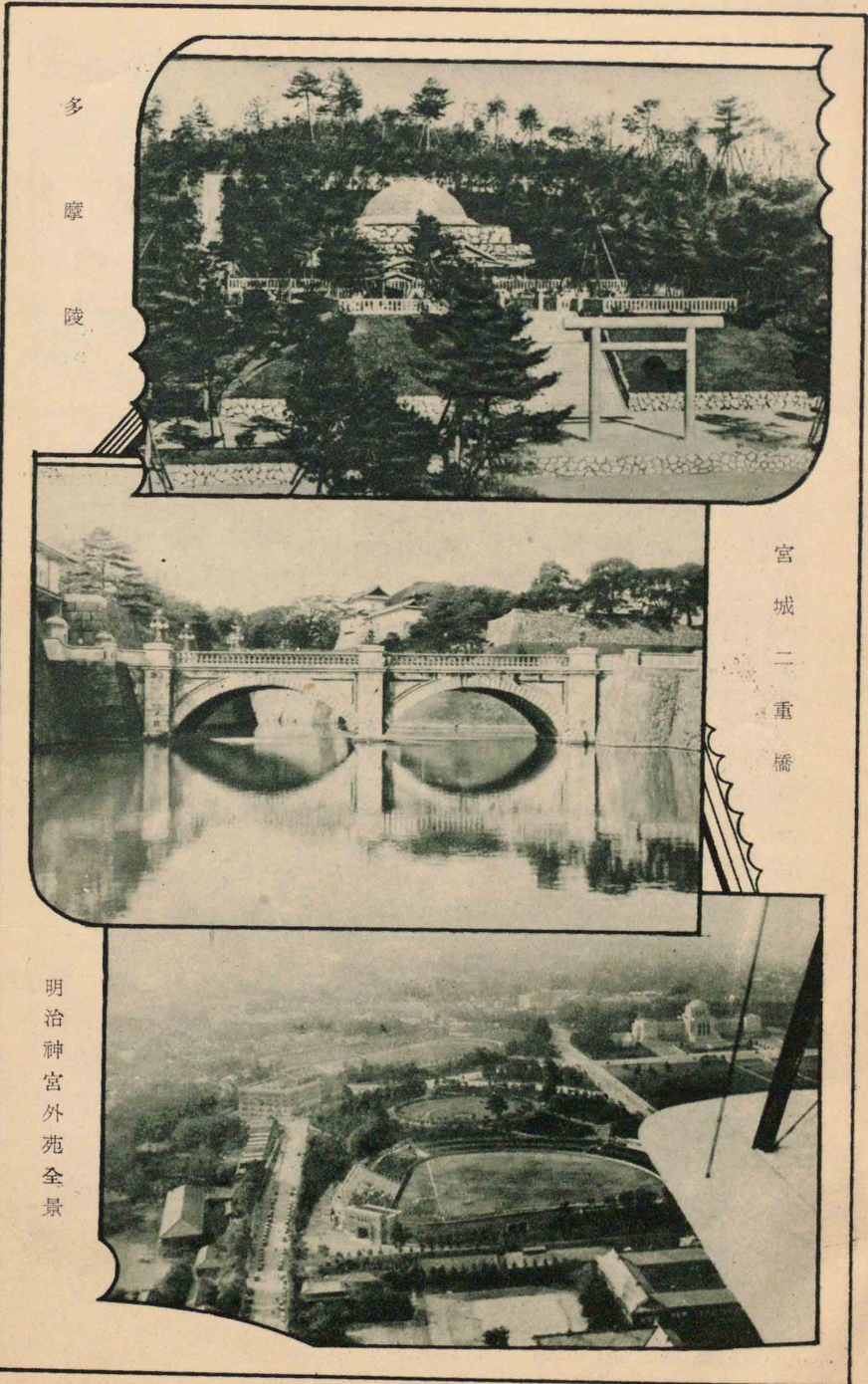
地である。山手は住宅地であり、宮城附近の丸内は官衙及び事務所區である。南東部の下町は商工業が盛で、隅田川のため商業區と工業區とに大別されてゐる。大正十二年九月の大震災のため下町は殆ど焼けたが、今は全部復興した。郊外の田園は次



東京驛の外観

東京帝國大學の正門

丸の内ビルディング



多摩陵

宮城二重橋

明治神宮外苑全景

須賀附近

鎌倉(左上)

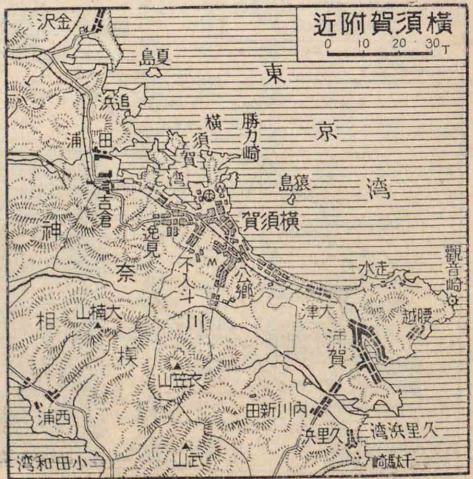
大佛

由比ヶ濱の海水浴場



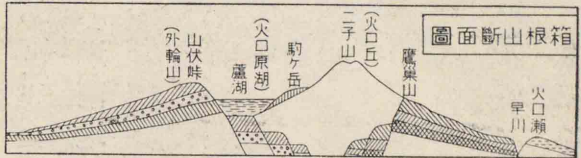
が頻繁である。米國その他へ、後背地の生絲絹織物を輸出する。埋立地等には工業が盛で、製粉電線ユークス機械造船等の工場がある。神奈川縣治の中心であり、正金銀行各國の領事館がある。

湘南地方 三浦半島の横須賀市は、東



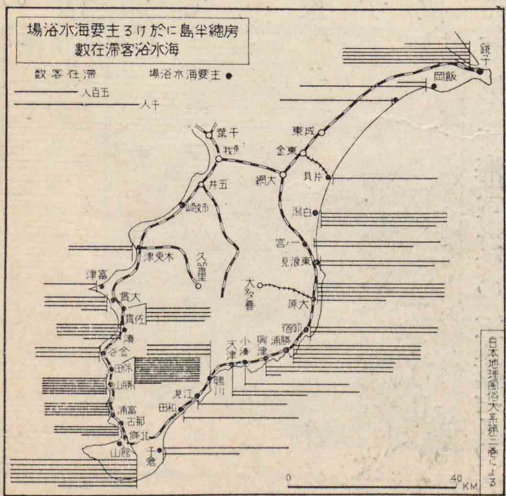
京灣を扼する形勝の位置にあるので、第一海軍區の軍港である。造船機の壯大な工廠がある。追濱の海軍飛行場も近くにある。浦賀には造船所があり、附近の久里濱はペリーの上陸地である。相模灣岸一帯は、遊覽保養の適地が多く、葉山、逗子、鎌倉、江島、大磯、小

（上）箱根山 断面圖



（下）房總半島に於ける主要海水浴場と海水浴客滞在数比較

溫和なので内外房州等は保養地が多く、湘南地方と共に京濱休養地帯である。保田勝山北條興津勝浦等は保養の適地であり、夏に海水浴場としても



田原等は、その中で著名である。鎌倉は史蹟にとみ、小田原は箱根山麓にある舊東海道の宿場町である。箱根火山は複式火山で、その火口原にある蘆湖から早川が流れ出て、その谷に温泉が湧出し、保養客が多くくる。湖畔に關所跡があり、湘南地方と共に京濱の休養地帯の一部である。

房總半島 鐵道海運の

便がよいので、生魚及び果

實野菜類のわせものを、京

濱地方に供給し、又氣候が

溫和なので内外房州等は保養地が多

く、湘南地方と共に京濱休養地帯であ

る。保田勝山北條興津勝浦等は保養

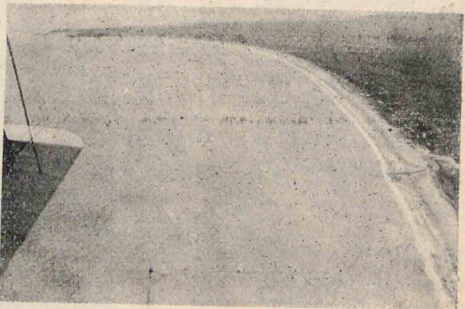
の適地であり、夏に海水浴場としても

1 下志津・習志野等は軍用地として利用される。

（右上）九十九里濱の海岸 左方遠くに見ゆるは大東岬である。緩かな弧状の海岸に注意せよ。

2 本銚子町 二萬銚子町 一萬二千

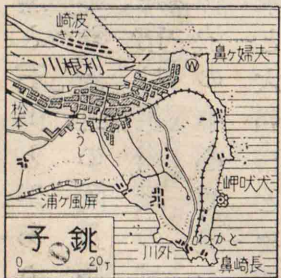
（左上）銚子の鯨節製造(S) 圖は鯨の頭をおろしてゐる作業である。



榮える。九十九里濱には納屋の名のつく漁村が多く、濱漁業の盛な地で、鰻が多くとれる。利根川下流域地方 下總臺地は麥類甘藷を栽培し、またその原野は、牧場又は軍用地として利用され、低地には米の産が多い。千葉市は千葉縣治の中心で、また交通の要地である。成田

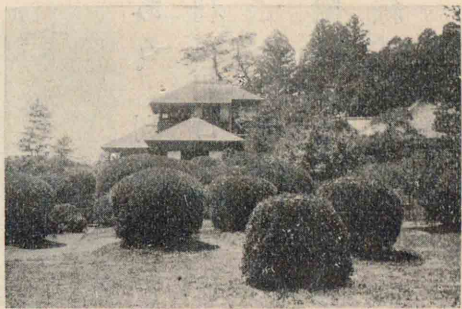
ある。利根川江戸川の流域には、醸造地が多い。利根川口の銚子は著名な漁港であり、鯨節の製造が盛である。附近に犬吠岬の燈臺と銚子無線電信局とがある。

常陸地方 霞浦の北西に釀



1 土浦の南西に高層氣象臺がある。

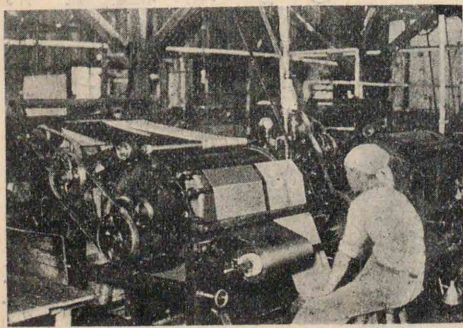
(上)水戸の常磐公園の一部建物は好文亭である。



(下)八王子市にある絹織物工場(内部)でできた織物の皺をのばし、仕上げをしてゐるのである。

2 所澤はわが航空術の發祥地であり、陸軍の飛行學校がある。

川越市秩父熊谷等の機業地が發達してゐる。東京府下の八王子市附近の浅川村には大正天皇の多摩陵がある。立川は所澤と共に飛行場がある。秩父は同名の盆地の中心で、長瀨は風景がよい。川口は鑄物ビールの産があり、浦和は埼玉縣治の中心であるが、東京に近い

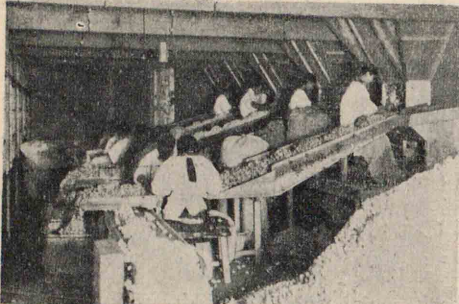
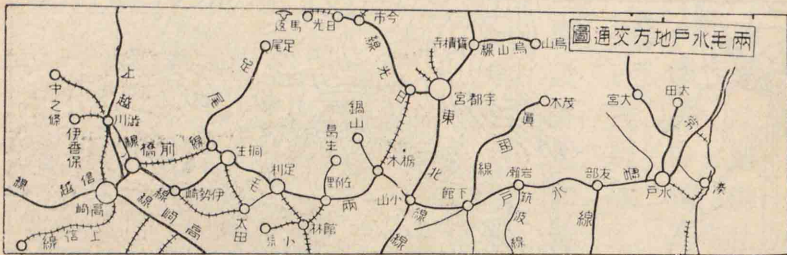


浦和は縣廳所在地では唯一の町である。

(下)大宮にある鐵道省の工場

(上)兩毛・水戸地方交通圖

(中)前橋市にある製絲工場(選繭場)の丸工組工場内の選繭場内部で、繭は此處で選別される。

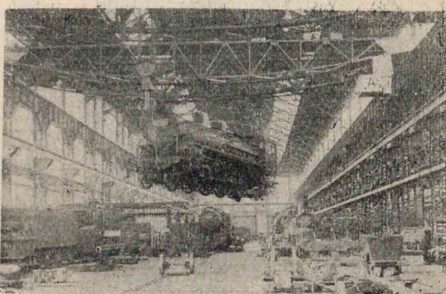


ので、その發達が著しくない。東京への通勤者の一住宅地である。大宮は鐵道の分岐點に位し、鐵道工場があり、川越市は機業地として知られてゐる。

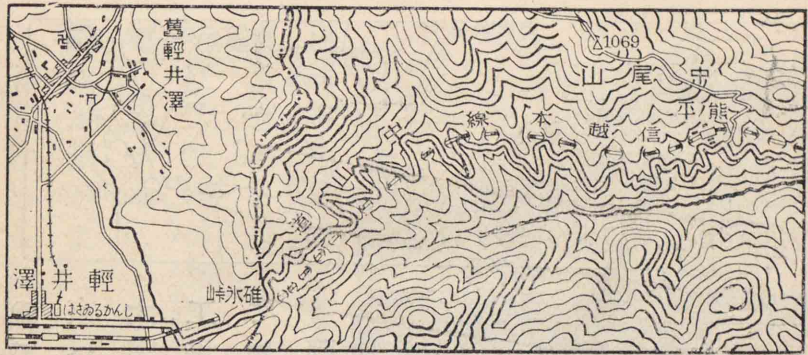
兩毛地方 鐵道兩毛線の沿線

は、桑畑が多く、養蠶製絲機業が盛である。富岡前橋市伊勢崎桐生市足利市栃木等は製絲又は機織の中心である。この機織地の機業は、農家の副業として發達したものである。

高崎市は交通の焦點に位する。



〔上〕碓氷峠



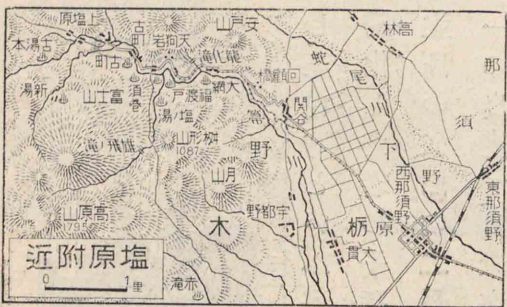
〔下〕前橋市街 (K) 前面的洋館は群馬縣廳である。左端の人家櫛比する處は商店區域である。



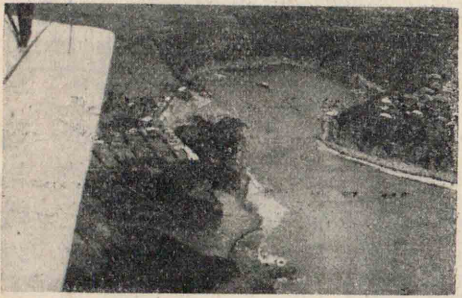
信越線が碓氷峠を通過するが、傾斜が急なので、アプト式軌道を設け、電氣機關車を用ゐる。前橋市は群馬縣治の中心で、繭生絲の市場である。伊勢崎は銘仙の産で名高く、桐生市は足利市と共に關東屈指の機業都市で、輸出向の絹織物を産する。太田は飛行機の製作所があり、館林は製粉業が行はれる。小山は鐵道の會合點に位置し、交通の要地である。宇都宮市は栃木縣治の中心で、製粉業が起り、干瓢、大谷石の取引が行はれる。鹿沼は麻織物を産する。

佐野、常陸

〔上〕鹽原附近 西那須野の耕地に注意せよ。



〔下〕波浮港

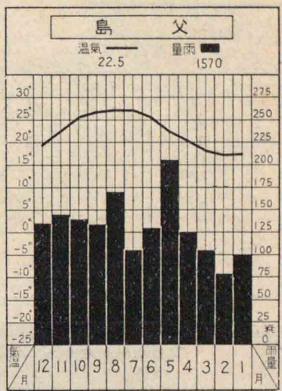


日光線に沿ふ今市は大谷川の谷口の扇狀地の軸上に發達する。日光は結構壯麗な東照宮のある處で、町はその門前町である。男體山中禪寺、湖華嚴瀧等の自然美と、東照宮の建築の人工美とがある。高い遊覽地で、中禪寺湖畔は避暑地として知られる。高原山麓の鹽原は箒川に臨み、温泉地として名高い。那須火山の南西の那須野は、開墾が進んできた。附近は薪炭の産が多い。

南方諸島 伊豆諸島、小笠原諸島、硫黄諸島があり、弓形の海底山脈が海面上に出たもので、富士火山脈が通じる。

大島には活火山の三原山があり、南東の波浮港は爆裂火口港として知られる。この諸島は牧牛と漁業とが行はれ、又椿

父島の雨量と氣温

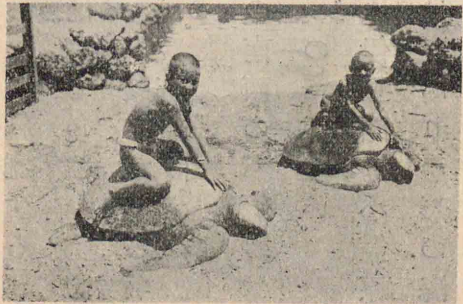
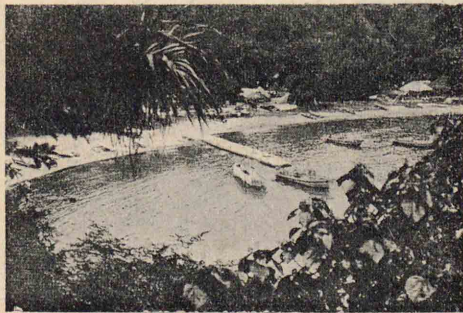


1百餘人にすぎない。

母島の北村と沖村との二つが船着場であるが、圖に見る様に特別な港としての設備はない。

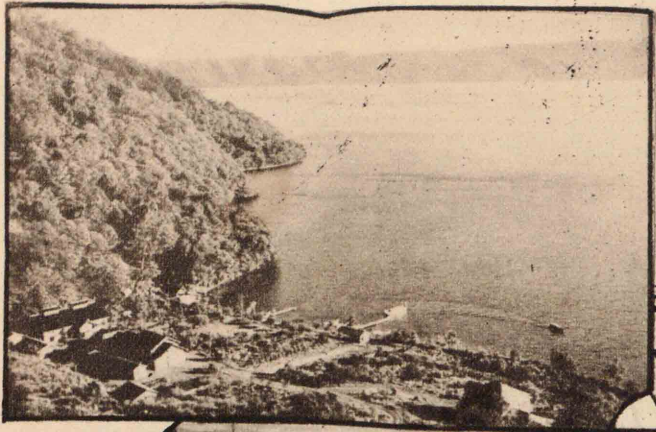
原諸島の正覺坊龜の甲の長さ一米半、濫獲の結果その数が少なくなつた。

正覺坊といふ海龜もある。歸化した者の子孫も少數ある。主島の父島の二見港は、近海唯一の良港で、日米海底電線の中継地であり、また小笠原要塞司令部がある。ワシントン會議の結果その防備を現状に止めることとなつた。南鳥島は珊瑚礁からなる。

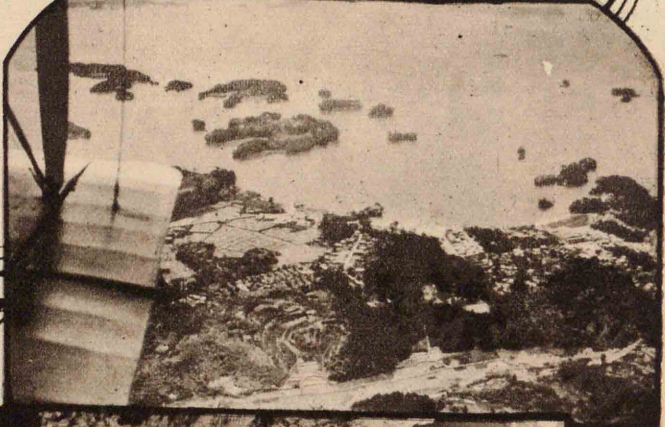


油絹織物を産する。小笠原諸島は比較的緯度があり、且黒潮の影響をうけ、氣候は熱帶性で四季の變化も少なく、雨が多し。生物の景觀も内地と異なり、甘蔗、パイナップル等の熱帶性植物を産するが、外國人の

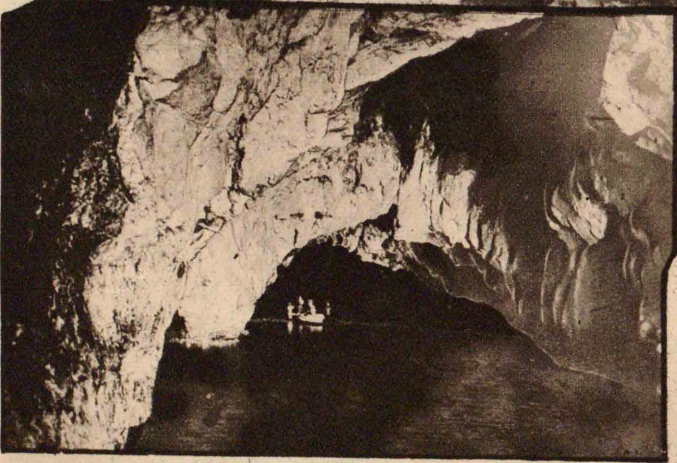
十和田湖の和井内養魚場附近



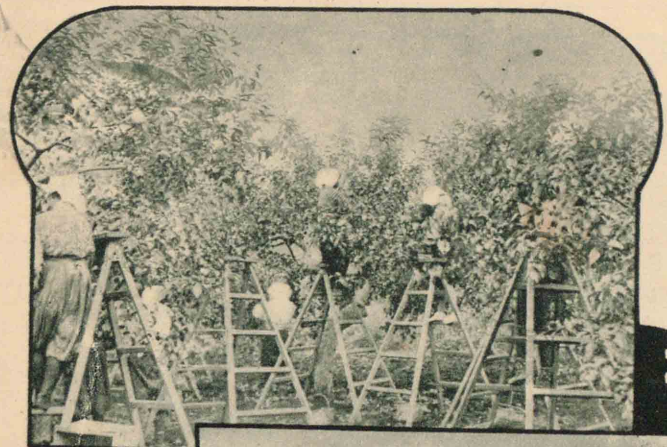
瑞巖寺附近の松島海岸



男鹿半島の萬雀ヶ窟

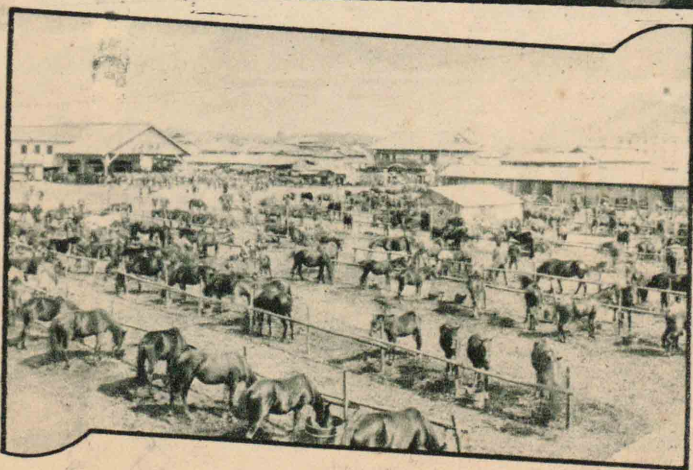


弘前市附近の苹果畑



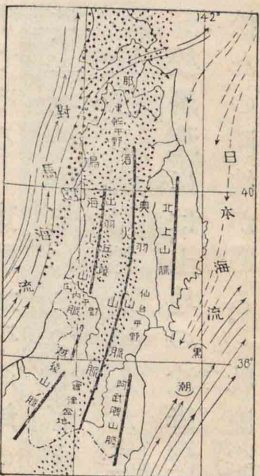
釜石にある製鐵所

盛岡市の馬市



奥羽は陸奥出羽の略稱であり、また本州の東北部をしめるから、東北部とも呼ばれる。

（上）奥羽地方山系圖



（下）岩手山（R）
東岩手山の全景である。中央火口の御鉢の中の火口丘も見え

1 東山・飯坂・吹上・淺蟲等は著名な温泉である。

第二章 奥羽地方

面積 六六九〇七方
人口 六五七萬人

一 地 文

【位置】 奥羽地方は、東北日本の南部

を占め、北は津輕海峡の陥没^{ナグ}によつて

北海道本島とはなれ、東は太平洋、西は日本海に面する。本州最大の

面積を占め、行政上六縣にわかれてゐる。

【地形】 東・中・西の三條の山地が南北に走り、その

間に縦谷と數個の盆地とが發達してゐる。奥羽

山脈は、東西兩斜面の中央分水嶺をなすが、その高

さは著しくない。この山脈と重なつて那須火山

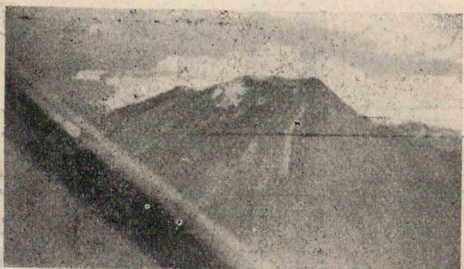
脈が走り、磐梯山^{フジ}・吾妻山^{ニギハヤヒ}・岩手山等の諸火山が高く

聳え、温泉が各所に湧出してゐる。猪苗代^{イナシロ}・田澤^{ナサシロ}十

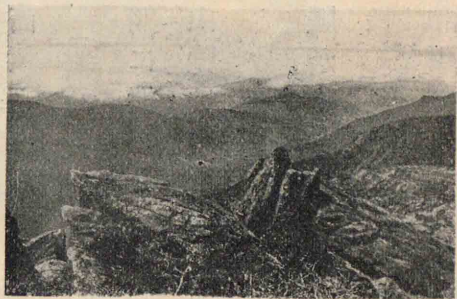
和田の諸湖も、この山地に發達してゐる。

奥羽地方地

文

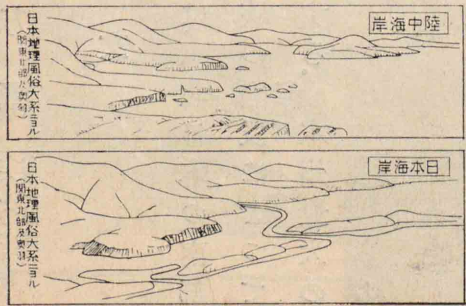


【圖解】(上)早池峰の頂上
高さ一九一四米、俗に東の御山とも呼ばれてゐる。



【圖解】(下)陸中海岸と日本海岸

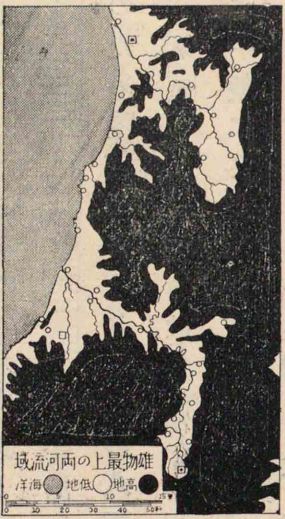
のつづきの縦谷は、奥羽地方の重要な生産地帯である。東部太平洋岸の南半の磐城海岸には、土地の隆起によつてできた狭長な海岸平野が發達し、海岸線の出入が乏しい。仙臺灣の副灣松島灣には、土地の沈降浸蝕によつてできた松島の勝地がある。牡鹿半島から閉伊崎附近



【圖解】(上下)奥羽の東岸リアス式海岸を示したもの。



【圖解】(上左)雄物・最上の兩河流域
1月山・島海山・岩木山等はこの火山脈に屬する。

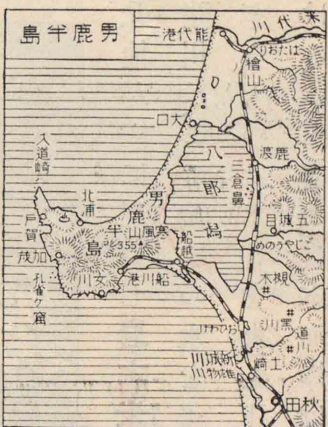


【圖解】(下)日本海岸の砂丘の一部
2津輕・能代・秋田・庄内等の平野

盆地が縦に配列し、岩木米代雄物最上等の諸川はこの盆地の水を集め、出羽丘陵を横ぎるものは、横谷をなし、下流には平野が開ける。西部の日本海岸は多くは砂濱海岸



圖解 (上) 男鹿半島



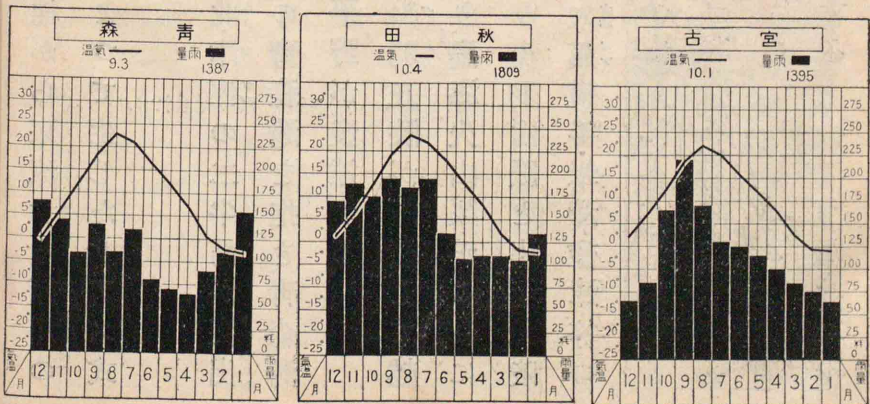
のため陸繋島となり、瀧湖の八郎潟を抱く。

【氣候】 奥羽地方は、氣候が本州中最も寒冷

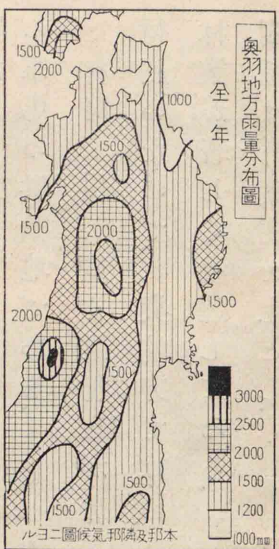
で、一般に冬が長い。この地方は東北日本の冷涼氣候帯に屬し、奥羽山脈で東部の表日本氣候區と西部の裏日本氣候區とにわかれる。千島海流に洗はれる太平洋岸は、對馬海流の通じる日本海岸よりも比較的低温で、夏にガスが発生し、農作物の發育を妨げる。日本海

で概して平直である。砂濱海岸には海岸砂丘が連り、その内側に瀧湖が發達してゐる。男鹿半島は、二つの砂嘴

圖解 (下) 宮古・秋田・青森の雨量と氣温



圖解 (上) 奥羽地方雨量分布圖



1 秋田米・庄内米・黒石米・本石米等。

産業

米は氣候の影響をうけ、南西部に多くでき、秋田・庄内・仙臺の諸平野に多い。人口の少ない爲に他地方へ移出する。酒田・石巻は東西兩岸の主要な積出し港であつたが、今は鐵道を多く利用する。西南日本と異なつて二毛作が行はれない。東部地方は畑地が多く、雨が少ないので、麥・馬鈴薯・大豆・稗の産が多い。北部地方には、冷涼地に適する蘋果の産が多く、弘前附近を主産地とする。養蠶は桑

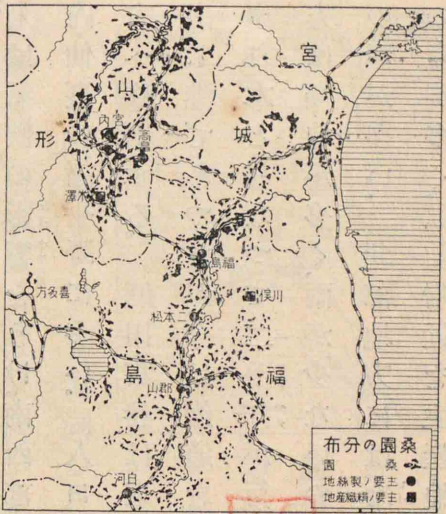
岸地方は雨が多く、殊に冬は雪が多いので、屋外の労働は殆どできなく、また交通を妨げることが多い。

二人 文

圖解 (下) 酒田にある山居倉庫。現在は酒田米穀取引所附屬のものである。



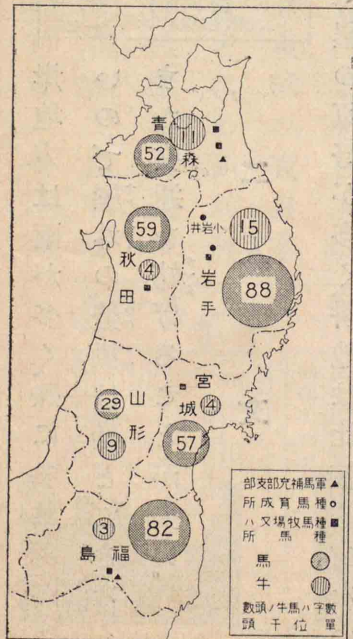
（上）桑園の分布
盛岡市に高等農林学校がある。



1七戸・三本木・岩手山麓・鍛冶谷澤・三春等。

（下）奥羽地帯
方牛・馬頭數比較

馬市が開かれる。又わが國の軍馬の供給地である。林野面積が廣く且林政が行届いたので、北奥地方では林業が著しく發達してゐる。樹種は針葉樹を主とし、津輕



の成育に適する南部に行はれ、本州中部養蠶地域の北限をなし、阿武隈最上の兩河谷等に發達する。東奥地方は、原野が廣く、雨雪が少なく、風土が牧草の生育に適し、各藩の保護により牧馬が盛となり、本邦の著名な一産馬地帯である。各地に著名な牧場が多く、盛岡・白河等では、盛な

（右上）能代港にある秋田材木會社の工場
（右下）小坂鑛山の露天掘
秋田市に鑛山専門學校がある。



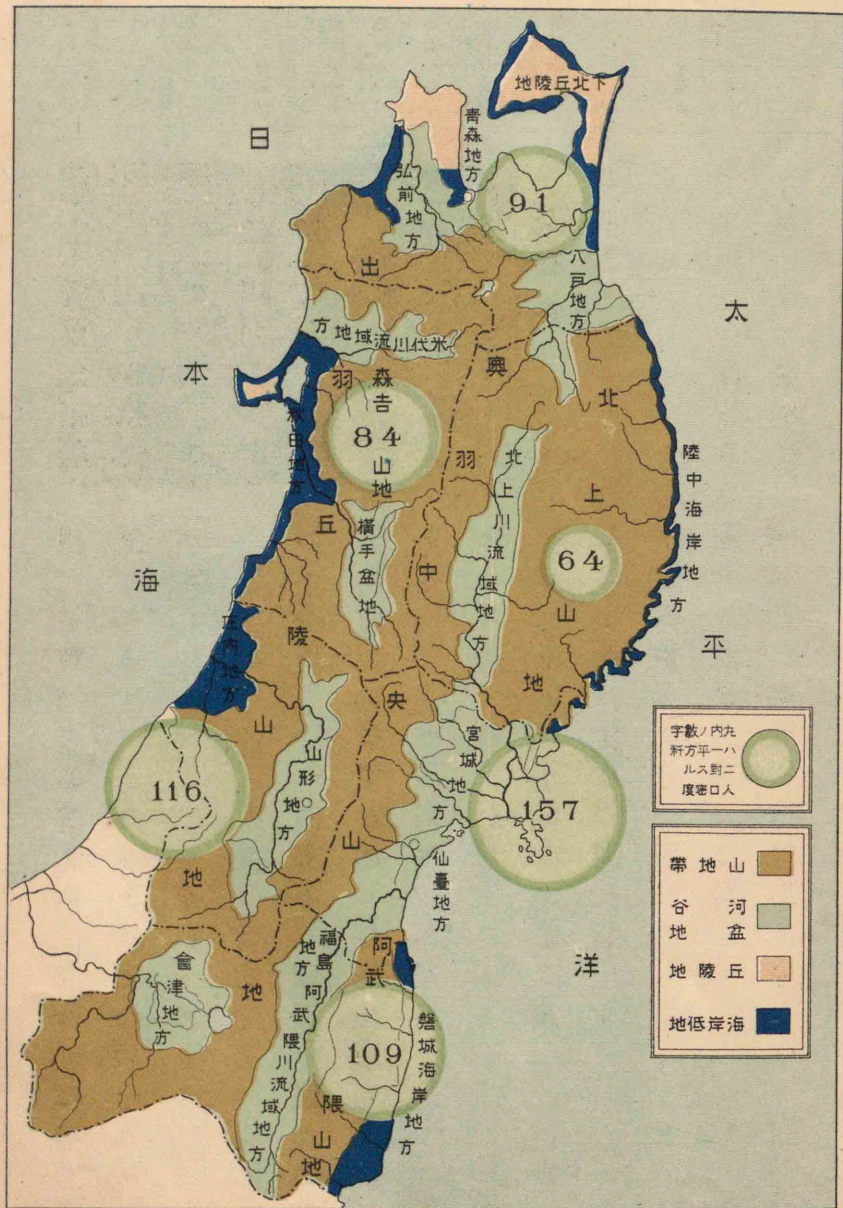
（左下）秋田油田の分布圖を井は石油鑛坑を示したもの。



あり、銅・金等を産する。黒川・豊川等の秋田油田は石油を産し、その原油は主に土崎港で製油される。その他、岩手縣釜石の鑛山、福島縣の常磐炭田は世に知られる。しかしこれ等の産地は分散し、且交通が不便なので、諸種の企業を促進することが少ない。水産業は太平洋方面に

地方のアスナロ、米代川流域の杉等は著名で、大館能代港、青森等では、製材業が行はれる。又岩手縣等では、薪炭を産し、東京方面へ供給する。鑛産も亦豊かである。秋田縣の米代、雄物の兩河の流域には、小坂、尾去澤、荒川等の鑛山が

奥羽地方の地理区



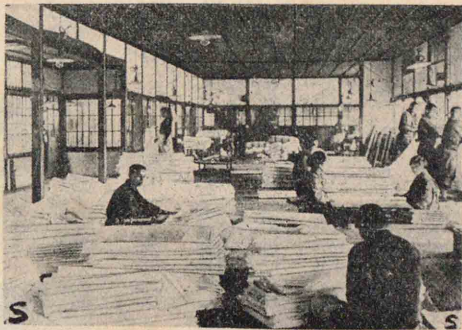
奥羽地方の人文

小名濱・鮎川・宮古等は主要な漁港である。金華山沖では捕鯨が行はれる。

(上)川俣にある羽二重製練工場の内部。織り上げた羽二重を更に製練する状況を示したものである。

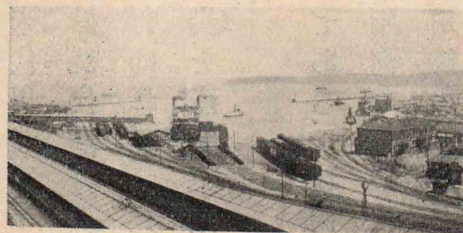
米澤・仙臺に高等工業学校があり、東北帝大に工學部がある。福島・川俣・米澤等は主要な機業地である。

(下)青森港の青函連絡船の正面は鐵道棧橋と連絡船とである。



盛で、鮪・鯉・鰯・烏賊等を主とし、沖漁業・濱漁業共に盛である。この外、陸奥灣の海扇、十和田湖の養殖鱒も知られる。水産製造物も多い。工業は一般に不振で、新式工業の見るべきものが少ない。南西部の養蠶業の盛な地方には、製絲及び絹織業が起り、福島・山形の兩縣に盛である。この外、陶磁器・漆器の製造も各地で行はれる。

交通 商業 海陸共にまだ交通が不便である。東北地方の人文殊に産業の不振は、主に交通に起因すると思はれる。主要鐵道幹線は、國道と略一致し、地形上先づ東北常磐・奥羽の三縦貫線が成り、後にこれを連絡する横斷線の磐越・陸羽・横黒の諸線が通じたが、今も鐵道網は疎である。青森は東北・奥羽の兩幹



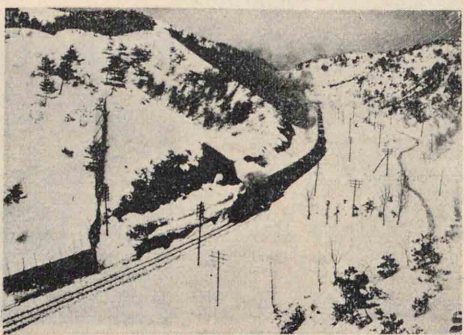
鐵道の横黒線の
列車
積雪と列車の運
行状況との關係
に注意せよ。

仙臺にラヂオ(J
OHK)放送局が
ある。

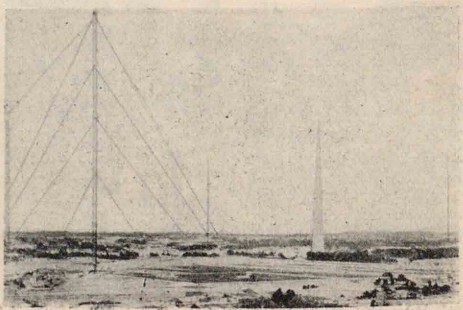
福島市に高等商業
學校がある。

都市
分布圖

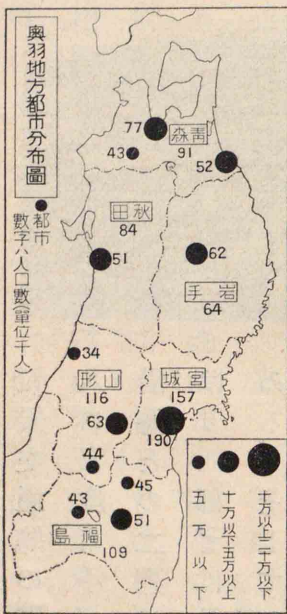
線と函館本線とを連絡する。地理的には位置



が僻在し、産物が少なく、且
良港に乏しく、冬季風波が
荒いので、海運は不振であ
る。東岸は沿岸航路が開
け、陸上交通の缺を補つて
ゐる。東京無線電信局の
原ノ町送信所は、米本國ハワ
イとの間に通信する。此地方は、東京の商圏に



属する。青森船川港は開港て
ある。



奥羽地方 誌

三 處 誌

總説 奥羽地方は、かく地形

（上）福島市街の一部K、中央は置賜町、正面の丘は信夫山である。



氣候・交通等の關係から、産業も不振であるため、人口密度も小である。都市は、東奥では河谷と沿海との二列にならび、それが仙臺平野でまじはり、西部では、盆地と沿岸との二列に排列してゐる。そしてこの地方には、關東近畿・北九州にあるやうな新進の商工都市は、極めて少ない。

阿武隈河谷地方 福島

縣の阿武隈河谷を中通と

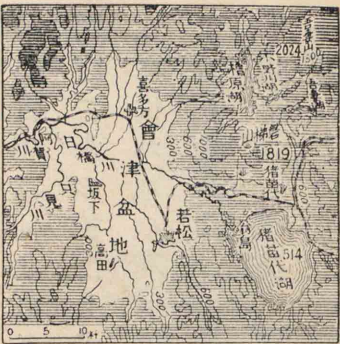
（下）白河の町營の馬市、三春も牧馬が盛であり、須賀川と共に葉煙草の産が多い。

もよぶ。道路東北街道、鐵道東北線とが通じ、街道町が珠數型に發達してゐる。白河は奥羽地方の關門で、馬市がたつ。郡山市は交通の要地で、近來電力の供給を得て新進の工業市となり、製絲及び絹綿紡績業が盛である。福島盆地の中心福島市は、縣治の中心で、附近は養蠶が盛で



阿武隈山地はよく開墾されてゐるが、しかし大きな聚落がない。

（上）會津盆地



あるので、繭生絲の取引が多い。附近に飯坂温泉がある。川俣は羽二重を産する。

會津地方 會津盆地と南會津山地とを含む。

會津盆地は湖底平原で、その中心若松市は、松平氏の城下町で、戊辰の役の戦蹟地として名高く、漆器陶器を産する。附近に東山温泉があり、冬

季スキー場として知られる。南會津山地は土

地が僻在し、木炭を多く産する。

磐城海岸平野 狹長な海岸平野で、常磐線が

通じ、濱通ともよばれる。南部に常磐炭田があ

り、平はその中心で、漁港の小名濱が近くにある。

附近からセメント耐火煉瓦を産する。北部の

相馬地方の中心中村は相馬焼を産する。阿武

隈山地からこの海岸平野に流れでる河は、水力



（下）小名濱港（K）濱通り唯一の商港兼漁港である。

1 東北帝國大學・二高・高工。

街(S) (上)仙臺市
青葉城址の上から東を見たものである。右前は城址で前面の川は廣瀬川である。



發電に利用される。

仙臺地方

仙臺市

東北第一の都會

形勝の

地を占め、伊達氏の城下町で、奥羽第一の都會である。東北文化の中心で、政治、教育、軍事、交通上の要地であり、跨地埋木細工の名産がある。鹽釜はその外港で米の積出しがあり、又發動機船への輕油の供給地である。白石は仙南の

中心、古川

は仙北の名邑である。

石巻は北上川の

河港で、米の積出し港であつたが、東北本線に貨物を奪はれ、地の利では鹽釜に及ばない。牡鹿半島附近の金華山は、風景がよい。

北上河谷地方

南部地方で、東北本線が通じる。

一關はこの地方の關門であり、平泉は奥州藤原氏



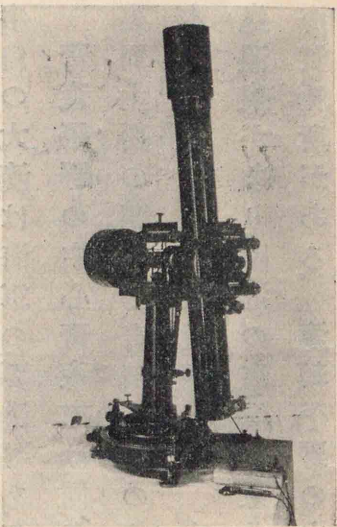
(下)石巻

日和山から河口を見た處である。

(上)緯度観測所の天頂儀

(上左)馬の頭數比較

1 この農場では、造林・牧畜・大農式耕作を行つてゐる。



の史蹟がある。水澤には緯度観測

所がある。盛岡市は南部氏の城下

町であり、縣治の中心で盛な馬市が

たち、南部鐵瓶の特産がある。岩手

山麓には馬の牧養が盛であり、小岩

井農場の如き大農場もある。

北上山地東

岸地方 大船

瀧釜石宮古等の港がある。

釜石は鐵の製

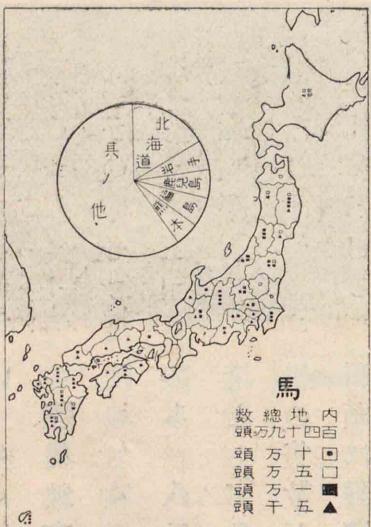
鍊所があり、花

巻と鐵道が通

ずる。この地方の港は、後背地が不良であり、且

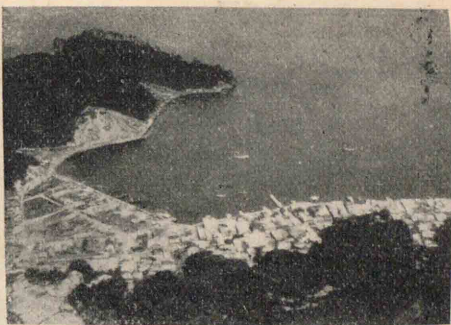


(下)南部鐵瓶の製造場
盛岡市の高橋鑄金所の工場内部である。



（上）釜石港は多少風波になやまされるが深く入り込んだ良港である。

（下）青森市街の一部（K）正面は下新町通りで最も賑かな通りである。右側の大建物はデパートメントストアである。



半島の大湊は海軍の要港である。

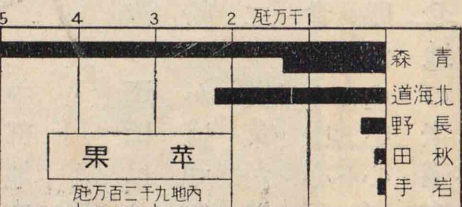
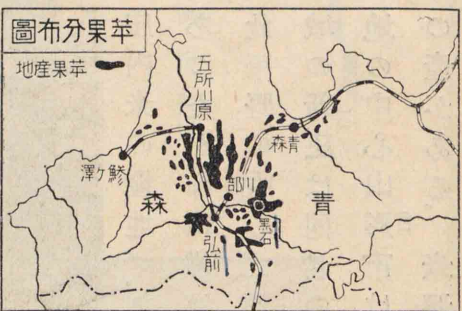
青森平野の中心青森市は、同名の灣頭に位し、奥羽主要の開港で、青函連絡の起點地である。木材及び魚類の集散が多い。青森の附近に淺蟲温泉があり、附近の海岸に東北帝國大學の臨海實驗所がある。津輕平野の中心弘前市は津



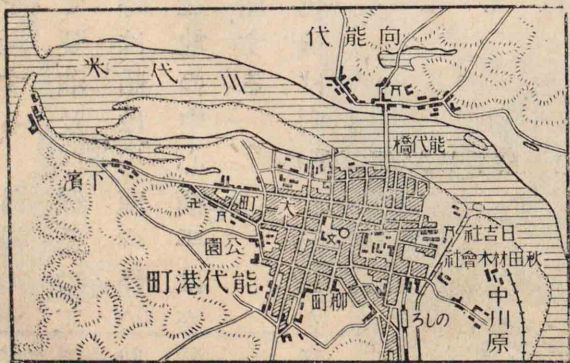
弘前に津輕蠶・木蕘細工の特産がある。

（右上）苹果分布圖
（右下）苹果産額比較

（下）熊代港町



町が發達してゐる。又杉の良材を産し、秋田杉として知られ、大館鷹巣等の沿岸各地で製材されるが、米代川の川口にある能代港は最も盛で、規模の大きい製材工場がある。雄物川流域地方 下流域は秋田平野で、その中心秋田市は縣治の中心であり、木材の集



〔上〕山形市街の一部(K)市役所の屋上から七日町横町方面を見たもので、本市の経済上の中心区域である。

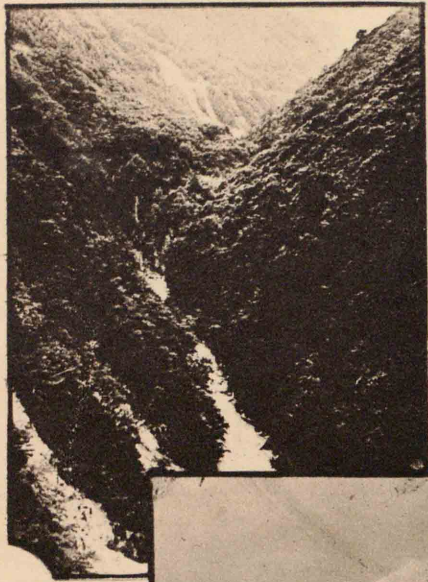
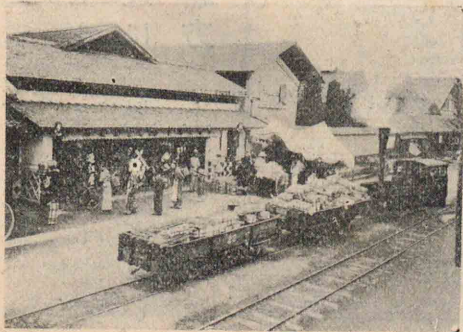


〔下〕櫻桃(下)櫻桃を箱詰として各地に発送の状況である。

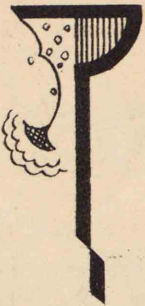
米澤市は米澤織を産し、又人造絹絲の工場がある。

庄内米の産地で、河港の酒田はその積出し港であつたが、今は鐵道輸送が盛である。鶴岡市は此平野の中心で、羽二重機業が盛である。中流域の新庄は同名の盆地の中心である。山形盆地の中心山形市は、縣治の中心で、附近には櫻桃の産がある。米澤盆地の米澤市は機業地である。

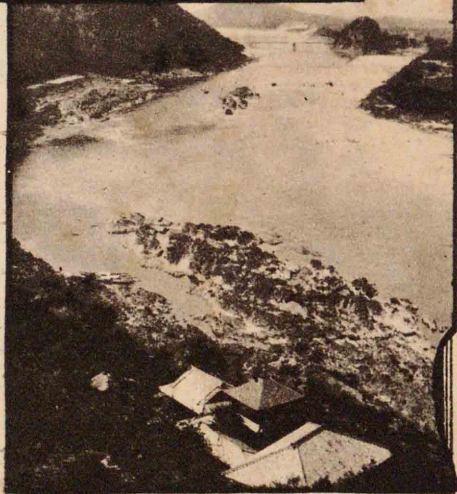
散が盛で、また金銀細工を産する。外港の土崎港は、秋田米の積出し港で、製油及び鐵道の工場がある。北西風の強い時は、船は男鹿半島の船川港に避難する。横手盆地の中心横手は交通の要地で、羽二重木綿を産する。最上川流域地方 羽越線は兩羽の海岸を通じ、中部地方の新津に至る。最上川下流の庄内平野は



上高地溪谷



雲表に聳える富士山



木曾川(日本ライン)の一部 不老閣の眺望



嶽ヶ嶽



前穂高嶽



燒嶽上高地の河童橋附近



第三章 中部地方

一 地文

面積 六六四六二方
人口 一、二七六、〇〇〇人

位置 中部地方は本州の中部を占める

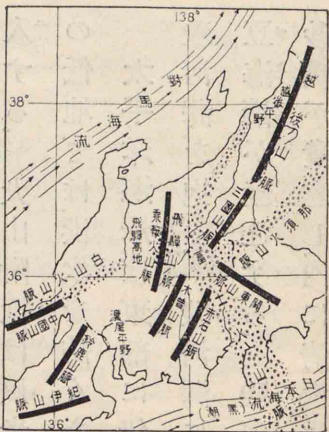
広い地域で、東北日本と西
南日本との結合地帯であ

る。東海地方中央高地北陸地方にわけ

地形 この地方は、南彎北彎の兩山系の相會する所であつて、地形が複雑である。

東海地方 駿河灣岸の平野
は、狩野富士安倍の諸川の堆積
平原である。遠江の海岸平野
は、大井・天龍の二流域を主とし、
内奥の丘陵地は、三方原・牧原等

圖解 (上) 山系圖

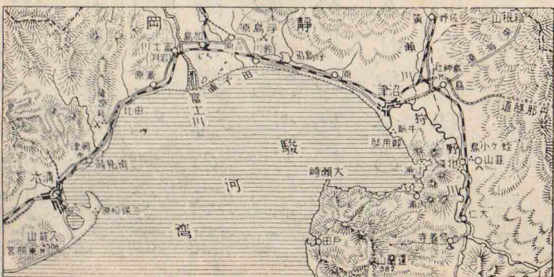
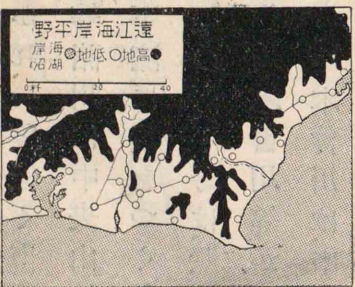


圖解 (中) 遠江海岸平野

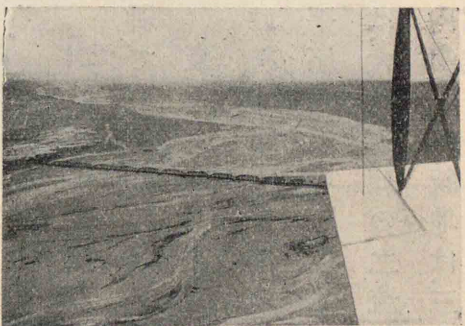
圖解 (下) 駿河灣沿岸地方

東海地方は、静岡愛知の兩縣の太平洋岸の平地丘陵地及び美濃の南部を含む地域である。

中部地方地文



④(上)大井川
下流の網状流
(S)
東海道本線の鐵
橋があり、河流
が網状にわかれ
てゐることに注
意せよ。

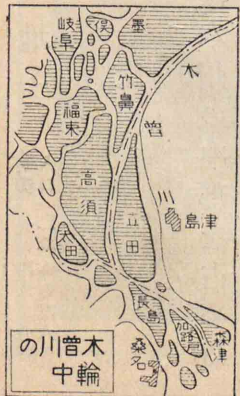


濃尾平野の西は、
養老山脈の斷層崖
に連續する。

駿河灣には海深百
米未満の石花海が
あり、附近は漁業
が盛である。

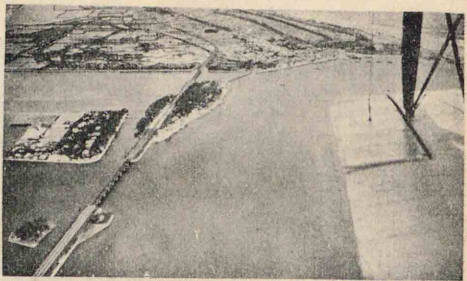
④(下)木曾川
の輪中堤

入する。犬山附近は風光がよく、日本ラインの稱がある。濃尾平野の低地では洪水を防ぐため、堤防で圍まれた地を輪中といふ。太平洋海岸は、東部に伊豆半島が突出して駿河灣を抱く。駿河灣には、海深二千米の駿豆海溝が發達する。駿河灣の砂濱には鈎状の砂嘴が發達し、内に清水港を抱いてゐる。御



④(右上)濱名湖の今切(又)湖は鐵橋より左方に擴がり、右方は太平洋である。東海道線が通じてゐるのに注意せよ。

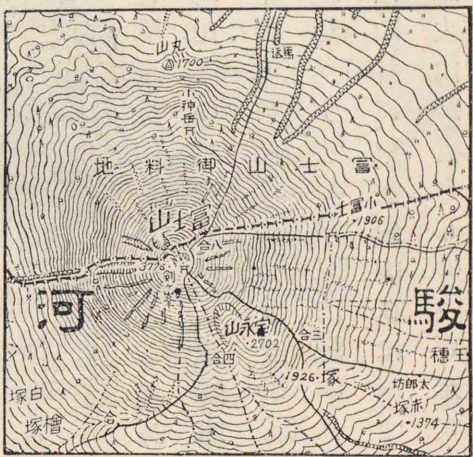
④(下)日本アルプスの連峰、劍嶽立山等の諸山である。



た那須火山脈が通じる地方である。西部には、南彎山系の東縁である飛驒木曾赤石の三山脈が略平行して南北に走り、土地高峻で、よく高山性の地貌を呈する。飛驒山脈中には、白馬・鎗穂高等の高山の外に、乗鞍火山脈に屬する乗鞍嶽・御嶽・燒嶽の諸火山が雲をしのいで兀立し、所謂日本アルプス



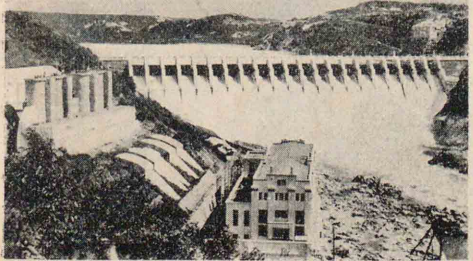
〔上〕富士山
富士山頂を示したものである。



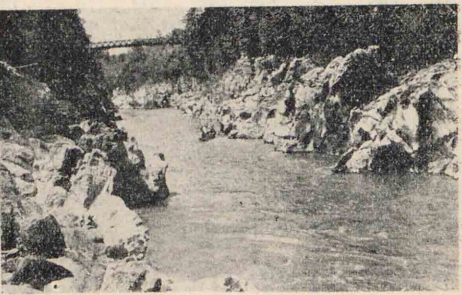
の主部をなし、夏季には登山者が多い。飛驒山脈の西に飛驒高原があり、その西縁に白山火山脈の主峰白山が聳える。木曾山脈は、天龍川と木曾川との間にあり、駒嶽を主峰とし、赤石山脈は白峰山、赤石山を主峰とし、富士川と天龍川、豊川との間に楔状の地壘を

〔下〕大井発電所
富士火山脈は富士山を主峰とし、妙高・箱根・天城等の諸火山を起し、更に南方諸島にも及んでゐる。

なしてゐる。この南北兩彎山系の間は、姫川から駿河灣に至る地溝帯が發達し、この地溝帯に富士火山脈に屬する諸火山が噴起し、温泉もこれに伴つて各所に湧出する。富士山は駿甲二國に跨り、三千七百七十六米の劍峰を最高とする内地第一の成層火山であ



〔上〕天龍峽
こや橋附近の峽谷を示したものである。



〔下〕黒部川の峽谷
猫又の奇勝を示したものである。

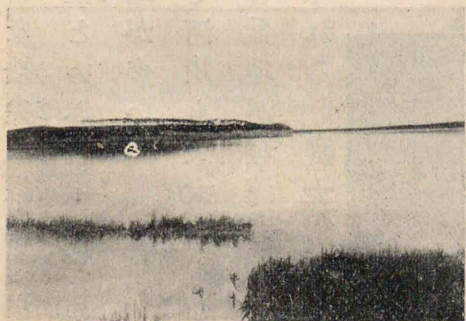
發し、狭長な伊那谷をすぎ、中流に天龍峽の勝地をつくる。木曾川の上流は木曾谷の縦谷で、寢覺床の勝地をつくり、宮川の上流に高山盆地がある。黒部川は山間に廊下といふ絶壁の峽谷をつくり、信濃川の上流は二つに分れ、千曲川は佐久平・上田盆地をすぎ、善光寺平で松本平をす





ぎてくる犀川を合流してゐる。北陸地方 信濃川は、中越の長岡市附近で、東山・西山の兩丘陵間に河畔の堆積平野を發達せしめ、下流は阿賀川等と共に下越平野をつくる。荒川流域は、上越平野とよび、中下越平野と區別する。何れも米の産地である。

富山平野は神通川・庄川・射水川等の三角洲が結合してできた平野で、古い堆積地は丘陵となり、低い沖積平野はよい水田である。能登半島は丘陵性の山地が發達し、七尾灣には能登島がある。七尾灣から、邑知瀨に通じる地溝帯には、鐵道七尾線が通じる。加賀平野は手取川・犀川等の三角洲平野で、沿岸には砂丘が發達し、その

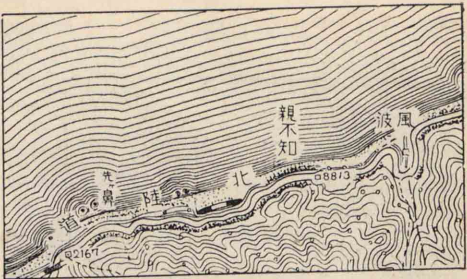


野と佐渡島 (上) 越後平野

海岸砂丘の内部 (下) 柴山潟にできた潟湖の一例として示したものである。

親不知の海崖 (上) 親不知

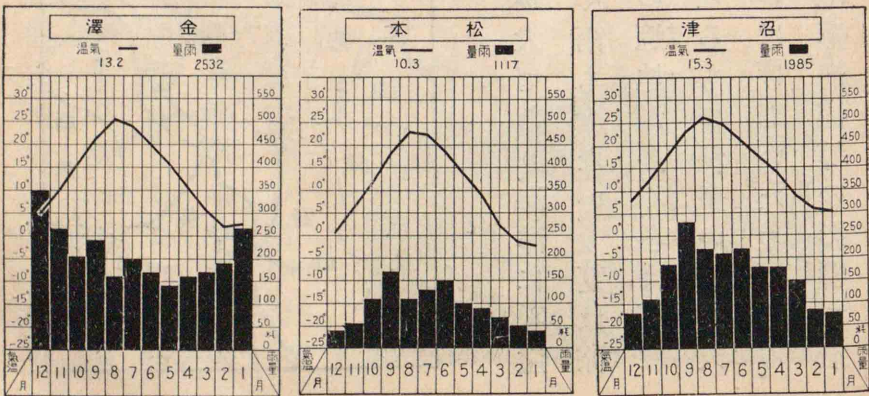
松本・金澤の雨量と氣温 (下) 沼津・松本・金澤の雨量と氣温



内側には、河北瀨・柴山瀨等の瀨湖がある。九頭龍川の上流に大野盆地があり、下流に福井平野が發達する。

北陸海岸 若狭灣はリアス式の海岸で、せまい各灣頭には小平野が發達してゐる。海岸線は、若狭灣岸を除く外は一般に單調で、唯中央に能登半島の突出と、富山灣の灣入があるにすぎない。飛驒山脈の日本海につきる處は、親不知の海崖をなしてゐる。佐渡島は、大佐渡山地・國中平野・小佐渡山地の三平行地からなつてゐる。

氣候 北陸地方は、アジア大陸の影響をう

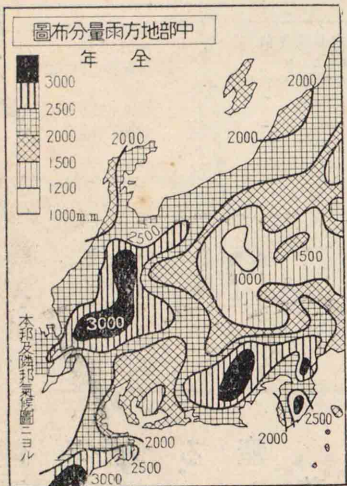


農米 茶 葡萄 蜜柑 梨 養蚕

【圖】(上左)中部地方雨量分布圖
岐阜市近くに高等農林學校がある。

【圖】(上右)茅野の寒天の製造場
【圖】(下)熱海温泉の一部
駿河灣沿岸及び伊豆の温泉地は、京濱休養地帯の延長と見做される。

中部地方 人文



候溫和、夏に南東季節風の
ため雨が多く、表日本の氣
候のよい地方である。冬
は暖く夏は涼しいので、保
養の適地が多い。濃尾平
野は關東平野の内部の氣
候と似てゐる。

二 人文

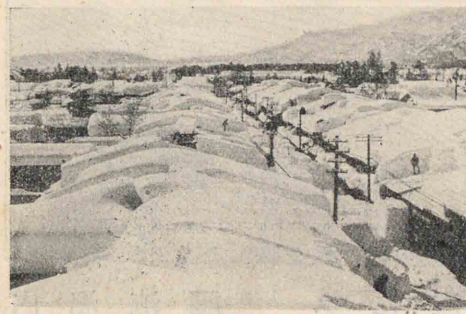
【産業】越後濃尾富山等の諸平野は、
米の多産地で、殊に新潟縣の産額は最
も多く、各地に移出される。麥は表日
本に多く、愛知縣がその産が多い。裏
日本は、氣候の關係上殆ど栽培しない。



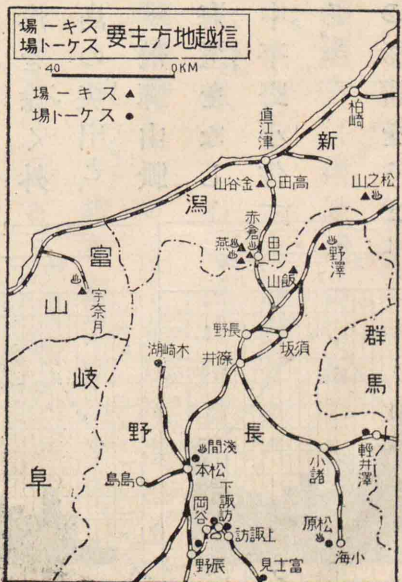
【圖】(下)信越地方主要スキー場とスケート場
主要なもののみを示したものである。

【圖】(上)昭和二年の高田市の大雪
屋根上の雪おろしの状況である。

中部地方 人文

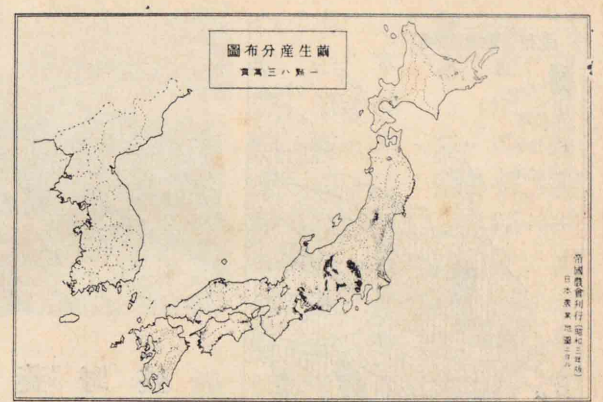


け、夏は比較的
は北西の季節風が對馬海流上
をふいて、殆ど連日雨雪をふら
し、本邦の深雪地帯をなし、裏日
本の氣候の特色を呈する。こ
の地方の深雪地帯は冬にスキー
場として
の適地が
多い。中央高地は高さが大であり、海洋にも遠
いので、寒暑の差が甚しく雨も少ない。夏は涼
しく高原避暑地としての適地が多く、冬は湖は
氷結してスケート場となるものが多い。又天
然氷寒天の製造も、寒氣のはげしいためである。
太平洋岸の東海地方は、地形海流等の影響で、氣



産分布圖 (右上) 繭生
上田市に蠶絲専門
學校がある。

縣の茶園・果樹 (左上) 静岡
園 (左下) 牧ノ
原の茶園



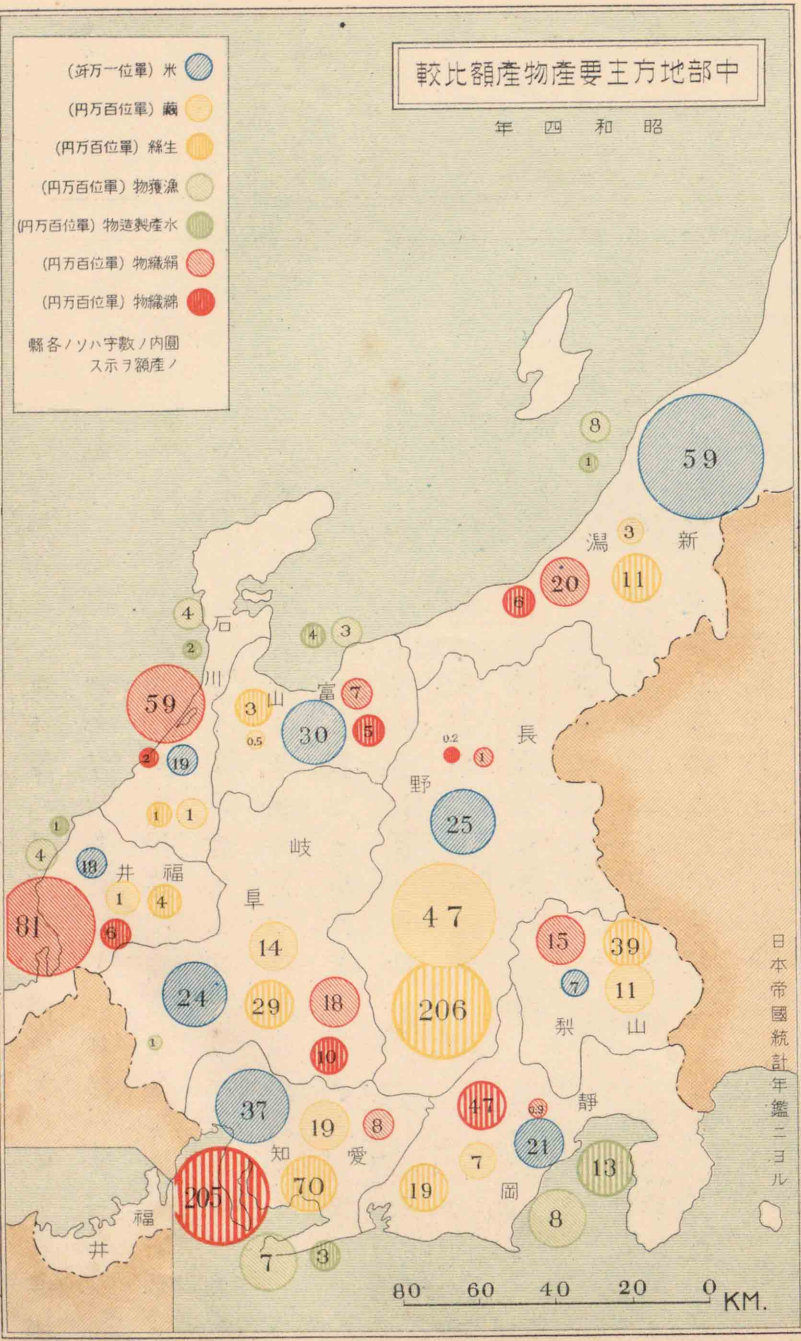
ある。長野縣は繭の産額が殊に多い。随つて製絲業も長野愛知岐阜等の諸縣を主とし、中にも長野縣諏訪地方の岡谷は最も盛て



静岡縣の大井安倍の兩河の流域の礫層臺地の傾斜地には、茶の栽培が盛である。又駿河灣の沿岸には、蜜柑梨等の果樹をつくる。甲府盆地の東部勝沼地方では、葡萄を産し、越後平野の梨も世に聞える。養蠶は地形氣候の關係上、中央高地の諸盆地及び濃尾平野に行はれ、わが國の主要な養蠶地帯である。

中部地方主要物産額比較

昭和四年



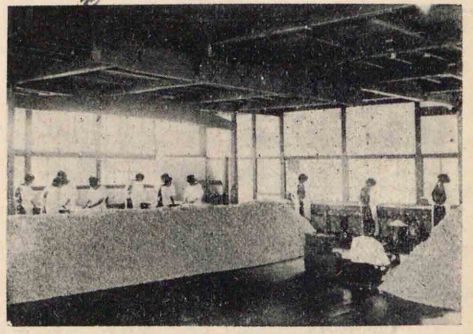
日本帝國統計年鑑ニヨル

石油 鉦 榎 楡 扁柏 柏

（上）岡谷に
ある製絲工場の
内部

（下右）越後
油田分布圖

（下左）西山
油田の油井
鑿井の機に注意
せよ。



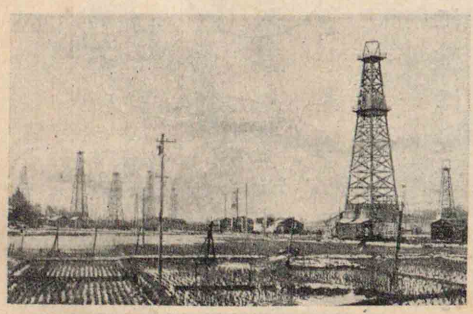
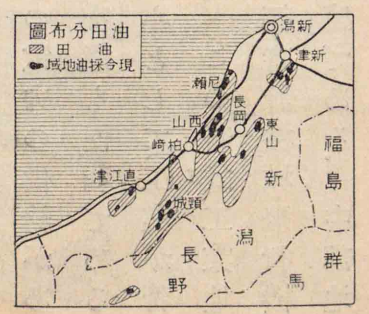
主とし、新潟、柏崎等で製油される。この外、相川の金尾、小屋の銅神岡の鉛等は世に聞える。又赤坂の大理石、甲斐の水晶等の特産もある。水産は頗る豊富で、太平洋方面は暖流性の魚族にとみ、鯉、鱒、鮭等の漁獲が多い。静岡縣はこの地方第一の水産業地で、水産製造物も亦多い。

中部地方人 文

ある。

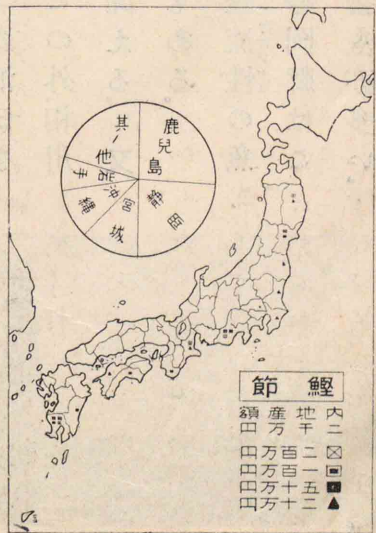
森林は中央の山地に多く、木曾谷及び天龍川の上流は扁柏等の良材を産し、各地に供給される。

鑛産は新潟縣の石油が第一である。越後油田は東山、西山、新津等の油田を



〔下〕鱈節産額比較

焼津は鱈節の産が多い。濱名湖三河灣沿岸地方には、養鰻業が頗る盛であり、長良川・木曾川等は鮎を産し、長野縣の諸盆地の水田では養鯉業が行はれる。日本海方面は鱒・鯛・烏賊等が多くとれる。又新潟縣の河川では、鮭・鱒がとれる。



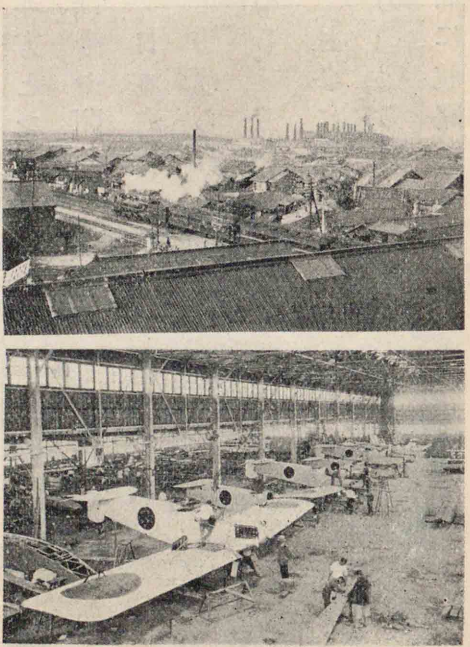
〔上〕濱名湖附近主要養魚場



工業は東海地方に殊に發達してゐる。中央山地からの電力の供給があり、原料も豊かで、且交通も便利であるから、名古屋市を中心として、工業が著しく發展してゐる。この新式工業地帯では、織物・綿絲・車輛・時計・機械・飛行機等の諸種の工業が盛である。中部地

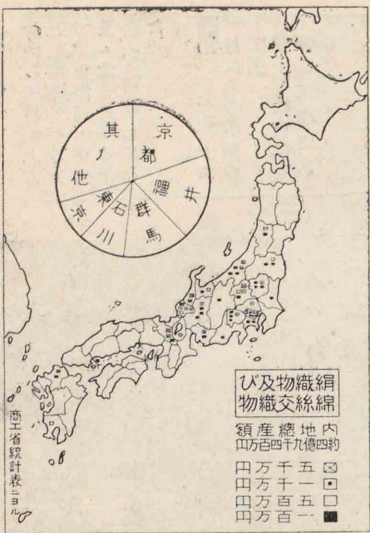
〔右〕名古屋市北西隅の工業地帯

方は纖維工業が著しく發達し、東海地方には、一宮・濱松の綿織、小山の紡績、岐阜の毛織等を主とし、中央山地の製絲、北陸地方の絹織は著名である。福井・石川の兩縣では、羽二重・富士絹を産する。越後



山麓の地方からも精巧な絹織物を産する。

木曾山脈の南西麓は、良質の陶土を産するのて、わが國屈指の窯業地帯となり、瀬戸市・多治見をその中心とする。關東地方では、「せともの」は陶磁器の別名となつてゐる程である。この外、金澤附近の九谷燒・富士南麓の洋紙・静岡・岐阜・福



昔から江戸と上方とを連絡した地方で、東海道・中山道・北国道等の道路が発達してゐた。

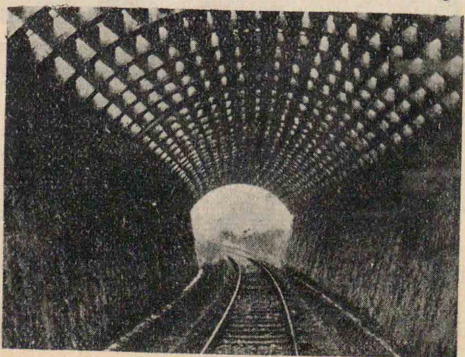
（上）富士山麓にある製紙の工場
富士製紙會社の第二工場である。



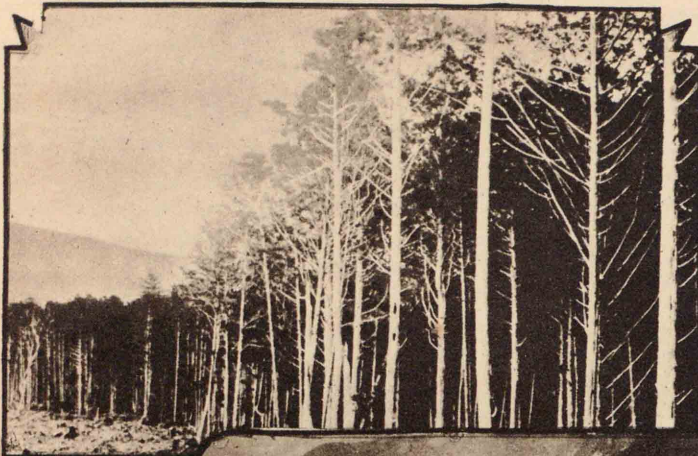
（下）スノーセツト
一例として上越線の石打・湯澤間にあるものを示した。
日本海方面には、新潟・伏木・七尾・敦賀等の港がある。

日本を時間的に接近させた。日本海斜面の鐵道は冬季積雪のために、運轉を妨げられるので、防雪設備が處々に施されてゐる。
日本海方面は、良港に乏しく、且冬に北西風がはげしいので、海運は太平洋方面よりは發達しない。敦賀は浦潮斯徳との間に航路を開き、歐

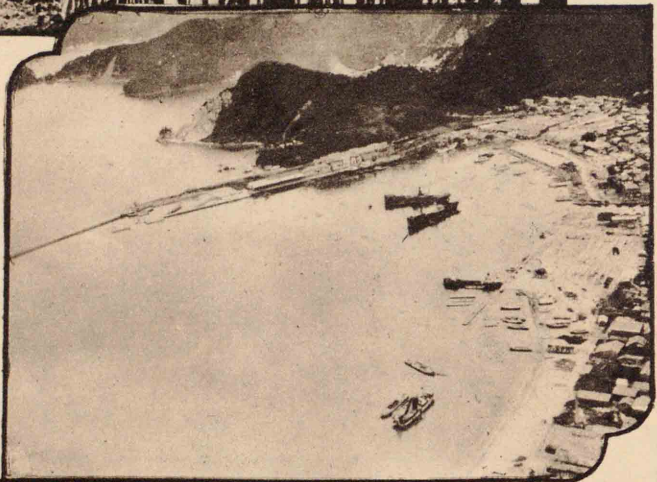
井の諸縣の和紙等がある。
交通商業 東海地方には、表日本の幹線である東海道線が通じ、名古屋で關西本線と連絡する。中央線は山地の谷盆地を貫き、北陸本線は日本海方面を走る。小濱線は北陸山陰の兩線を連絡し、羽越磐越信越の諸線は、中部地方と奥羽關東地方とを連絡する。
上越線は今や開通し、表裏



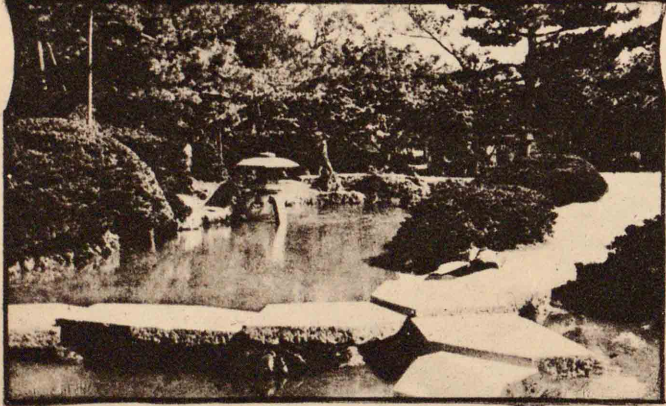
木曾の扁柏林の一部
(小川入御料地)



敦賀港



金澤市にある
兼六公園龜甲橋附近



静岡市附近の茶畑



名古屋市
廣小路通りの一部



岐阜市街の一部

開港
名古屋・清水・武
豊(太平洋岸)
敦賀・七尾・伏木
新潟・夷(日本海
岸)

熱田港を築港し
たもので、その
埠頭附近を示し
たものである。

(上)名古屋
無線電信局依佐
美送信所
高さ二百五十米
の鐵塔八基が二
列にならんでゐ
る。通達距離一
萬二千軒、現在
ではワルソー・
ナウエン・サン
タム・シーブ・ソ
ン
マートンと通信
する。

名古屋市と高岡市
とに高等商業學校
がある。



の商區は、東京大阪兩都の中間を占めてゐる。
外國貿易はこの地方の開港でも行はれるが、横
濱・神戸を経由するものが多い。

三處誌

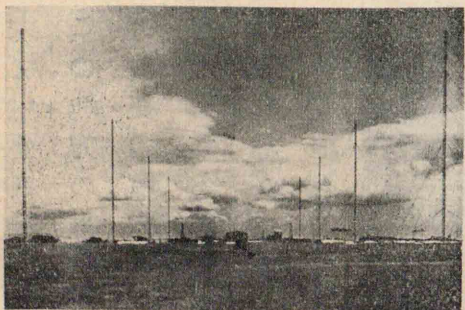
東海地方

總説

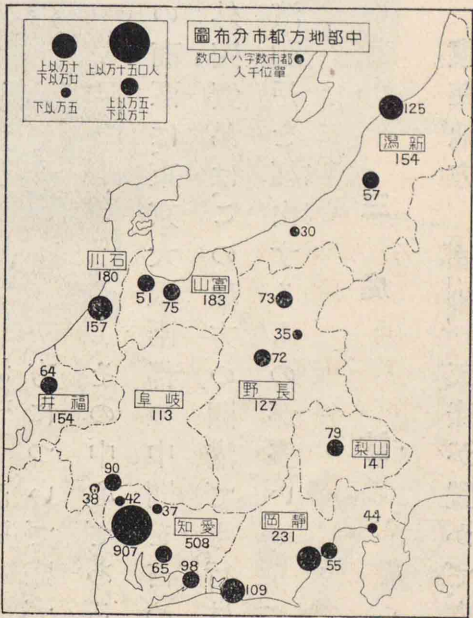
天産が豊かで、人文が開け、

中部地方處

誌



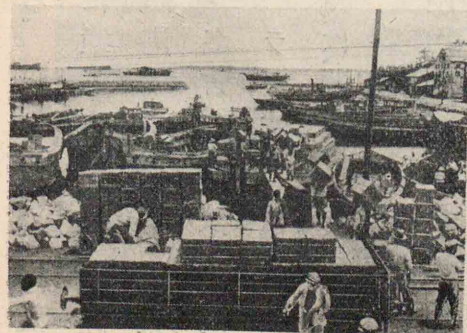
（上）中部地方都市分布圖



人口密度も大で、主要な都市が発達する。この地方の東海道に沿ふ宿場町は、交通の革命で著しい盛衰をなしてゐる。

伊豆地方は、温泉地が多く、氣候もよいので、保養地として名高い處が多い。熱

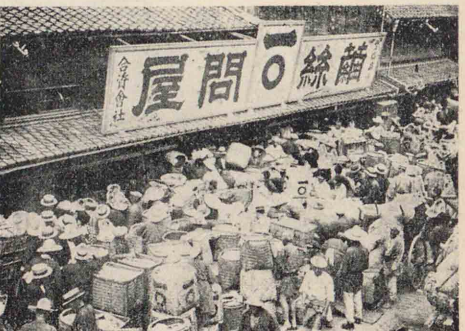
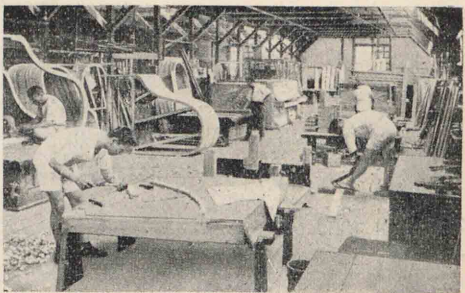
海伊東修善寺等は著名で、京濱地方からの浴客が多い。今はこれ等の温泉地を廻る自動車は、全伊豆を連絡してゐる。南方の下田は開國史上で知られ、今は漁港として利用される。富士山麓地帯は氣候がよく保養地が多く、沼津市興津はその例である。三島は宿場町であ



（下）清水港の茶の積出し正面の箱は茶箱で、主に米國へ輸出する。

（上）濱松市にある樂器製造工場

（下）豊橋の瀨の取引豊橋驛前通りの乾繭の集散状況



つたが、鐵道開通後は、その繁榮を沼津市に奪はれた。この地方は水力が豊かなので工業も起り、小山の紡織、吉原の人造絹絲、大宮、芝川の製紙等は著名である。静岡市は昔は駿府といひ、今は静岡縣治の中心である。茶木材の

市場であり、漆器の特産がある。其外港清水市は、茶の輸出港である。舊東海道の宿場町である島田、金谷は、鐵道開通後衰へたが、近時また若返り、島田は製材業で、金谷は茶業で市況が賑かとなつた。濱松市は新進の工業都市で、木綿工業の外、樂器類、帽子、ベニヤ板等の製造が盛である。附近の濱名湖畔は勝地が多く、また養魚が盛である。

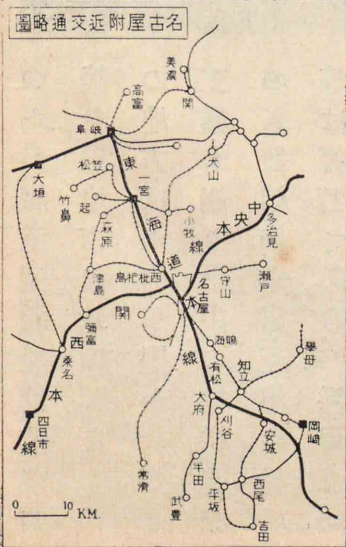
豊川流域の豊橋市は、玉絲の産地として知られ、その後背地と豊川

市街の一部(名古屋) 名古屋市の中央より北東部を見ても、広い道路は熱田線、中央の大建築物は松坂屋呉服店である。



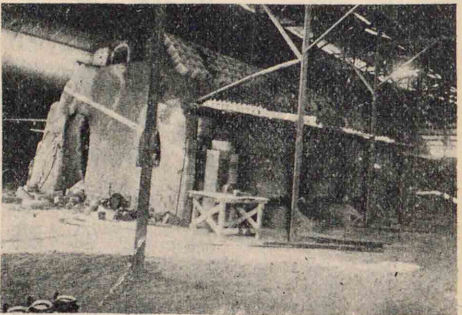
市附近交通略圖 (下)名古屋

中間に位する名實共に中京である。市は交通の要地を占め、商工業が盛んで、中部地方物資の一大供給地である。市の南部の熱田は開港名古屋港である。名古屋工業地帯は、本市



鐵道で連絡する。豊川町は豊川稻荷の門前町である。矢作川流域の岡崎市は、徳川氏創業の地で、綿織製絲が盛である。附近の安城は、三河米三河西瓜の集散地である。濃尾平野の中心名古屋市は、徳川氏親藩の城下町で、東京と大阪との

島(右上)枇杷の青物市場 (右下)瀬戸市にある陶磁器製造の竈



は開港である。瀬戸市は製陶業が盛である。

1傘・提灯・團扇の鶴飼 (上)長良川月なき夜、篝火をたいてる鶴飼船に注意せよ。

西濃地方の中心大垣市は、揖斐川水運の便がよく、米の集散地であり、紡績業も行はれる。市の南方に養老瀧がある。岐阜市は鶴飼に名高い長良川に臨み、絹織物紙製品の産があり、又岐阜縣治の中心である。美濃は美濃紙の取引が多く、各務原

を中心とし、交通の發達につれて次第に擴がつてきた。枇杷島は青物市場として知られ、一宮市は毛織の機業地である。

知多半島には、半田常滑の工業地があり、武豊



〔上〕甲府市
街の一部
甲府城頭から眺
めたものであ
る。



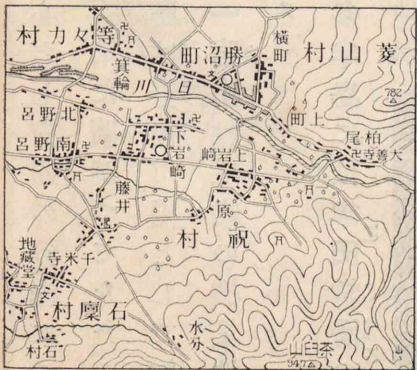
〔下〕勝沼附
近の葡萄の産地

大衆

1山梨縣治の中心
である。

絲業が行はれ、また漆器を産する。船津の北
方に神岡鑛山があり、庄川の上流五箇山谷に
白川村がある。

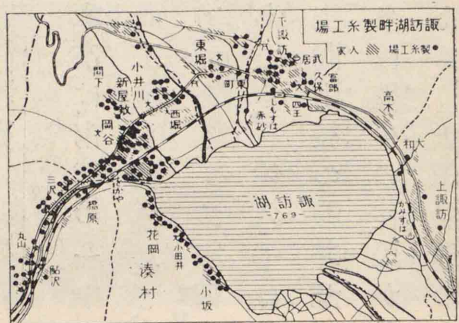
甲府盆地は、陥没地に釜無笛吹の二川が土
砂を堆積した平野で、この二川は合して富士
川となる。甲府市はその中心で、製絲業が盛



鯉澤は富士川水運
の起點地である
が、今はこの流域
に鐵道が通ずる。

〔上〕諏訪湖
畔製絲工場

諏訪平はわが國養
蠶地帯の中央に位
し、湖水は軟水の
ため、絲の解紆によ
く、乾燥地である
から繭の保存にも
適してゐる。



〔下〕諏訪湖
のスケート

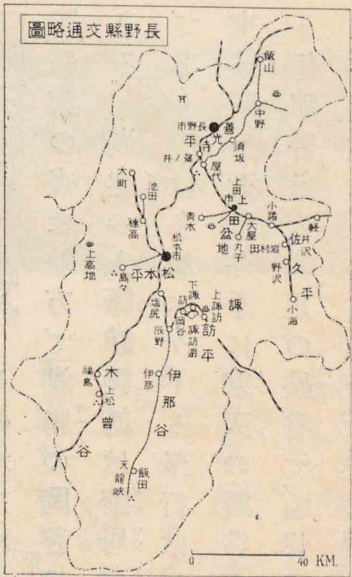
平野村は人口五三
千を有する。
中央線の富士見驛
は、海拔九五〇米、
わが國最高驛で附
近は高原避暑地と
して次第に知られ
てきた。

製絲業の盛な地方で、湖脚の岡谷はその中心で
ある。湖畔の上諏訪諏訪は斷層崖下の温泉町
であり、湖は冬季スケートが行はれる。湖の南
東茅野附近は冬季に寒天の製造が盛である。
伊那谷は天龍川の峡谷で、右岸には三段の段
丘が發達し、その段丘上は桑の栽培に適し、養蠶

中部地方 處



交通略圖 (上) 長野縣



が盛である。飯田はその中心で、紙製品を産する。木曾谷は峡谷と扁柏の美林とで知られ、福島はその中心である。松本平の山麓地帯は、桑の栽培が盛で、養蠶が行はれる。城下町であつた松

(下) 松本市 街の一部 松本城を中心としてその附近を示したものである。

本市は、南信の一中心で、繭蠶卵紙の市場であり、商工業も稍盛んで、東京大阪兩商圏の接する地方である。大町四家は日本アルプス登山口に於ける。佐久平は製絲及び養蠶業が盛である。浅間山麓の輕井澤は高原避暑地として知られ、冬は僅少の住民が残り、週期的な聚落を示してゐる。上田盆地の中心上田市は、繭蠶卵紙の取

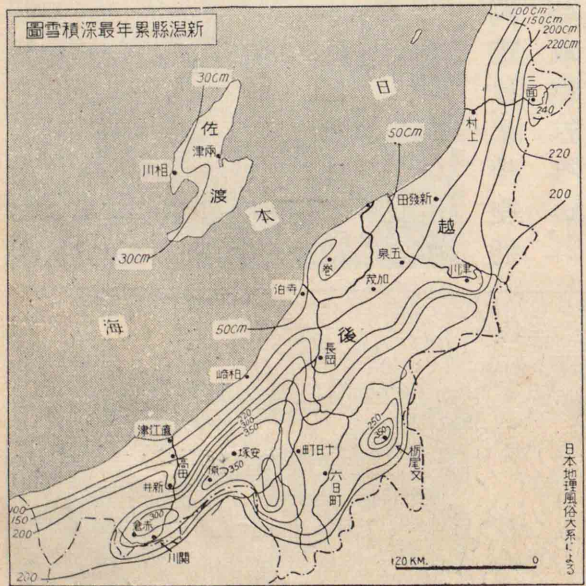


(上) 長野市 街の一部 善光寺附近を示したもので、中央にある大建築物は善光寺である。



北陸地方 總説

南西部は、羽二重機業が起り、人口が比較的稠密である。この地方の深雪地帯では、裏作が行はれないから、農閑季に労働者として他地方へ出稼する者がある。

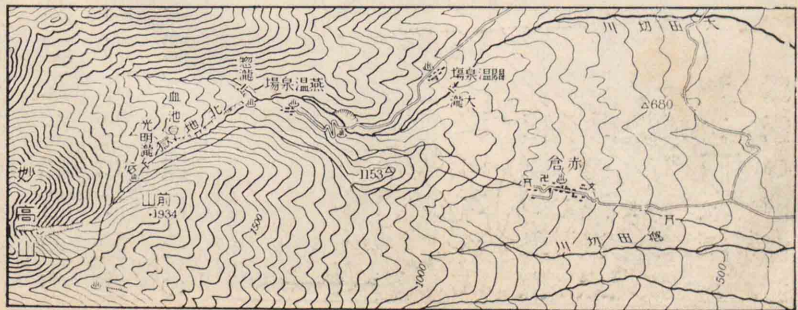


〔上〕高田附近のスキー

〔下〕妙高山東麓地方



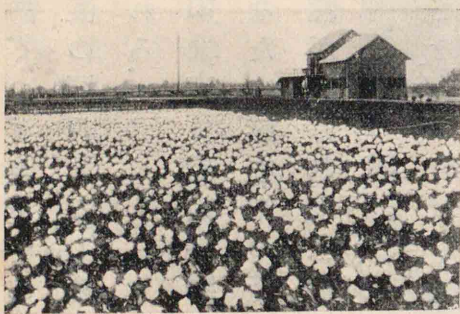
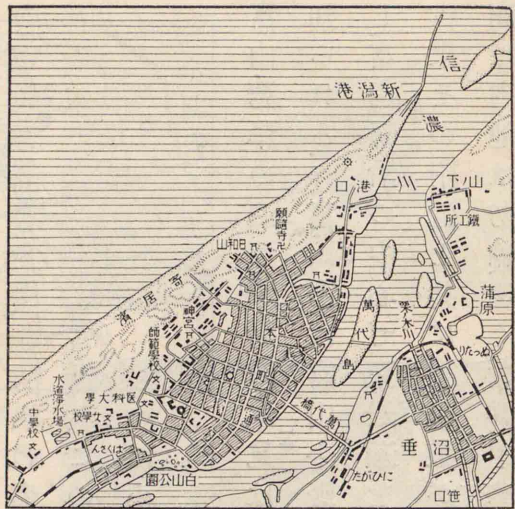
上越地方の荒川流域にある高田市は城下町で、この地方の中心で、冬季スキーが盛である。妙高山麓は著名な深雪地であり、赤倉温泉は浴客が多く、スキー場としても知られてゐる。直江津は高田の外港で、日本海の要津であるが船の碇泊には頗る不便である。中越地方の長岡市は、水陸交通の便がよく、商工業が盛で、石油米の取引が多い。十日町・小千谷・栃尾・見付等の一帯の地は、絹・綿・麻等の織物を産する。下越地方の中心新潟市は、信濃川の河口市で、新潟縣治の中心である。舊五港の一であるが、貿易は不振である。鐵工・綿絲・製油の



〔上〕新潟港

〔中〕新潟附近の小合の花弁の栽培

〔下〕大河津の放水路、寺泊附近の大河津の放水の吐口を示したものである。



諸工業が行はれる。近年大河津の放水路の開鑿により、河口は土砂の堆積を見なくなつた。新潟市の附近には、近時花卉の栽培が行はれ、球根を各地に賣出す。新津は交通の要地で、油田の一中心である。新發

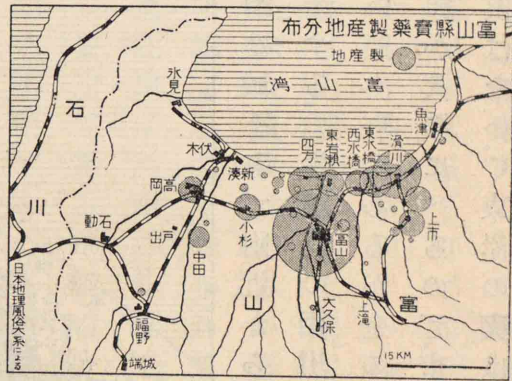
田は城下町で、附近から梨を産する。佐渡島の相川は古い鑛山町であるが、金の産出額が次第にへるので、市況は振はない。東岸の夷は、北西

産地分布圖 (上) 賣藥製

舟見、五百石はその例である。

(下) 北陸地方主要驛に於ける米の發送の大小により、發送量の大小を示したものである。

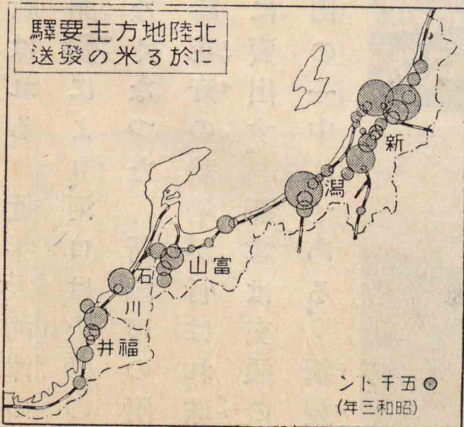
富山市に藥學專門學校がある。



風を防ぐので良港であり、新潟港の補助港として、佐渡の門戸をなし、湊を合せて兩津港とよばれる。

富山地方 富山平野は地形上灌漑用水に便なため、越中米の産が多く、南部の丘陵は養蠶が行はれ、羽二重機業も起つてゐる。この兩地帯の間に小さな市場町が發達してゐる。

富山灣岸の泊魚津新湊氷見は、漁港として知られる。富山市は富山平野の中央に位置し、富山縣治の中心で、東岩瀬を外港とする。古來その附近と共に製藥業が盛で、その行商は内地は勿論、遠く朝鮮、中華民國、南洋ま

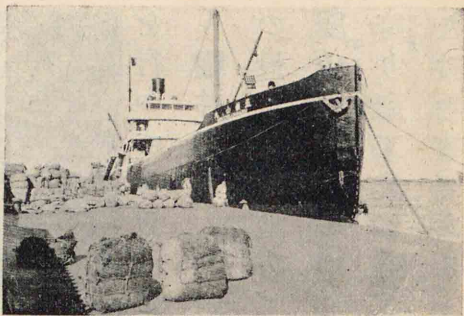


(上) 伏木港の米の積出し、繋船岸壁に汽船が横づけとなり、越中米の積込み状況である。

(中) 高岡市にある銅器の製造工場、銅製の火鉢の製造場である。

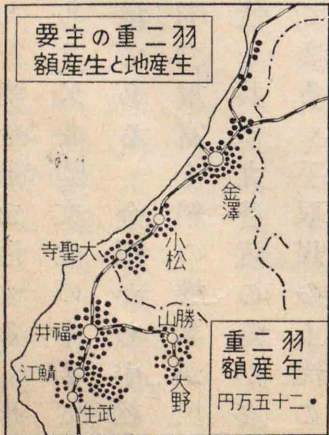
(下) 羽二重の主要生産地の生産額

金澤市は犀川と淺野川との段丘上にある。



の中心で開港であるが、寧ろ漁港として榮える。その北西に和倉温泉がある。裏能登の輪島は、漆器の産が多く、國立の海洋觀測所が設けられてゐる。

加賀平野 金澤市は前田氏の城下町で北陸第一の大都であり、羽二重機業、米の取

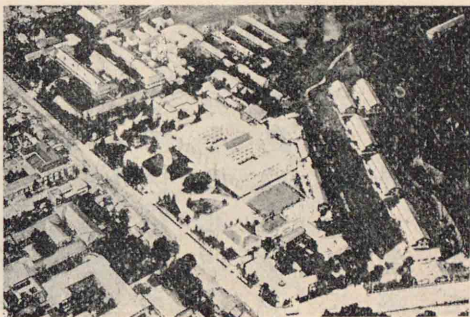


でも、その販路を開いてゐる。高岡市は礪波平野の中心で、交通の要地であり、綿絲銅器を産する。その外港伏木は、北海道炭、北洋材を輸入し、越中米の移出が多い。

能登半島 羽咋地溝帯に七尾線が通じ、七尾は表能登

〔上〕金澤市街の一部
中央の洋館は石川縣廳で、その右端は金澤城址の一部である。

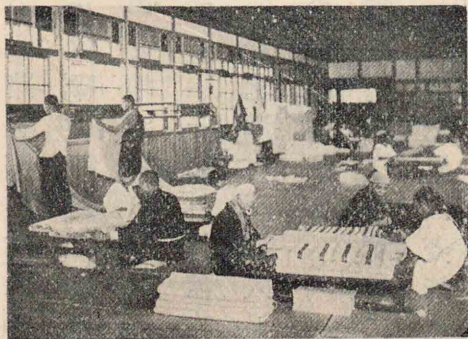
金澤に醫科大學・第九師團司令部・四高、高工がある。兼六公園は名園である。



を行つてゐる。これを出作といふ。

〔下〕羽二重の検査
縣營の絹織物検査所で、粗悪品やキズ物を検査する状況である。

福井平野 羽二重富士絹ボンジー等の機業の最も盛な地方で、福井市及び大野盆地の大野勝山等は、その中心である。福井市は足羽川に跨り、商工業が盛であり、福井縣治の中心で、有名な織物市である。三國はその外港である。日



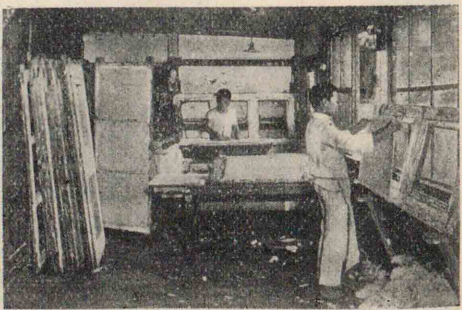
野川流域の武生は機業の外、和紙蚊帳の産が多い。敦賀は日本海の良好開港である。若狭灣岸の小濱は漁港として知られ、漆器を産する。

第四章 近畿地方

面積 三二九八二方
人口 一〇一萬人

一 地 文

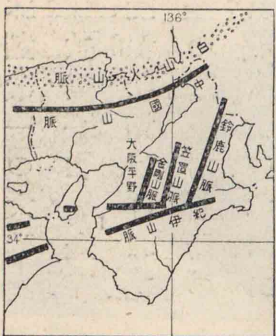
〔位置〕 近畿地方は、中部地方と中國地方との間にはさまり、もと本邦の政治上の中心であつた畿内と、その附近の地方とを含み、所謂上方地方ともよばれる。



〔地形〕 地形上この地方を、北部山地、中部低地、南部山地の三部にわけける。

北部山地 中國山脈の東端で、高原状をなし、その高さは低い。主として丹波高原からなる。この高原は、市川、朝來川の低地、以東で、略、三角形

〔上〕近畿地方山系圖



白山火山脈は丹波高原の北邊を走つてゐる。

【圖解】(上)六甲山塊(区) 六甲山塊の東麓の甲山附近を示したものである。中央の山は甲山である。



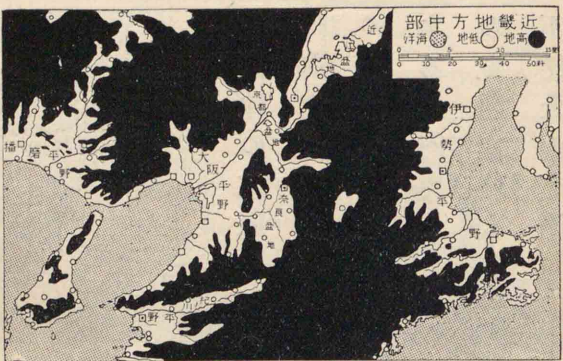
野をつくる。この平野は米の産地である。

南部山地 紀川縦谷、高見山の南をへて、櫛田川に至る一線以南の地方で、紀伊山脈が連亘する。紀伊山脈は西南日本の外帯山脈の一部で、四國・赤石の兩山脈とは、紀伊水道と伊勢海との陥没によつてわかれたものである。川はここ

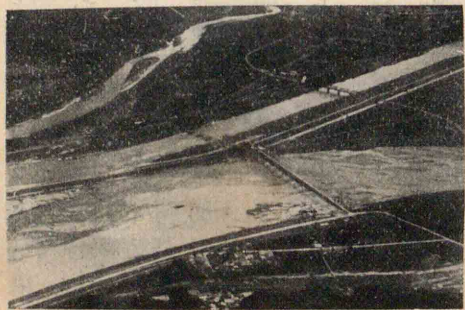


【圖解】(上)近畿地方中部略圖

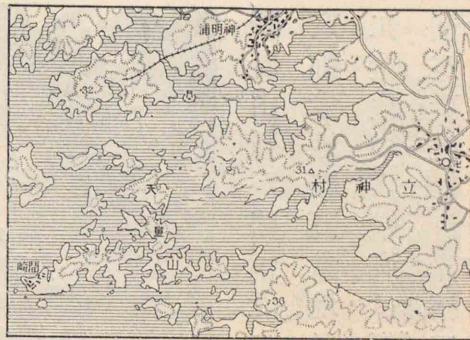
【圖解】(下)木津川・宇治川・桂川三川の合流地點



断層山脈が略南北に竝走し、伊勢平野、近江盆地、京都盆地、奈良盆地及び大阪平野をわける。近江盆地の琵琶湖は断層湖で、湖畔に諸河の三角洲が發達し、湖岸平野を造る。湖の末は勢多川



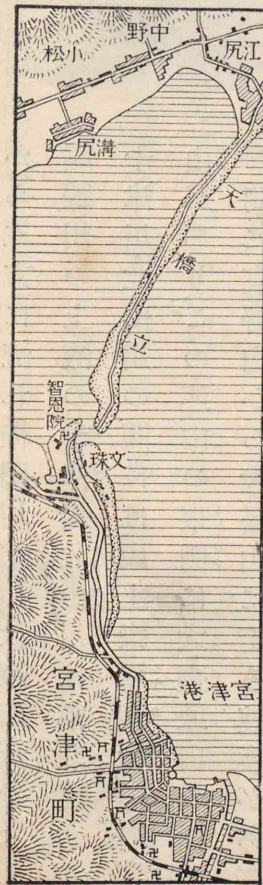
（上）志摩半島
の海蝕臺地の一部



近畿地方地文

（下）天橋立
附近

蝕臺地の志摩半島の南岸から、紀伊半島の東西兩岸は、リアス式の沈降海岸で、幾多の小港が發達するが、内奥との交通連絡も不便なので、漁



となり、笠置山脈を横ぎる處は宇治川の峽流となり、京都盆地で桂川・木津川を合せ、淀川となり、山崎の隘路を流れて大阪平野に出る。大阪平野は、大阪灣の沿岸平野で、北部山地の南東麓と生駒・和泉の兩山脈の間に發達した沖積平野で、淀川は主としてこれを灌漑する。大和川は奈良盆地を流れ、生駒山脈を横ぎり、大阪灣に入る。

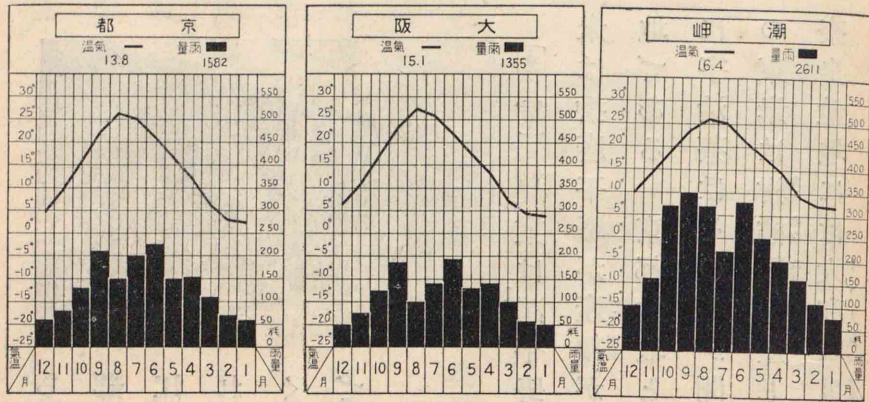
海岸 伊勢海の海岸は單調であるに反し、海

近畿地方氣候區
表日本南海氣候區
裏日本山陰氣候區
瀬戸内氣候區

（上）湖畔・
大阪・京都の雨
量と氣温

（下）近畿地
方附近雨量分布

1 北部山地は氣候
上北陸氣候區から
山陰氣候區へ移り
かはる地帯にあ
る。

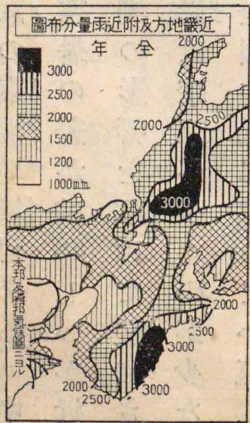


近畿地方地文

港として利用されるにすぎない。淡路島は、紀伊水道と大阪灣及び播磨灘をわける。大阪灣の西部から播磨灘沿岸は、白砂青松の勝地が多く、日本のリヴィエラとも云はれる。日本海方面の與謝半島の東部には、宮津・舞鶴の灣入がある。宮津灣には天橋立の砂洲がある。

氣候 紀伊山脈以南の地方は、黒潮の影響をうけ、氣温が高く、海洋性であり、又南東季節風のため、夏に雨が多く、わが國の多雨地帯の一部をなしてゐる。

これに反し、北部山地は、氣候稍寒冷で、冬北東季節風のたため、雨雪が多い。即



神戸市に海洋氣象臺がある。伊吹山上に高層氣象觀測所がある。

（上）宇治茶畑
茶摘みの景である。



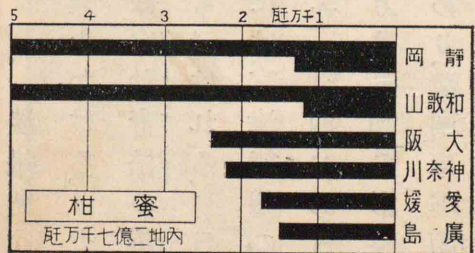
ち裏日本の山陰氣候區の東端地域である。中部低地帯の諸盆地は、寒暑の差が稍著しいが、近江盆地の氣候は琵琶湖の影響をうけて緩和されてゐる。瀬戸内沿岸は晴天が多く、雨が少なく、所謂瀬戸内氣候で、全國中稀に見るよい氣候である。

二人 文

1 伊勢・近江・大阪・播磨等の平野。
2 播磨米・攝津米・伊勢米・近江米等。

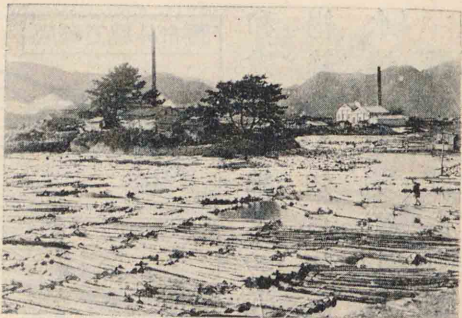
（下）蜜柑産額比較
3 紀州蜜柑として知られる。

産業 農業は諸平野に盛で、米・麥・菜種の産が多い。米は播磨平野が産額が多く、大阪は古來米の大集散地である。京都盆地と伊勢の北西部は、茶を産し、殊に宇治茶はその名が聞えてゐる。紀伊水道・大阪灣の東岸は柑橘類を産し、箕島等はその集散地である。奈良盆地には大和西瓜の産が多い。牧畜は耕作層



（上）新宮の木材の集積
熊野川口近くの筏の貯木場である。

（下）眞珠貝の養殖

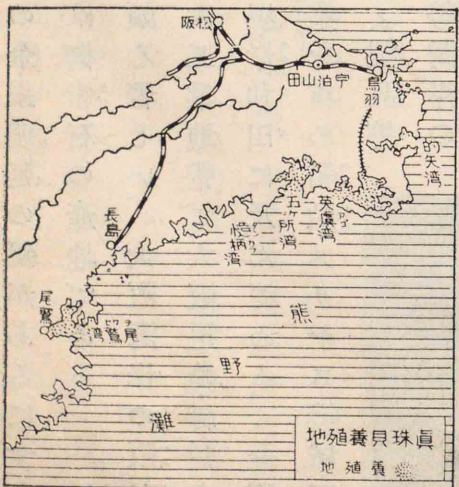


野灘に鱈・鯨の獵獲が多く、串本勝浦等は沖漁業の根據地である。伊勢海は蝦がとれ、志摩半島の英虞灣等には眞珠貝の養殖が行はれる。兵庫縣は水産の漁獲高が多く、赤穂は十州鹽田の東端の製鹽地である。

殺搾乳用として、牛を飼ひ、中にも神戸牛は但馬地方に多い。この地方は、中國牧牛地帯の東縁である。

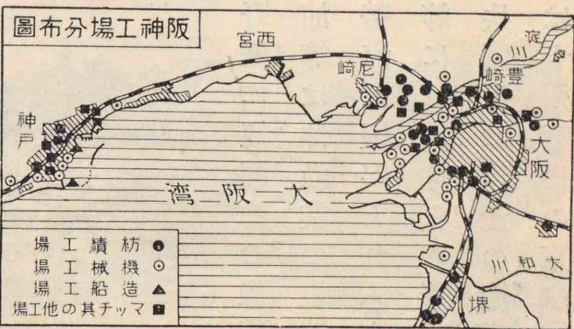
紀伊山地の暖濕な山地には、林業が盛で、吉野・熊野・高野地方の森林が殊に名高く、杉・扁柏の良材を産し、紀ノ川・熊野川から、和歌山・新宮等に運搬

集散される。水産業は、熊



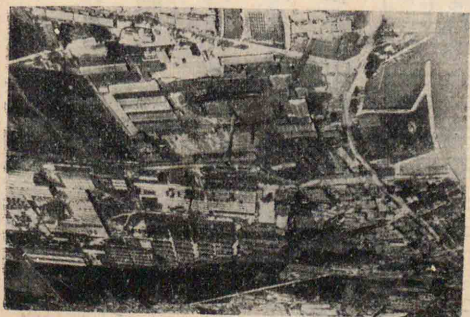
京都市に京大工学部・高等工芸学校があり、大阪市に工業大学があり、神戸市に高等工業学校がある。

（上）阪神工場分布圖



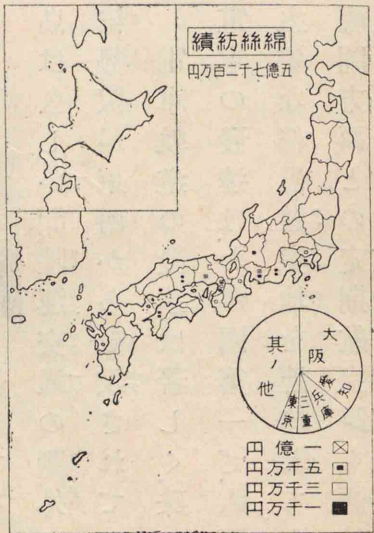
（下）大阪にある鐘紡淀川工場

和歌山の綿ネル、近江の麻織物、大津附近の人造絹絲等も知られる。京都には西陣織、友禪染、清水焼等の美術工芸品を産する。灘地方は、古來醸造業が盛で、醇良な清酒を産する。



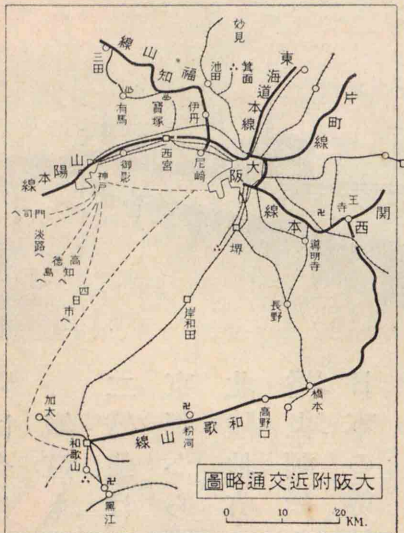
（下）灘にある酒造倉庫正宗酒の樽詰を示したものである。

（上右）綿絲紡績



（上左）大阪附近交通略圖

主要幹線道路は、東からは東海・東山・北陸街道が、西からは山陰・山陽の街道は京都へ集つてゐる。

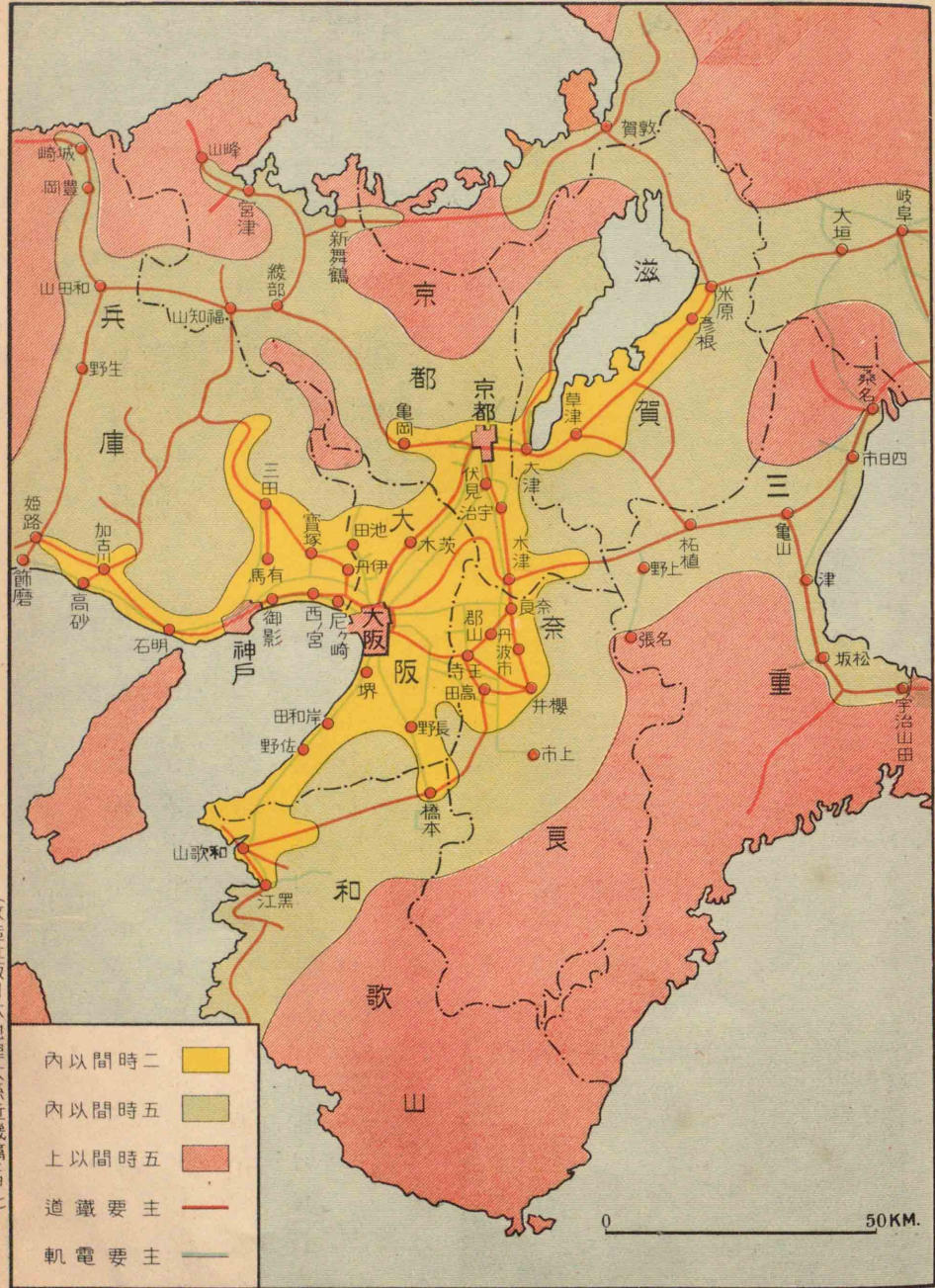


する。西宮御影を中心とする。その他、池田、伊丹、伏見（京都）等にも清酒を産し、龍野は醤油、吹田はビール、の醸造地として知られてゐる。

交通 商業 中央低地は、古來帝都の所在地であり、また地形上主要な道路はここに集り、多くは地壘の狭隘部を巧みに利用してゐる。京都は歴史的に街道の起點をなすが、大



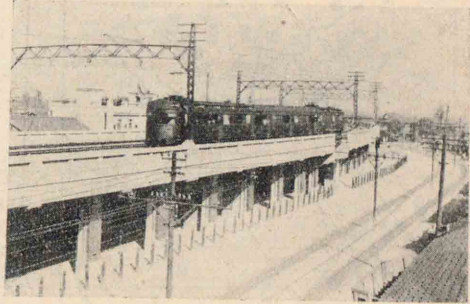
大 阪 中 心 ノ 等 刻 圖



行高架線
梅田附近を示し
たものである。

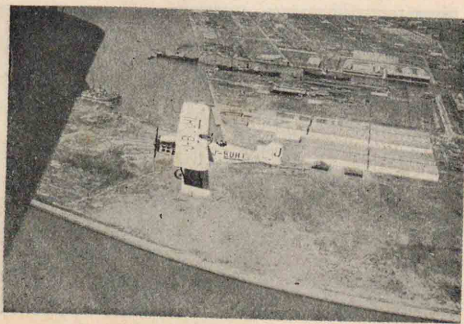
(下)木津川
口の飛行場

大阪市・宇治山田
市とを連絡する電
車は著名である。
比叡・六甲・信貴・
朝熊・高野・摩耶
等の名山にはケー
ブルカーが設けら
れてゐる。



阪は今は道路網の中心である。
鐵道も亦中央低地によく發達し、東海・山陽の
二鐵道は、表日本の幹線で神戸で連絡し、米原と
京都からわかれる北陸・山陰の兩線は、裏日本の
北陸地方・山陰地方とを連絡してゐる。この外、
播但・福知山・小濱・關西・草津・參宮等の諸線は、表裏
日本の幹線又は地方を連
絡してゐる。ただ紀伊半

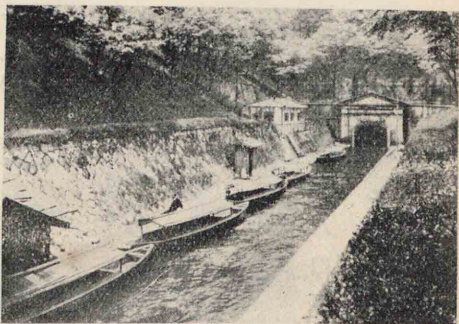
島は久しい間、陸運交通の圏外にあつたが、今は
紀勢線が東西から敷設されてゐる。
電車軌道の發達は著しく、殊に長距離高速度
電車の發達は、わが國第一で、大阪を中心として
主要な都邑遊覽地を連絡してゐる。近時東京
福岡方面との定期航空路も開けた。電信電話



大阪にある大阪商船會社は西南日本の航路を殆ど獨占してゐる。

琵琶湖(上)琵琶湖の疏水運河の入口 第一疏水長等山トンネル三井寺下を示したもので、小舟は通運用の旅客船である。

大阪市(下)大阪市の北濱街 商機最も敏感な北濱街を示したものである。



もよく發達し、無線電信局は大阪若狭潮岬四日市にあり、大阪にラヂオ放送局がある。

琵琶湖淀川は汽船を通じ、京津間の疏水運河も舟運に利用される。大阪はわが國近海航路の一大中心で、汽船の上り下りは、この地を起點とする程である。神戸港は、舊大陸の諸國との間に主に航路を通じ、大阪と共に國際航路の起點を

なしてゐる。この地方の日本海方面の航運は、頗る不振である。

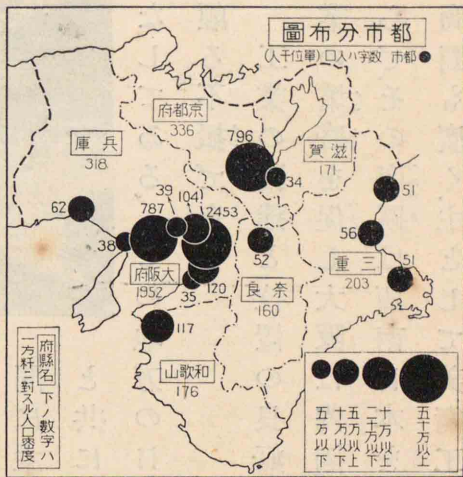
工業の發達と、位置の良好、交通の利便とは、商業の繁盛を促し、大阪は内國商業の西部の中心で、その商區は西南日本を主とする。京都の商圏も廣く、主として美術工藝品を取引する。

近畿地方 文



大阪市に商科大
學・外國語學校、
神戸市に商業大
學、神戸市・和歌山
市・彦根町に高等
商業學校がある。

【圖説】(上)近畿地
方都市分布圖



大阪神戸は外國貿易の中心で、神戸は
西南日本を後背地とし、阪神工業地帯
の門戸で、**繊維工業品**の輸出が多い。

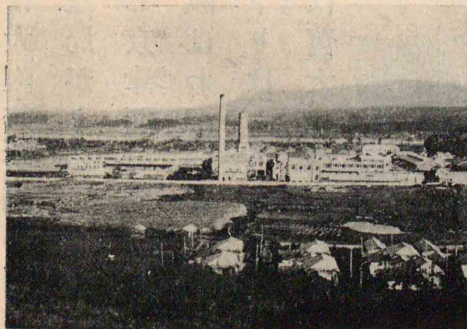
三處誌

【總説】近畿地方は、氣候も概してよ

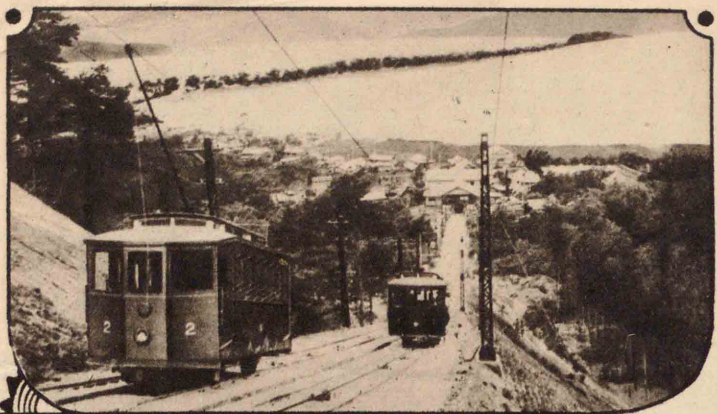
く、産業も著しく
進み、交通が開け、

人口稠密である。大阪灣頭の都市群を中心とし、中央低地の諸盆地は人口密度が大で、主要都市が集り、その多くは工業都市である。北南兩部の山地は、人口密度が小である。

近江盆地 琵琶湖畔の彦根は井伊氏の城下町で、湖東の中心である。米原の北方長濱は濱



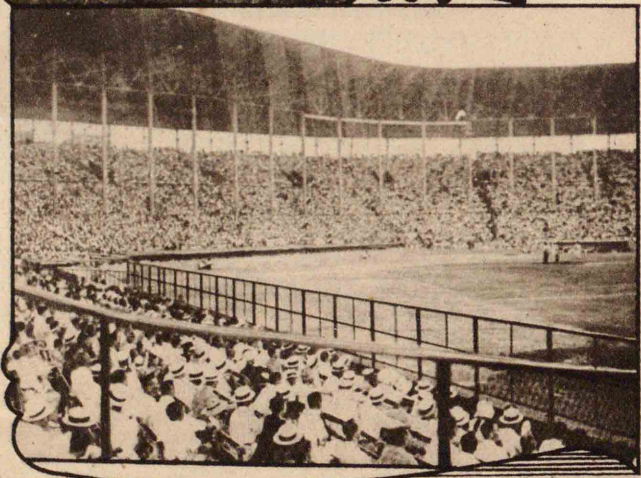
【圖説】(下)天津附
近にある東洋レ
イオン會社の工
場全景



天橋立ミ
成相ケーブルカー



吉野山
下千本櫻

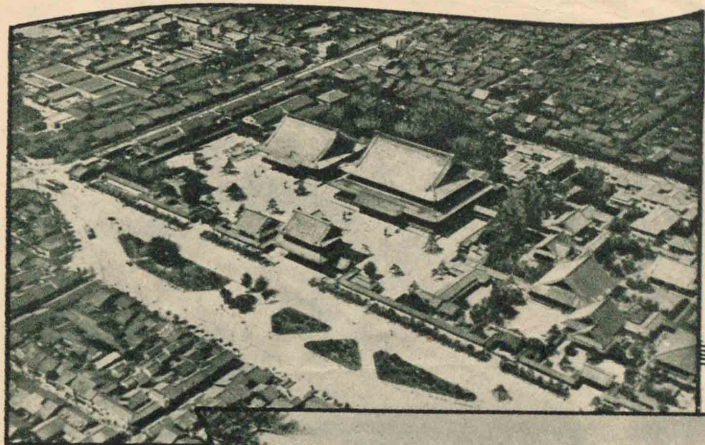


大阪近郊
甲子園運動場

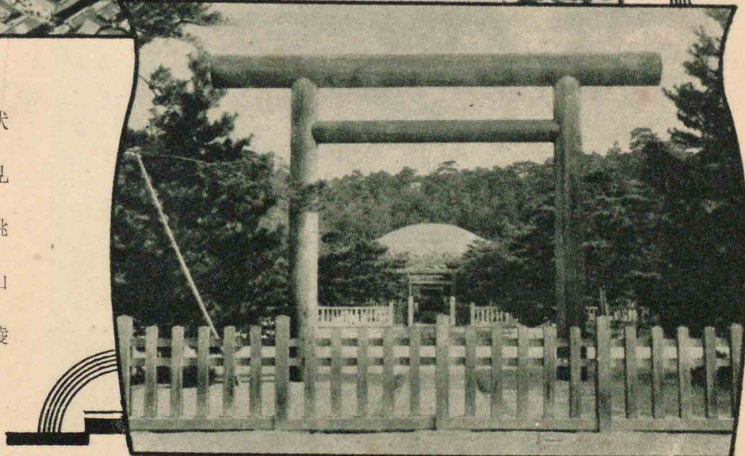
八〇 輸出繊維
輸入繊維

京都市

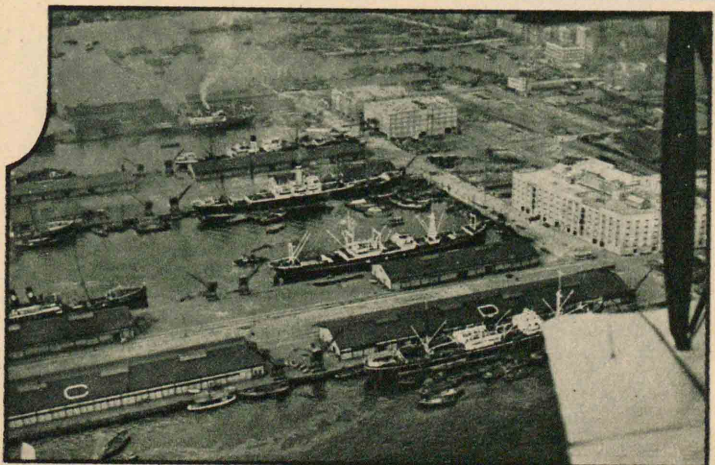
東本願寺と其の附近



伏見桃山陵



神戸港の一部



1 高宮・能登川・八幡はその中心である。

(上) 大津市街の一部(K) 中央に第一疏水の運河があり、左手の突堤は第二疏水の入口である。

湖西は断崖が湖畔に迫り、湖畔平野は狭い。

1 ケーブルカーで京都・坂本と通ずる。

(下) 大京都市域略図

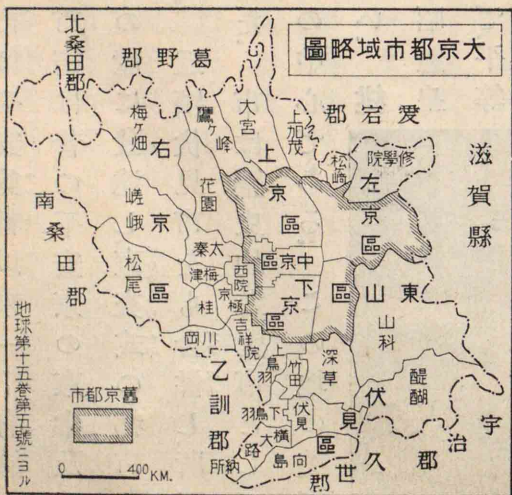


して近江八景の勝がある。比叡山には天台宗の本山延暦寺がある。京都盆地 京都盆地の東縁の臺地には茶、西部には竹林が多い。京都市はこの盆地の北に位し、賀茂川に跨り、四近の風光が美はしく、山紫

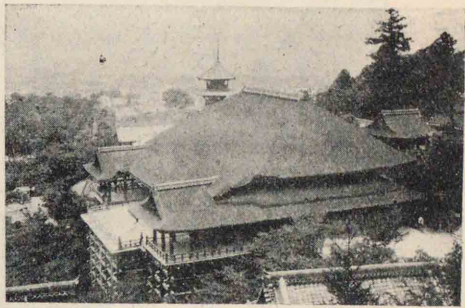
縮緬の産地である。日野八幡は近江商人の郷土である。犬上愛知の兩川の流域は、纖維工業が發達し、麻織帆布を産する。湖南の草津は交通の要地であり、大津市は滋賀縣治の中心、湖脚の要津で、京都市との關係が深く、膳所には人造絹絲の工場がある。大津市附近を中心と

近畿地方 處

誌

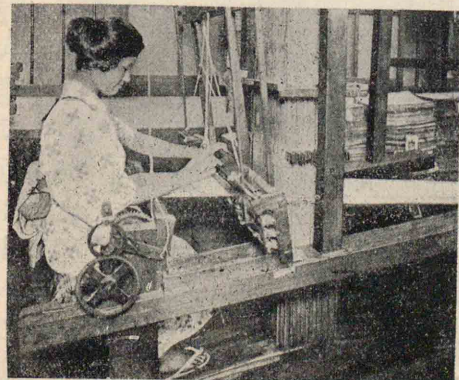


（上）清水寺
大きな建物は本堂である。



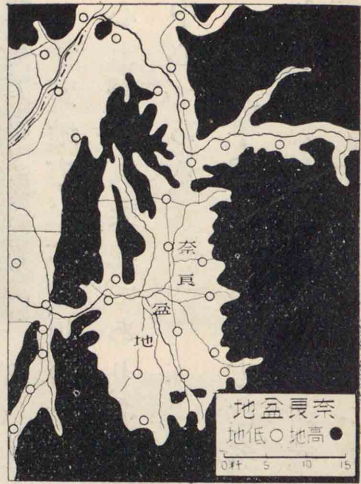
（下）西陣織
工場の内部

太後の御陵がある。宇治は茶の産地で、平等院がある。
丹波高地若狹灣岸地方 保津川流域の龜岡は、同名の盆地の中心であり、由良川流域の福知山盆地には、福知山綾部の小中心的の聚落が發達する。若狹灣の副灣の舞鶴灣は二



東山区
舞鶴灣
神戶

（上）奈良盆地



（下）奈良盆地の一部
二上山より奈良盆地を見た景色で、白色に見ゆるのは溜池である。
奈良盆地には溜池が多い。

多く、鐵道電車がよく發達し、大和巡りをなして、これを訪ねる人が多い。この盆地の聚落は、所謂垣内式の集村が多く、大和梨、大和西瓜の産が多い。奈良市はこの盆地の北端に位し、三笠山を負ひ、昔の平城舊都の東部を占め、東大寺、興福寺の門前町の發達したもので、遊覽都市として名高い。奈良縣治の中心で、墨人形等の特産が



つにわかれ、東灣が海軍の要港となり、その灣頭には中舞鶴と新舞鶴とが發達した。官津は開港であるが、貿易は不振である。
奈良盆地吉野山地 奈良盆地は大和平野ともいひ、昔は帝都のあつた處として名勝舊蹟が

畝傍山の北麓には、神武天皇の御陵があり、その南麓に橿原神宮がある。

多武峯には關西の日光といはれる談山神社がある。

〔上〕奈良市街の一部
右に猿澤池、左に興福寺の五重塔・南圓堂等が見える。



ある。郡山は、紡績工業が行はれ、また金魚の養殖地である。丹波市は天理教本部のある宗教町である。

吉野山地は比較的、山が深く、所謂大峰山には夏に信仰登山者が多く、木材の産が多い。吉野は海拔三百米の尾根に聚落して、櫻と史蹟とて名高く、杉の良材を産する。

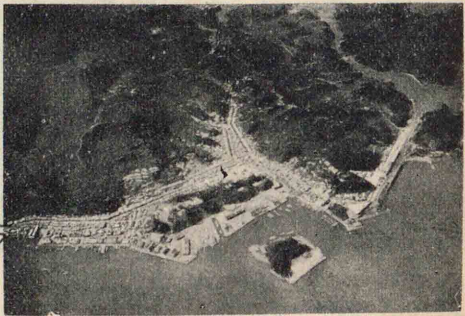
伊賀地方 木津川の上流の上野盆地の中心である。心上野は商業地であり、名張は同名の盆地の中心である。

伊勢平野 北勢地方は、名古屋商圏内にあり、伊勢米繭を産し、鈴鹿山麓には茶を産する。また伊勢海の沿岸都市には、繊維工業が発達



〔上〕津市街
岩田川の右手津城址を中心とした市街の一部を示したものである。

〔下〕鳥羽港の全景



中心で、綿絲綿布の産が多い。松阪は交通の要地で木綿を産し、津松阪地方は、伊勢商人の郷土である。南勢地方の神都宇治山田市は、伊勢神宮鎮座の地であり、附近に二見浦朝熊山の勝地と明野原飛行場がある。

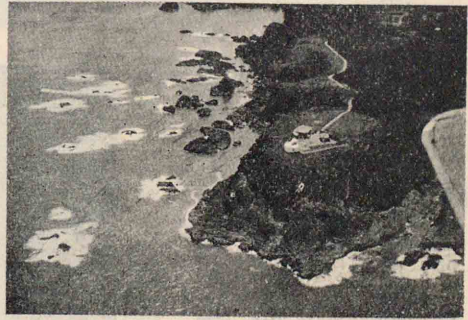
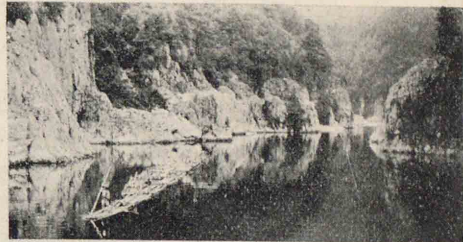
志摩紀伊兩半島地方 志摩半島はリアス式海岸で、鳥羽は參宮線の終點であり、風光がよく、漁港として知られる。紀伊半島沿岸は山

尾鷲・木本等は漁港として知られる。

1 對岸の河原町は船頭や筏乗を相手とする商店があり出水の時にちのき得るやうに建物は平屋組立式である。

① 上瀨八丁 上瀨峽對飛泉附近を示したものである。

② (中) 大島の 櫻野燈臺



地が海に迫り、耕地が少いから漁業に、または海外に發展する。熊野川口の新宮は、木材の集散地である。北山川の名勝瀨八丁は瀧の後退によつてできた峽谷である。

勝浦と 潮岬半



③ (下) 紀ノ川の 磯の布晒し

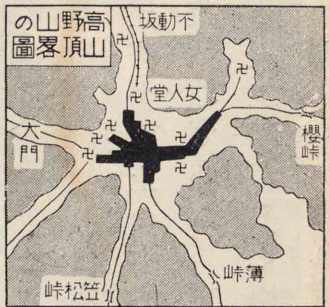
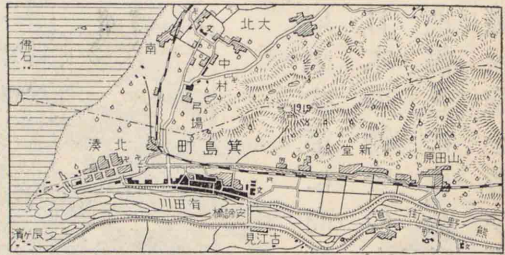
島の地頸部にある串本は、共に沖漁業の根據地であり、潮岬には燈臺と無線電信局とがある。田邊灣には田邊の名邑があり、その南方に鉛山温泉がある。紀勢線が全通しないので、沿岸航路が主要な交通路である。紀伊水道沿岸には、湯淺・箕島等の要津がある。紀川縦谷は、和泉紀

④ (上) 箕島附近の蜜柑園分布

⑤ (中) 高野山の山頂略圖

⑥ (下) 綿織物産額比較

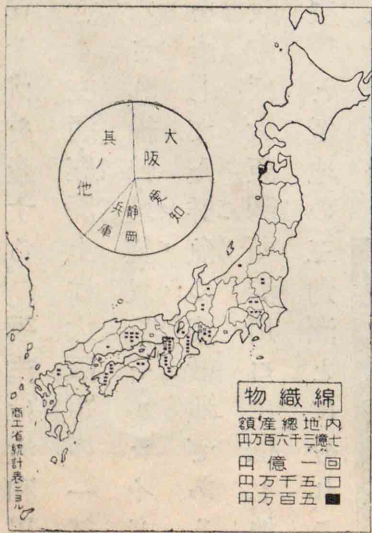
高野山は交通不便な震域であつたが、今では登山電車が通ずるに至つた。



の黒江がある。高野山頂の平地には、眞言宗の本山金剛峰寺がある。 大阪平野 東部

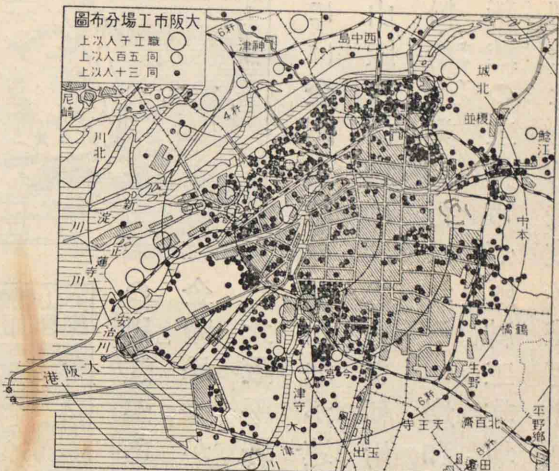
1 阪神工業地帯は、大阪・神戸を中心とし、堺・岸和田・尼崎を包含する。

には金剛・生駒の兩山地が連り、生駒山脈の山麓には水力を利用して製粉・精米業が行はれる。岸和田市は新進の工業市で、阪神工業地帯の一部をなし、紡織業が盛であり、煉瓦・マ



綿織物	
内地	七〇〇〇〇〇〇
支那	一〇〇〇〇〇〇
朝鮮	一〇〇〇〇〇〇
南洋	一〇〇〇〇〇〇
合計	一、〇〇〇、〇〇〇

（上）大阪市
主要工場分布圖

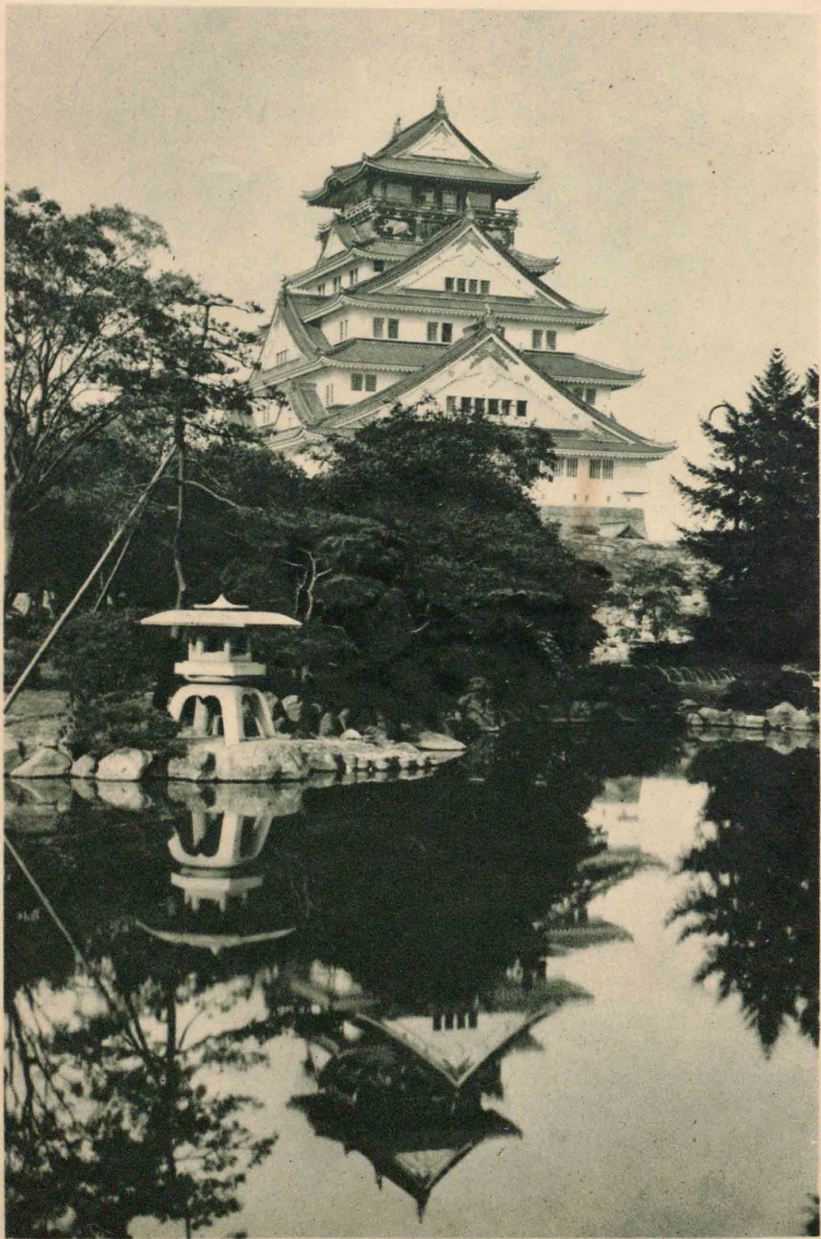


南東の丘陵地帯を上町といひ、主として住宅区となり、その他は低地で、船場・島の内、堂島等の商業区もこの中にある。

（下）大阪市の民衆娯樂場たる新世界

以來次第に商業經濟金融上の中心となり、南西部には公私の大工場が多く、煙突が林立し、煙は空を蔽ひ煙の都ともいはれ、阪神工業地帯

ニラロープを産する。堺市は大和川口に近く、交通經濟上は大阪市の一部分と見なされ、綿絲・足袋・刃物・セルロイド製品を産し、また鮮魚の集散地である。大阪市は大坂灣頭淀川口に位し、地形上臺地と低地の三角洲に分れ、この低地は溝渠橋が多いので、水都とよばれる。市は豊太閤の築城中心となり、南西部の北東部と

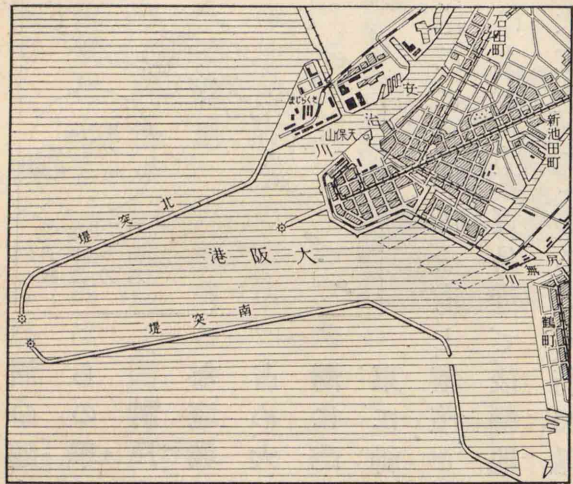


大阪城

大阪港の新岸壁(下)

大阪の工業品には、綿・絹・織物・メリヤス・機械・工業用薬品・肥料・マッチ・硝子・船舶・雑貨等がある。

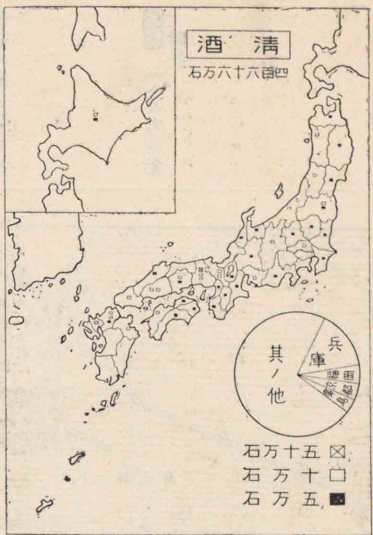
大阪港(上)



の中心をなしてゐる。またその商區は、わが國の南西半から鮮滿支にも及んでゐる。市はまた關西に於ける交通の一大中心で、陸上交通網殊に電車網の發達が著しく、附近の濱寺・箕面・塚有馬等は、市民の休養地である。又沿岸航路の船は安治川口に集り、築港には大汽船が碇繋する。



尼崎市は阪神の連鎖をなす新進の工業市で、紡績・硝子・セメントの産が多い。阪神間は交通が便であるから、北部の山麓に別荘または住宅地が多い。西宮市は灘五郷の中心で、附近は清



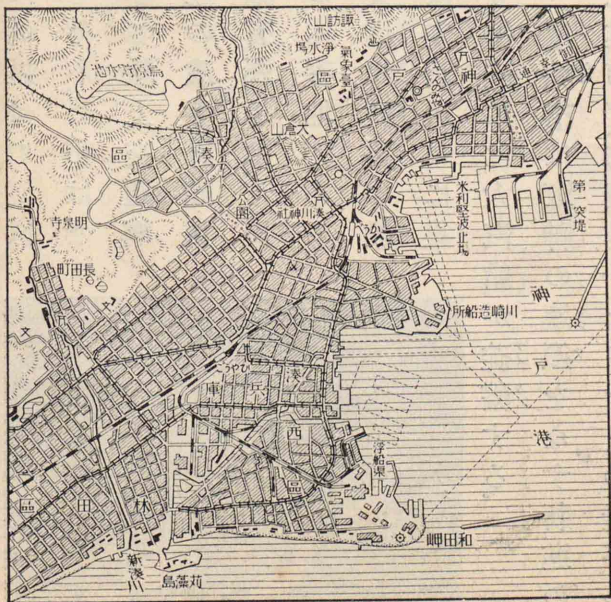
清酒産額比較

1 練綿・鐵類・機械類等。

(下)神戸市街

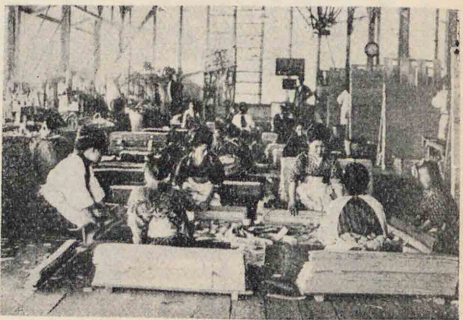
神戸市に海洋氣象臺・湊川神社がある。

港西に兵庫港を有し、横濱と共に本邦の大貿易港で、後背地が大工業地であるので、特に輸入が多く、東洋諸國との取引が多い。工業もよく發達し、船舶綿絲・マッチ・麥粉・樟腦・ゴム製品等を産する。西部の須磨は阪神休



酒の醸造が多く、冬季の醸造期には但丹地方からの季節的出稼者が多い。神戸市は、六甲山麓の斷層崖に發達した狹長な地域を占め、大阪灣に臨み、東に神戸

(上)神戸のマッチ工場内の一部



(下)中央標準時子午線通過地標識 明石中學校寄宿舎附近に建設されてゐる。

は、千種川右岸の三角洲上にある製鹽地で、義士の事蹟で名高い。淡路島 大阪灣と播磨灘とをわける内海の一壘で、国防上重要な位置にある。島内はよく開け、聚落も多い。洲本は本島の主邑で交通

近畿地方 誌



養地帯の一部をなす。市は兵庫縣治の中心である。明石市は明石海峽に臨む勝地で、日本のリヴィエラともいはれ、阪神休養地帯の一部をなす。この海峽を通過する東經百三十五度の地方時をわが國中央標準時としてゐる。

播磨平野 姫路市は播磨平野の中心にある

城下町で、米穀の取引が多く、また毛絲紡績皮細工を産する。

龍野は醤油と素麵とを産し、赤穂

〔上〕姫路城
白鷺城ともいふ。わが國の名城の一である。
(K)

但馬の沿岸の山陰本線の通ずる所はトンネルが多い。

中國・四國地方

面積 五〇四四二方軒

人口 八六四萬人

〔下〕玄武洞
玄武岩の柱狀節理に注意せよ。

山陽地方と四國北部とを總稱して瀬戸内地方といふ。



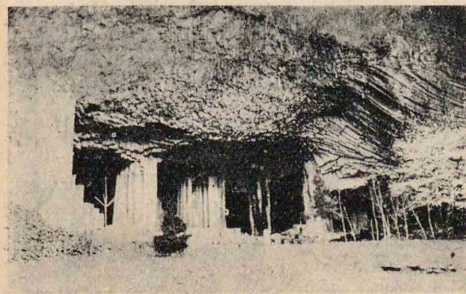
の要地であり、福良との間に鐵道を通ずる。由良福良は、紀淡鳴門の兩海峽に面する要地である。但馬地方 北部山地帯の一地方で、播但線で播磨平野と通ずる。朝來川の流域には、和田山出石豊岡の小中心地があり、城崎は有名な温泉地であり、附近に玄武洞の奇勝がある。

第五章 中國・四國地方

一 地 文

〔位置〕 中國・四國地方は、近畿九州の中間に位し、日本海斜面の山陰地方と、瀬戸内海に面する山陽地方と四國北部と、太平洋斜面の四國南部の三地方に區分する。

〔地形〕 中國地方は、殆ど全地域に互る花崗岩の

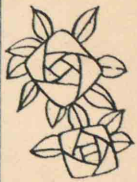


大崩危の峡谷

高松市より

屋島山を望む

室戸岬



朝之仙酔島



殿島神社附近



岩國の錦帯橋

中國山脈の平均高度は約千二百米位である。

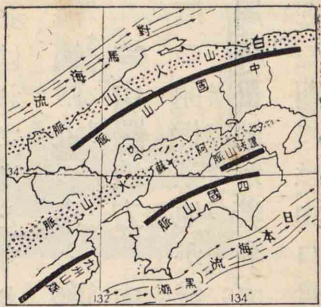
（上）中國・四國地方山系圖

（下）鳥取市の北方にある潟湖

種ヶ池を示したもので、前面は砂丘である。

夜見ヶ濱は日野川の沖積デルタの先端が、沿岸潮流のため北西に移動してできた砂洲で、三條の砂丘が並行して發達してゐる。

中國第一の河である。

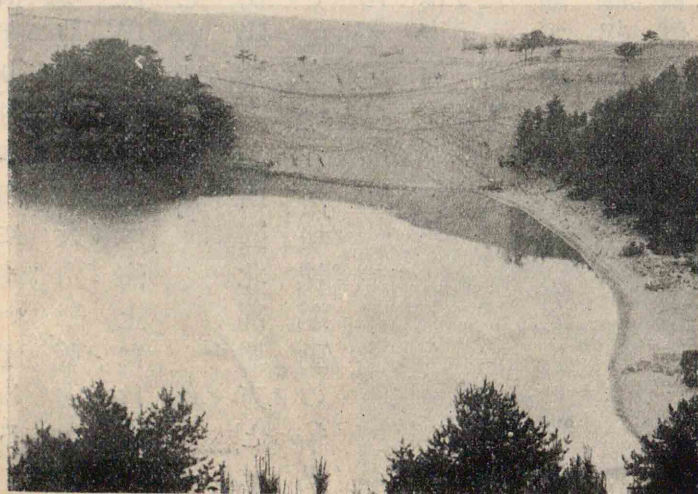


壯年開拆高原であつて、その侵蝕に抗した部分は、低山性の中國山脈となつて残り、陰陽兩地方の脊梁をなしてゐるが、北に偏する。

山陰地方 東部

には千代天神日野

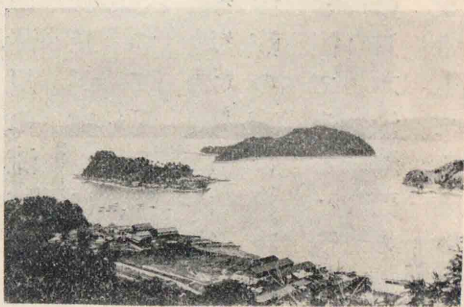
の諸川の流域の小平野が發達し、海岸砂丘が處々にあり、その内側に瀉をつくつてゐる。鳥根半島の南にある穴道地溝帯には、穴道湖及び中海がある。中海の東には、夜見ヶ濱の砂嘴が長くつき出てゐる。西部の鳥根山口の兩縣の日本海斜面の海岸は、リアス式海岸をなしてゐる。江川は三次盆地から



中國 四國地方 地

文

島の一部
來島海峡附近を
示したものであ
る。



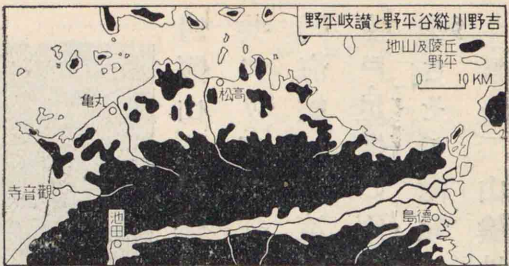
流れ、中國山地を横ぎり、日本海に注いでゐる。
白山火山脈がこの地方を通じ、大山三瓶山を起
し、處々に温泉を湧出する。日本海上には隠岐
群島がある外、著しい島がない。
瀬戸内地方 山陽地方と四國北部地方とは
地質時代に陸續きであつたが、地塊運動の結果、
一部は海底に沈んで幾多
の灘となり、一部は海面に

三次盆地の一部
で、西條川・馬
洗川・可愛川が
巴状をなして合
してゐる。正面
の市街は三次町
である。

表はれて島となり、瀬戸内海をつくつた。備讃
海峡附近の島と藝豫叢島とは、著名な島である。
山陽地方 山陽地方には、處々に隆起準平
原の開拆臺地が發達してゐる。就中吉備臺地
周防臺地が著名である。この臺地と中國山脈
との間には、山口盆地から三次盆地を経て津山



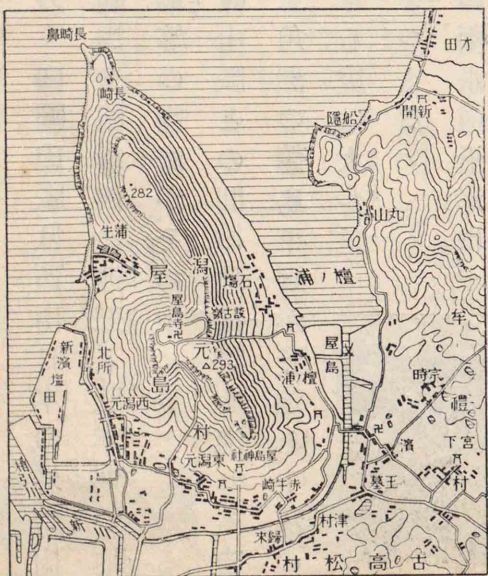
兒島半島は、これ
等河川によつて陸
繋きとなつたもの
である。



盆地に至る盆地列が發達する。山陽地方の川の流
向は、この地方に著しく多く發達する斷層線に左右
され、その流域に小平野をつくる。吉井旭川邊の三
川は、兒島灣頭に中國第一の岡山平野をつくり、大田
川は下流に三角洲の廣島平野をつくり、廣島灣に流
入する。海岸線
がよく發達し、交
通は便利である。

四國北部

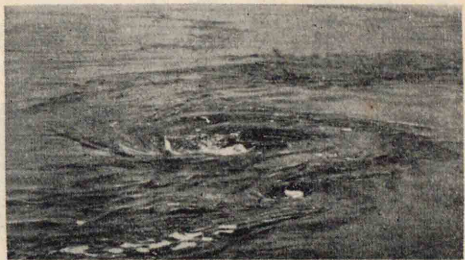
燧灘で二分され、東部には低山性
の讃岐山脈とその北に發達する
讃岐平野とがあり、屋島臺地の如
き熔岩臺地が處々に發達してゐ
る。西部には高繩半島と松山平



近
(下)屋島附

四國山脈は四國島の地形を略、南北に分けるので、氣候・交通等は、その影響をうけ、南北兩斜面の人文の發達が異なつてゐる。

（上）鳴門海峡の海水の渦狀大渦は直径十五米内外だが稀に三十米に及ぶものがある。



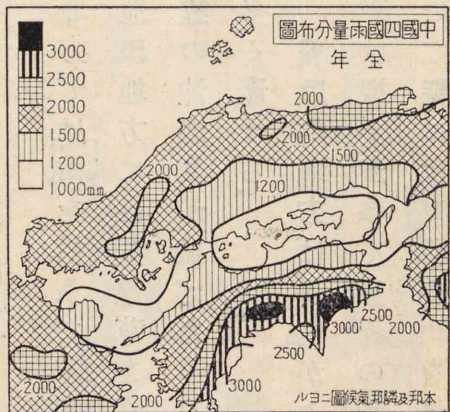
（下）高知平野の二期作高知市外潮江の二期作を示したもので、右手は一回作刈入と同時に二期作の植付、左手は一回作刈入を示したものである。

四國山脈が海につきる紀伊豊後の兩水道沿岸は共にリアス式海岸で、海岸線の屈曲が著しい。鳴門海峡は潮流が急で、航行は危険である。南部の室戸足摺の兩岬は遠く相對して弓狀の土佐灣を抱き、その灣頭に高知平野が發達する。

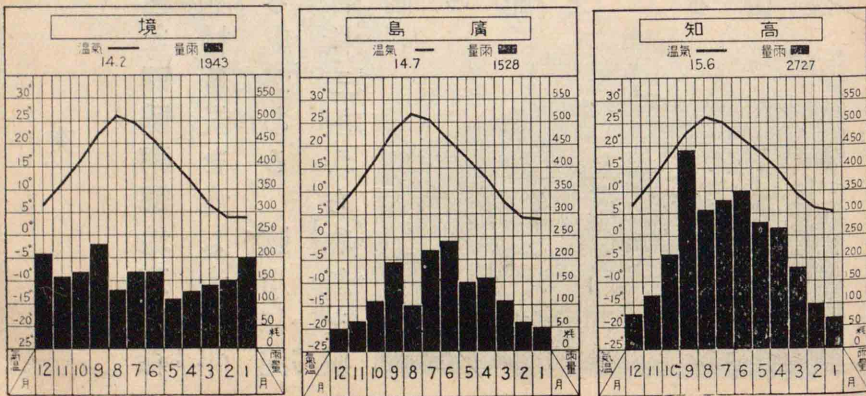


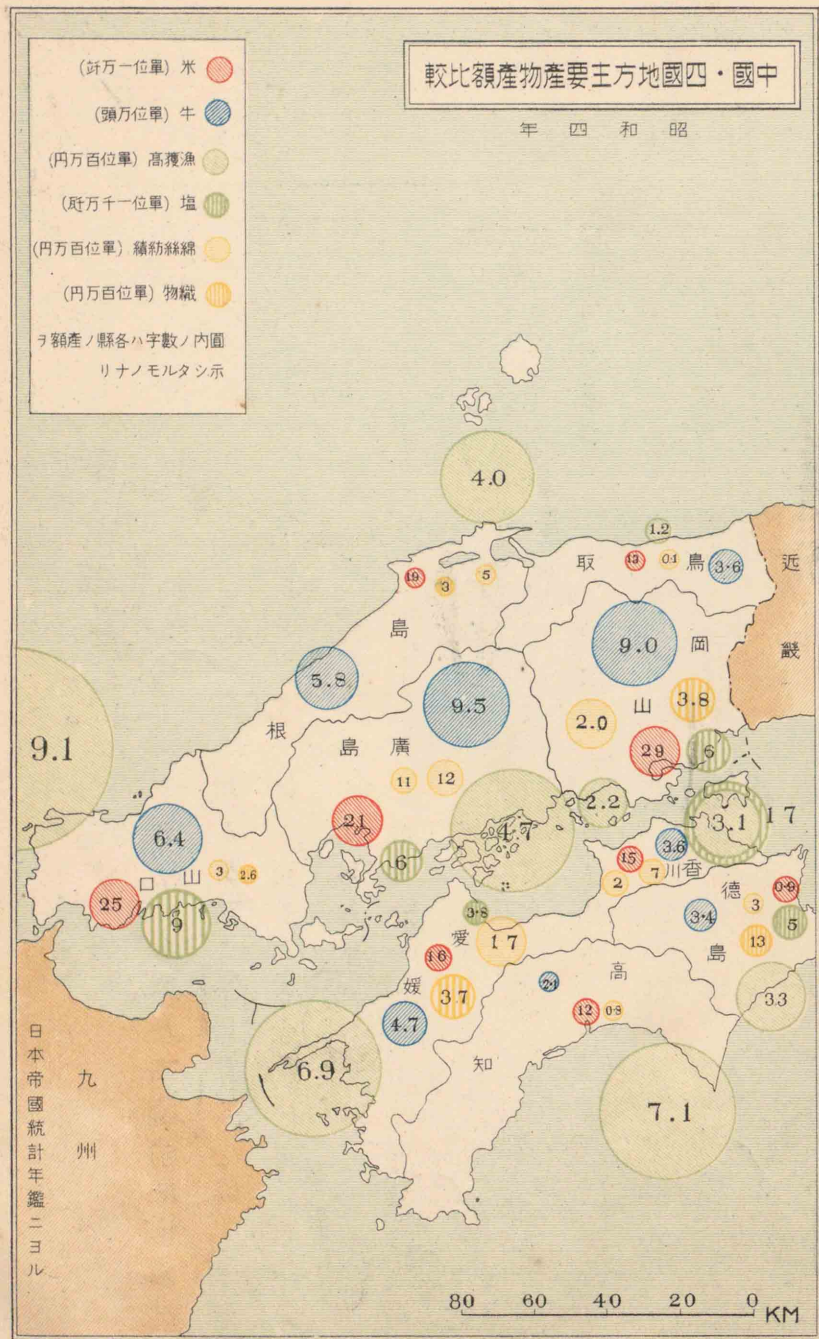
（上）中國・四國地方雨量分布圖

（下）高知・廣島・境の雨量と氣温



冬は北西季節風の影響で、雨雪が多く、産業交通に關係することが大きい。瀬戸内地方は、中央日本の氣候帶の代表的の地域で、氣候溫和で、晴天が多。又夏にも四國山脈のため南東風の濕氣を遮り、雨が少なく、所謂瀬戸内式氣候である。四國南部地方は、紀伊半島に似て、黒潮の影響により高溫多雨で、表日本の南海氣候區に屬し、土佐の南部では、稻の二期作ができ、熱帶植物さへ生育する。わが國の多雨地帯である。





四國南部
林

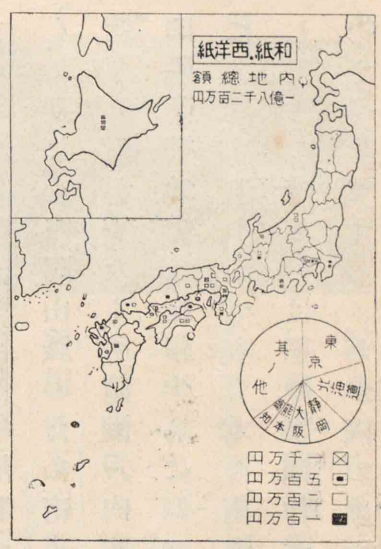
徳島市に高等工業
學校がある。

大洲・伊野はそ
の中心である。

(上)和紙・
西洋紙産額比較

(下)土佐沖
の鮪の陸あげ

中國・四國地方人 文



地方では、榎を植ゑて、木蠟をとり、吉野川流域の池田地方には葉煙草を産する。土佐沖では鮪の沖漁業が盛であり、高知縣は昔から鯉節を多く産する。

瀬戸内地方は耕地がよく開け、米麥を産する。麥は裸麥が多く、麥稈の利用も多い。香川・岡山二縣には、麥稈を産する。内海の沿岸及



産業

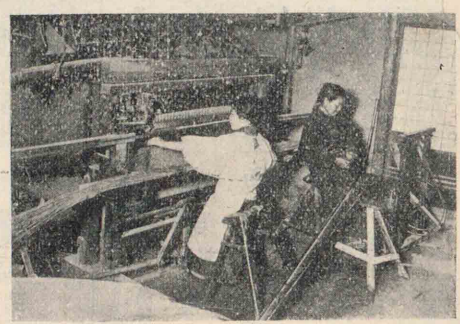
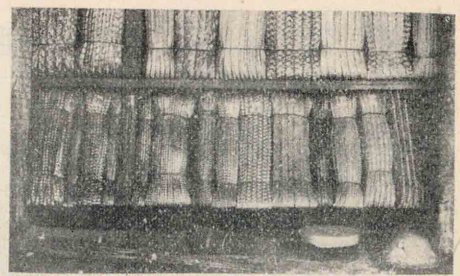
暖濕な四國南部地方は、森林が繁茂し、木材、薪炭を産し、米は年に二回とれる處がある。肱川仁淀川流域等では、楮、三桠から和紙を製し、北南豫の兩

牧

圖解 (下) 中國地方に於ける牛の分布

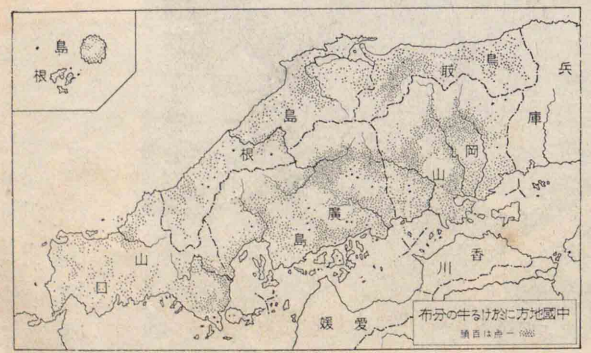
圖解 (中) 松永にある疊表製造場の内部

圖解 (上) 麥稈眞田



農家の副業として牛の飼養が盛で、主として廣島山口兩縣の中國山地に行はれ、根雨千屋等には牛市がたち、多くの食牛を阪神地方に供給する。この地方の山地は、中國牧牛地帯を形成する。廣島市では、牛肉の罐詰製造が盛である。雨が少なく日照時數の大きな内海の砂濱では、

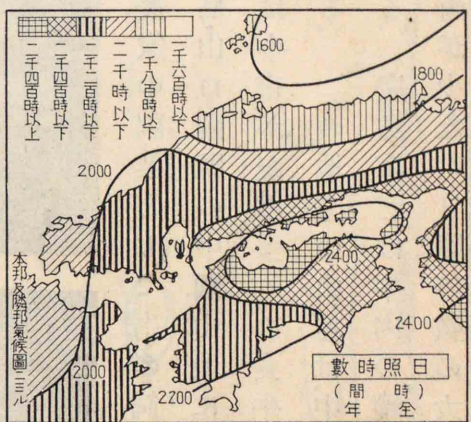
び島々には蜜柑、桃、除蟲菊の産が多く、岡山、廣島二縣の山陽本線の沿線では、藷草を植ゑて疊花蕊を製する。花蕊は神戸から外國へも輸出される。牧畜は



中國・四國地方 人 文

塩
9

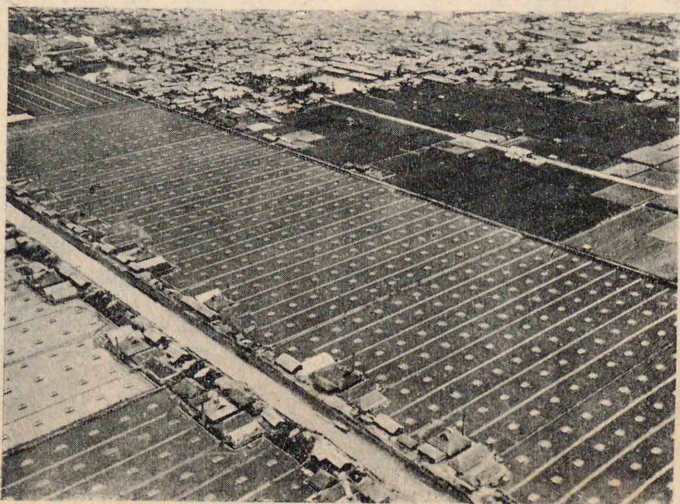
日照時
數
(上)日照時
(中)内海鹽
田分布圖



坂出鹽田 (下) 坂出鹽田 (大朝) 飛行機上より眺めた鹽田の一部を示したものである。

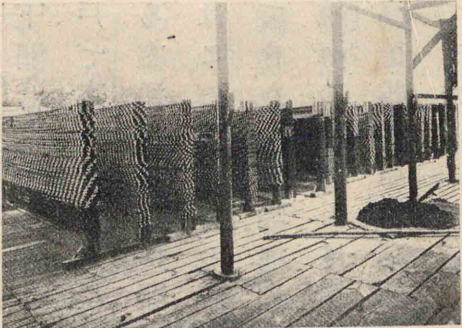
3

最も盛な地である。内海は漁業が盛んで、鯛、鱒等が多くとれる。山口縣は水産業が盛んで、トロール船發動機船は、朝鮮近海方面へも出漁する。下關は漁港として知られ、鮮魚の集散が盛である。鑛産には、別子の銅、宇部大嶺の石炭



製鹽業が發達し、十州鹽田の主要部を形成し、松永防府坂出等は

松山 (上) 松山にある伊豫總の干場



及び各地の花崗岩石材がある。大嶺の石炭は、徳山にある海軍燃料廠の煉炭の製造原料となる。この地方には、まだ大工業地帯がないが、岡山福山附近、今治松山等には綿織物を産し、岡山倉敷玉島福山等には紡績業が行はれる。廣島麻里布の人造絹絲、吳海田市の造兵工業等がある。この外、徳山下松附近、宇部小野田地方、下關彦島地方

廣島市に高等工業學校がある。

西條・竹原・吳・廣島等。

廣島 (下) 廣島にある確詰工場 (K) 鳥取に高等農業學校がある。

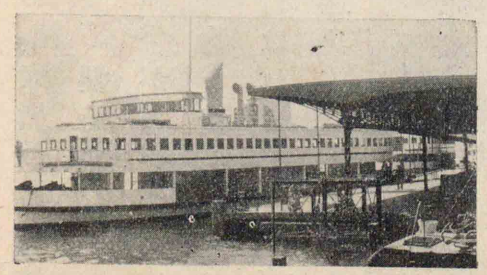
にも、近代工業が次第に發達してきた。廣島縣は清酒、香川縣は醬油の産が多い。山陰地方は、瀬戸内地方に比べて、産業は不振である。米も氣候の關係から軟質の譏がある。鳥取縣の倉吉地方から梨、山口縣の萩地方から夏蜜柑を産する。養蠶は比較的盛んで、製絲業も



水 林 三
 (3)

起り、山地には木炭の産が多く、阪神へ供給する。日本海は鱈、鯛、烏賊の漁獲が多く、鰯の産が多い。

交通 商業 山陰地方と四國南部地方とは、地形、氣候の關係上、交通の發達は瀬戸内地方に比べて遜色がある。山陽、山陰の二鐵道幹線は、中國地方の南北海岸地方を略、東西に通じ、山口線はこれを連絡し、中國の環狀線をなしてゐる。山陽本線はわが國鐵道幹線の一部で、下關で九州、朝鮮の鐵道との間に連絡船で通じ、神戸で東海道本線に通じる。陰陽兩地方を連絡する交通は次第に開け、伯備、因美の諸線も通じ、いまはこの兩地方の連絡も殆ど不便を感じなくなつてきた。四國地方は、地勢の障害が多いのと、沿岸航海の便利とは、鐵道の發達を遅らせた。豫讃線、高德線、徳島線、高知線等の諸鐵道も、次第に開通してきた。



近時下關から萩經由山陰線を経て日本海岸の諸鐵道を通じ青森に至る間に急行列車を通ずるに至つた。

關門連絡船

盆地列の交通はなほ不十分である。

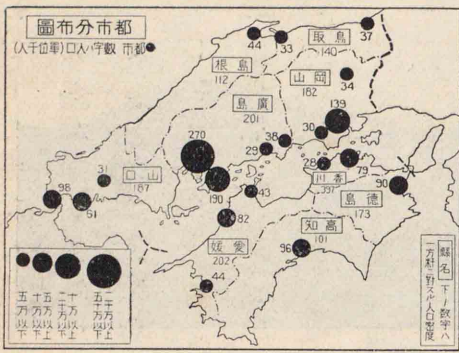
下津井・角島には無線電信局があり、また廣島・岡山にはラヂオ放送局がある。

開港

日本海方面 濱田・萩 瀬戸内海方面 尾道・糸崎・今治・下關・宇野

山口・高松・松山に高等商業學校がある。

都市分布圖



中國・四國地方 誌

瀬戸内海は、東亞の重要航路の一部であり、また山陽地方と四國北部とはW字形に航路が發達してゐる。しかし國際航路は阪神から關門へ素通りする。日本海海岸は海上交通は不便であるが、四國南部は沿岸航路が發達し、陸上交通の不便を補つてゐる。

この地方は、大阪の商圏に屬し、内地商業は各地に地方的の中心がある。即ち山陰に松江、瀬戸内に岡山、廣島、下關、高松、松山等があり、四國南部に徳島、高知等がある。外國貿易は多く、阪神の後背地であるから、貿易も下關以外は頗る不振である。

三處 誌

一、山陰地方 總説 山陽地方に比べて、自然の恩恵が少なく、生産も乏しいので、人文の發達は稍遜色がある。山地は牧牛、製炭を主

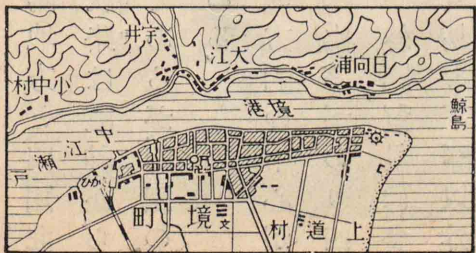
圖解 (上) 大山
中國第一の高峯である。



倉吉地方には二十世紀といふ良質の梨を産する。

圖解 (下) 境

境地には西瓜の産があり、侵蝕の少ない西麓は好牧場である。中海に臨む米子市は、西伯地方の中心であり、伯美沿線の後背地を有し、商業が盛である。夜見濱の先端にある開港の境は、この地方第一の港で、隠岐及び北鮮との定期航路を開き、また漁港として榮える。



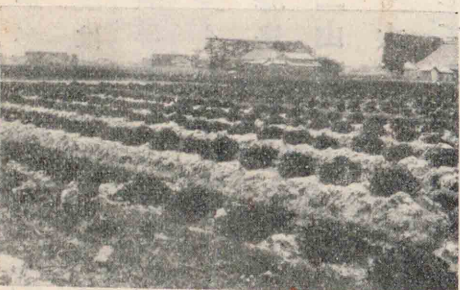
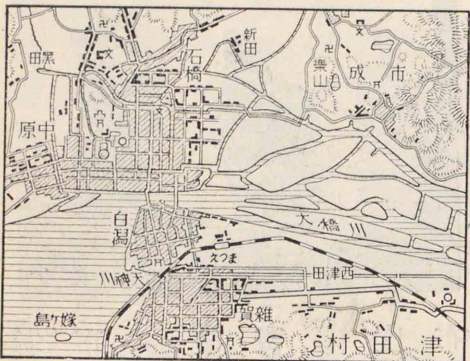
1 隠岐汽船會社の船が隠岐各島と境との間を連絡する。

圖解 (右下) 島前の熟畑と牧畑

2 小泉八雲氏はこの地を水郷日本のジュネープとほめた。

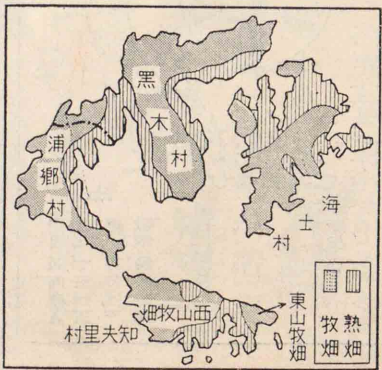
圖解 (左上) 松江市

圖解 (左下) 斐伊川下流の散村家のまはりにある風よけの樹林に注意せよ。



1 隠岐地方 島前島後に分れ、全島が山がちで、平地が少ない。沿海は鳥賊が多くとれ、錫の産が多い。島後の西郷は好漁港で、水産物を集散する。島前には熟畑の外に、丘陵地には、耕牧二途に兼用する牧畑が多い。

2 出雲石見地方 穴道地溝帯にある。松江市は穴道湖の湖脚に發達した城下町で、島根縣治の中心である。



生絲、清酒を産する。斐伊川三角洲地方は、散村聚落がよく發達する。今市はこの平野の中心地である。大社は出雲大社の鳥居前町で、參詣

〔上〕青海島の海岸の一部山口縣仙崎附近の海岸にある。獅子岩で石英粗面岩が海水の侵蝕をうけ奇景を呈したものである。

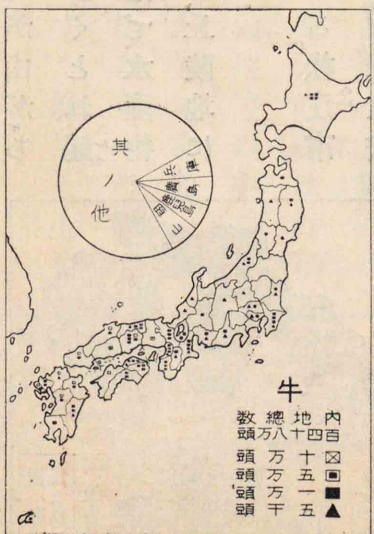


者が多い。開港の濱田は石見の中心地であるが、市況は不振である。漁業の中心である。裏長州 開港の萩はこの地方の中心で、維新前後多くの偉人が輩出した。この地方の海岸には、青海島の如き勝地が多い。

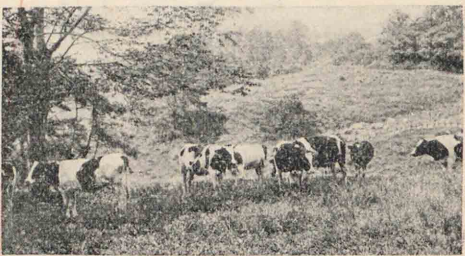
二山陽地方 〔總説〕山陰地方に比べて人口密度も大で、主要都市は海岸に適當の間を置いて分布してゐる。

〔上〕牛

北部盆地列 中國山脈の麓の盆地で、三次東城新見勝山等の盆地が東西に排列する。平地が少なく農牧を主とする。準平原面の草原は、牧場に利用され、冬は牛の舍飼が行はれるので、家屋の一



〔上〕東城附近の牛の牧養七塚原の牧場の乳牛を示したものである。



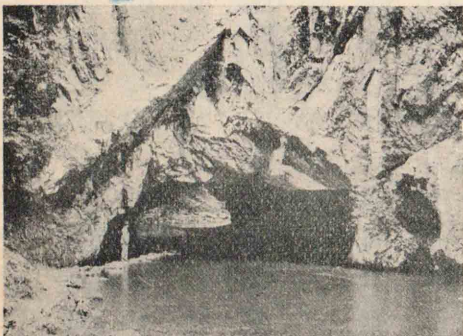
部を牛舎とする風がある。三次盆地の中心三次は、藝備鐵道で廣島市と通じ、霧が多い。東城地方は、神石牛で名高く、附近に帝釋峽の勝地がある。津山盆地の中心津山市は交通の要地で、製絲が行はれる。

岡山平野 岡山市は旭川に跨り、池田氏の城下

町で、縣治の中心、交

通教育の要地であり、商工業が盛で、綿織絲を産する。兒

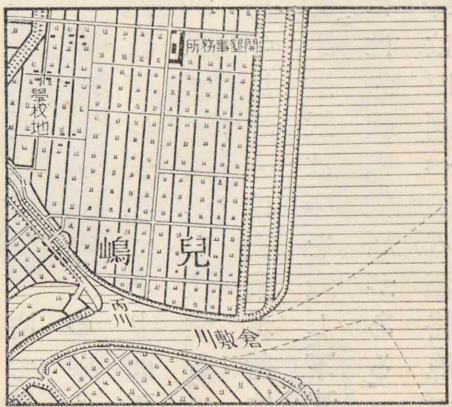
島半島地方は機業が行はれ、味野附近は鹽を産し、下津井には無線電信局がある。宇野は四國へ渡る連絡地であ



〔中〕帝釋峽の自然橋の一端にある雌橋。帝釋川流域は石灰岩地帯である。圖は峽中の雌橋といふ天然橋である。

〔下〕岡山の後樂園の一部唯心山より中の島を臨む景である。

(上) 兒島灣内の干拓地の一部



る。兒島灣内の淺瀬は次第に干拓されて
る。倉敷市は新進の商工業地で、紡績業
が盛である。伯備線の全通と共に高梁川
流域を後背地とし、山陰地方と連絡した。
玉島笠岡も亦紡績業で榮え、壘表及び果實
の取引がある。

備後地方 蘆田川流

域の中心福山市は、綿絲

縵を産し、壘表を集散する。鞆は風光がよく、漁港

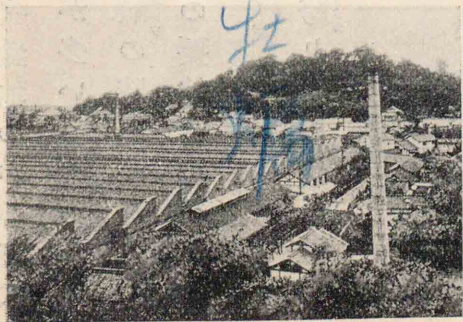
としても知られる。尾道市は絲崎と共に尾道絲

崎港として開港され、内海航路の一要津で、商業が

榮え、肥料・壘表の取引が多く、石油を輸入する。

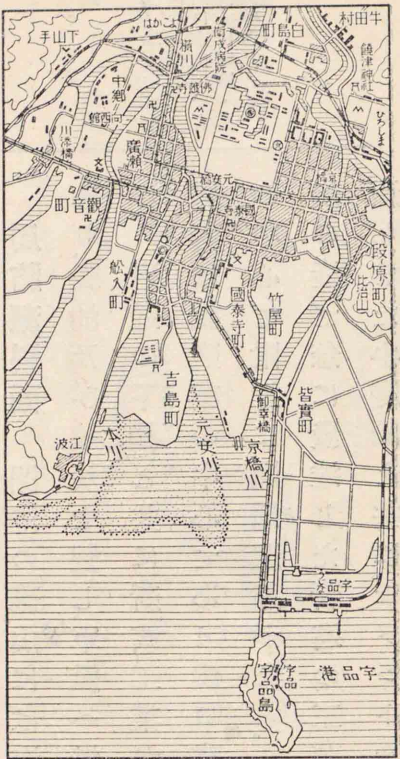
廣島灣岸地方 灣頭には大田川の三角洲が発

達し、灣内附近には藝豫叢島の島々が多く、灣岸に



シイモ
一 城ノ下ノヤ

(下) 倉敷にある倉敷紡績會社の紡績工場



は、牡蠣の養殖が盛である。

この地方はわが國屈指の移民地方で、ハワイ米國加州へ發展してゐるものが多



(上) 廣島市街の養殖(下右) 牡蠣の養殖(S)の草津附近の牡蠣の旗立を示したものである(下左) 廣島灣岸の牡蠣の養殖場

い。廣島市は大田川三角洲の上にたち、淺野氏の城下町で、中國第一の都會である。宇品港を控へ、明治の二大戦役によつて急に發達した。市は廣島縣治の中心であると共に、軍事交通教育の中心であり、商工業も榮え、人造絹絲、罐詰針、洋紙等を産する。海田市は吳線の分岐點で附近の日本製鋼所廣島工場では兵器を製造する。吳市は第二海軍區の軍港で、そ

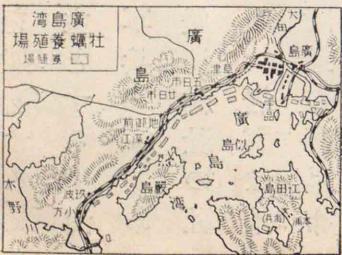


圖 嚴島神社の平面



には人造絹絲の工場がある。

周防灘斜面 開港の徳山には海軍燃料廠が

あり、製油及び煉炭を製し、軍艦へ燃料を供給す

る。附近の下松と共に新式工業が起つてきた。

防府は製鹽業の中心であり、山口市は山口縣治

の中心で、附近に湯田温泉がある。宇部市は石

炭の産で急に發達した新進の工業市で、綿絲を

産し、また小野田と共にセメントを産する



圖 (下) 山口市街の一部 (K) 山口市街で、右後方に縣廳・高商等が見える。

圖 (下右) 秋吉臺

臺地上の黒大線の矢の方向は、ドリネを示したものである。

圖 (下左) 秋芳洞内の一部

秋吉臺地からは大理石材をきり出し、秋芳洞等の石灰洞があり、臺地上はカルスト地形を呈する處がある。開港の下關市は水陸交通の要地に位し、關門、關釜の兩鐵道連絡船により、門司釜山に通ずる。米肥料の取引が多く、又重要な漁港で、鮮魚の集散が夥しい。

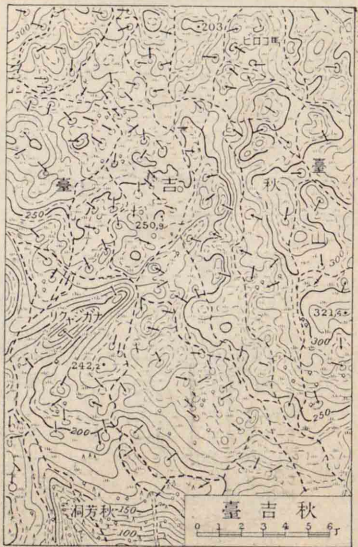
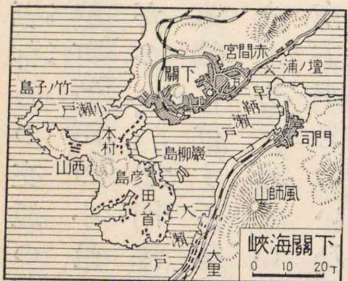


圖 (上) 下關海峽

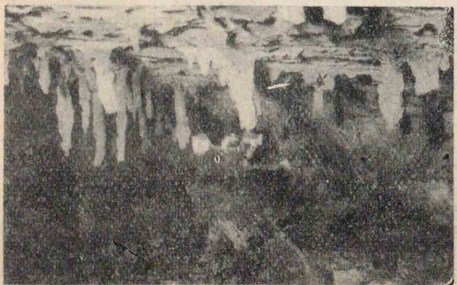


彦島は窒素工業、造船等の工業町である。行政上は山口縣に屬するが、産業上北九州工業地帯の一部と見てよい。

三四國地方 徳島平野 縣

治の中心徳島市は、城下町で、綿

織物を産し、その外港小松島は



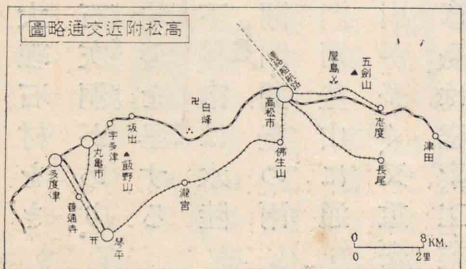
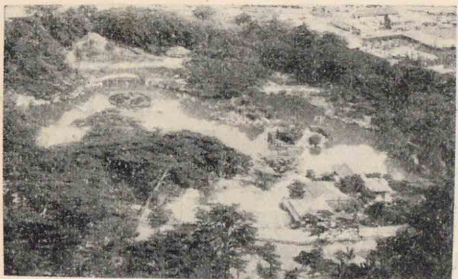
祖谷川の流域に祖谷の山村がある。
池田 (右下) 池田町の一部を示したものである。

阪神との交通の要地である。吉野川中流域に協町池田の小邑がある。池田は阿波煙草の産が多い。鳴門海峡に近い撫養は十州鹽田の南東端に位する製鹽地である。吉野川流域平野を北方平野といふに對して、那賀川流域平野を南方平野といひ、富岡をその中心とする。



讚岐平野

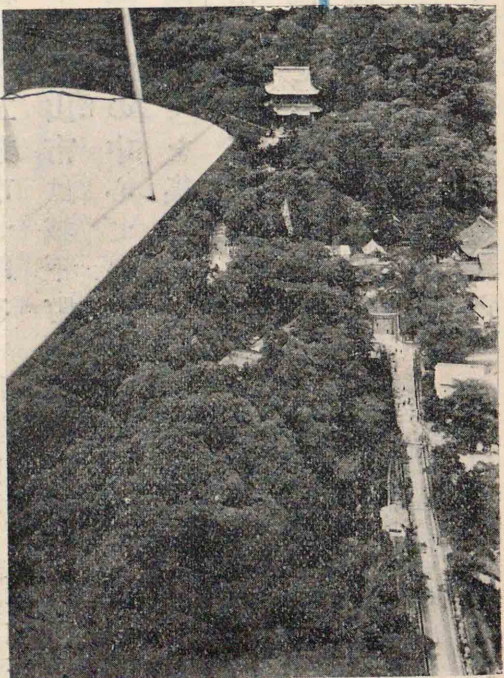
栗林公園 (左上) 栗林公園 (左下) 高松附近交通略圖



野 高松市を中心とする東讚と丸龜市を中心とする西讚とにわけられる。これ等の平野は、用水池によつて多くは灌漑され集約農業が行はれ、眞田類製造の副業も盛である。

689

象頭山腹にある金刀比羅宮



交通がよく開け、人口密度頗る大である。高松市は城下町で、水陸交通の要地である。商業も盛で、綿絲和紙等を産する。市の南に栗林公園がある。附近に熔岩臺地の屋島と五劔山の勝地がある。丸龜市は團扇骨の産が多く、附近の多度津は内海の一要津である。善通寺は軍事市、琴平は金刀比羅宮の鳥居前町として發達した。この社は象頭山腹にあり、海員の尊崇が厚い。内海の小豆島には寒霞溪の勝地があり、島醬油石材を産する。その西の直島には製鍊所がある。鹽飽諸島はその昔海上活躍者の一根據地であつた。

銅山の銅の鑛石から精銅までの製鍊順序



港の埠頭港内の一部を示したものである。

街の一部と松山城址(S)

南豫地方は一般に養蠶業が盛である。



立してゐる。南豫地方は標式的なりアス式海岸である。肱川流域は、



伊豫地方 東豫地方

は別子銅山の鑛石積出しの中継港で、その鑛石は四阪島で製鍊する。今治市は來島海峡に近い四

國唯一の開港であり綿ネルタオル等の機業が盛な新進の工業市である。北豫地方 松山平野の中心松山市は城下町で愛媛縣治の中心である。

伊豫綿ネルを集散する。

その附近に道後温泉がある。高濱と三津濱とは、何れも松山の外港として對

立してゐる。南豫地方は標式的なりアス式海岸である。肱川流域は、

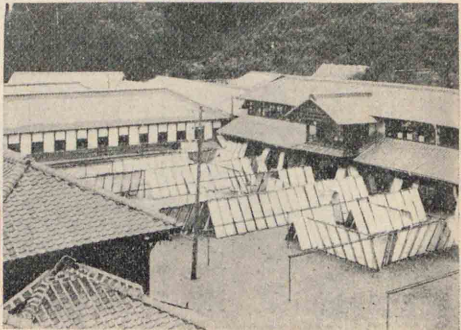
(上)伊野附近の和紙製造場紙を乾燥させてゐる状況である。

I生絲・綿絲を産する。

市街 (下右)高知

(下左)高知城址を中心とした高知市街の一部(K)

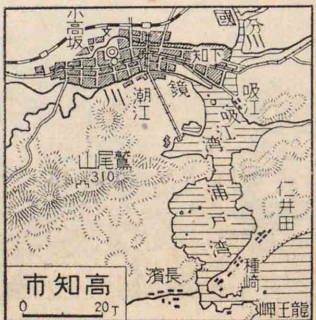
宿毛は豊後水道にあり、漁業が盛んであり、又珊瑚採集船の根據地として知られる。



木蠟和紙の産が多く大洲はその中心である。八幡濱は佐田岬の頸部に位し沿岸航路の寄航地であり、宇和島市は南豫の中心で新進の都市である。

土佐灣岸地方 土佐灣は

港が多い。室戸はその一である。土佐灣頭の高知平野の中心高知市は城下町で、高知縣治の中心であり、また交通經濟の中心であり、浦戸をその外港とする。仁淀川流域は楮三極を栽培し製紙業が起り、伊野をその中心とする。須崎は良港で、水産物の取引が多い。



Handwritten note in the bottom right corner of the page.

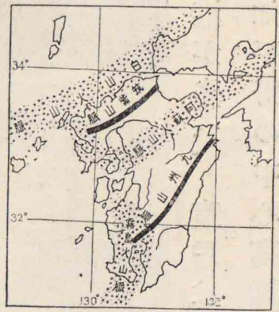
第六章 九州地方

面積 四四三二方軒
人口 九六四萬人

一 地 文

位置

九州地方は九州島及びその屬島と琉球諸島を含み、中央日



（上）九州山系圖

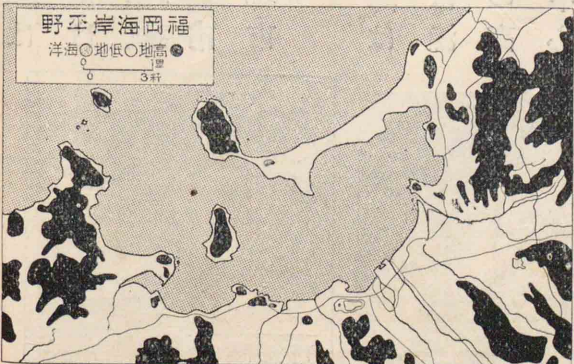
（下）福岡海岸平野圖

1 企救・福智・三郡・耳納・背振等の山塊。

地形 北部九州

古い低山性の筑紫山脈が略東西に連り、斷層によつて幾多の山塊を生じ、地形が複雑である。

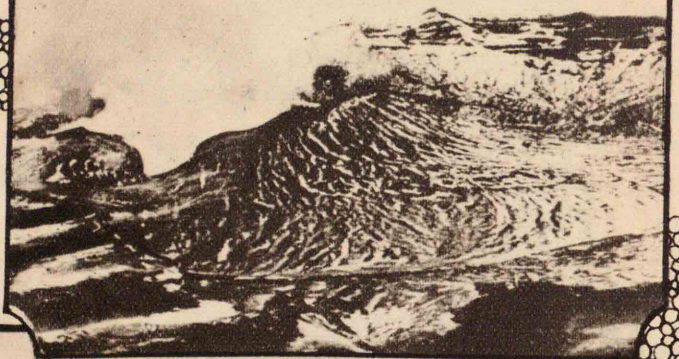
英彦山川と嘉麻川とが合流した遠賀川の



福岡海岸平野
● 高地 ○ 低地 ○ 洋海



雲仙嶽の新湯

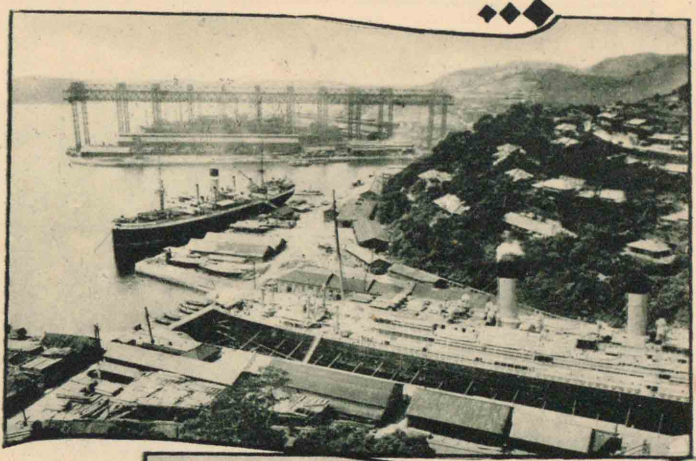


阿蘇山
中岳の噴煙

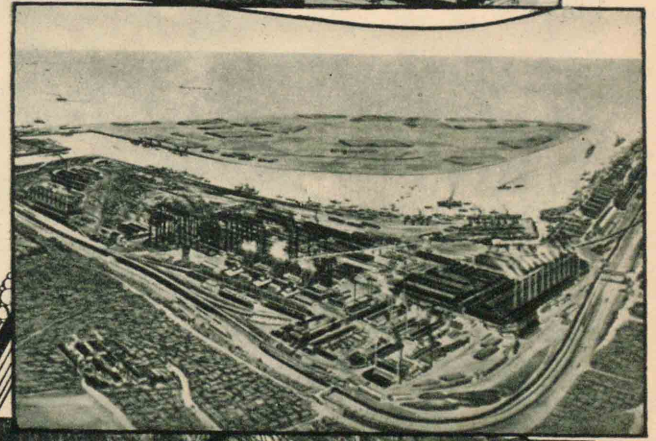


鹿児島市街の一部
櫻島

長崎市にある三菱造船所立神造船工場



八幡製鐵所附近



青島の蒲葵林



附近 (上) 博多灣



附近 (下) 筑後川
久留米市附近を示したものである。

に諫早地峡附近で、西彼杵野母島原の三半島に分れ、肢節を複雑にしてゐる。附近に平戸島五島列島等があり、又朝鮮との間に壹岐對馬がある。

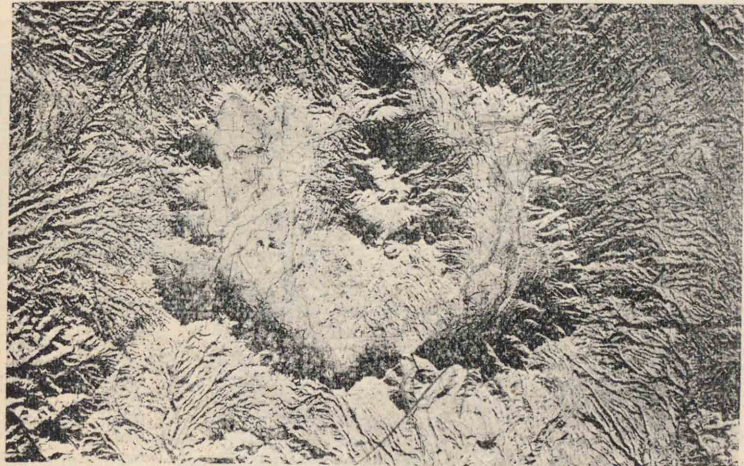
中部九州 南北九州の間にある地域で、阿蘇火山脈が通ずる。阿蘇山はその



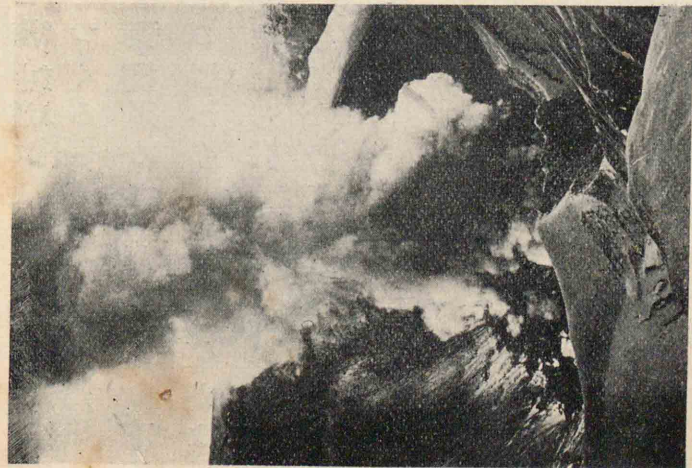
谷はY字形をなし、有名な筑豊炭田地方である。博多灣は海中道によつて圍まれ、その沿岸は福岡平野をつくる。筑後川は九州第一の大川で、上流には森日田の二盆地があり、下流域は筑紫平野で米の産が多く、水運の便がよい。

肥前半島は頗る肢節にとみ、多くの岬角灣入を生じ、中にも唐津伊萬里大村の諸灣と、北東松浦半島等は著しいものである。肥前半島は、更

阿蘇火山

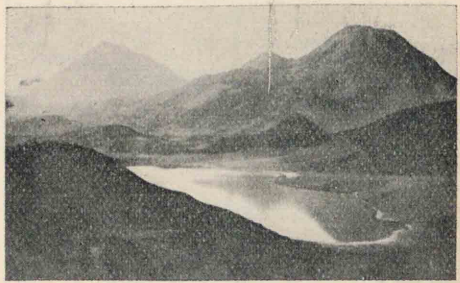


阿蘇火山の模範型



火口丘中岳の噴煙

（上）由布岳
志高湖から由布岳を望んだ景である。

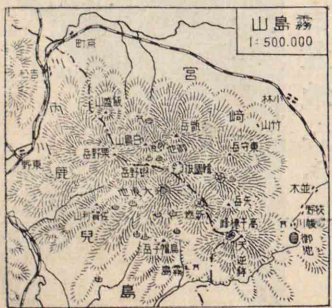


（下）霧島山

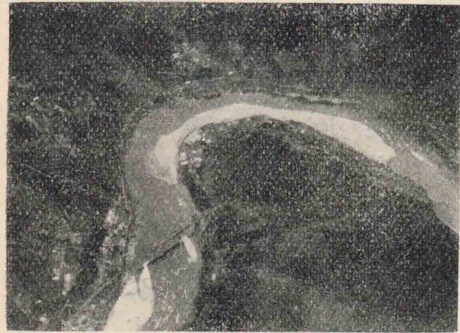
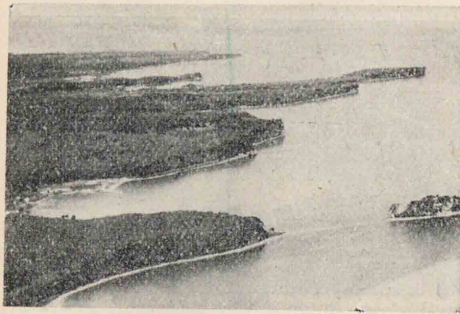
主峰で略中央に位する複式層状火山で、火口丘の中岳から盛に噴煙してゐる。東部には、九重鶴見由布兩子の火山が連り、山國川の上流は熔岩臺地で、耶馬溪の勝地がある。大野川の上流に竹田盆地があり、下流に大分海岸平野を形成し、別府灣頭の石垣原は、温泉噴氣孔の噴出が多い。西部の白川は、阿蘇火口原から流れ、緑川の下流と共に熊本平野をつくる。八代海の西に天草島がある。

南部九州 主として九州山脈と霧島火山脈の通ずる地域である。壯年期の九州山脈は、四國山脈の續きで、甕島から三太郎越に及び、市房山、祖母山に連り、九州島南部の東西兩斜面の分水界をなしてゐる。

東側の佐賀關半島の地藏岬から、豊後水道沿岸



は南豫海岸に對し、九州山脈の陥没地帯であり、リアス式海岸をなしてゐる。美々津一瀬大淀の諸川の下流は、日向海岸平野をつくり、細島以南の海岸は平直な砂濱である。西側の球磨川は横谷をなし、峡流で名高く、上流に人吉盆地がある。



九州島の南部の薩摩大隅兩半島の間の鹿兒島灣地溝帯には霧島火山脈が發達し、霧島火山群櫻島開聞嶽を起し、南方にのび、海中に幾多の火山島をつくつてゐる。薩摩半島の川内川は、大口盆地をすぎ、下流に川内平野をつ



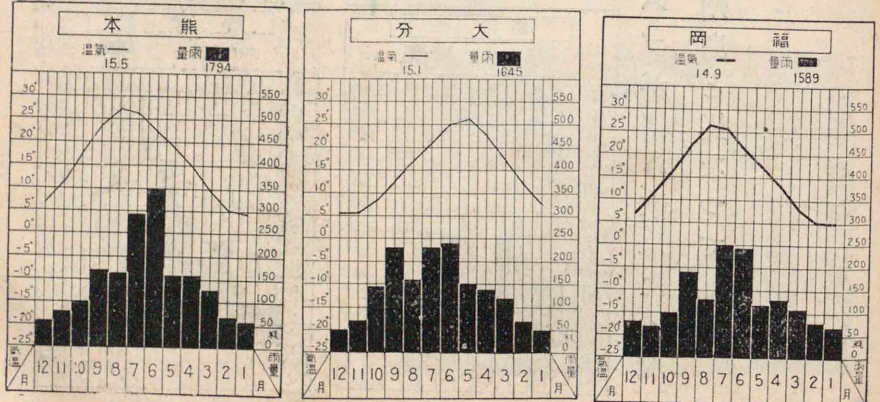
豊後水道附近

(左上)大分縣の海岸の一部
(左下)球磨川の峡谷

(下)福岡・大分・熊本の雨量と気温

くる。西岸の吹上濱には海岸砂丘がある。南部諸島 薩南諸島と琉球列島とに大別する。弓状をなす山脈が沈降のため、わかれて島となつたもので、その外側は急に深くなり、琉球海溝をなすが、内側は頗る浅く、また霧島火山脈が通ずる。琉球列島中には、裾礁が發達してゐる島がある。

氣候(生物)九州島は、その位置南西にある上に、日本對馬の兩海流が略、東西兩岸を流れるから、氣候は一般に温暖である。北九州は、裏日本の山陰氣候區に類似するが、雪が少なく、氣候も概して温暖である。中部の内海斜面は瀬戸内氣候區の西端を占め、温和な良い氣候の地であるが、熊本平野は寒暑の差が稍

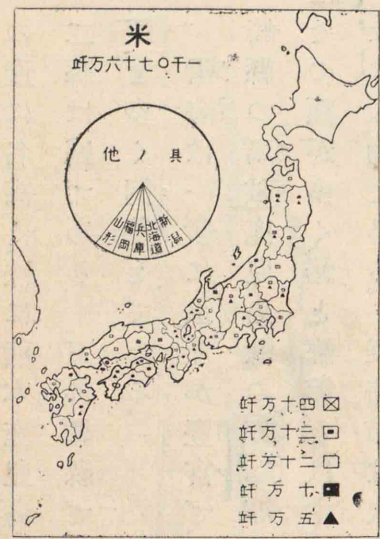


ね ②
 林 ⑤
 農 ⑥

類比較 (上) 米の産
 福岡に九州帝大の農学部、鹿児島市及び宮崎市に高等農林学校がある。

毒素の採集(S) 硝子器をかませて毒素をとる状態である。

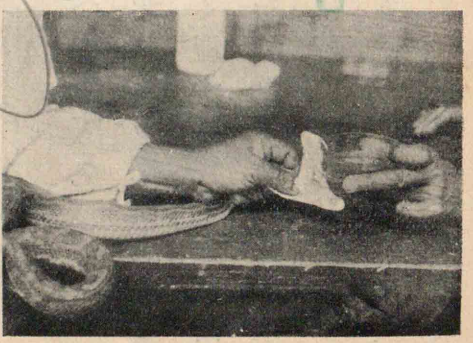
九州地方人 文



産業 九州島の西斜面は、耕地がよく開け、筑紫熊本の兩平野には、米、菜種の産が多い。久留米、佐賀熊本門司は、米の集散地である。甘藷甘蔗は、鹿児島沖繩の兩縣に殊に多く産し、粗糖は沖繩縣の主産物である。

鹿児島縣の國分指宿地方では葉煙草を産し、國分煙草は世に知られる。國東半島では、七島蘭を栽培し、七島表を製する。九州山脈の山地は、樹木竹林が繁茂し、木材薪炭樟腦を産し、又椎茸を栽培する。又筑紫平野の櫛も名高い。

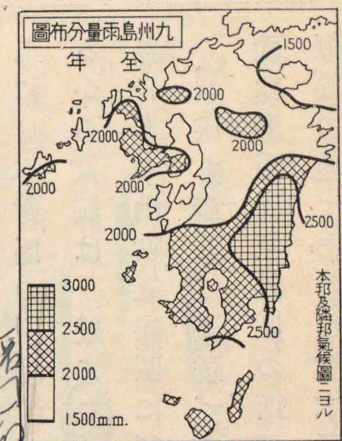
昔から馬の繁殖につとめたから、馬



初秋の頃に颱風が襲來することが多い。

那覇の雨量と氣温

九州島雨量分布圖

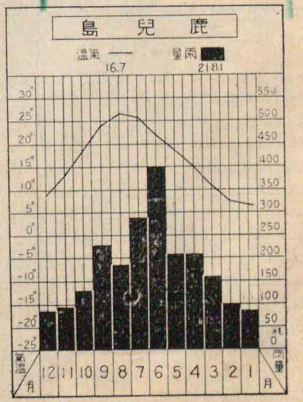
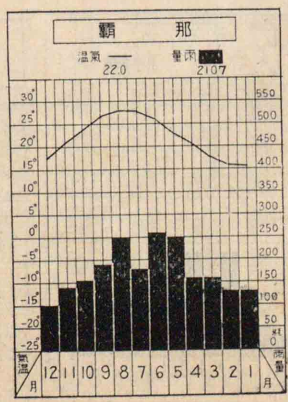


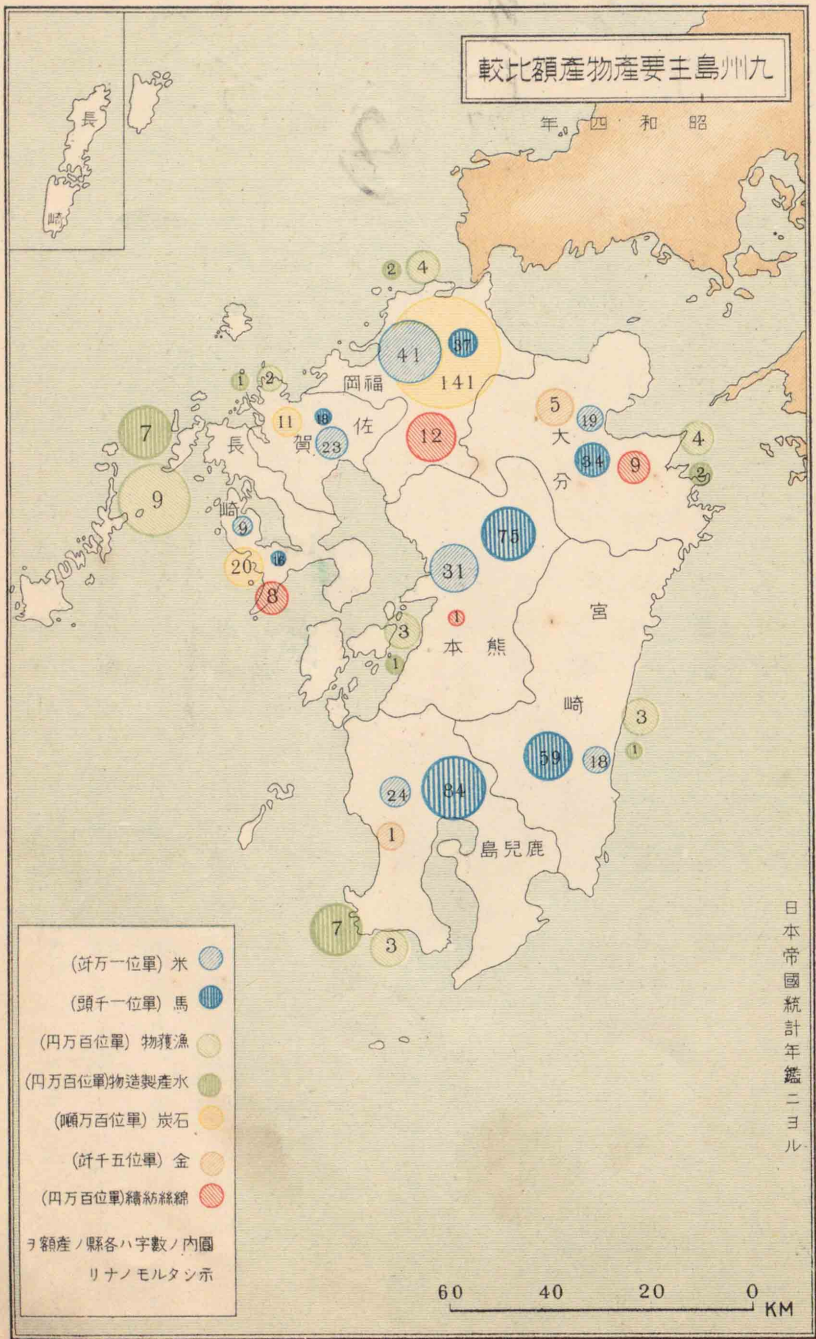
九州地方人 文

雨の現象も著しい。九州島の南東部には樟が多く、青島、枇杷島等には、熱帯性植物が繁茂する。沖繩諸島は亞熱帯性氣候で、氣温の較差も少なく、年中殆ど霜雪を見ないので、島には榕樹、椰子、蘇鐵等の熱帯植物が多く、毒蛇のハブが棲み、海岸には珊瑚礁が発達してゐるなど、動植物の状態は、九州島と異なつてゐる。

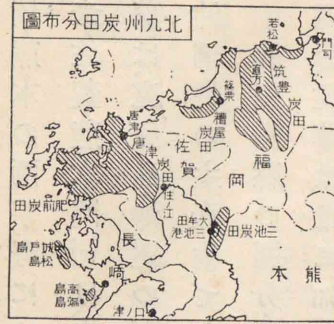
二人 文

著しく、内陸性氣候を呈する。南九州は表日本の南海氣候區の續きて、氣温が高く、わが國の多雨地帯である。





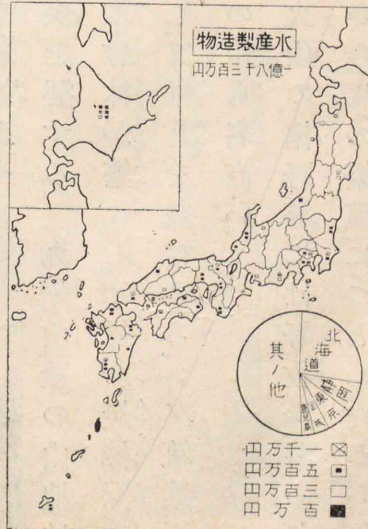
圖解 (上) 北九州炭田分布圖



圖解 (下) 水産製造物産額比較

の産に名高く、殊に熊本鹿兒島の二縣は盛である。又沖繩縣では豚を多く飼養してゐる。

沿海は一般に水産が豊富で、長崎縣の烏賊鹿兒島縣の鰹等はその額が多く、鰯と鰹節とは主要な水産物である。長崎市は水産物の集散が盛で、中華民國へ輸出する。



は、三池港から内地及び東亞諸港に販路を有し、又大牟田に化學工業

炭田を首め、唐津等にも多く産する。筑豊炭田は飯塚後藤寺等の炭坑町を發達させ、鐵道と水運とによつて門司若松等に積出され、又北九州工業地帯の燃料を供給する。三池炭田の石炭

九州地方人 女

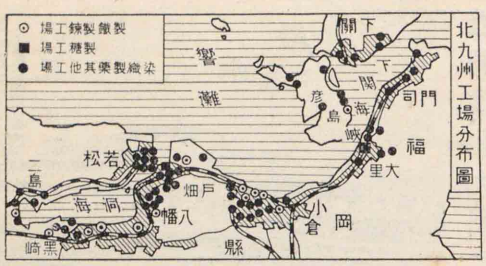
④ (中)若松港の石炭の積出し、石炭車と帆船とに注意せよ。

1 串木野・芹ヶ野・山ヶ野。
2 鯛生・馬上。

⑤ (下)門司の貯炭場(S)門司に入港する汽船に石炭を供給する目的で設けられ、四臺の起重機が備へつてある。

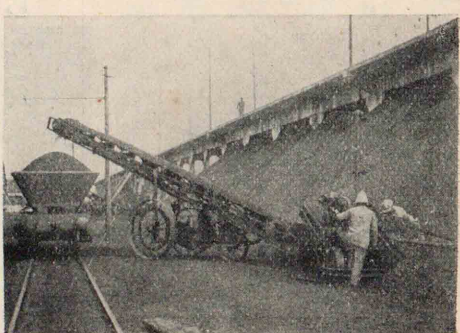
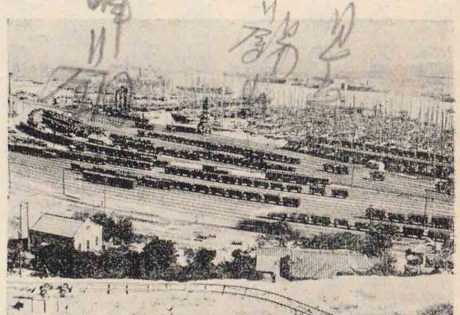
⑥ (上)北九州工場分布圖

2
6



九州地方人 文

を發達させた。北九州の主要都市は、この石炭によつて、直接間接の影響をうけてゐる。
その他鹿兒島、大分の兩縣

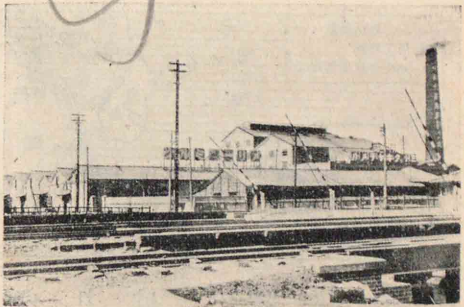


の金、宮崎縣の銅等があり、佐賀關には大製鍊所があり、金、銀、銅を製鍊する。かく石炭が多く、交通運輸が便であり、原料勞力が豊富であり、近くに中華民國等の販路を控へるため、諸種の新式工業が發達してゐる。就中北九州工業地帯は、京濱、名古屋附近、阪神の工業地帯と共に主要な工業地帯で、門司、小倉、若松、八幡、戸畑、折尾を連ねてゐる。

九州

九州帝大に工學部、戸畑市に明治専門學校、熊本市に高等工業學校がある。熊本市に藥學專門學校がある。

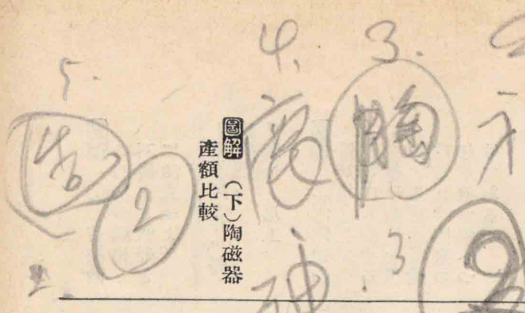
〔上〕戸畑にある明治製糖會社の精糖工場



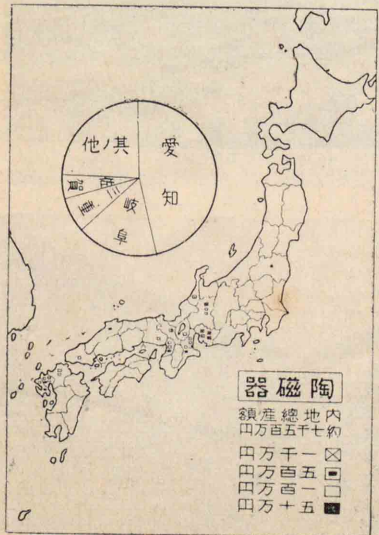
製鐵・精糖・製粉・紡績・硝子・セメント等の大工場が起り、殊に八幡製鐵所の製鐵・製鋼の規模が東洋第一で、その鑛石は多く朝鮮・中華民國・マレー半島等から供給されてゐる。その他福岡縣の博多織・久留米・総鹿兒島・沖繩兩縣の総上布・佐賀・福岡・鹿兒島の三縣の陶磁器・長崎・佐世保の造船・筑後川下流域の清酒の醸造等は世に知られる。

交通商業鐵

〔下〕陶磁器産額比較

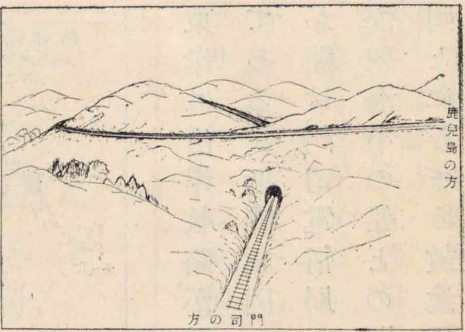


道網は、北九州に最も密で、南東部に疎である。門司を根株とし、鹿兒島線・日豊線・長崎線等は樹枝狀に發達し、鹿兒島・日豊の兩線は、肥薩線の一部として九州循環線をなしてゐる。筑豊線は筑豊炭田地方に網狀に發



陶磁器 内地總産額 約一千五百萬圓

〔上〕大畑のループ線



達し、石炭運輸量はわが國鐵道中で最大である。鹿兒島本線は内地幹線の南端をなし、九州の文化地帯を通過する動脈であるから、公私の支線が多い。八代から吉松を経て鹿兒島に至る部分は大畑のループ線・矢嶽のトンネル等があり、著しい急勾配の處があるので、幹線は今も海岸を通ずる。中部の横斷線である豊肥線の開通は、本

〔下〕門司の石炭積込の團平船(S)

長崎・上海間には高速度優秀船を用ゐる。

島地方の交通上に大きな影響を與へ、著しく東西兩海岸地方を時間的に接近せしめた。將來久大線が通ずれば、一層便利となるであらう。地形及び對外的位置の關係上、海運は北西岸に盛で、殊に門司・長崎を起點とするものが多い。門司は炭水の補給港であり、長崎は日支急行連

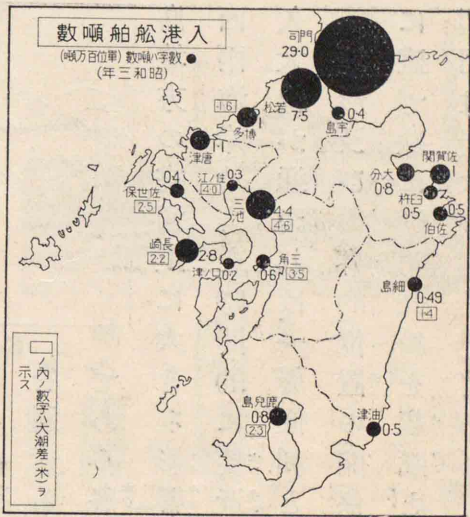


（上）入港船舶噸數比較

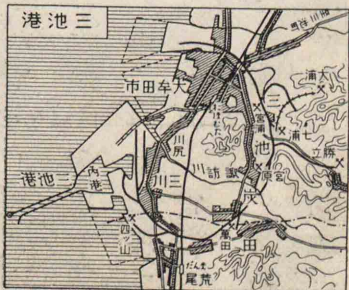
（下右）三池港

（下左）三池港（S）

開門に注意せよ。繫船壁四二一メートルの汽船が容易に碇泊し居られる。
長崎から浦潮斯徳・大連・青島・上海等へ海底電線が通ずる。

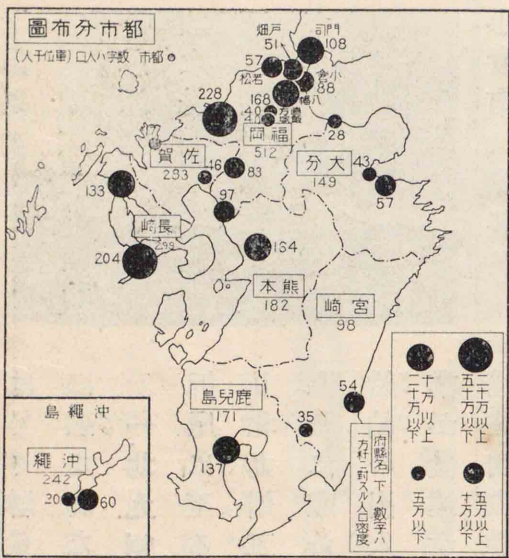


東岸は沿岸航路が稍發達し、陸上交通の缺を補つてゐる。近時福岡から大阪朝鮮への定期航空路が開け、門司電信局を通じて、北九州工業都市と近海航海中の船との間に通話ができる。熊本と福岡とにラヂオ放送局がある。



長崎市・大分市に高等商業學校がある。

（上）九州地方の都市分布圖

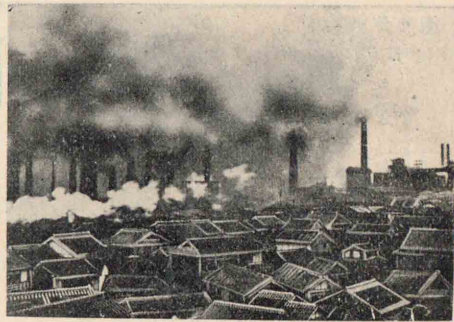


九州島は生産が豊富で、且交通通商上の要地を占めるから、商業は活氣を呈し、北西岸には幾多の開港がある。その中で、門司と長崎とが著名である。これ等の開港は多く石炭を輸移出する。開港は東岸の一つもない。内地商業は、大阪の商圏内にある。内地商業の地方的の中心に福岡・久留米・熊本・鹿兒島・大分等がある。

三處誌

總説 表九州は、早くから外國との交通が開け、近時各種の工業の發達は、人口の増加を來し、重要な都市が勃興した。殊に下關海峽附近の工業都市群並に遠賀川流域の炭坑聚落は、最も著名である。これに反し、南東部の裏九州

（上）煙につつまれた八幡市の一部

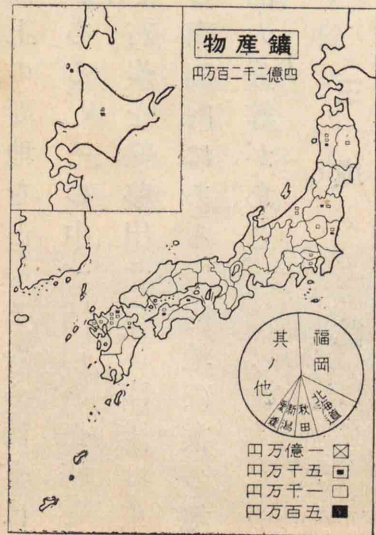


は、早く神代に開けた地方であるが、地理的事情に恵まれないので、人口密度も小で、都會も少ない。
一北九州 北九州工業地帯 門司から若松折尾に至る迄は、市街殆ど相連り、新式工業が起り、北九州工業地帯を形成する。門司市は下關海峡に臨む開港で、海陸交通の要地をしめ、内外船舶の出入が繁く、セメント・ビール・精糖等の工業が發達する。

（下）礦産物産額比較

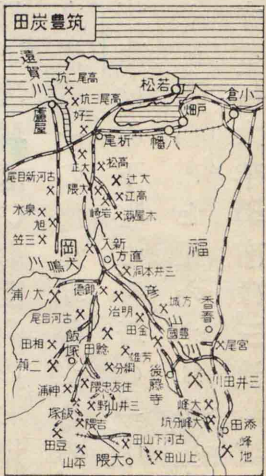
戸畑市に薄板ガラス・精糖・鑄物等の工場がある。又トロール漁船の根據地で、今は下關に對抗する勢を示してゐる。

小倉市は鐵製品・洋紙・電球・陶磁器並に兵器を製し、繁盛をもちかへした市である。戸畑市は新興の都市で、洞海の出口をしめ、對岸の若松市と對向聚落をなす。若松市は石炭の大輸移出港で、帆船の出入が多く、又



1八幡市に製釘・化學工業・セメント等の民間工業も起つてきた。

（上右）筑豊炭田略圖

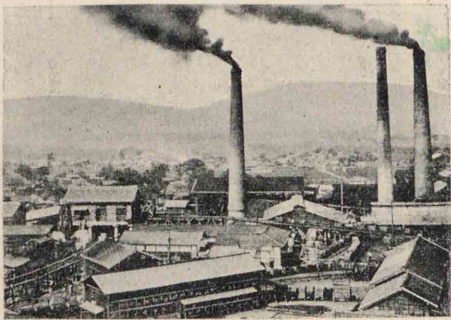


鐵鑛を輸移入する。八幡市は製鐵都市で、煤煙は天を蔽ひ、町は全く製鐵所と共に動いてゐる。
筑豊炭田地方 遠賀川流域地方は炭坑聚落がよく發達してゐる。後藤寺と飯塚市とは、炭田の中心で、姉妹都市であり、直方市は遠賀川の石炭船の起點地として發達したが、今は附近炭田の衰頹と共に消費河化せんとしてゐる。

（上左）忠隈炭田の一部（S）筑豊炭田の中心地である。

（下）福岡市街の一部（S）那珂川が中央に流れ、島は西中洲の南端である。

伊田・添田も石炭町である。



福岡平野 福岡平野の中心福岡市は、黒田

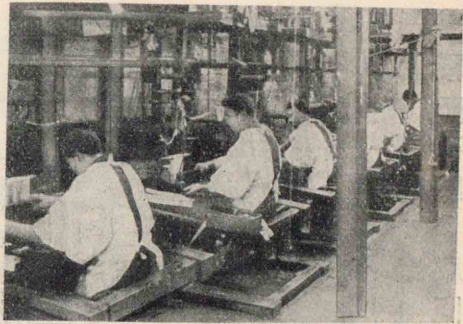


福岡にある博多織の工場内部

太刀洗に陸軍の飛行隊、大村・佐世保に海軍の航空隊がある。

福岡・久留米附近交通略圖

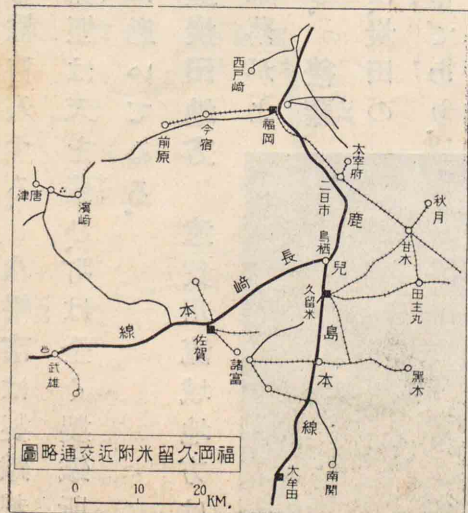
1 第十二師團司令部がある。初川・太川は醸造地として知られる。



氏の城下町であり、福岡縣治の中心である。九州の學術の中心でもあり、博多織・綿布等を産する。市の一部の博多は開港である。御笠川と寶満川とは、二日市町附近で分水界をなし、水城はこの隘路に工を施したものである。太宰府町は太宰府神社の鳥居前町で、附近に太宰府跡の史蹟がある。

筑紫平野

福岡・佐賀の兩縣に跨る平野で、筑後川下流域及び有明海の北岸を含み、九州第一の農産地帯である。久留米市は城下町で、平野の一中心をなし、田園都市と見なされ、足袋・総を産する。大牟田市は、三池炭坑を控へ、

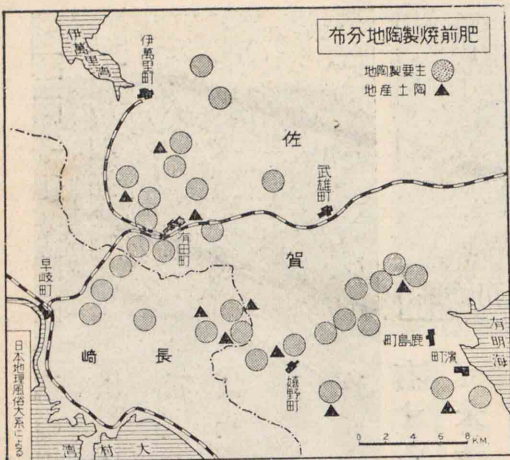


福岡久留米附近交通略圖

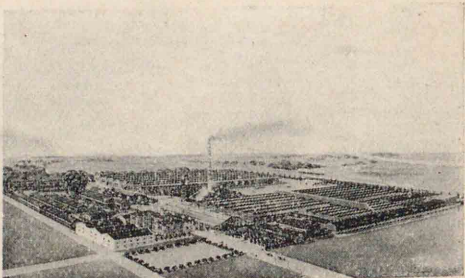
久留米市にある足袋工場、つちや足袋の製造工場である。

有田・焼の工場の内部

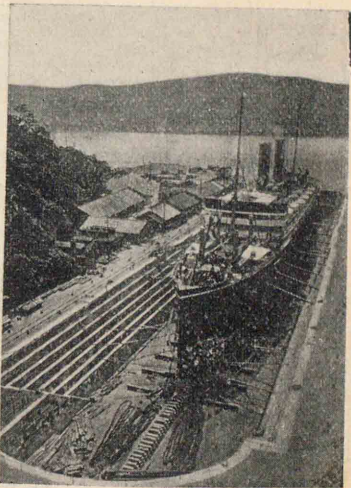
肥前・焼製陶地分布圖



亞鉛製錬・石灰・窒素・染料等の諸工業が發達してゐる。鳥栖は鐵道の分岐點に位し、佐賀市は鍋島氏の城下町で、今は佐賀縣治の中心であり、米の集散が盛である。武雄は設備のよい温泉地である。肥前半島・島嶼 唐津市は、松浦川左岸の唐津炭田の石炭の積出し港である。有田附近は、良質の陶土を産し、有田は窯業の中心をなし、西日本第一の製陶地である。伊萬里灣頭の伊萬里は、今は水産



〔上右〕三菱造船所の第三船渠
入渠せる天洋丸を示したものである。



〔上左〕長崎市略圖



〔下〕雲仙嶽の新湯

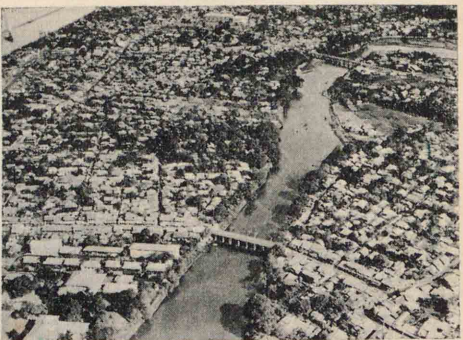
沿海漁業が盛であり、又海外への出稼も多い。諫早は大村灣有明海の地峽部にある地峽聚落である。長崎市は古い開港で、西洋文明の輸入



物の集散地である。佐世保市は、大村灣口の北岸にある軍港市で、東支那海に對する軍事上の要地である。平戸島の平戸は、長崎開港以前の開港であつたが、今は漁港にすぎない。長崎縣は、福岡縣につぐ人口密度を

口ノ津は三池築港以前に三池炭の沖船仲繼港として榮えた。

〔上〕熊本市街の一部(大朝)川は白川で、市街に森の多いのに注意せよ。



熊本には第六師團司令部・醫科大學等がある。

〔下〕成趣園もと細川氏の庭園であつた。

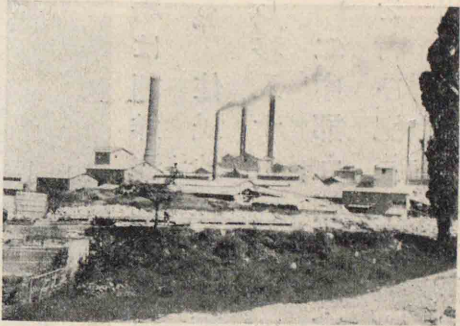
栗の産が多く、牧馬が行はれる。

の門戸であつたが、土地の偏在と後背地の不良のため、貿易は振はない。石炭、水産物等を輸出し、また三菱造船所がある。島原半島の雲仙嶽の新湯は、ホテルの設備と風光のよいのとで、東洋在留の西洋人の避暑客が多い。五島列島の沿海は漁業が盛であり、福江はその主邑である。壹岐島には勝本郷浦の小邑がある。對

馬は朝鮮海峽の要地に位し、上島と下島とに分れる。住民は林業、漁業に従ふ者が多く、米は朝鮮から移入する。開港の嚴原は主邑である。二、中部九州 熊本地方 熊本平野は複合農業を行ひ、肥後米を産する。熊本市は白川に跨り、細川氏の城下町で、熊本縣治の中心であり、米の取引



（上）八代にある日本石灰製造會社八代工場（S）



が多い。市の南東部水前寺に成趣園の勝地がある。宇土半島の三角は開港である。八代は球磨川口に位し、鐵道の分岐點に位し、セメント、洋紙、製材業で榮える。附近の沿海の砂堆は干拓が進み、新開地ができた。人吉盆地に天吉があり、上流の山地に五箇莊の僻地がある。

八代海に面する水俣は、

窒素肥料の製造が盛であ

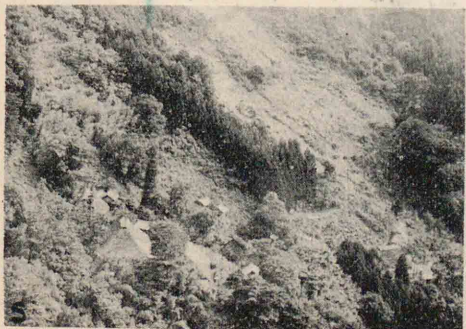
り、天草島は上島下島に分れ、陶土、石炭を産する。

阿蘇火山の火口原は、阿蘇谷、南郷谷に分れ、水田、畑牧場があり、中に三町十村がある。

大分地方 中津市は山國川右岸に位し、綿絲、

米、木材の集散地で、北豊地方の新興の町である。

山國川の上中流は集塊岩の侵蝕谷で風景がよ



（下）五箇莊の小原部落（S）山腹の家屋に注意せよ。

豊肥線は立野をすぎ宮地をへて竹田盆地に通じ、高森線は南郷谷の高森に達する。

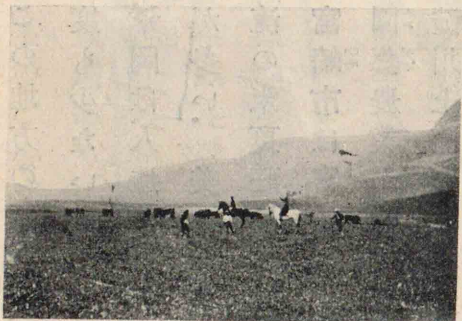
（右下）耶馬溪

く、耶馬溪の勝地をつくる。別府市は、標式的な温泉町で泉都とよばれ、北九州及び阪神地方との交通が開け、氣候溫和なので、四時浴客が絶えない。附近の地獄廻りも趣味が深い。大分市は大分縣治の中心で、綿絲、生絲の産が多い。臼杵、佐伯は、各同名の灣頭にある漁港である。豊後水道沿岸は石灰岩が發達し、セメント工業が勃興してきた。大野川の上流の竹田盆地に竹田があり、その北西の久住高原は夏はキャンプ地、冬はスキー場として知られてゐる。



（左上）別府市街の一部

（左下）久住高原の一部で種畜場附近を示したものである。



街の一部(上)宮崎市
主要街の橋通り
を示したもので
ある。



(下)鹿兒島
にある南洲翁等
の墓

この地方の原野は、まだ十分開拓されず、人口密度も少ないので、關西第一の移住地方である。延岡は、人造肥料の工場があり、また椎茸の取引が多い。美々津川の上流の椎葉村、一瀬川の上流の米良莊は、共に交通の隔絶した僻地である。宮崎市は宮崎縣治の中心で、生絲を産し、附近は園藝農業が盛である。大淀川上流の都城盆地の中、心都城市は、繭茶を産し、小林は高千穂平野の主要地である。南の海岸に青島の勝地と油津の港とがある。



(上)櫻島の
大根

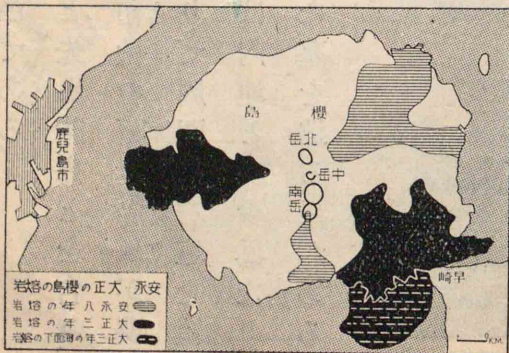


漁業の根據地である。

は島津氏の城下町で、鹿兒島縣治の中心である。市の背後の城山は西南の役で名高い。市の前面の櫻島は、大正三年に噴火し、熔岩を流した。大根の名産がある。伊集院は薩摩焼を産し、川内は川内平野の中心に位し、製絲が行はれる。川内川の上流に養蠶地の宮之城と大口とがある。薩摩半島の山川枕崎は、沖

(下)安永・
大正の櫻島の熔
岩

薩南諸島 種子島は鐵砲傳來で名高く、製糖牧畜が行はれ、屋久島は杉の良材を産する。大島は奄美諸島の主島で、住民の風習は琉球に似てゐる。粗糖、鯉節、紬の産がある。この地方は、國防上大切な位置にあるので、要塞地帯となつ



奄美大島の軍備は、華府會議の結果、その防備を現狀にとどめた。

（上）大島の名瀬港の一部

豚の飼養が多く、又甘藷を常食とする。

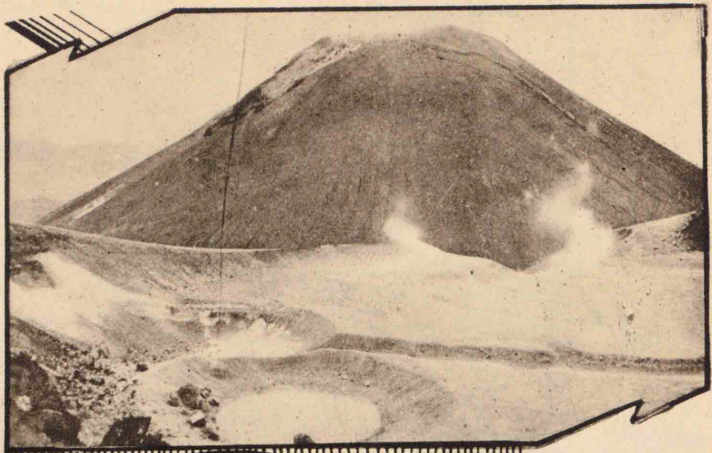
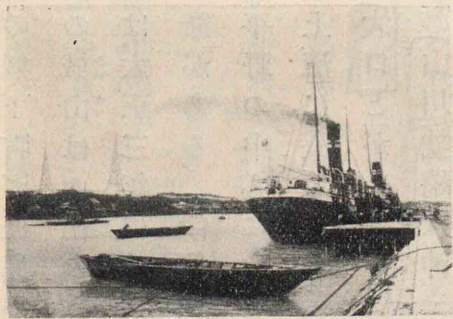
（中）那覇港大正八年築港工事が完成し、三千噸以下の船が出入し得られる。

（下）那覇市外にある琉球人の墓

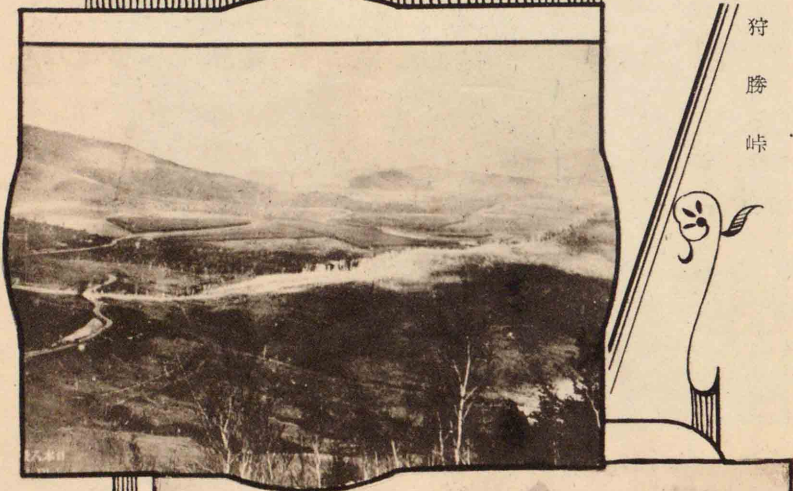


てゐる。名瀬は本島の主邑である。四、琉球地方、沖繩諸島と先島諸島とを含み、氣候が暖熱て雨が多い。初秋の頃屢、颱風が襲來するので、家屋は平屋造りて、周圍に石垣を繞らしてゐる。住民の習俗は内地と多少異なり、特有な方言を有し、又壯大な墓を造る風がある。人口密度が大

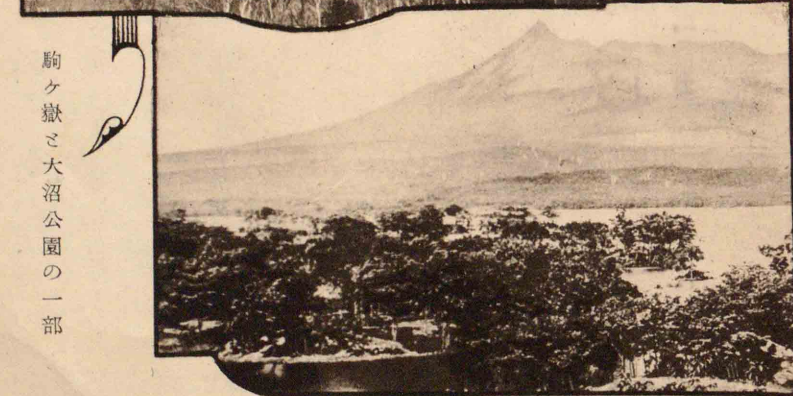
であるから、各地への移民が多い。粗糖、芭蕉布、漆器、泡盛酒等は主要な産物である。那覇市は沖繩島にある開港で、沖繩縣治の中心であり、琉球総帽子等を産する。首里



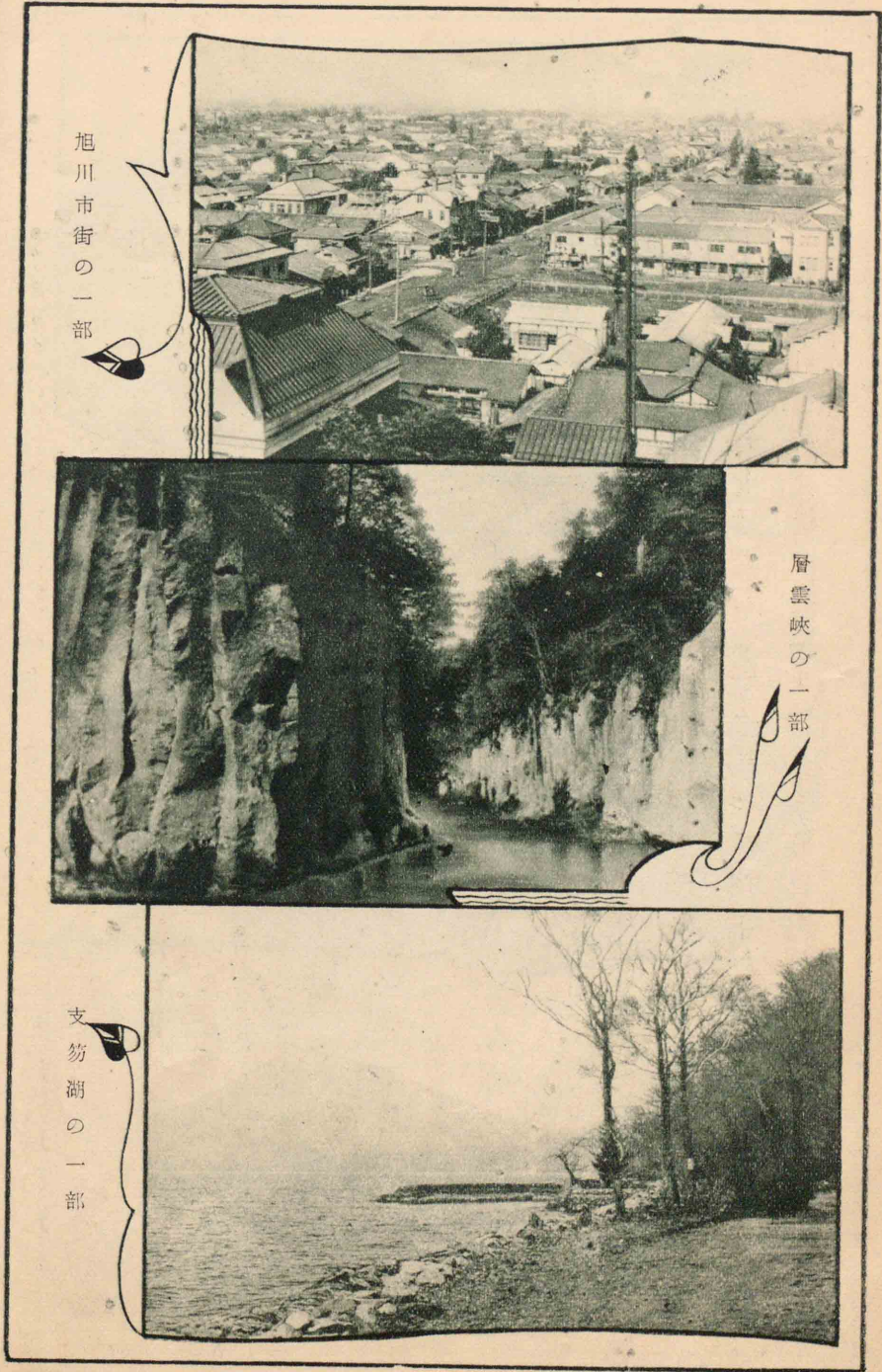
阿寒富士



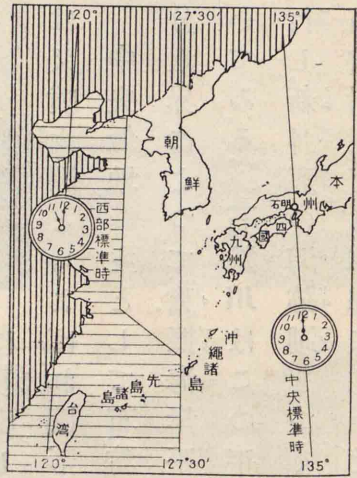
狩勝峠



駒ヶ嶽と大沼公園の一部



（上）西部・中央標準時使用地域



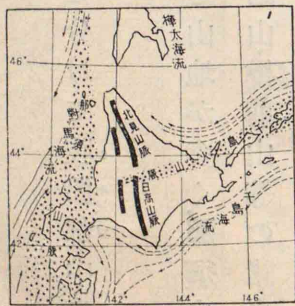
第七章 北海道地方

一 地 文

面積 八八七五方軒
人口 二八一萬

（下）山系圖

位置 北海道地方は、北海道本島と千島列島とからなり、本島の南は津軽海峡の陥没によって本州と分れ、北は宗谷海峡を挟んで樺太に對し、千島列島の北端はカムチャッカ半島の南端に



北海道地方

地

（上）洞爺湖とマツカリ嶽
左方の圓錐形の山はマツカリ嶽である。



接してゐる。

〔地形〕 北海道本島の地形を分けて、肢節部中央低地、軀幹部の三とする。

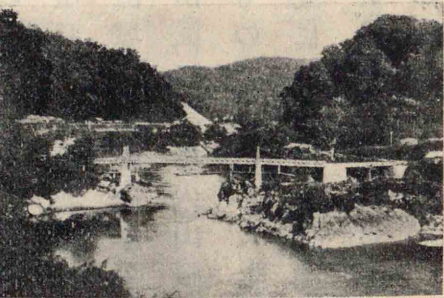
肢節部 本島の西部地域で山地が多く、那須火山脈に属する駒岳、有珠嶽、羊蹄山、樽前山等の諸火山が發達し、その脈は北方にのびてゐる。大沼洞爺湖、支笏湖がこの火山脈中にあり、又温泉も處々に湧出し、中にも登別温泉は著名である。内浦灣は又噴火灣ともよばれ、圓形をなし、水深は小である。

中央低地 主として石狩川の中下流域の石狩平野の地域で、低い分水界によつて、膽振海岸平野に續いてゐる。石狩川はこの平野を蛇行し、新月形の河跡湖をつくり、遂に石狩附近で日本海に注いでゐる。

（下）石狩川流域の河跡湖



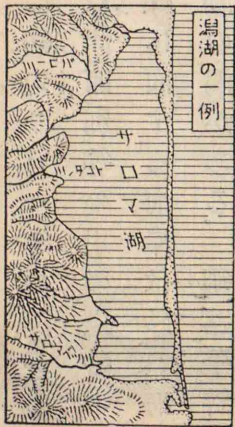
（右上）旭嶽と後旭嶽（K）
正面の高山は旭嶽で、その左方は後旭嶽である。



（右下）神居古潭
峽谷美として屈指のものである。正面の橋は大正十三年にかけたもので、その流の釣橋は以前ののものである。

（下）湯湖の一例としてのサロマ湖

谷をなしてゐる。石狩川が夕張山脈を横ぎる處に、神居古潭の峽流がある。千島火山脈は千島列島から東知床岬に達し、雄阿寒嶽、雌阿寒嶽等を起し、主軸山脈と會する處は、地形が頗る高峻で、旭嶽及び近年活動した十勝嶽等が聳えてゐる。軀幹部の北東部には北見海岸平野があり、地形上大河が少なく、



軀幹部地方 略、菱形をなし、主軸である蝦夷山脈が殆ど南北に發達し、北見、日高の二山脈に分れる。蝦夷山脈の前山として西に天鹽、夕張の二山脈が縦走し、その間に天鹽平野、名寄盆地、上川盆地、富良野盆地が發達し、一の通

湖 周園九二軒、海
洋と通ずる。湖
中に魚族が多
い。



砂嘴が發達し、その内側に網走・サロマ等の潟がある。南東の根室平野は標津・西別等の川の土砂の堆積により生じ、根室海峡に面する海岸は砂質海岸で、野付崎の砂嘴、風蓮湖の潟がある。釧路平野は釧路川流域地で、高原性を呈し、海岸は岩石海岸が多く、濱中厚岸の諸灣がある。十勝平野は同名の河の流域で、高原性を呈し、近時拓植が次第に進んできた。南西の沙

（下）釧路・根室地方

千島列島の外側には深い海溝が發達してゐる。

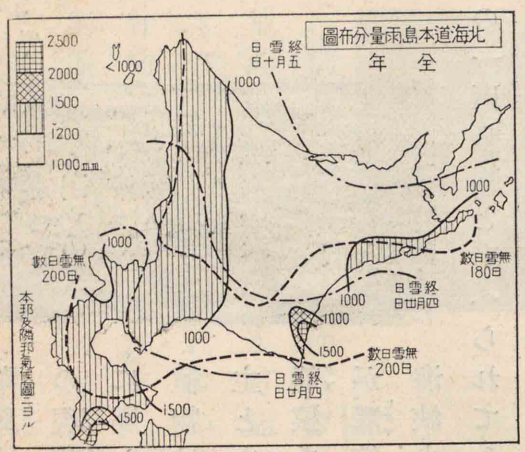
新冠等の諸川の流域は、日高海岸平野をなす。千島列島は海底山脈に千島火山脈が通じ、その山頂が海面に表はれたもので、弧状をなして連つてゐる。氣候 生物 高緯度にあるため、氣温が低く、冬は寒冷で雨も一般に少ない。しかし夏は氣温もかなり高く、雨も稍多いので、農作物の生育に適する。寒流の千島



（下）根室・旭川・函館の雨量と氣温

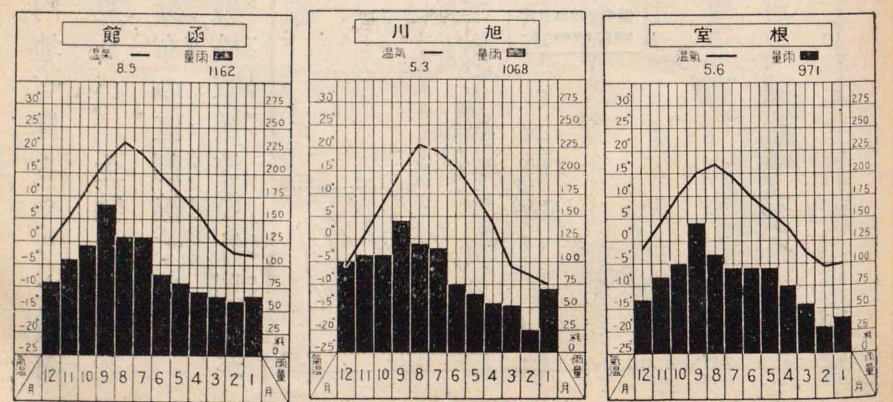
（上）北海道本島雨量分布圖

上川地方は嘗て氷點下四十一度に達したことがあり、内地に於ける温度の最低記録である。



海流親潮はこの地方の南東岸を南下し、南東風がもつてくる濕氣を冷却するので、夏季ガスを生じ航行を困難ならしめると共に、沿岸は農耕を不能ならしめる。西岸は對馬海流の影響をうけ、東岸よりも氣温が稍高く、オホ

ーツク海は冬に海水が凍結し、その融氷期には流氷になやまされる。樞幹部の内部の氣候は大陸性を呈し、夏は暑く、冬は寒く、寒暑の差が甚しい。



（上）釧路海岸の流水が漂ひ航海が危険なことがある。

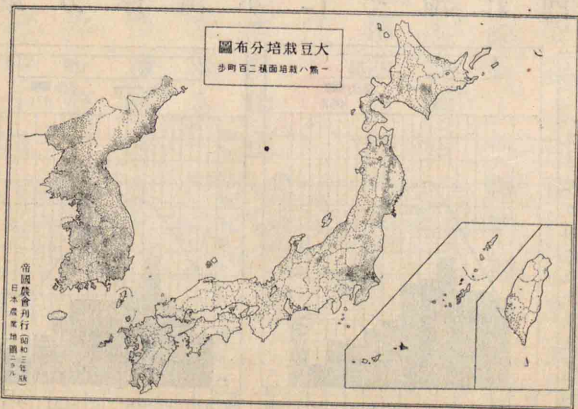


の一區劃線と考へられてゐる。

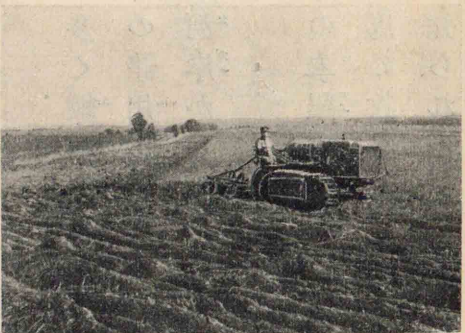
二人 文

（下）大豆栽培分布圖
北海道帝國大學に農學部がある。

【産業】農業は、本道の主要産業で、石狩平野は最も開け、耕地は概して大きく區劃され、機械力應用の大農法も行はれ開拓にア

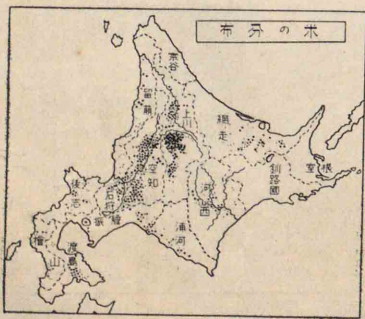


（上）移住民の土地開墾（S）
（中）大農法による耕作

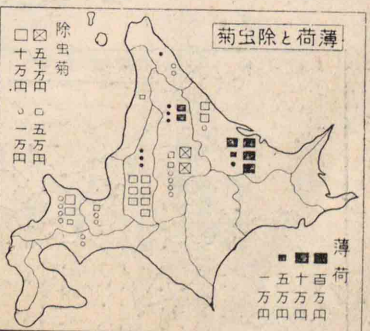
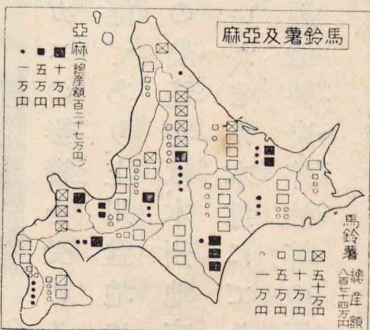
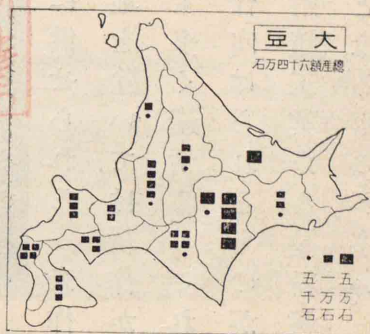


（下）米の分布

に供せられる。米作は、ガスの影響を受ける土地を除いては耕作が可能であり、上川盆地に最も多く産する。これ等の農産物は、本州地方へ仕向けられるものが多いが、また本道にてその附隨工業たる製粉、澱粉製造、製麻、搾油等の原料となるものが多い。



大豆・馬鈴薯・亞麻・薄荷・除虫菊の産額比較

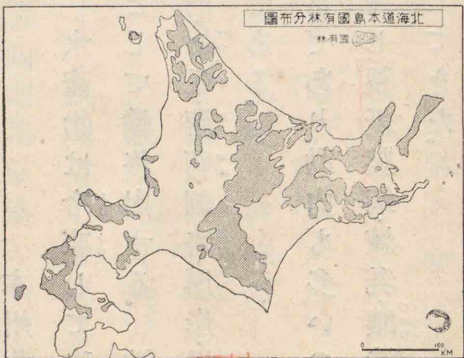
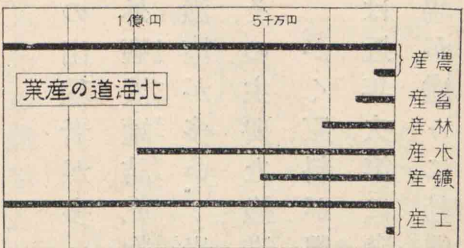


山地には原生林が多く、蝦夷松・榎松・檜等を産し、製紙原料のバルブ。建築用材・マッチ軸木等の諸用材に供される。國有林が多い。立木は冬に伐採し、融雪季に河岸から流下せしめるので、河岸河口に製材所又は集散地が多い。

石狩・十勝・日高地方の未墾の原野は、牧畜がよく發達してゐる。太平洋方面の原野では、馬の牧畜が盛で、白糠・新冠等は著名な牧場であり、大樂毛等は馬市で知られる。又石狩平野では、牛の飼養が盛で、乳

圖解 (上) 北海道の産業

圖解 (中) 北海道本島國有林分布

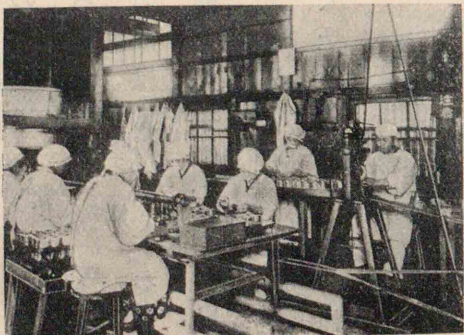


製品のバター・煉乳を産し、月寒等では、緬羊の飼育を試みてゐる。千島列島では、養狐業が行はれる。

鑛産は石炭を主とし、石狩炭田の夕張・新夕張・美唄等の諸炭坑が著名

圖解 (下) 札幌にある煉乳會社のバター製造工場

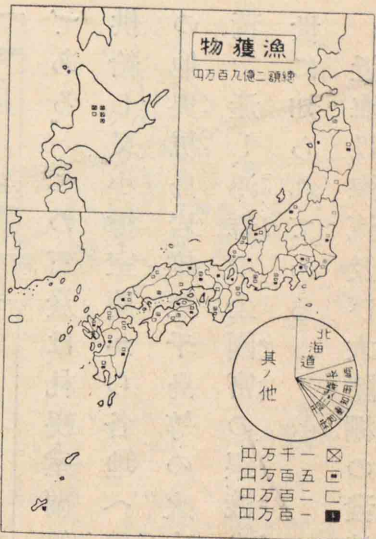
である。この石炭は、札幌・室蘭等の工業動力を供給し、又小樽・室蘭から各地へ積出される。その他、奥尻・島岩・雄登・千島等の火山地方からは、硫黄を産し、鴻舞の金、國富の銀、渡島半島の満俺も世に知られてゐる。



1 鯨は食料又は肥料として内地に供給される。

北海道帝國大學に水産専門部が置かれてある。

比較 (上) 漁獲物



富み、世界屈指の好漁場である。低温の水に適する鯨、鮭、鱈等の漁獲が多い。日本海方面は鯨、昆布、オホイ、ツク海方面は鱈、蟹、太平洋方面は昆布の産が多い。又石狩川、西別川等では鮭、鱈が多くとれる。漁期には、本州北部から

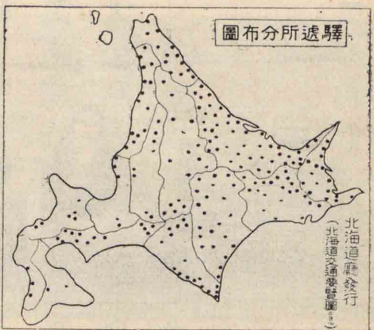


1 苦小牧・江別

破 (下) 鯨の漁

の出稼者が多い。水産物は冷凍して移出する外、鹽漬、罐詰乾物として輸移出する。沿岸には漁港が多い。岩内、増毛、留萌、釧路、厚岸、根室等は、その主要な漁港である。かく原料が豊富であり、動力も多いので、工業は近年次第に發達し、製紙、製鋼、煉乳、醸造等の工場が處々に勃興してきた。

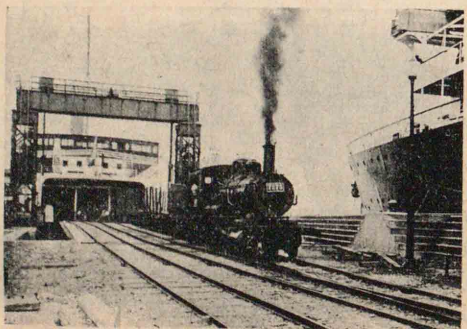
分布圖 (上) 驛遞所



交通 商業 拓植の進歩につれて、道路も次第に整つてきたが、交通の不便な地方には、まだ驛遞の制度が残つてゐる。鐵道は函館根室の兩本線を幹線とし、半島中央、低地、樺太の三地區を續け、宗谷線は樺太と連絡を保ち、網走、名寄の二線は北見地方に通じ、室蘭線は石狩、平野と膽振地方とを連絡してゐる。

本州の鐵道とは青函連絡航路の船で、樺太の鐵道とは稚泊連絡航路の船で連絡してゐる。

海上交通は比較的早く開けたが、良港の少ないのと、氣候の不良なため、その發達は著しくない。函館、小樽を中心として、沿岸定期航路及び他の内地樺太、中華民國等へも航路を有する。札幌にラヂオ放送局があり、落石、幌筈は東岸の



1 船車 (下) 船車の連絡

函館驛の棧橋に着いた處を示したものである。

小樽市に高等商業
学校がある。

（下）アイヌ
族の分布
数字は人口を示
したものである。

（右下）アイ
ヌ人の夫婦
婦人の口邊の入
墨に注意せよ。
左右の概室様も
のは寶器の人物
である。

主要な無線電信局の所在地である。

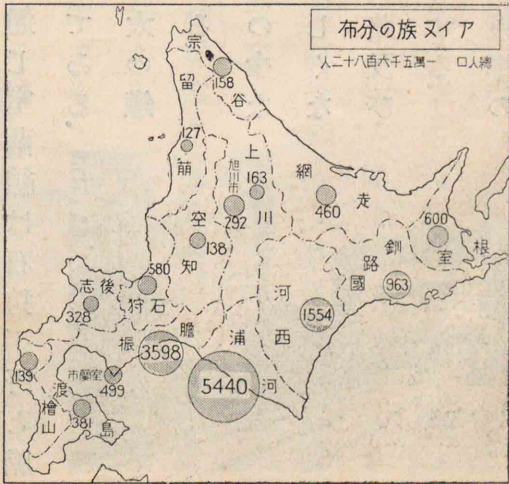
内地商業は函館小樽を中心として、
東京・大阪との取引が多い。函館・小樽
室蘭・釧路・根室はこの地方の開港で、水
産物を中華民國等へ輸出する。

住民政治

原住のアイヌ族は特別



な習俗を保存して、
日高膽振に多く分
布し、單純な農業又
は漁業に従事する。人口が次第に減少するので、
政府は保護法を設けてこれを保護してゐる。住
民の大部は内地からの移住民で、今は人口二百八
十萬に達するが、その密度は小である。開發が不
十分なので、府縣を置かないで、北海道廳を札幌に



置き、本市十四支廳に分けて治めてゐる。

三 處 誌

（下右）函館
市街

（下左）函館
市街
港内の一部を示
したものである。

函館に日魯漁業會
社及び函館船渠會
社がある。
函館の附近に湯川
温泉とトラピスト
修道院とがある。
福山は松前氏の舊
城下町である。

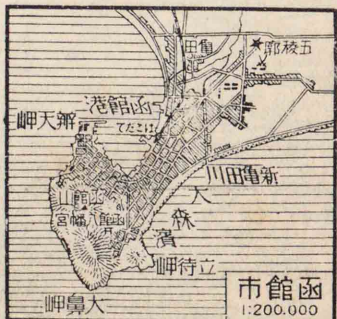
總説

肢節部は先づ開け、函館小樽室蘭の三
大開港は、みなこの地域にある。中央低地は産
業も進み、本島文化の中心で聚落も多い。 軀幹
部の盆地列は農産が多く、又鑛産も多いが、南東
部地方は氣候が不良で、特殊な農業以外は牧畜
及び漁業を主とする地域である。千島列島は、
わが國の領土の尖端で、人口は頗る少ない。

肢節部

渡島半島の函館市は、函館山と本陸
との間の連繫砂洲の上に發達した開港で、本島
の門戸である。水産物の輸出が多く、またソヴイ
エト領沿海州方面へ出漁の根據地である。附

北海道地方 處 誌

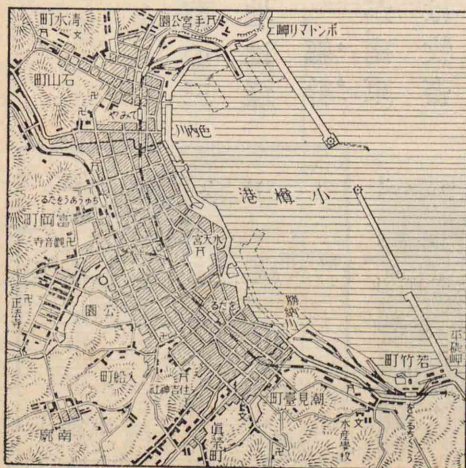


〔上〕余市附近
とれるたらばかに(S)漁獲したかにの陸揚げを示したもので、罐詰として米國等に輸出する。



〔下〕小樽市街

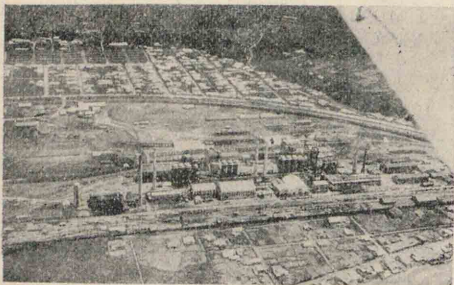
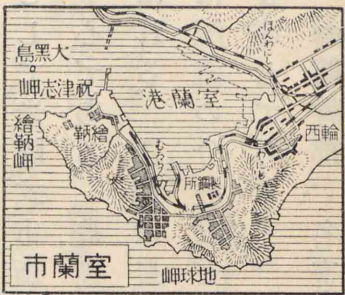
と樺太との間にある重要な開港である。この地は工業も次第に發達してきた。後志海岸は鯨の漁業が盛で、壽都岩内、美國等は漁期には各地方から漁夫が入り込み、活氣を呈したが、今は水溫の變化で漁獲高がへり、市況も衰へた。



〔上右〕室蘭市

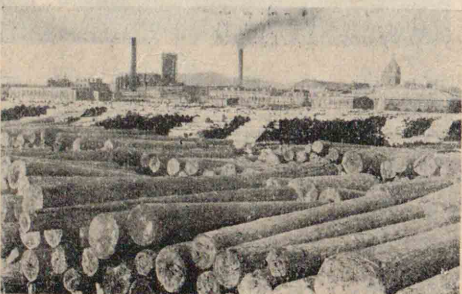
〔上左〕室蘭にある輪西の製鐵所の全景(K)輪西の製鐵所は日本製鋼所から分離獨立した。

〔下〕苫小牧にある製紙の工場

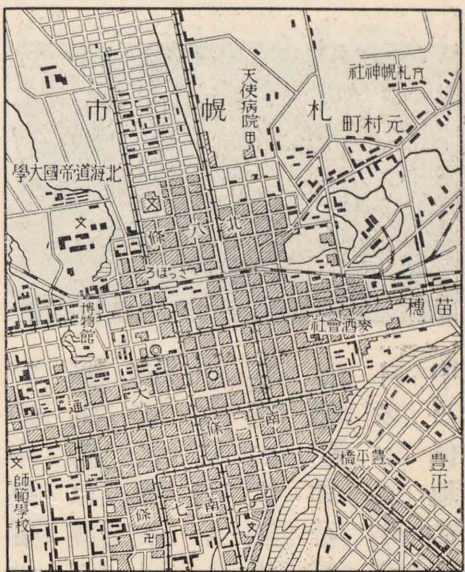


内浦灣口の室蘭市は、地形は函館に似てゐる。室蘭本線の起點地で、石炭木材を輪移出する。本市には壯大な日本製鋼所の室蘭工場と輪西にある製鐵所とがある。青蘭連絡船は、毎日一回航海する。登別温泉は清閑で設備のよい温泉地である。

中央低地 南部の膽振地方は、輕石層の低濕地が多く、まだ十分に利用されてゐない。苫小牧には製紙の大工場があり、追分は鐵道の分岐點に位し、コークスの製造で知られる。中央低地の大部は、石狩平



街 (上) 札幌市
街 (下) 札幌附近の牧場



として米國式市街をなしてゐる。本道の首府で、教育・拓植工業等の中心である。農産物の取引が多く、醸造・製麻・製粉・煉乳等の工業が行はれる。江別は農産の集散があり、また製紙業が行はれ、岩見澤・瀧川は鐵道の分岐點であり、その東方夕張山脈内には幾多の炭坑聚落が発達してゐる。

③ 軀幹部 名寄・上川・富良野の盆地が、一列に南北に連り、農産殊に

1主として上川・富良野盆地を主とする。

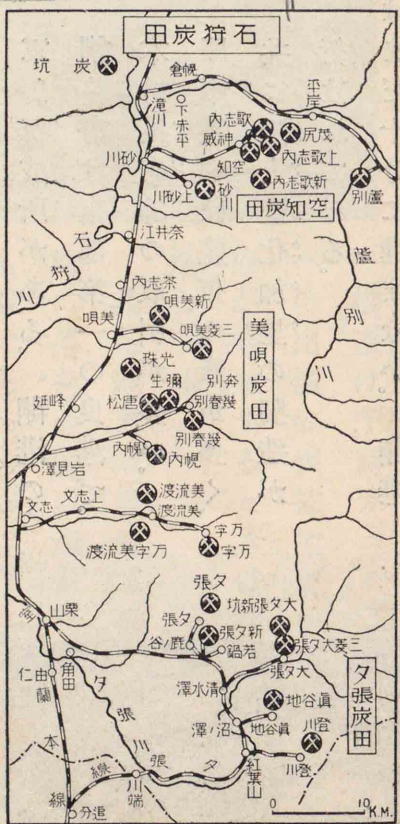
田 (下) 石狩炭

街 (上) 旭川市



北海道地方 誌

米の産が多い。名寄盆地の中心名寄は交通の要地で醸造業が行はれる。旭川市は上川盆地にある新市街で、市



街はよく整ひ、交通の一中心地である。醸造業が行はれ、米材木の集散地である。市の東部には屯田聚落の街村が発達してゐる。上川盆地地方から十勝平野に出る根室本線に沿ひ落合があり、原生保存林の所在地である。その附近には狩勝高原があり、その眺めは頗る雄大で、大陸的景觀を呈する。

（上右）甜菜



十勝平野は畑と牧場とが多く、農耕には畜力トラクターを使用する大農法を用ゐ、大豆、甜菜、亞麻を多く栽培し、帶廣池田はその中心で、帶廣に製糖池田にバルプの工場がある。十勝釧路根室の海岸は、ガスの影響をうけ、農作は困難である

白糠に

軍馬育成所がある。開港の

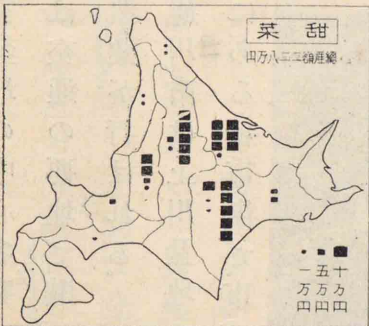
釧路市は東部第一の良港で、

木材、昆布等の取引が多い。

厚岸濱中は昆布の産が多く、

共に沃土、鹽化カリの製造が行はれてゐる。

根室地方は開拓はまだ十分に進まない。開港



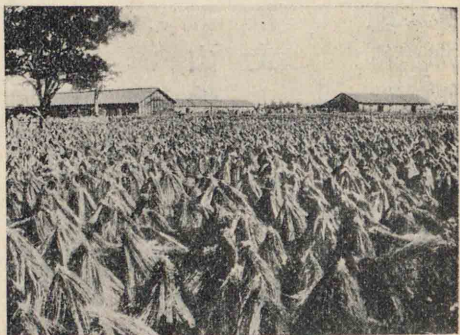
（下）帶廣市 街の一部 明治十六年移住民十三戸の來住があつてから次第に發達し今は人口約三萬に達してゐる。

（上左）甜菜 産額

（上）根室市

街の一部 主要街を示したものである。

（中）亞麻の 乾燥



の根室は、千島カムチャッカ半島方面への出漁の根據地である。冬季港内が結氷するときは花咲港を補助港とする。北見地方は雑穀工藝作物が多く、殊に薄荷、亞麻の産が多く、また林業も盛である。網走は北見第一の

商工市で、水産物等を産する。野付牛は新興の町である。北西の天鹽海岸は、鯨の漁業が盛で、増毛

留萌はその中心である。稚内は本道の最北の要

港で、稚泊、稚斗の兩連絡航路で、樺太と連絡する。

千島列島 オホーツク海の外縁にあり、三十

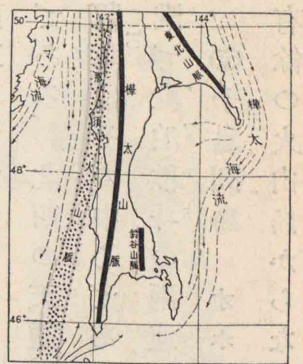
有餘の火山島からなる。高緯度に位し、千島海流



（下）留萌港 港の中央に見ゆるは鯨船である。千島列島は、經濟上の價値が少なく、將來航空交通上の要地となるであらう。

古守島はわが國の最東端阿頼度島は最北端に位する。

(上) 山系圖



樺太地方地文

は近海を流れ農耕に適しないが、近海は鱈、鰹及び海獣の獵獲がある。擇捉島の紗那は、列島の主邑で漁業の中心地である。

第八章 樺太地方

面積 三六〇八九方呎
人口 二九萬人

一 地 文

位置 邦領樺太は北海道本島の北に位し、北緯五十度線によりソウイェト聯邦領と境し、オホ

(下) 幌内川の川口

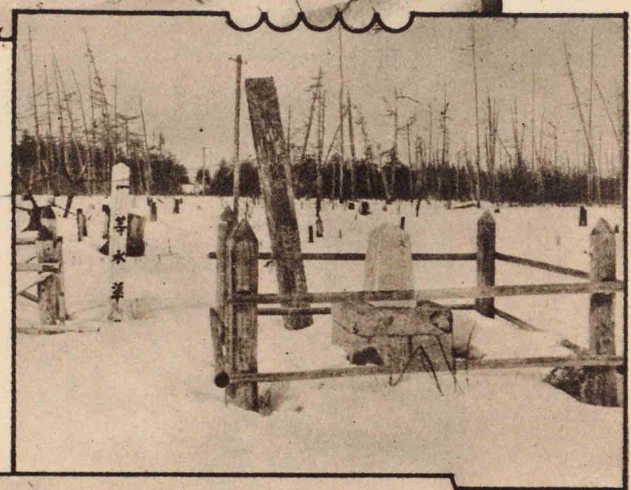
地形を西部山地・東部山地・中央低地の三にわけ。

ツク海間宮海峽に挟まれた細長い島である。地形 西部山地には、本島の主軸山脈である。樺太山脈が縦走し、真縫久春内の地峡部では高さは小である。北部に鵜城火山群を伴つてゐる。東部山地には、北に東北山脈、南に鈴谷山脈があるが、多來加灣の陥没により二分されたもの



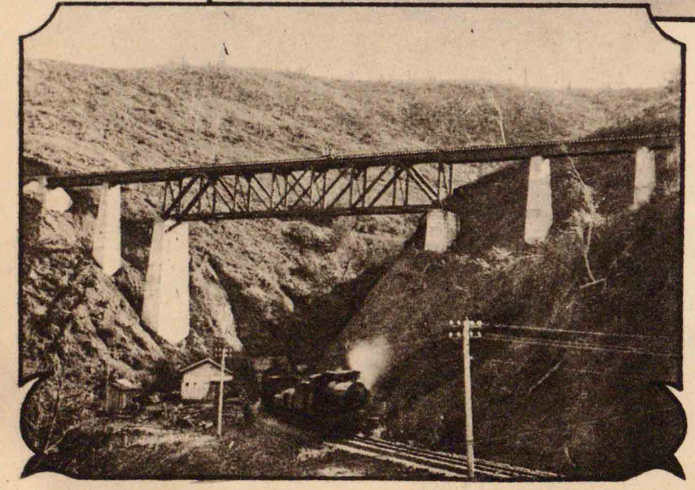
馴鹿

☆ 樺



星野にある
第三天測境界標

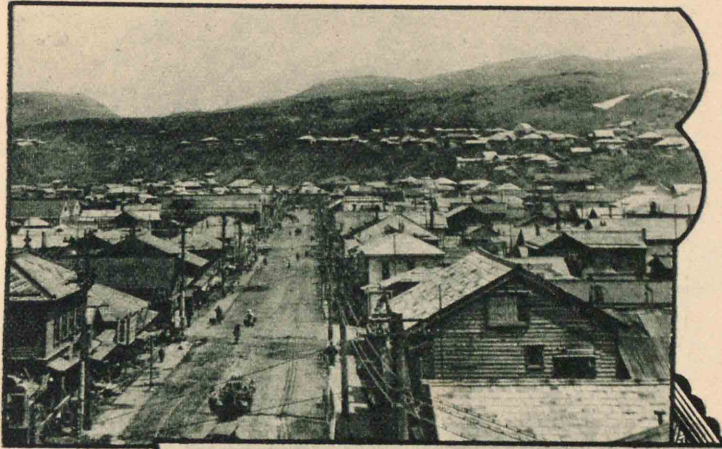
☆



豊真線のループ線

☆

眞岡町の主要街



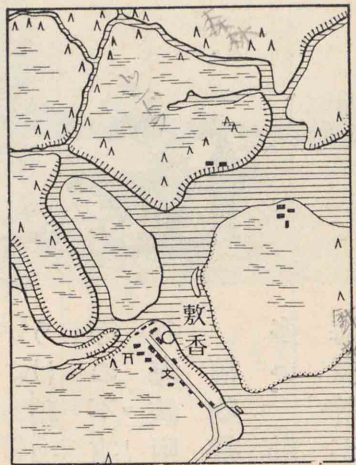
豊原市街の一部



大泊港驛全景



（上）敷香と幌内川の川口を圖示したものである。



（下）内淵・鈴谷兩河谷・榮濱から鈴谷川口まで一つの通谷をなしてゐる。1海豹島・海馬島は主な島である。



狩獵が行はれるにすぎない。一つの通谷をなし、農業に適し、この地方文化の中樞をなしてゐる。海岸は概して單調で、東に多來加灣、南に亞庭灣があり、共に弧状をなし、砂濱には潟湖が發達してゐる。西海岸には處々に隆起による海段丘が發達する。島嶼は少ない。

のである。鈴谷山脈と中知床半島との間の低地には、富内湖等の一小湖群が發達してゐる。この東西兩山地の間には、中央低地が南北に發達し、縦谷平野を形成する。北部は幌内川流域平野で低濕なツンドラをなし、馴鹿の放牧と森林の

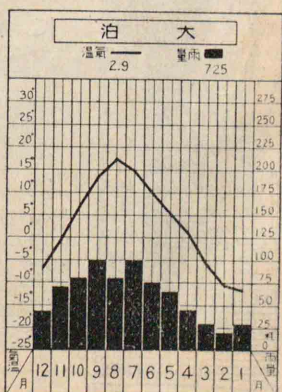
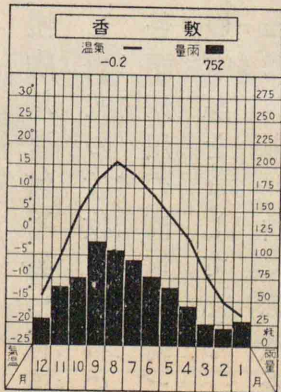
【(下)大泊】
敷香の雨量と氣温

【(上)馴鹿】
オロッコの子供と馴鹿(S)馴鹿は土人にとつては大切な獸で低濕地にすみ、蘚苔類を主食としてゐる。



【氣候】生物 高緯度にあるため、一般に寒氣が厳しく、雨が少ない。わが國の少雨地帯の一である。晝間の短い冬と夜の短い夏とが長く続き、春秋の候は短い。冬は一寒六温のため、多少寒さに和らげられる。東海岸は、樺太海流のため冬海面が凍結し、

また流水が多いが、西海岸は對馬海流の影響をうけ、稍、温暖で、真岡、本斗等の不凍港がある。宗谷海峡附近は、ガスが多く發生し、航行を妨げる。植物帯は北海道東半に類似し、針葉樹林が頗る多い。動物は舊北區に屬し、馴鹿、狐、貂、狼、海狗、海驢等がすんでゐる。



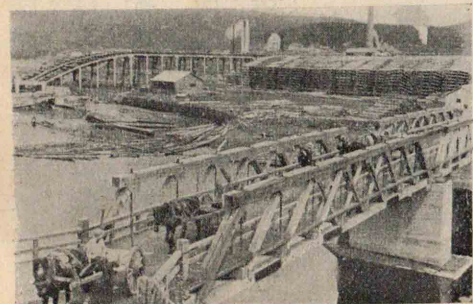
【(上)パルプ】
及び洋紙の工場分布圖
甜菜・亞麻の栽培も有望視されてゐる。

【(下)知取】
ある製紙工場(富士製紙會社の工場である)。



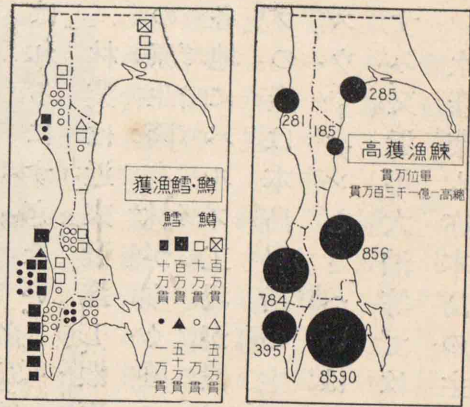
麥類、馬鈴薯等を栽培し、南部中央低地帯及び西部海岸低地に僅に行はれるにすぎない。

林業は近來發達し、蝦夷松、榎松、落葉松、樺、白楊等の原生國有林が多く、盛に製材、パルプに利用され、各地にパルプ工場が設けられてゐる。製紙、パルプの産は本島屈指の主要産業であるので、日本のスウェーデンとさへいはれる。森林には毛皮獸がすみ、又近年大泊等では養狐業も盛となつた。水産業も亦本島の主要産業である。この地方



二人文

（上）鯨・鯨の漁獲高

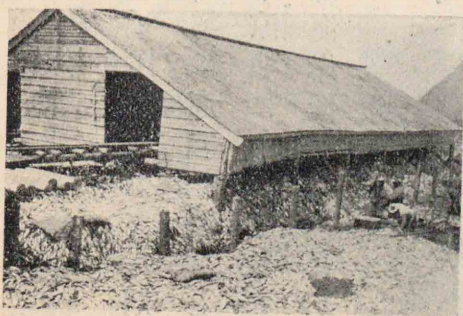


は屈指の好漁區で、寒帶性の鯨・鮭・鱈・鱈・蟹・昆布等を産し、沿岸の都邑は多くは漁港で、漁期には内地からの出漁者は急に増加する。海豹島には海獸の繁殖所があり、國際條約により、その濫獲を禁止、保護増殖に努めてゐる。

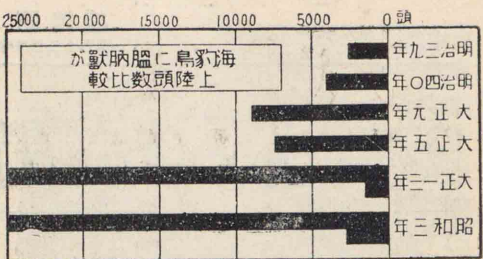
鑛産には、石炭が各所に埋藏されるが、内に埋藏されるが、石油も有望視されてゐる。工業はまだ十分發達しない。僅前に前記の林産水産加工の工業の外、他に見るべきものが少ない。

（下）鯨の陸揚げ(S) 眞岡に於ける鯨の集積状況を示したものである。

交通 商業 陸上交通は、近時次第に改良され、自動車網も密となり、鐵道航路と相まつて、各地



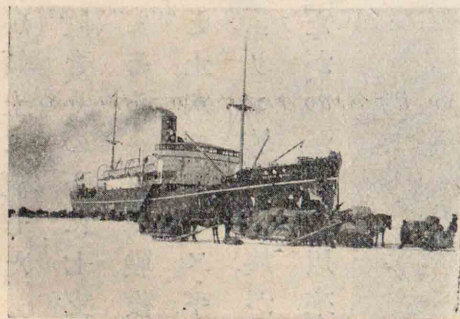
（上）海豹島に臘脂獸が陸揚げ比較頭數比較 (S) 海豹島の臘脂獸の繁殖狀況を示したものである。



への旅行も、たやすくなつた。鐵道は南部低地帯を北上する樺太廳經營の縦貫線と、西部海岸線とが先づ開け、近時横斷線の豊眞線も全通し、東西兩縦貫線が連絡するに至つた。この外、樺太鐵道等の如き私設鐵道もある。

（下）大泊の水上海役 内地には魚類・木材・バルブを移出する。 結氷の際は碎氷船を使用する。

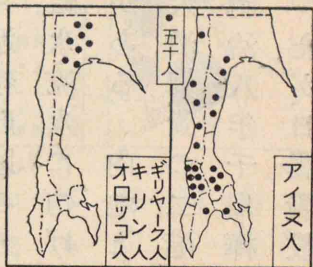
航路も稚泊稚斗連絡航路の外、内地の諸港と交通するが、冬は結氷流水に妨げられる。大泊には無線電信局がある。内地との取引が盛であり、外國貿易は大泊眞岡の二港で行はれる。政治 住民 明治八年千島樺太の交換で、一時ロシヤ領となつたが、日露戰役の結果、北緯五十



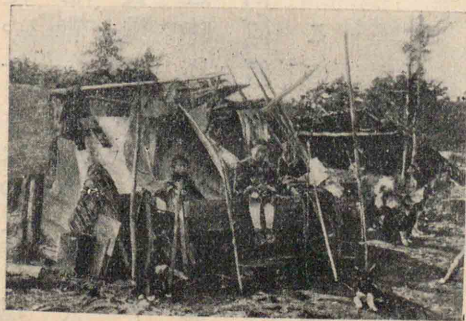
（上）日露國境線
天測境界標・中間境界標・木標等の位置に注意せよ。

（下）ギリヤーク族の天幕生活（S）
夏季の生活を示したものである
幌内川平野にはギリヤーク族・オロツコ族がすみ、幌内・鈴谷の兩平野にはアイヌ族が多い。

國境線
一分万十二百尺縮



政府は内地人の移住を奨励した結果、今は人口約三十萬に達し、奥羽地方からの移住者が多い。南部低地帯と西部海岸地方とに多く分布するが、まだ人口密度は頗る小である。土人は文化の程度が低く、その人口も減少しつつある。



度以南は再びわが領土に復した。豊原に樺太廳を置き、その下に七支廳を置いて治めてゐる。日露戦役以前は、ロシヤ人と土人のアイヌ・ギリヤーク・オロツコ・キリン等の諸族が住むのみであつたが、わが領有以來、

（右）大泊港
大泊港の一部とその附近市街を示したものである。

（下）豊原市街



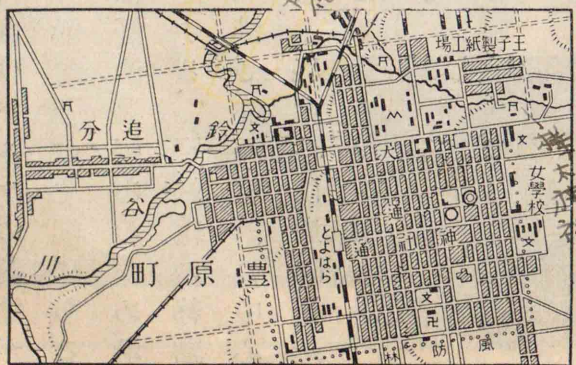
へ、又純粹にパルプ製造都市として發達してゐる都邑もある。

南部中央低地 大泊は、亞庭灣頭にある開港で、本島の南門であり、木材水産物を集散する。豊原は、鈴谷平野の中心にある新開の市街で、政治文化の中心である。町割りには直交

三處誌

（總説） 域内は新開地の景觀を呈し、人口密度も小で、まだ大都市の發達を見ない。海港又は

政治市として發展の基礎を有するものもあるが、多くはパルプ製紙工業のため繁榮の度を加へ、又純粹にパルプ製造都市として發達してゐる都邑もある。



樺太地方 誌

鐵道は落合からわかれ、更にオホーツク海岸を北上し、眞鏡・元泊を経て知取地方に行く。

眞岡市街の一部(K)



れてゐる。その他野田・泊居・惠須取等の小邑が

發達してゐる。北部中央低地帯 幌内平野は、今なほ不毛の地方が多い。敷香内路は多來加灣に臨み、毛皮の集散地である。

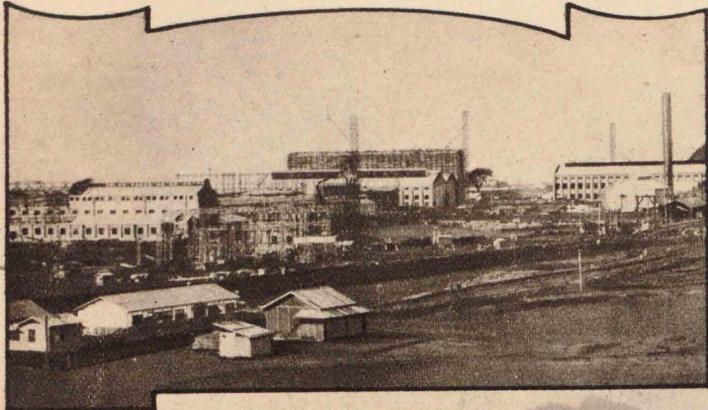
式で整然としてゐる。落合はバルブの製造が盛であり、榮濱は南部中央低地帯の北端にある。西部海岸地方 近海は好漁場であるため、沿岸には幾多の漁港が發達する。豊眞線の終點眞岡は、西海岸第一の不凍港で、交通・經濟の中心であり、漁港としても榮える。本斗は近時築港が完成し、稚斗連絡船の起點地であり、將來有望視さ



敷香市街の一部(S) パラツク建ての市街に注意せよ。

咸興南道興南にある

朝鮮窒素肥料會社の全景



京城市街の一部ミ 北漢山



人蔘根の撰擇作業

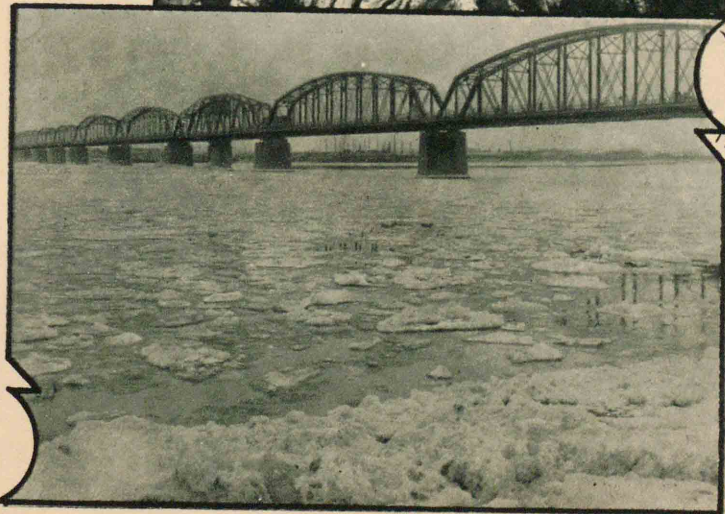
白頭山頂にある
天池



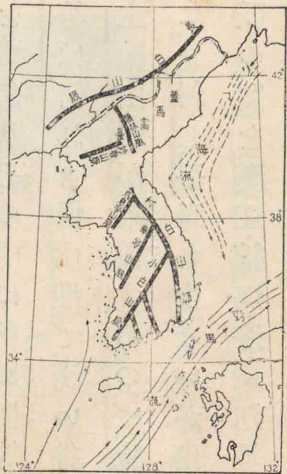
外金剛
萬物相五峯山



鴨綠江の開閉橋と流水



（上）山系圖



北部朝鮮とは主として大同江口から永興灣に至る線を結んだ以北の地方をさす。

（下）白頭山頂の火山湖（S）龍王潭を示したものである。天池ともよばれ、一大火山口壁で圍まれてゐる。

第九章 朝鮮地方

面積 二二〇四一平方
人口 二一〇五萬人

一 地 文

【位置】 朝鮮は、アジア大陸の東部の一
半島で、日本海と黄海とをわけ、南は朝鮮海峽を隔てて内地に對し、北は鴨

綠豆滿の二江で、滿洲及びソヴェエト聯邦領と境する。その位置が内地、滿洲、ソヴェエト聯邦領の間にあるので、わが國防上大切な地方である。

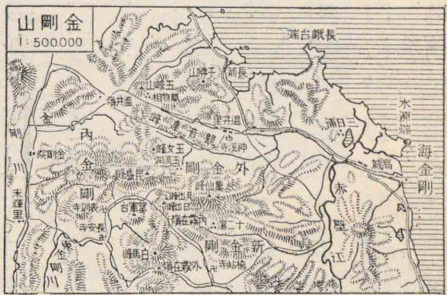
【地形】 北部朝鮮 北に長白山脈が斜に國境

附近を走り、その首峰白頭山は、半島第一の高山で、頂上には火山湖を湛へてゐる。妙香山脈は南に並行し、狼林山脈は南北に走り、狼林山脈の東西に熔岩臺地の蓋馬高臺が發達してゐる。

朝鮮地方 地 文



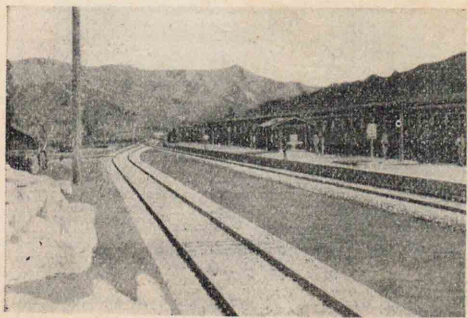
朝鮮 (上) 金剛山



その他、馬息嶺山脈・車嶺山脈等がある。

(下) 秋風嶺 京釜本線の秋風嶺を示したものである。その背後の山脈に注意せよ。

を横ぎり、その中に秋風嶺等の峠がある。これ等は何れも低山性で、浅い谷を發達させてゐる。主軸山脈が東偏するので、東側の土地は日本海に急斜し、平野も少ないが、南西側は、これ等小山脈の間を、漢江、錦江、洛東江等の大河が流れ、下流に豊沃な平野をつくる。一般に西岸の河口は、

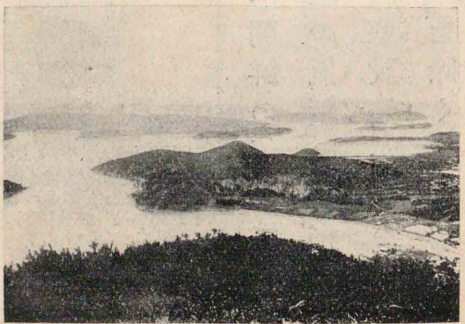


三角江をなしてゐる。

日本海岸は出入に乏しく、唯永興、迎日の二灣があるにすぎないが、黄海朝鮮海峽海岸は出入

が極めて多く、濟州島を首め、大小無數の島が散在し、この南西海岸は朝鮮多島海の稱がある。

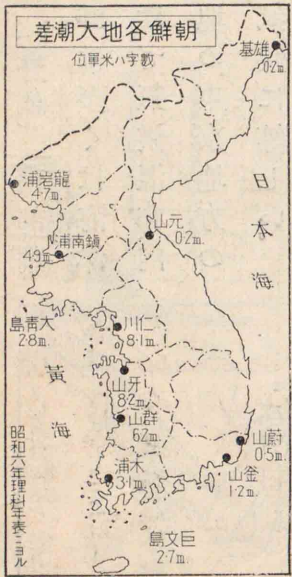
又東岸は潮汐干満の差が殆どないのに、西海岸はわが國第一の差を示し、殊に仁川附近は最も甚しい。仁川港では、このために船の出入も頗る不便なので、特別な築港をなし、閘門式船渠を設けて、その缺點を補つてゐる。



(下) 朝鮮南西部の多島海の一部 半島島嶼の多いのに注意せよ。



(上左) 朝鮮各地大潮差

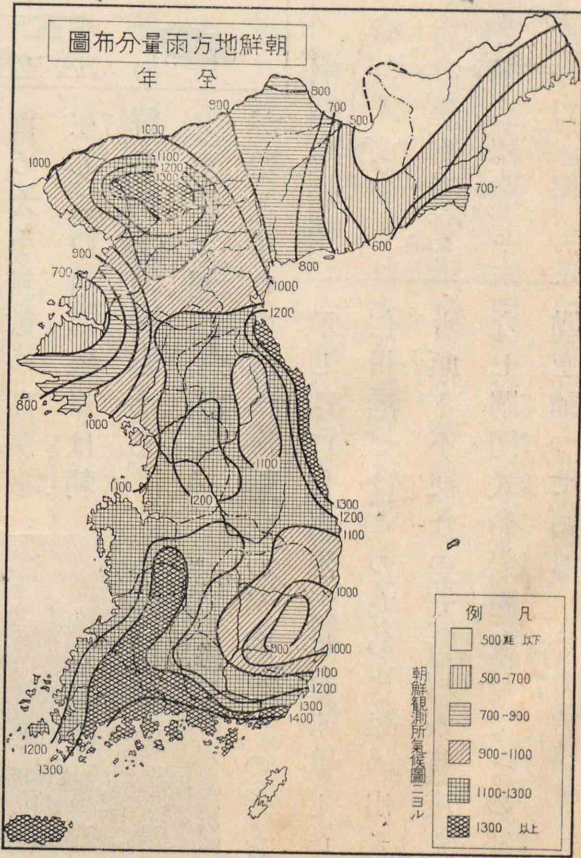


氣候 南部朝鮮

鮮は多くは海洋性で氣候溫和内地の東京地方の氣候に等しい。

しかし北進するにつれて氣溫が下り北部朝鮮ではアジヤ大陸の影響をうけ冬は

河海が氷結し氷上に車馬を通じ得られる。北部朝鮮の氣候は概して南滿洲の氣候に似か三寒四溫もアジヤ大陸の氣壓の變化によつて生じる。朝鮮の家屋にはオンドルといふ防寒設備がある。雨は七月頃に多く一年間の雨量は東岸と南岸を除く外は一般に



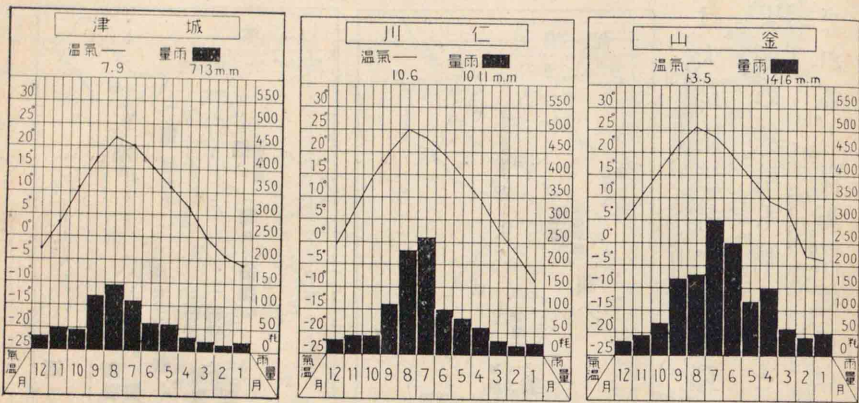
朝鮮地方雨量分布圖

(中)平壤の

昭和四年十二月から同五年一月の毎日平均氣溫比較を示したもので三寒四溫の現象があることに注意せよ。

(上)釜山・仁川・城津の氣温と雨量

(下)漢江の氷結 氷上の車馬の通行に注意せよ。

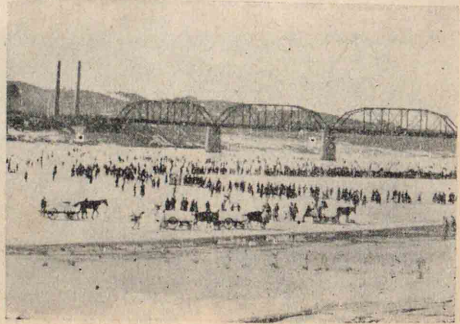
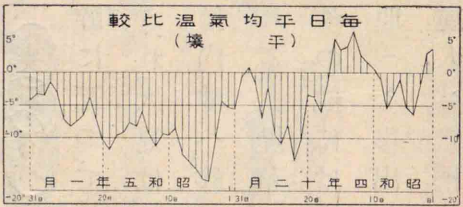


朝鮮地方地文

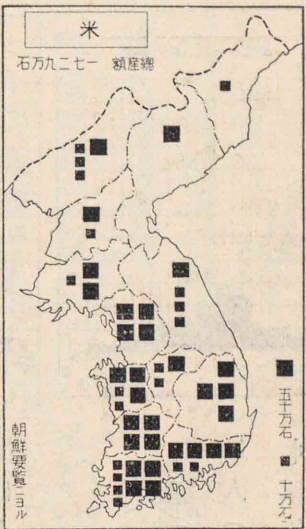
少ない。随つて西岸には天日製鹽が行はれる處がある。多島海附近は濃霧が多く起り一年間に七十日内外に及び航海者を苦しめる。

二人文

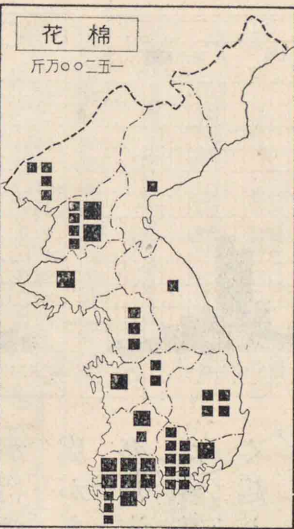
産業の農業はわが政府の指導奨励と内地人の移住によつて改善されその産額も逐年増加するに至つた。米と棉とは比



道産額比較 (上下) 米各



各道産額比較 (上左) 棉花



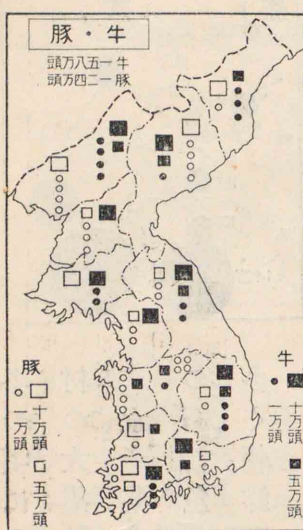
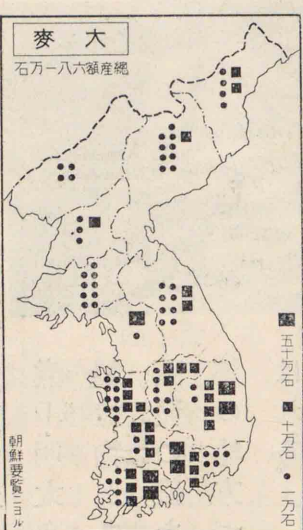
群山 (左下) 米の移出

は大邱附近等に多く産し、洛東江流域その他には、果樹の栽培も漸く盛となり、苹果は内地へも移出される。開城附近には人蔘を産し、高麗人蔘と稱



較的高温な南鮮地方に産する。米は大邱、大田、全州、光州等を集散地とし、群山、木浦、釜山等から内地へ移出する。棉花は光州地方を主産地とし、著しく改良され、米國棉の栽培も行はれ、木浦はその積出し港である。麥、粟、大豆は全鮮に互つて栽培され、大豆は多くは内地へ移出される。煙草

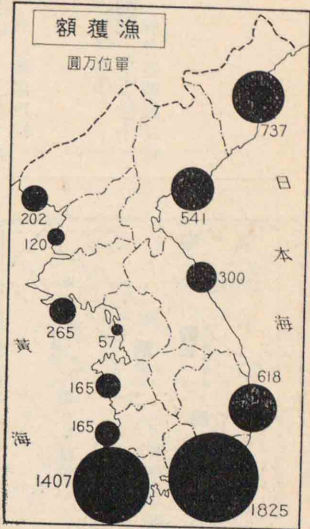
して中華民國及び内地へ輪移出する。養蠶も各地で行はれてゐる。中北部の原野では、牧牛が盛である。牛皮及び生牛は、内地へ移出される。なほ豚の飼養も盛である。



林野面積は廣いが、南鮮は濫伐のため、秃山が多かつた。併合後政府の奨励によつて、今は盛に植林されて、その林相を一變するに至つた。北鮮の鴨綠、豆満の兩江流域には、紅松、唐檜、落葉松等の針葉樹の原生の美林がしげり、秋

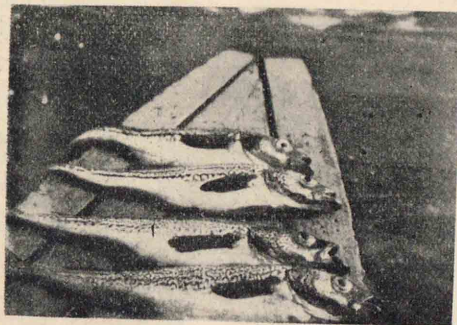


の針葉樹の原生の美林がしげり、秋

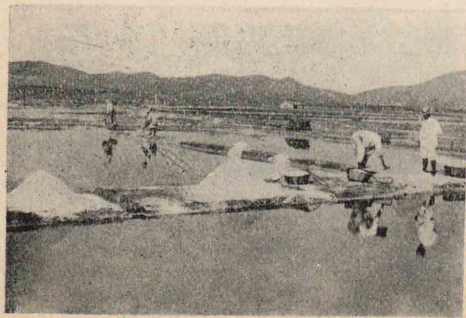


高比較 (上下) 漁獲

魚 (上左) 明太 (下) 廣梁灣に於ける天日製鹽



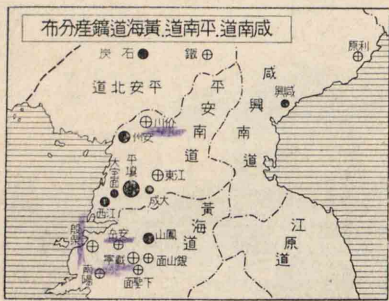
冬の頃にきり、夏に筏として流す。新義州は木材の大集散地で、製材及び製紙の工場がある。水産業も次第に發達し、日本海の明太魚、黄海の石首魚は朝鮮族の賞味する魚で、その漁獲が多く、朝鮮海峡には鱈、鰻等がとれる。中國地方及び北九州地方からの出漁者が多い。鱈の煮干、明太魚の素乾等の水産製造物がある。雨の少ない蒸發の盛な西海岸の廣梁灣等の地方では、天日製鹽が行はれる。鑛政を刷新し、鑛床の調査を重ねたので、各種の鑛山が開發されるに至つた。鑛産



の鹽田分布 (下) 廣梁灣

京城に高等工業學校がある。

(上) 咸鏡南道・平安南道・黃海道鑛産分布



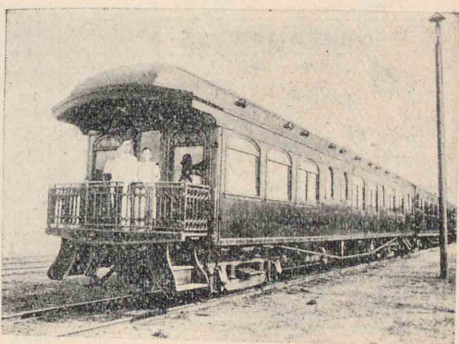
は殊に北西部に多い。金は雲山、昌城、三成に、鐵鑛は安岳、下聖、載寧、殷栗、价川に、石炭は寺洞に、黒鉛は長興等に主として産する。鐵鑛は兼二浦、八幡の兩製鐵所に供給され、寺洞炭は徳山の海軍燃料廠に送つて煉炭とする。



工業は従來簡易な衣食用の小手工業にすぎなかつたが、移住の内、地人により、近代式の大工業が起つてきた。紡織製材、製鐵、製紙、窒素肥料等は、その主なものである。また製粉、甜菜製糖も注目に値するやうになつた。交通商業 鐵道は次第に開け、多くは標準軌道である。半島を斜に縦貫する京釜、京義の二幹線が通じ、内地と滿洲とを連絡し、歐亞交通幹線の一部をなしてゐる。湖南線は大田から木浦に通じ、京元、咸鏡の兩線は北東部に走り、更に

鐵道軌道の通じない地方は、自動車でも最も近くの鐵道と連絡させてゐる。

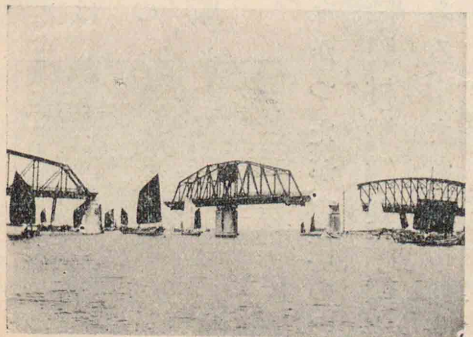
（上）標準軌道の列車(S) 四呎八時半の軌幅である。展望車を示したものである。



咸鏡線は將來吉會豫定線に連絡する豫定である。この三線は、京釜・京義の二縦貫線と略X状をなし、中央部と北東南西の二海岸地方とを連絡する。鴨綠江には開閉式の國際橋をかけ、京義線と安奉線とを連絡する。海運は鐵道連絡船の外、仁川・釜山・元山を中心とし、内地北支に航路を開き、また沿岸航路も發達し、

（下）鴨綠江開閉鐵橋(S) 全長三〇九八呎の廻轉橋が時を定めて十字に開閉し、船舶を通ずる。

今では海陸の交通が不便を感じないやうになつた。定期航空路は内地から蔚山・京城・平壤を過ぎて大連に至り、また京城にラヂオ放送局がある。海底電信も亦各地へ通ずる。都市以外では常設の商店が少く、定期に市を開いて日用品を賣買してゐる。大邱の市は殊

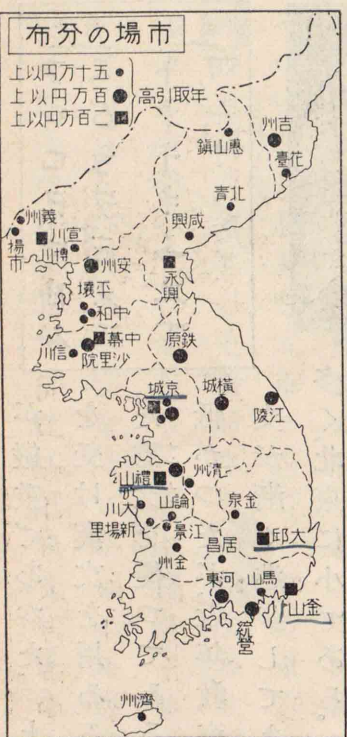


京城に高等商業學校がある。

（下）大邱の市場(S) 西門市場で二七の日に開く。農産林産畜産等の取引がある。

無線電信局は、京城・濟州島・木浦附近・釜山等にある。

（上）市場の分布



朝鮮地方人 文

に名高い。しかし近頃内地風の常設の店がましてきた。内地との取引は、多くの加工品を移入し、食料品原料品を移出する。釜山・木浦・群山・仁川・鎮南浦・龍岩・浦新義州・元山城津・清津・雄基は何れも開港場であるが、殊に釜山と仁川とは半島に於ける二大門戸である。

住民政治 朝鮮は併合後既に二十年になるが、内地人の移住はまだ四十萬にすぎない。北



九州及び瀬戸内地方の者が多く移住してゐる。住民の大部は朝鮮族で、その容貌體格等は、内地人によく似てゐる。従來は嚴重な階級制度

（上右）諺文

音子	フ	レ	ロ	日	人
ス	ハ	シ	ヨ	ニ	エ
ト	ト	イ	ヨ	ト	山
母	ト	ト	イ	ヨ	ト
音	ト	ト	イ	ヨ	ト

（下）朝鮮總督府（S）白大理石造の大建築物である。

（上左）朝鮮族もとの兩班の家庭を示したものである。服装に注意せよ。

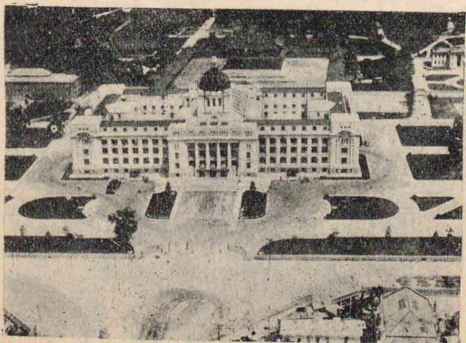
朝鮮人は兵役の義務を持たない。



朝鮮軍司令官は軍事をすべてである。

が嚴重であつた。上流社會では支那の影響を受け漢文を用ゐるが、庶民はわが「かな」に似た諺文を使つてゐる。概して文化の程度が低かつたが、近年教育の普及に努めた結果、人文が漸く進歩してきた。人口密度は南西に多く、北東に小である。生活の安易を求め、ために滿洲及び内地に移住するものが多い。

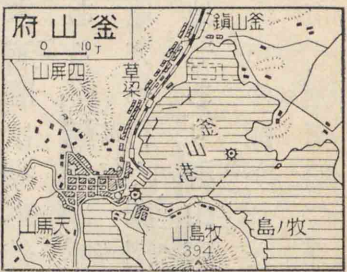
京城に總督府を置き、總督が政務を統轄してゐる。地方を十三道にわけ、各道に知事を置いてゐる。道の下に府と郡とがある。



（上）釜山府牧ノ島はまた絶影島ともいふ。

慶尙・忠清・全羅の各道を三南地方ともいふ。

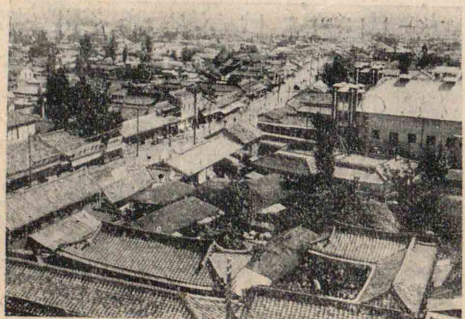
（下）大邱市街（S）驛前中央通を驛の附近から南に望んだもので、右方の大建築物は鮮南銀行である。



發展につれて城廓を撤去したものがあつた。

南部朝鮮 南東部は、主として洛東江流域

その中心で、有名な大市がたつ。その東方の慶尙は新羅の舊都で史蹟が多く、浦項は迎日灣頭に位し、漁業の中心である。釜山府は、半島の南門で、牧ノ島を前にした安全港で、船車の連絡がよい。水産物の集散が行はれ、内地人も多く住み



三處誌

概説 人口密度は南西部に多いので、聚落も主に南部と西海岸とに多く、北東の山地には少い。都會は沿海河畔に多く、商工業の發達した都市は少い。從來多くは城廓市街であつたが、近年その

市街(S) 市街は放射状に
擴がり、整然た
る軍事市であ
る。

市街(K) 内地化した市街
に注意せよ。

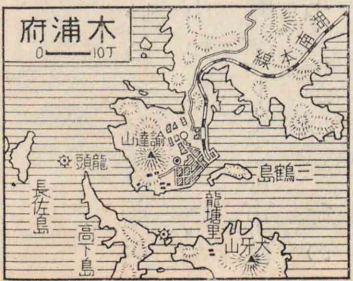


内地風の都會である。その北東に東萊溫泉がある。馬山府は水産物の取引が行はれ、鎮海は海軍の要港で、朝鮮海峽に於ける軍事上の根據地である。

錦江榮山江の流域は、米を多く産し、また棉もできる。

市街(K) (左下) 木浦府

木浦府は湖南線の終點で、米、棉、水産物の積出し地である。麗水は麗關連絡船の起點地で内地から湖南地方へ行く關門である。光州全州は農産物の集散地であり、群山府は米の移出港である。江景はもと大市の開かれた處であり、大田は内地人移住の新興市で、湖南線の分岐點に位する。



中部朝鮮には便宜
上京城・黄海・江
原の三道地方を入
れる。

市街 (上) 京城市

市街(K) (下) 南大門
附近(下) 南大門
南大門は、舊京
城の南口の正門
である。



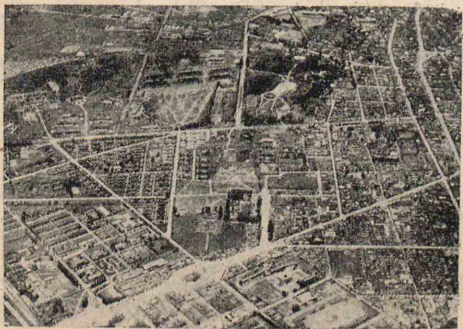
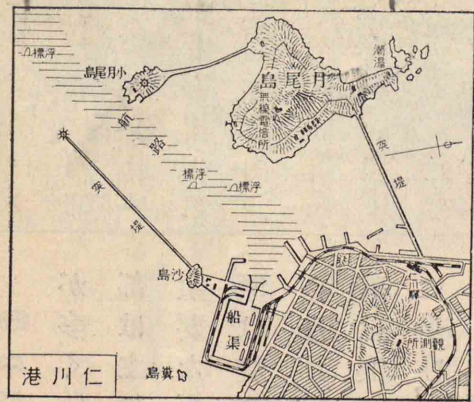
繞らし、半島の政治學術經濟軍事等の中心である。朝鮮神宮昌德宮朝鮮總督府京城大學等がある。市街は近頃改修し、内地の大都市に比べて見劣りがしない。府内の龍山は新興の市街で、軍事交通の要地である。



中部朝鮮 東部は山地が多く、牧畜が行はれるが、西部は主に漢江流域で、半島の主要な經濟地域である。水原は農産の集散地であり、また農事試驗場がある。京城府は漢江に沿ひ、三方に山を

京城の外港の仁川府は重要な開港で内地及び中華民國との取引が多い。開城府は高麗の舊都で人蔘の産地であり沙里院は米大豆等の取引がある。

北部朝鮮 西北部 大同清川鴨緑の諸江流域地方で生産力も大で聚落もよく發達してゐる。平壤府は大同江岸に位し北鮮の中心形勝の地であるため古來屢戰場となつた。兵器砂糖の工場があり、附近から石炭を産する。其外港鎮南浦は鐵礦石炭を積出し、氣二浦には製鐵所があり、平壤と共に北鮮の工業地域である。鴨緑江畔の新義州府は朝鮮の北門で安東に對し、木材バルブ、



圖解 (上)仁川港
街(K)
左下は平壤驛、右に向ふ道路は停車場通りである。

圖解 (上下)兼二浦にある製鐵所

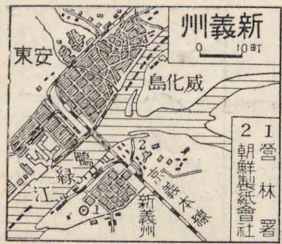


洋紙の製造が盛な開港である。鴨緑江口に開港の龍岩浦があり、木材を集散する。東部 咸鏡地方で山地が多く、林業牧畜業が盛であり、沿岸平野の外は都邑の發達も少い。吉會鐵道が開通すれば、北滿洲との交通が開け、内地の日本海方面の諸港への仲繼地として活氣を呈して行く。

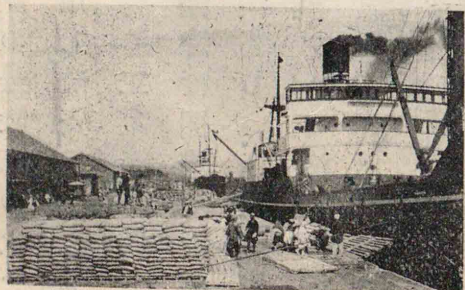
圖解 (下)元山港の埠頭

圖解 (上左)新義州市街略圖

元山港と山陰地方の境港とは航路の連絡を有する。



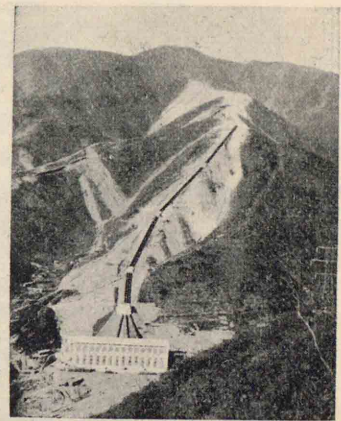
るであらう。元山府は永興灣を控へ、裏朝鮮第一の都會で牛、明太魚等を集散する。咸興府は同名の平野の中心であり、西湖津を外港とし、大豆畜産物の取引が多い。その後背地の城川江の上流域は、



(上下) 赴戦江の発電所略圖



(上左) 松興第一發電所(S)赴戦江の水を引いて發電してゐる。(朝鮮窒素肥料會社經營)



(下) 羅南にある兵營第十九師團司令部が置かれてゐる。

開港の雄基は慶興と共に國境の要地である。蓋馬高臺の森林中には火田民が多くすみ、燒畑で麥類等を耕作してゐる。

は元山につぐ開港で會寧をへて、滿洲國の間島に入る門戸であり、近年著しく發達した。羅南は軍事市で、國境方面防備の師團司令部の所在地である。

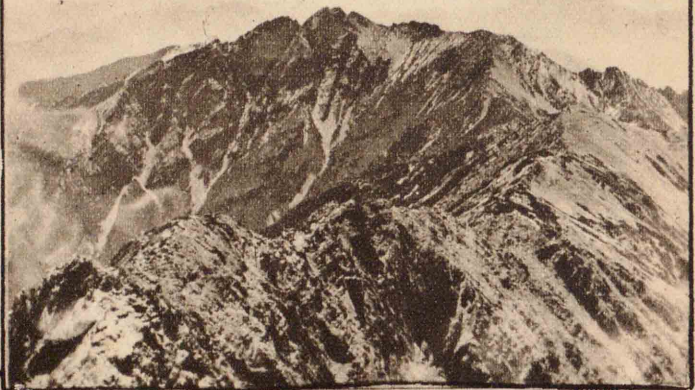


長津江支流の赴戦江の水を動力に利用し、硫安、アルミニウム等の製造工業が勃興してきた。城津は開港で、近年その發展が著しい。清津府

臺北市街の一部 (臺北驛附近)



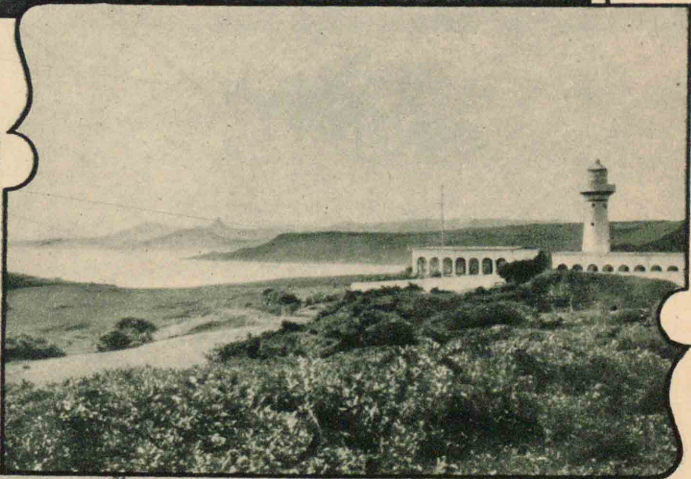
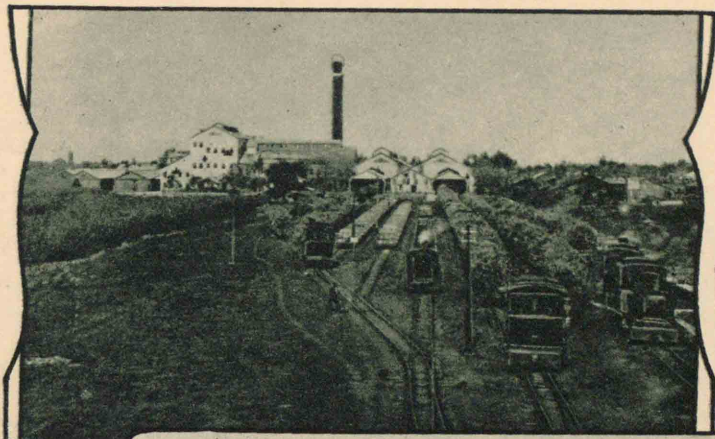
新高山



臺南市にある赤崁樓



屏東にある
臺灣製糖會社の
製糖工場



鶯鑾鼻燈臺



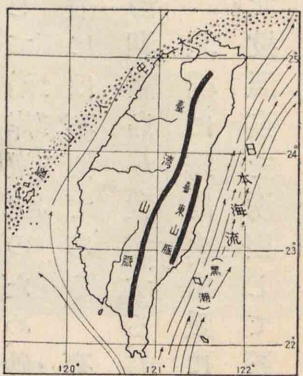
鳳山附近の鳳梨畑

第十章 臺灣地方

面積 三五九七三
人口 四九九萬人

一 地 文

圖解 (上) 臺灣山系圖



新高山はわが國第一の高山であつて海拔三九五〇米を有する。

次高山はもとシルグイヤ山と云つたが、今上天皇陛下の御命名によりかく改められた。

圖解 (下) 日月潭
高砂族が獨木舟を浮べてゐる。

1 阿里山山脈ともいふ。

によつて米領フィリッピン諸島に相對する。

位置 臺灣地方は、日本列島の南西部に位置し、北回歸線が略中央を通じ、西は臺灣海峡を隔てて中華民國の福建省に、南はバシール海峽

地形 臺灣島は南北に長く、主軸である臺灣山脈は、東偏縦走する。山勢雄大で、新高山等の高峰がその中に聳え、よく高山性の地貌を呈する。これと平行して西に蕃界嶺山脈があり、その間に宜蘭平野、霧社盆地、埔里盆地、日月潭、屏東平野等の一列の盆地、平野が発達する。蕃界嶺山脈は次第に緩く西に傾き、臺地となり平野に



臺灣地方地 文

（上）西部海岸の淺海
圖は新竹州通霄附近の海岸で、干潮のため船が置去りにされてゐる。



移りかはる。西部地方の北部には臺地が多く、淡水河の上流に臺北盆地がある。中南部の多くの河川は、蕃界嶺をきつて横谷をなし、平野に出るや山麓を要として扇状に分れ、荒れ河原をつくり、遂に大三角洲を形成するが、舟運の便が少い。濁水溪、大肚溪等は、その例である。

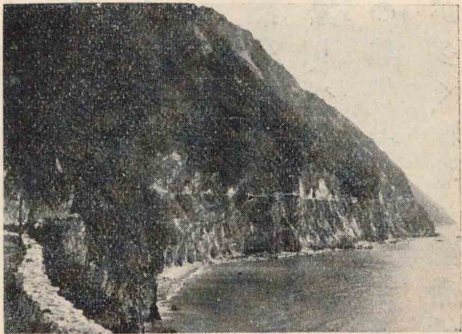
西部海岸は淺海の隆起海岸で、特に澎湖水道に面

（下）西部の河川の荒れ河原

して沿岸潮流のため、砂洲、潟湖が発達し、船の碇泊には不便である。臺灣海峡の大陸棚の上に、澎湖諸島が発達する。北端に霧島火山脈に續く大屯火山群が通じ、北投温泉を湧出してゐる。東岸の南部には、低い臺東山脈が主軸山脈に



（上）東部海岸の絶壁

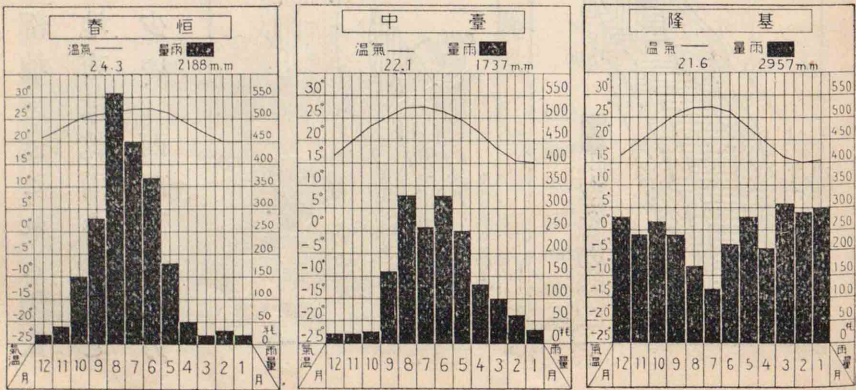


がない。海は急に深く、島も少い。

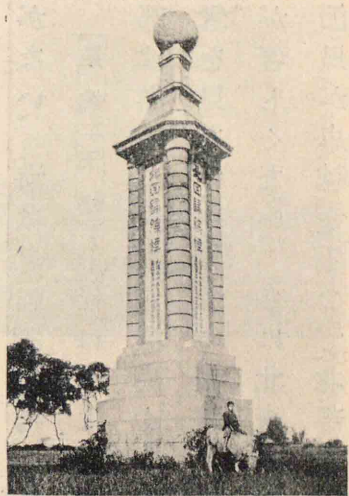
（下）基隆・臺中・恒春の雨量と気温

氣候 生物 氣候は概して熱帯性で、殊に南部は熱帯に入り、気温高く、山地の外は殆ど霜雪を見ない。気温の較差が少く、四季の變化が著しくない。冬は北東季節風、夏は南西季節風が卓越するので、北部地方は冬は雨季、夏

臺灣地方地 文



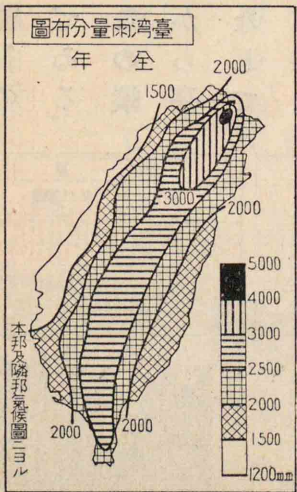
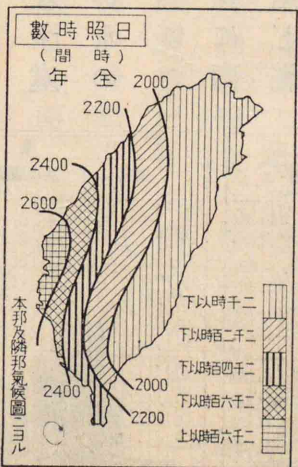
線標 (上) 北回歸線 嘉義附近にある。北回歸線を以て通例熱帯と温帯との區劃をする。



は乾季となり、南部地方はこれと相反してゐる。中部地方は乾雨の兩季とも概して雨は少い。西部海岸地方は一般に日照時が大

地方日照時數 (下右) 臺灣 地方雨量分布圖 (下左) 臺灣

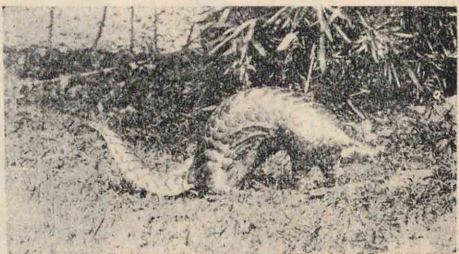
で蒸發が盛であるから、天日製鹽が行はれる。本島地方の近海に颱風が起り、屢その災害を蒙ることがある。氣候がこの様であるから、低地には熱帯性植物の榕樹、林投樹、檳榔樹等が繁り、バナナ、パイナップル等の熱帯果實を産する。丘陵には樟樹が多く、山地は熱帯性植物より寒帯性



上穿山甲

埤圳とは溜池及び疏水をいふ。

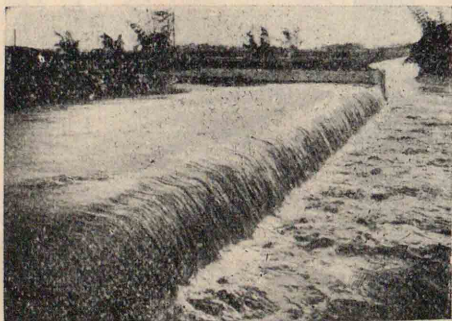
嘉南大圳 (下) 嘉南大圳 工費五千三百餘萬圓をかけて昭和五年三月完成した臺灣に於ける一大圳である。



植物と次第に垂直的に變化し、扁柏、紅檜等の美林が發達する。動物には穿山甲、水牛等がすみ、海岸には珊瑚礁が發達する。

二人文

不便なため、時に早害をうけるので、近頃は埤圳の改修増設をなし、その缺點を補つてゐる。米は臺中平野を主産地とし、年二回の收穫がある。近年内地種を改良した蓬萊米を産し、彰化、臺中等はその集散地であり、基隆港から内地へ移出される。



臺北市に臺北帝國大學理農學部及び臺北帝國大學附屬農林專門學校がある。

（上）桃園臺地の本島人の茶摘み



樟腦

茶は、北部の丘陵地に産し、桃園臺北に集り、臺北では輸出向の烏龍茶主として米國及び内地へ、包種茶主として南洋地方へを精製する。各種の熱帯果實中、バナナ・パイナップルは内地への移出も盛である。

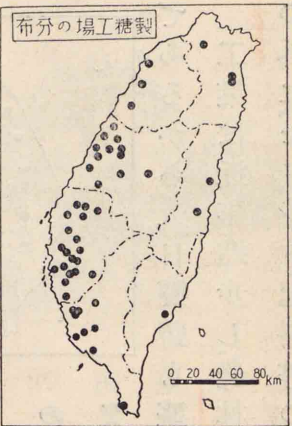
北・中部の丘陵地には樟樹が多く、樟腦を製す

（下）山地の腦寮で樟樹を削る光景

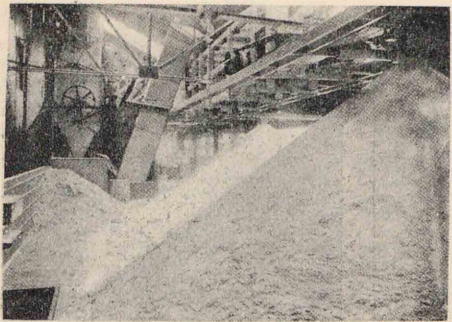
は本島の特産で、山地の腦寮で採集したものを、臺北に集め、基隆港から内地及び歐米諸國に輸移出される。中部以南の平野には、甘蔗を栽培し、嘉義・鳳山・屏東



（上右）製糖工場の分布圖

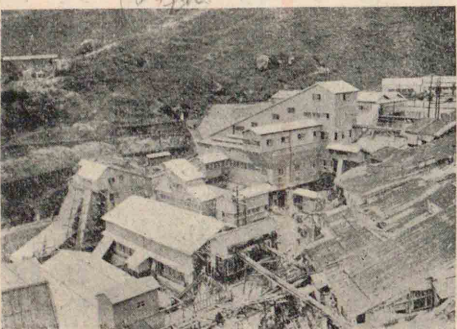


（上左）製糖工場の内部、粗糖を乾燥する状況である

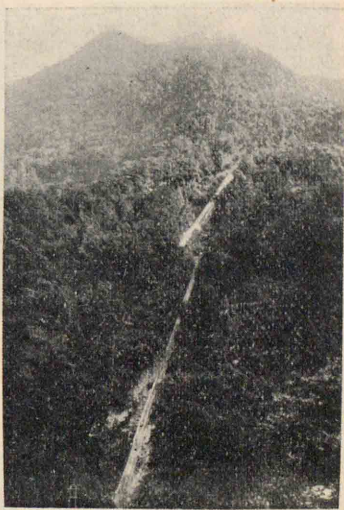


（下）金瓜石、鐵山(S)、金山で、鑽石は多く佐賀關で製鍊される

等の製糖工場があり、粗糖に製して高雄港等から内地に移出したが、近時精糖の製造が盛となり、粗糖の輸入が多くなつた。その他甘藷、落花生、苧麻、煙草の産が多い。家畜には、水牛、黄牛、豚の飼養が多い。水牛、黄牛は、農耕運搬に使役される。豚は殆ど毎戸に飼養されて食料となる。又家禽も多い。鑛産は北部の石炭、金瓜石、瑞芳の金を首め、銅、硫黄等の産があり、苗栗附近には石油を産する。森林は濫伐したため、平地附近に少ないが、中央山



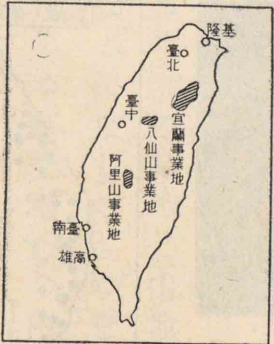
（上右）八仙山の森林(S) 大原生林で、面積一萬二千歩が官行斫伐事業地である。



地には、原生林が繁茂し、總督府では阿里山・八仙山・大平山等の扁柏・紅檜をきり出してゐる。殊に阿里山材は森林鐵道で嘉義に送り、これを製材する。又竹林も多く、製紙及び竹細工の原料とする。水産業も近年

著しく發達し、基隆では

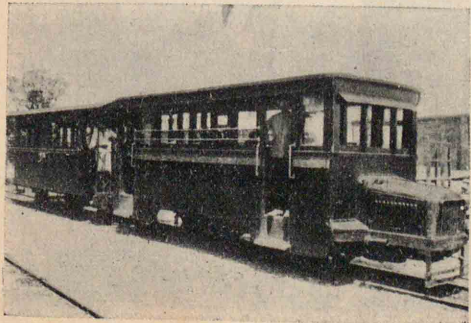
（上左）總督府の森林事業地



鯉節の産が多く、内地へも移出する。西部海岸の潟には養魚が行はれ、又雨が少く、日照時が大

（下）自動車 近頃甘蔗地帯で使用される。自動車に機械を客車につけたものである。

であるから、天日製鹽も盛に行はれる。工業は近年進歩し、農林附隨の工業及び手工業の外に、セメント・肥料等の製造工業が起つてきた。



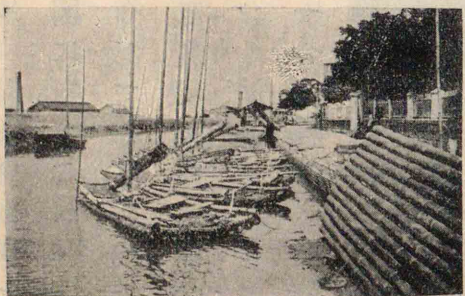
（上）臺車



交通 商業 西部平野は交通がよく開けてゐる。鐵道縱貫線は基隆から起り、臺北をへて、南で二分し、追分て合し、高雄に終る。この外に南部の潮州線北東部の宜蘭線があり、中部以南の甘蔗地帯には製糖會社經營の輕便鐵道が多い。近頃この地帯で自動客車が使用される。

（下）竹筏 西岸の諸港は水深淺いため竹筏で陸上と連絡する。

西横斷線は、北東部の宜蘭線の外、まだ一線もない。臺車と竹筏とは、この地方の特殊な交通機關である。航路は、基隆からは内地へ、高雄からは南洋へ、西部の諸港からは對岸の中華民國の諸港へ主として連絡する。



海底電線は淡水から那覇・長崎・福州へ通ずる。無線電信局は臺北・基隆・宜蘭・鶯鬱鼻等にある。

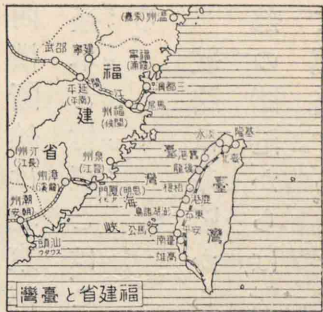


開港場には基隆・高雄・淡水・安平がある。

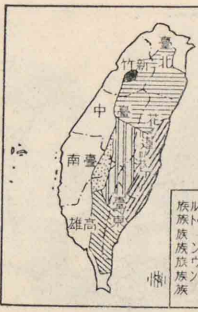
特別開港場には舊港・後龍・梧棲・鹿港・東石・馬公等がある。

臺北市に高等商業学校がある。

(上右) 福建省と臺灣



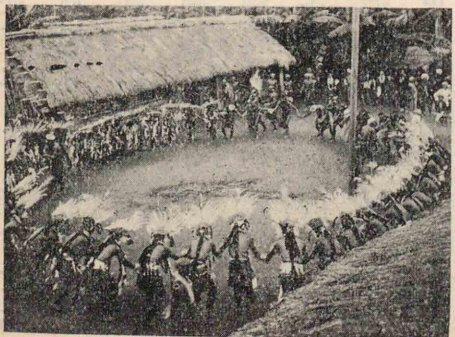
高砂族分布圖



(下) 花蓮港 廳下のア、族の頭

(上左) 高砂族分布圖

種々の方法によつて理蕃に力をつくしてゐる。現今本島の住民の根幹をなすものは漢族である。對岸の福建省の閩族は、高砂族を逐うて西



基隆・高雄は二大貿易港で、内地中華民國南洋との取引があり、又對岸の中華民國に對し、これ等開港の外に特別開港が西岸に分布してゐる。内地へは砂糖・米・果實等を移出し、茶・砂糖・樟腦等は主なる輸出品である。

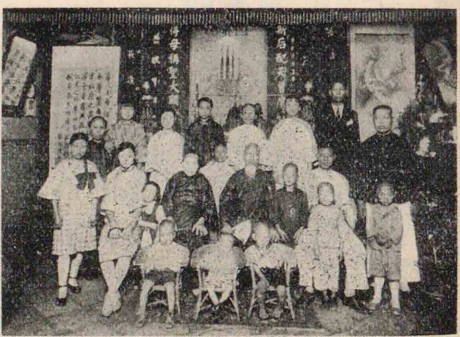
住民政治 原住の高砂族は、マレー種族で、七族

(下) 本島人の家庭(S) 閩族は本島人の約九割を占める。この族の婦人は纏足の弊風がある。本島人中には阿片を吸烟する者が多い。

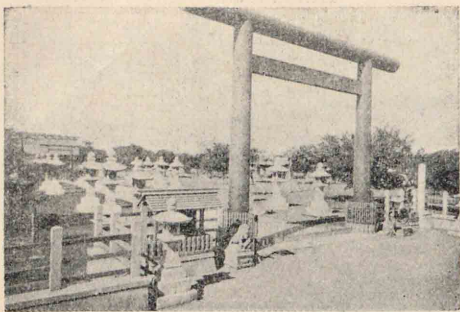
(上) 臺南神社 北白川宮殿下の御終焉の地である。

州郡市街庄は内地の縣郡市町村に相當する。本島警備のため守備隊が置れてゐるが、その兵士は内地師團から派遣される。本島人と高砂族とは兵役の義務がない。

部平野に占居し、廣東省の粵族は後れて渡臺した。閩族は主として都市に住み、商業に従事し、經濟上の勢力が強い。粵族は多く農業に従ひ、その性質は稍、慓悍である。本島人中には、對岸の厦門・福州方面にすみ、日本籍民として商業に従事する者がある。移住内地人は、その數が少ない、その本籍は西南日本の者が多い。

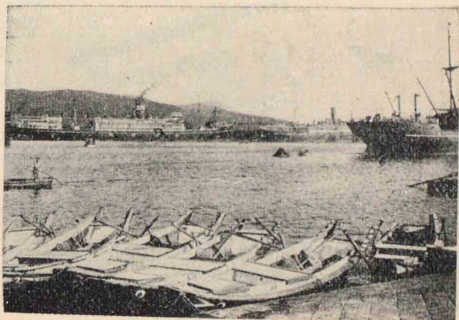


本島は日清戦役の結果、わが國の領有となり、臺北に總督府を置き、總督をして治めさしてゐる。地方は五州三廳に分れる。州制は西部の地域にしか、内地の縣に略相當し、多少自治的な行政を行ふ方に進みつゝあるが、廳制は文化の後れた東部地域と澎湖諸島にしかれてゐる。



臺灣地方人 文

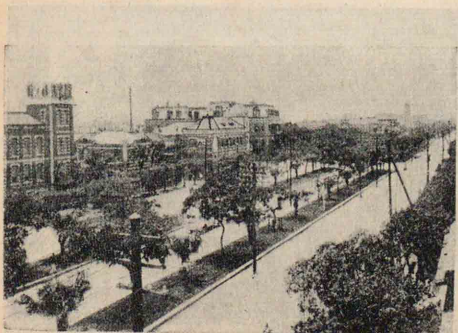
圖説 (上)基隆港 (S) 左方岸壁には吉野丸と瑞穂丸とが横付けになつてゐる。東岸から對岸の定期船岸壁を眺めた處である。



〔總説〕 西部の平野は表臺灣で、人口が著しく集中し、全人口の約九割を占め、片側密集型を示し、文化開け、州制はみなこの平野に行はれてゐる。臺北臺中臺南の三市を文化の中心として三大人口群をなしてゐる。

東部地方は裏臺灣で、開拓は不十分であり、領臺後わが移民によつて開けた聚落が多く行政上花蓮港臺東の二廳に屬してゐる。

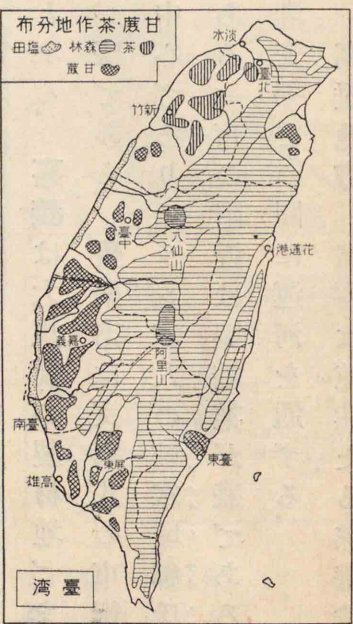
臺北地方 基隆市は本島の北門に當り、港としての設備もよく整ひ、内地との交通取引が多く、又縦貫鐵道の起點地である。茶樟腦の輸出



圖説 (下)臺北市 (S) の三線道路(S) 舊城壁をとり拂つた跡へ三線道路を造つた。二條の綠地帯と三線の道路とが並んでゐる。

臺北市は城内・大稻埕・萬華の三部からなつてゐる。

圖説 (上)甘蔗・茶作地方分布圖



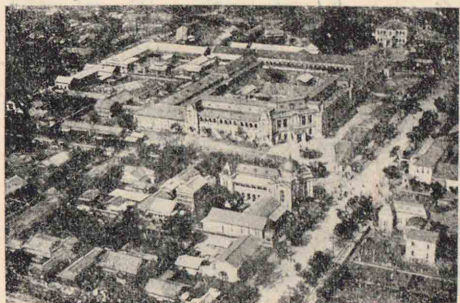
が多い。臺北市は淡水河に沿ひ、臺北盆地の中心を占め、本島の政治教育の中心である。街路壯麗で、建築宏大なものがある。烏龍茶の集散及び再製が行はれる。北方に臺灣神社と

圖説 (下)新竹市 (K) 驛前の大通りを示したものである。大安溪より南部の西螺溪流域までの地域である。

がある。淡水河口の開港淡水は茶の輸出があり、南支と取引する。桃園臺地地方には茶の栽培が盛であり、臺地下の低地地方には、人工灌溉による米の栽培が盛である。新竹は新竹州治の中心で、柑橘を産し、苗栗は樟腦を集散する。臺中地方 米煙草バナナ甘藷甘蔗の農産が多い。大甲は大甲帽大甲蓆を産する。豊原は



日月潭は風光がよく、湖水及び濁水溪を利用して發電の計劃がある。
街(S) (上)臺中市
臺中市の中心である官衙區を示したものである。



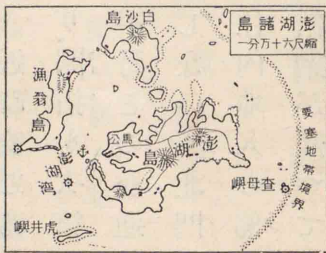
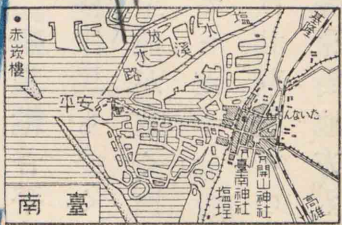
米の産地として知られる。臺中市は内地風の都市で、米、砂糖、バナナの集散が盛である。彰化市員林は米、バナナの取引が多く、海岸には鹿港梧棲の特別開港がある。埔里は同名の盆地の中心で、蕃界への交通の要地である。
臺南地方 澎湖水道に面し、平野の幅の最も広い地域で、一大農業地帯をなし、甘蔗の栽培を第一とする。



臺中に於けるバナナ市場を示したものである。
街(S) (下)バナナ
安平は港が深く、高雄築港後は貿易の實勢力は高雄に移った。

嘉義は大規模の製材地で、また製糖業が盛である。臺南市は支那式の市街で、南部の中心であり、オランダ人の城塞址、鄭氏の史蹟がある。市の附近は製糖業が盛である。その外港安平との間に運河を通ずる。
高雄地方 域内は純然たる熱帯栽培農業地

(右上)臺南
澎湖諸島
(右下)澎湖

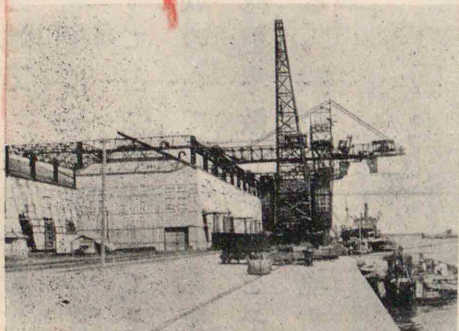


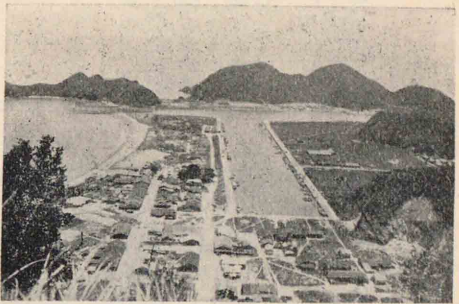
となり、甘蔗を首め、鳳梨等の産が多い。高雄市は瀾湖の口に位し、築港殆ど完成し、本島の南門をなし、基隆の姉妹港で、南支南洋への發航の起點地である。鳳山は鳳梨の大市場であり、屏東は製糖地で、陸軍の飛行

聯隊がある。恒春は本島の南端近くにある町で、氣温が高い。

(下)高雄港
高雄港の表岸壁を示したもので、大汽船は此處に横付けにされる。正面に見ゆるやうな起重機は四臺設備されてゐる。

澎湖諸島 澎湖、白沙、漁翁の三島を主とし、低い玄武岩臺地が海蝕をうけたもので、沿岸には珊瑚礁が發達してゐる。風がはげしいので喬木は成長しない。行政上澎湖廳管下であり、馬公は廳治の中心である、軍事上の要地であるから、海軍の要港部が置かれる。





東部地方 宜蘭地方 宜蘭平野は表裏臺灣の漸移地帯に位し、漢族の閩族が平地蕃を逐うて占領した處で、その中心宜蘭は閩族のたてた武装聚落であつた。米木材を集散し、蘇澳をその外港としてゐる。蘇澳はこの地方の漁業の中心である。



〔右〕蘇澳 (S) 蘇澳南端の一部を示したものである。

〔右〕花蓮 港街 市街の整然たることに注意せよ。

〔左〕臺東街の一部 (S)

臺東縱谷平野 近時交通も開け、内地からの移住民も多くなり、開拓も次第に進んできたが、土地が狭く、西部平野との交通連絡も不便なので、まだ十分發展しない。北門の花蓮港附近には、甘蔗栽培の移住内地人の部落が多く、南門の臺東街地方も製糖業が起つてきた。

第三編 總括

第一章 地文

第一節 地形

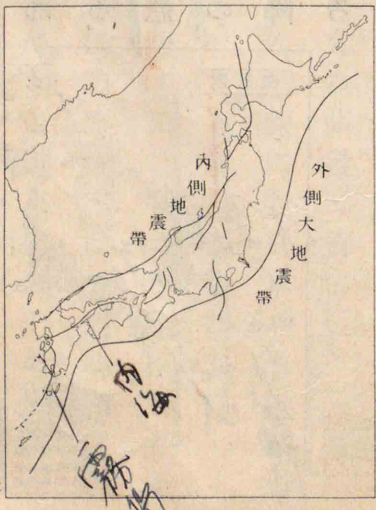
南彎山系
外帶山脈 臺灣山脈・九州山脈・四國山脈・紀伊山脈・赤石山脈等
内帶山脈 筑紫山脈・中國山脈

北彎山系
樺太山脈・蝦夷山脈・北上山脈・阿武隈山脈・奥羽山脈・田羽丘陵・越後山脈・三國山脈・關東山脈

〔左〕内地地震帶

【山系】 日本列島の地體を構成する山系には、南北の兩彎山系がある。南彎山系は、内外の二帶の山脈から成り、西南日本の地帯を構成する。北彎山系は、東北日本の地帯を構成してゐる。この兩彎山系の相會する處は、幅最も廣く、高峻な地域である。この兩彎山系に略平行して數多の火山脈があり、又兩彎山系の會點を横斷する富士火山脈がある。わが國は、太平洋縁邊地震帶

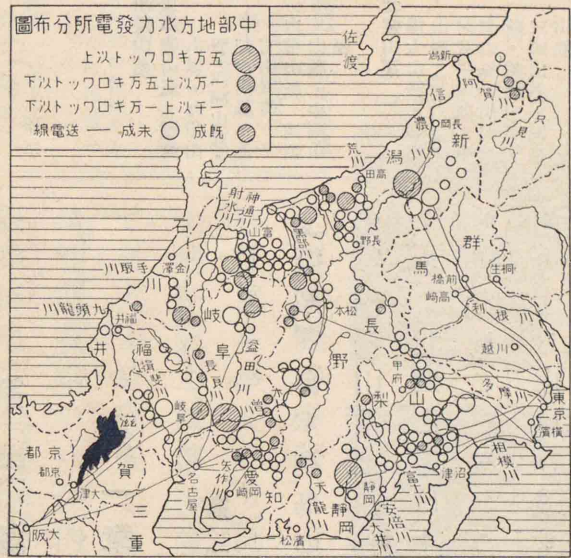
内地地震帶圖



總括 地文 地形

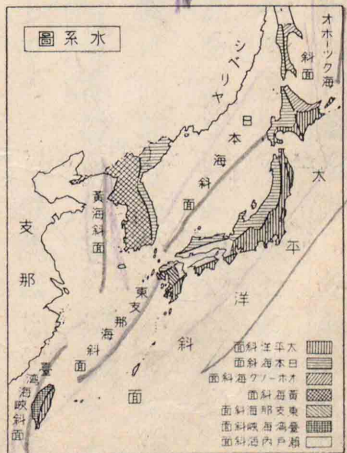
（下）水系圖

（上）中部地方水力發電所分布圖



の 一で、屢、その災害を蒙つてゐる。朝鮮半島は、北部に長白山脈が連なり、中南部に大白山脈がある外、概して低平である。

【水系】 河川は、地形の影響によつて、急流で短く、舟運の便が少ない。降水量が大であるから、河川は往々氾濫して水害を興ふることあるが、常時は灌漑、養殖、發電に利用されるものが多い。全國河川を、その流入する海洋によつて、七斜面にわけける。



湖沼も大なるものが少なく、斷層河跡、堰塞等によつてできたものが多く、舟運、灌漑、發電、養魚等に利用される。

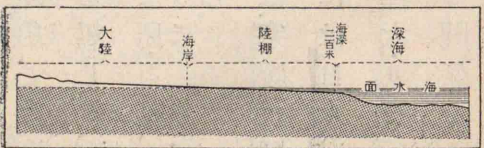
【平野】 國內は山勝ちなため、一般に大平野に乏しい。

關東平野を最廣とし、越後濃尾、大阪、筑紫、石狩等の諸平野は主要なもので、わが國の重要農産地帯である。

第二節 海洋

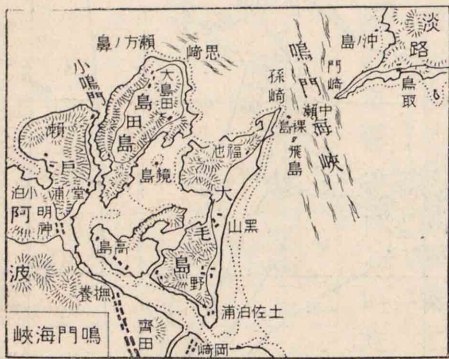
【海岸】 わが國の大部分は、海洋に臨み、且海岸線は出入

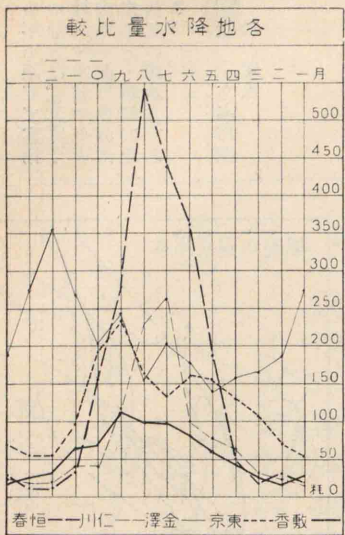
に富むから、産業及び交通に密接な關係を有し、人文の開發に資することが大である。殊に表日本の海岸は、裏日本の海岸に比べて、それが一層甚しい。



（上）鳴門海峡

1 オホホック海・日本海・黄海・東支那海。





【圖解】(上)各地降水量比較

【圖解】(下)氣候帶

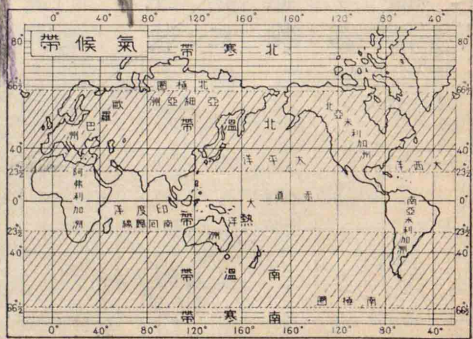
寒暖二流の合する
地方は屢々濃霧を
起して交通を妨げ
作物の生育を害す
ことがある。

總括 地文 氣候及び動植物

【氣候】わが國はその大部分は北温帯に位し、概して海洋性の温帯氣候である。然し地形が南北にのび且複雑である上、海洋及びアジア大陸の影響が著しいため、各地方によつてその變化が多い。臺灣の南半は熱帯に位し、樺太北海道は冷涼であるが、本州以南の舊日本は寒暑は中和してある。北鮮は大陸性で寒氣が強い。わが國は、世界多雨地帯の一で、雨量は夏季太平洋岸地方、殊に日本海流の通過する沿岸地方に多く、冬は日本海岸地方に多量の雨雪がふる。

ち、氣候に影響を與へ、引いては産業・交通に關係することが大である。

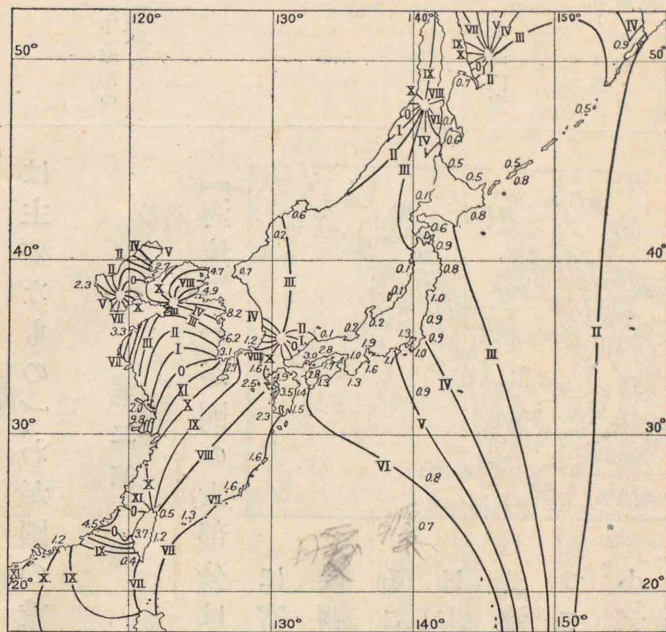
第三節 氣候及び動植物



二〇七

本邦近海潮流進行圖

【圖解】本邦近海潮流進行圖



潮高ヲカテシ過經ヲ線午子ノ135°經東ガ月ハ字數ニ一〇ノモタシハ表デ時隔ヲ時間ノデマルナト(潮満)ノモタシハ表デルト一ノ差潮大ハ字數ニヒラ

總括 地文 海洋

流及びその分派である對馬海流がある。寒流には、千島樺太リマンの三海流がある。海流の寒暖はこれにすむ魚類に密接の關係をも

【海流】わが近海には、寒暖二種の海流がある。暖流には、日本海流及びその分派である對馬海流がある。寒流には、千島樺太リマンの三海流がある。海流の寒暖はこれにすむ魚類に密接の關係をも

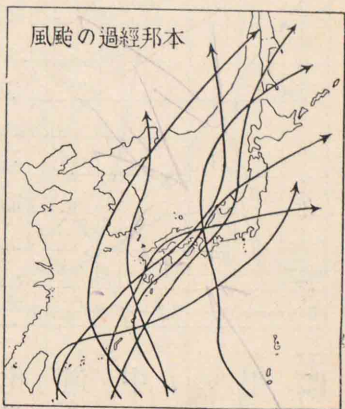
【潮汐】潮汐干満の差は、地形海底の状態等で異なつてゐる。干満の差は裏日本の海岸に最も少なく、表日本及び朝鮮の西岸は概して大である。海峡・岬角では、潮汐の進退につれ潮流を起し、航海が困難である。鳴門・來島・下關の諸海峡はその例である。

に日本海溝の最深部に豆南海淵(九四三五米)がある。

二〇六

一年を通じて霖雨の地方は、北海道・樺太・本州中部の山地・瀬戸内海沿岸地方・朝鮮の北西部の諸地方である。

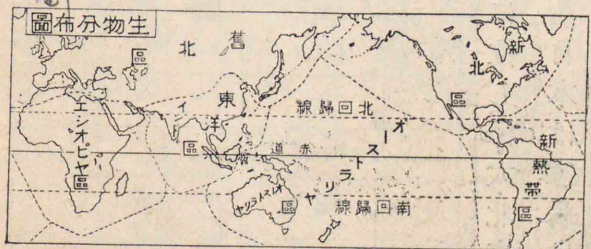
（上）本邦經過の颱風



一般に雨は低緯度地方に多く、高緯度地方に少なく、又軍越風の風下に當る地方に多い。初夏の頃は、内地は梅雨の現象がある。風は内地では、夏に南東の季節風が吹き、冬は北西の季節風が卓越する。この季節風の交代する初秋の頃は、颱風が襲來し、南西日本はその災害を被ることが大である。

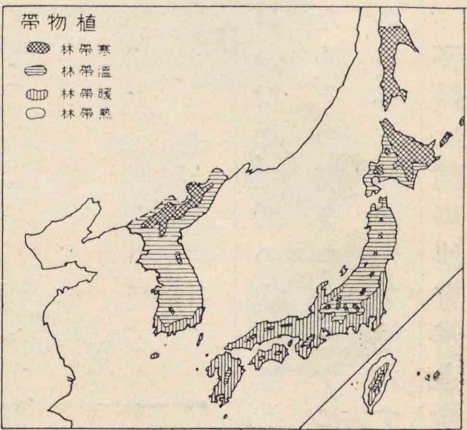
（下）生物分布圖

【植物】わが國は、土地が南北に細長く、氣候は生物の生育に適するため、植物の種類が多い。植物には南方の熱帯地域には、椰子・榕樹・蒲葵・檳榔等の植物が繁茂し、又バナナ・パイナップル等の果實を産する。本州以南では、杉・扁柏・榲の良材を産し、高山では、偃松が疎生する。又その南部に蜜柑・桃茶等を、北部に華



（上）植物帶

津輕海峽は生物分布上著しき境界をなし、ブラッキストン線と名づけられる。ブラッキストンは北海道にあつて、生物の分布につき研究した英人である。



（下）北鮮にすむ虎(K)

る。猿は津輕海峽以南に、熊は北海道に限られ、樺太には馴鹿を飼ひ、朝鮮には虎・豹・獐がすんでゐる。

第二章 人文

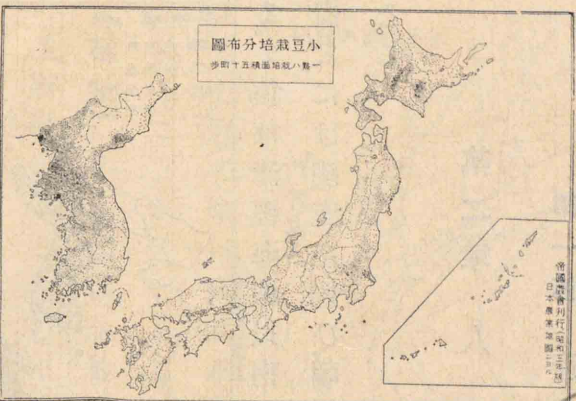
第一節 産業

總 括 人文 産業

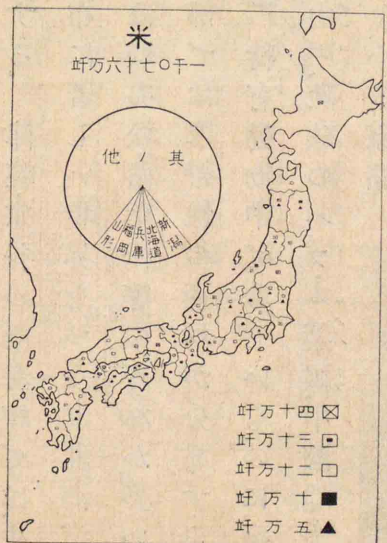


果を産する。津輕宗谷の兩海峽では、生物の分布に著しい境界をつくり、北海道樺太には、蝦夷松・落葉松等の森林が多い。朝鮮北部では寒帯性の森林が分布する。【動物】特有動物中で珍しいものに、臺灣の穿山甲、琉球のハブ、木葉蝶、中國地方の山椒魚、小笠原諸島の大蝙蝠等がある。

圖(上)小豆栽培分布圖



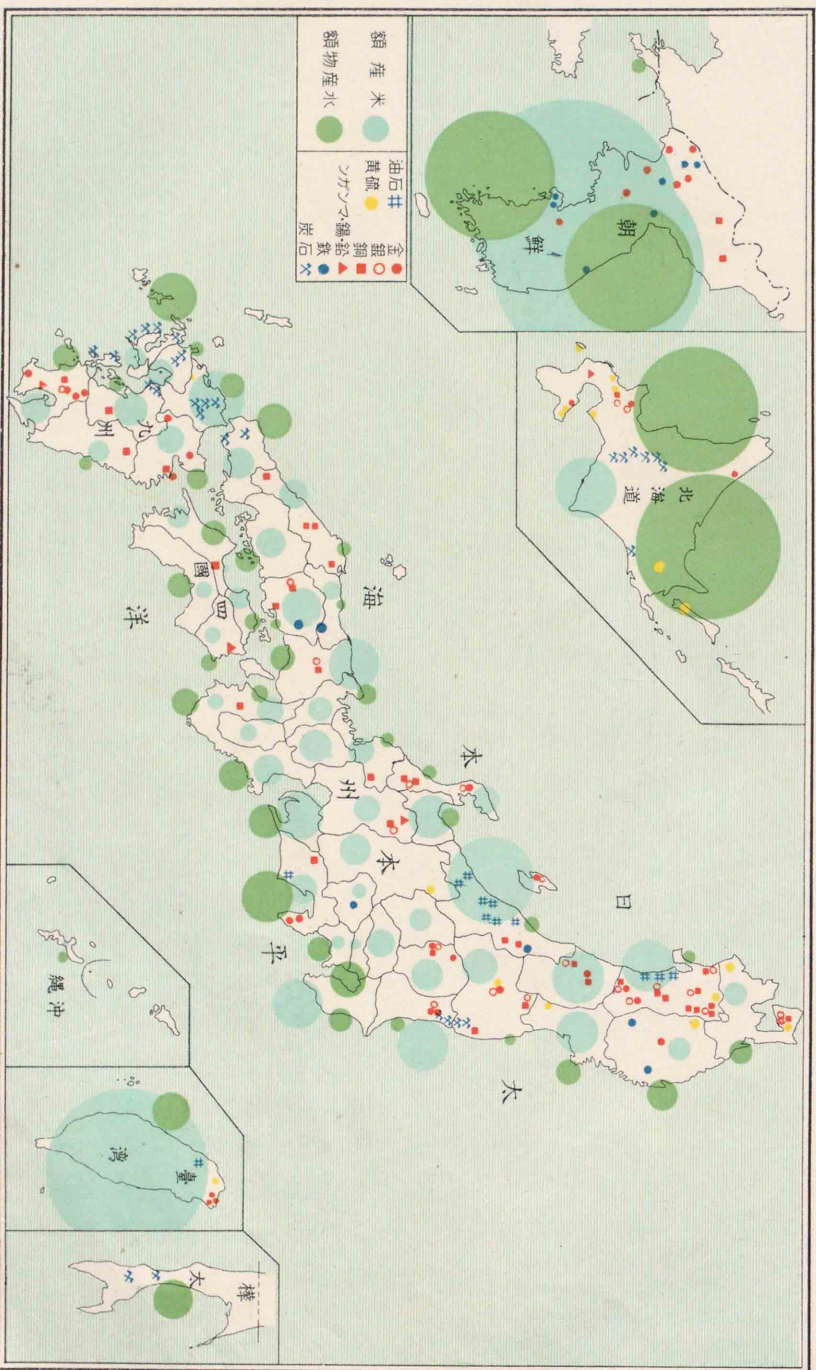
圖(下)米の産額比較



口の増加、生活の向上、醸造原料等のため、その需要を充たすに足りないから、年々外國米を輸入する。麥類は關東地方が主産地である

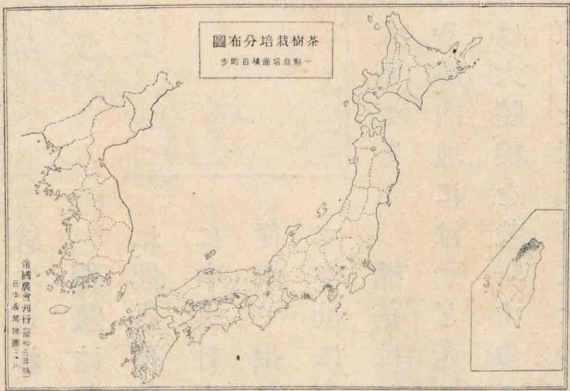
【農業】わが國は、古來農を以て立國の本とし、國民の過半はこれに従事する。内地では、耕地は全面積の一割六分に當り、人口が饒多なため、耕地の割合が少なく、従つてわが農業は小農である。農産物は、わが國産物の首位を占め、その種類も多い。米は暖濕な沖積平野に栽培され、北海道以南は、到る所に産するが、人

圖布分物産水・物産・米



圖解 (上) 茶樹栽培分布圖

圖解 (下) 茶の輸出別

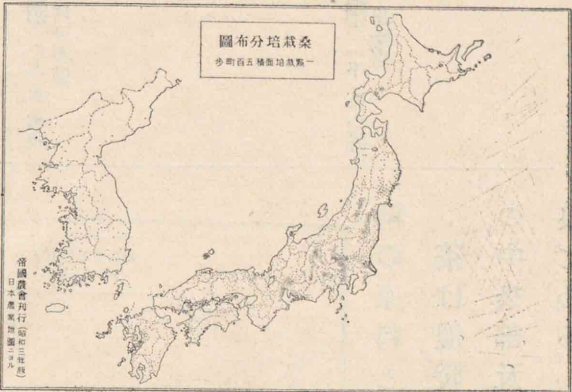


が、水麥は比較的冷涼寡雨の地方に適する
 ので、寧ろ北海道・朝鮮等が適地である。大
 麥・裸麥は食糧の外、醸造原料として使用さ
 れ、燕麥は飼料に用ゐる。

大豆は北海道・朝鮮を主産地とし、食料・醸
 造原料として需要が多いので、尙外國から
 輸入する。小豆も亦北海道・朝
 鮮を主要産地とする。この外
 北海道・奥羽地方等の冷涼地方
 には、馬鈴薯の産が多く、澱粉・酒

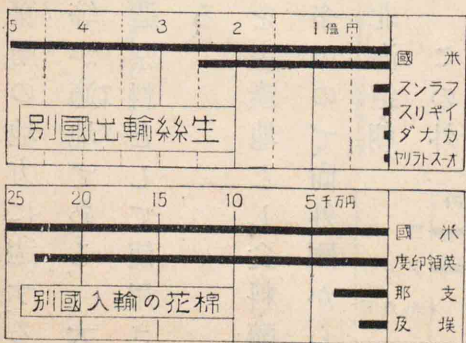
精の原料とし、九州以南では甘藷を多く栽培する。
 茶は温暖で夏に雨の多い傾斜地に適し、駿遠海岸近畿
 の中央部及び臺灣の北部に産し、殊に宇治茶は品質が優
 良である。内地産は緑茶を主とし、臺灣産は紅茶を主と



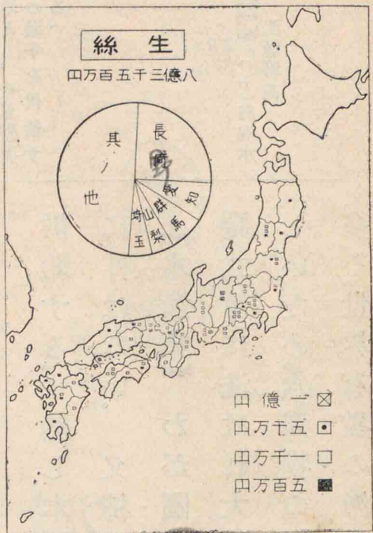


圖解 (右) 桑栽培分布圖
 輸出國別 (左) 生絲の輸入國別

の大宗である。棉花は紡績原料として重要であるが、内地には殆ど産しない。朝鮮の南西部では大陸棉を栽培するが、その産額は小で、多量の原棉を米國印度その他より輸入する、その

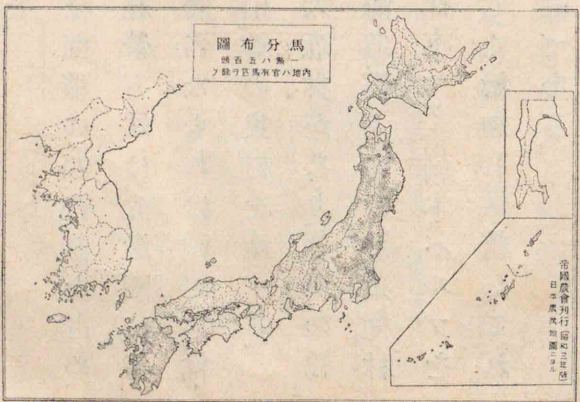


し、共に重要な輸出品である。甘蔗は臺灣の南半を主とし、内地では九州南部及び琉球にも産する。殊に臺灣は有数の産地で、粗糖、精糖の製造が盛である。近時甜菜の栽培も、北海道、北鮮に試みられ、その製糖も行はれる。養蠶は農家の副業として發達し、廣く各地方に行は



圖解 (上) 生絲産額比較
 圖解 (下) 馬の分布圖

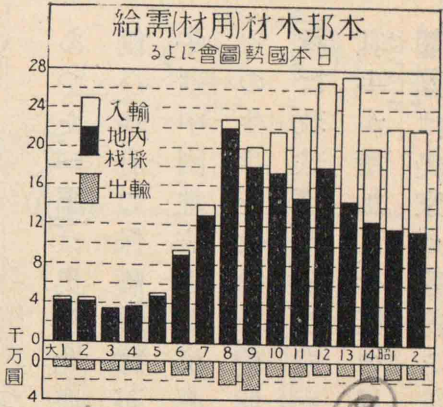
あつた。馬は奥羽、北海道及び南九州に多く飼ひ、政府の保護獎勵が最も行届いてゐる。牛は中國地方と朝鮮とに多く、中國地方は多くの生牛を供給し、朝鮮は牛皮の産が多い。豚は琉球、臺灣及び東京の近縣に多い。近來乳牛が増加し、牛豚の屠殺數もまじってきた。養雞は農家の副業として發達し、今やこれが



他、纖維工業原料たる亞麻は北海道から、大麻は栃木、廣島、長野の諸縣から産する。葉煙草は關東地方、四國、朝鮮等に産する。【牧畜業】わが國の風土は、牧畜には好適では

なく、又國民は毛絲の使用、肉食の風が盛でなかつたので、斯業は不振で

圖(上)本邦木材需給

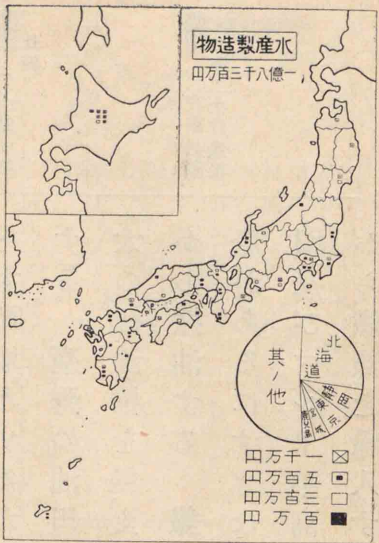
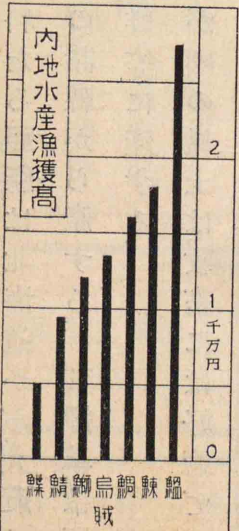


樟腦は臺灣を主産地とし、世界需要の過半を供給する。

圖(下)内地水産漁獲高

供給する。然し木材・パルプ等は、消費量が著しく増加し、供給がこれに伴はない。又樟腦・木蠟・漆は、わが國の特産品である。

【水産業】 わが國は、四面環海で、寒暖二流に洗はれ、大陸棚の發達が著しいため、水産物の種類と數量とが多し、世界有数の漁業國である。東



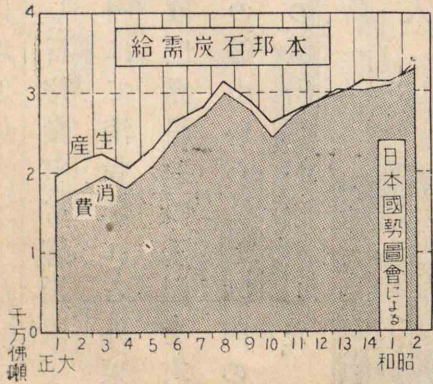
北日本殊に樺太・北海道地方は、世界の三大漁場の一と云はれ、鰻・鱒・鱈・昆布等を産し、消費地に遠いので、多くは冷凍・鹽藏・乾魚等として輸移出する。中央及び西南日本の近海では、鰻・鰯・鰺等を漁獲する。水産製造物も亦多く、鰻節・鰻粕・鰻鱒等を輸出する外は、國內で

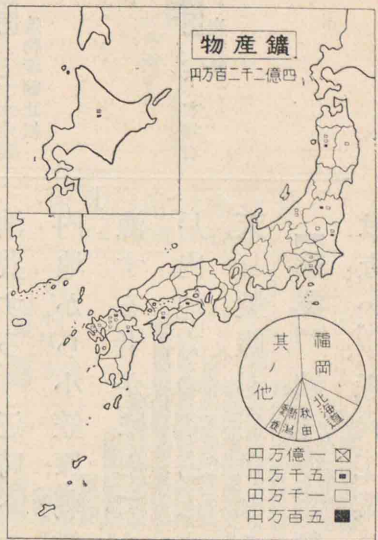
圖(上)水産製造物産額比較

圖(下)本邦石炭需給

消費する。近時トロール船・石油發動機船で、内地から小笠原・朝鮮・オホーツク海方面へ出漁する者がましてきた。製鹽は内地では瀬戸内地方の獨占ともいふべく、臺灣・朝鮮には天日製鹽が行はれる。

【鑛業】 鑛産の種類は多いが、産額は豊富ではない。近代工業の原料又は燃料たる鐵・石

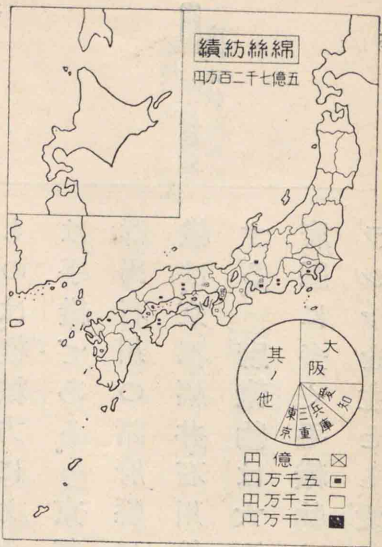
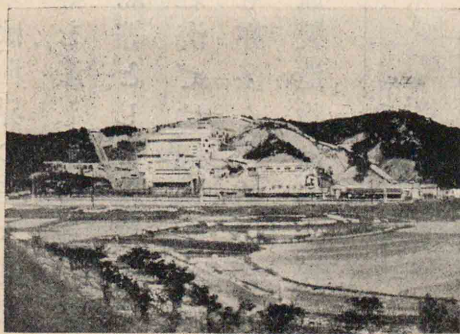




比較 (上) 鑛産物

比較 (下) 新居濱の第二次選鑛場

を主産地とするが、なほ米國等から多量に輸入する。臺灣の油田は有望視され、また近頃北樺太の採油權を得、更に滿洲撫順炭坑の含油頁岩から採油する。鐵は岩手縣及び朝鮮に多少の産があるにすぎない。故に製鐵原鑛は、中華民國及びマレー半島から輸入し、又英、米等の諸國から鐵類を輸入する。その他、金は朝鮮、臺灣、九州等に、火山地方には硫黃の産出が多い。

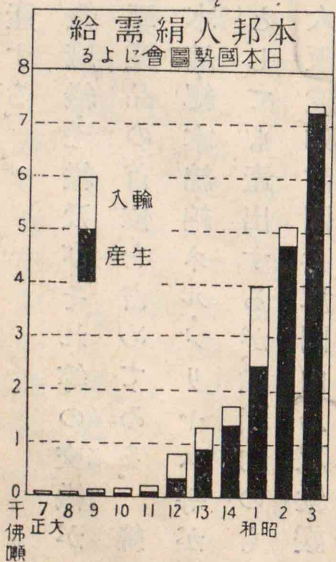


比較 (上) 綿絲紡績産額比較

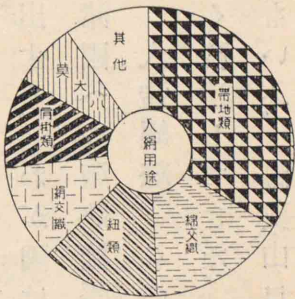
わが國は東亞に廣い販路をもち、交通上の良位置を利用して原料を容易に輸入することができ、燃料動力の供給が十分であり、勞銀が比較的低廉であるから、工業の發達は頗る有望である。

比較 (下) 本邦人絹需給

し、その製品は國內で製織原料とする外、中華民國、印度、マレー地方、東部、アフリカ等へ粗布に製造して輸出する。わが國は東アフリカ、近東諸國への販路擴張につとめてゐる。人造絹絲 この工業は近時著しく發達してきた。レイヨン工業ともいふ。滋賀、山口、廣島、京都、岡山等



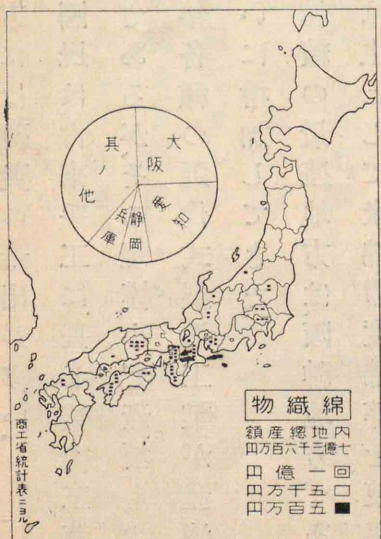
圖解 (上) 人絹用途



この外に富士絹・人絹織物がある。

圖解 (下) 綿織物産額比較

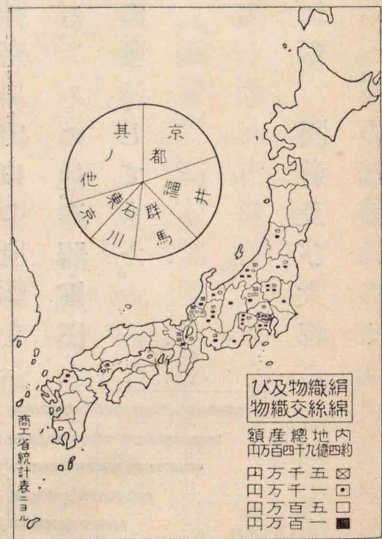
の諸府縣にて生産する。織物 綿織絹織麻織毛織及びそれ等の交織があり、その産額は工業品の首位を占めてゐる。綿織には白木綿・縞木綿・総木綿・綿ネル・メリヤス等がある。家内工業としても産出するが、輸出向のもの、大工業式に大量生産される。大阪・愛知・静岡・兵庫・岡山・鳥取・愛媛等の諸府縣に多い。絹織物は輸出向羽二重・縮緬等に分れ、輸出向のものは、機械力によるが、精巧のものは手織である。京都府を首め、福井・群馬・石川の諸府縣に多い。絹綿交織は、京都・福井・石川等の諸府縣に産する。麻織物は、大阪・滋賀・兵庫の諸府縣に多く、毛織物は、モスリン・セルラシヤを主とし、愛知・兵庫・東京・大阪



内産地總額
 一億三千六百四十万
 一億一千五百五十万
 一億一千五百五十万
 一億一千五百五十万
 一億一千五百五十万

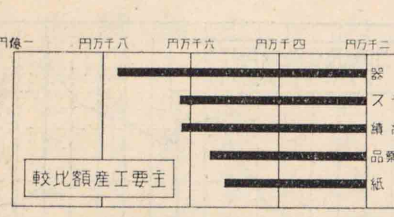
圖解 (下) 絹織物及び綿絲交織物産額比較

の諸府縣に産するが、まだ遠く國內の需要を充たすにたらない。鐵工業 機械工業は長足の進歩を見、今や精巧な機械も製造し得られるやうになつた。造船業は世界大戦中頗る發達したが、戦後海運界の不況と共に不振となつてきた。製紙業 和紙は高知・愛媛・岐阜等の諸縣に産する。洋紙はその産額が逐年増加し、東京・北海道・静岡・大阪・兵庫の諸府縣並に樺太を主産地として、その原料のバルプは、國內産にては不足するので、輸入額も多い。釀造業 清酒・ビール・醬油を主とする。清酒は兵庫・福岡・京都・廣島の諸縣に産し、殊に兵庫縣の灘地方は醇

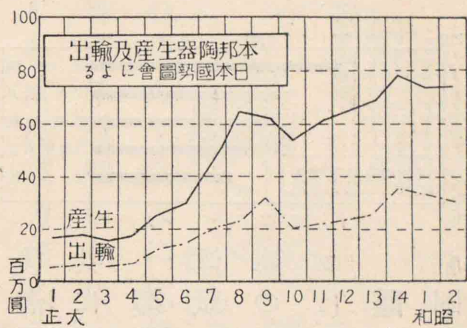


内産地總額
 一億九千九百四十万
 一億九千九百四十万
 一億九千九百四十万
 一億九千九百四十万
 一億九千九百四十万

圖解 (上) 主要工業産比較



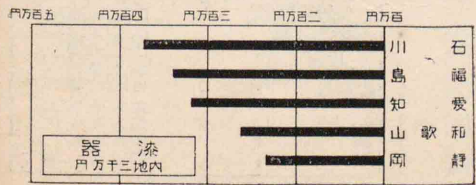
（上）本邦陶器生産及び輸出



（下）漆器

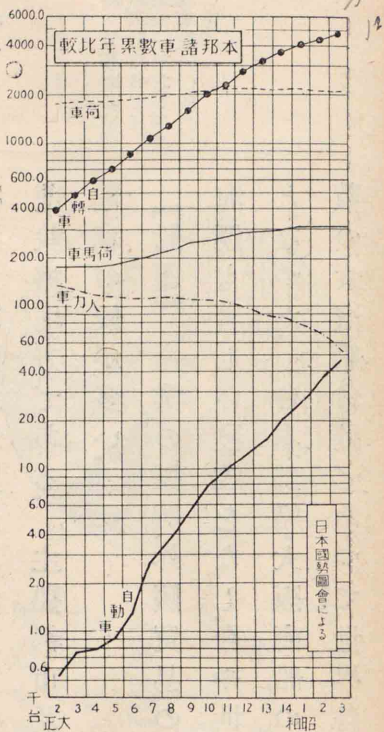
【道路】 國道・縣道・市町村道にわかれる。國道及び大都市の道路は次第に改修されたとはいへ、その舗装は多く

第二節 交通



良なるものを産する。麥酒は東京・大阪・兵庫・神奈川・福岡の諸府縣に醸造され、醤油は千葉・香川・愛知の諸縣に産し、國內で消費される。製陶業 陶磁器は愛知・岐阜・三重・京都等の諸府縣を主産地とする。石川・愛知の二縣の硬質陶器もその需要が増加し、輸出額も多い。煉瓦は岡山・福岡・大阪の諸府縣に多く、セメントは福岡・神奈川・山口の府縣を主産地とし、東洋諸國へも輸出される。その他漆器・眞田類・麥粉・肥料等の諸製造工業も次第に發達してきた。

（上）本邦諸車數累年比較

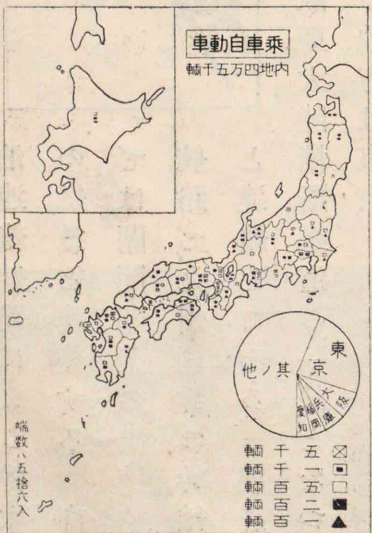


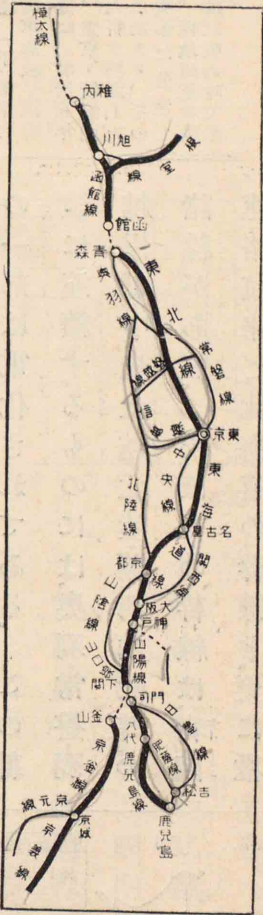
は不完全である。近時自動車の使用が盛となり、乗合自動車交通網は急速に發達してきた。【鐵道】 國有制度確立以來、その發達が著しい。鐵道の幹線は、本州では東北・東海道・山陽の三線であつて、近時著しく改良され、その

（下）乗用自動車比較

鐵道は、明治五年に、東京・横濱間に九軒を開通したのに始まり、その後次第に發達した。内地鐵道の軌幅は三呎六吋である。

大部は複線で、速力・運轉回數・輸送力等に於ても、他の諸線に勝り、今やその一部は電化されてゐる。この幹線に連續するものには、奥羽・常磐・越信・越中央・上越・北陸・關西・山陰等の諸線がある。なほこの幹線は、青函連絡航路で北海道の幹線と、更に稚



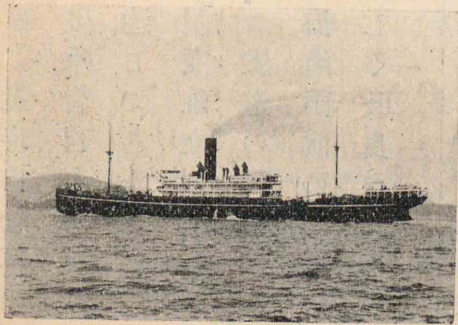


● (上) 鐵道幹線圖
● 點線は連絡の航路を示したものである。

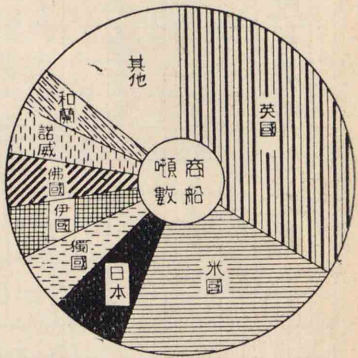
● (下) 箱根丸歐洲航路船でH型の一である。總噸數一〇四二〇噸。

の縦貫鐵道は、滿洲の鐵道と連絡し、歐亞大陸橫斷鐵道の一部となつてゐる。全國中で鐵道網の發達せる地方は、東京附近、大阪附近、筑豊炭田地方及び臺灣の南西の甘蔗栽培地方である。主要都市及びその附近には、電車の便が多い。

【船運】 産業の振興、外國貿易の進展に伴なつて、海運も著しい發達をなし、今や世界有數の海運國となつた。日本郵船、大阪商船の兩會社は、世界有數の大汽船會社であつて、世界各地に航路を開い



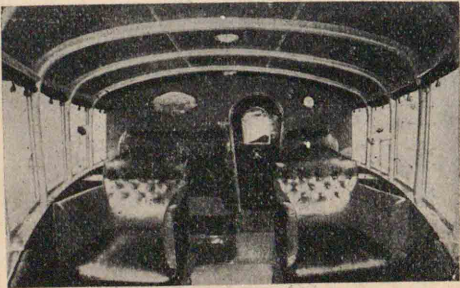
● (上) 商船噸數
● その割合を扇形グラフで示したものである。



輸送もその緒についたのみである。

【通信】 郵便、電信等の通信事業はよく整つて、歐米先進國に比べて遜色が無い。海底電線は、主要島嶼を首め、アジア大陸及び北米に通じてゐる。

また海岸の要地及び主な船舶には無線電信局を設け、電話もよく普及されてゐる。東京、大阪、名古屋、京都、廣島、仙臺、熊本、札幌、金澤、岡山、福岡、長野、靜岡等の大都市には、ラヂオ放送局が設けられてゐる。

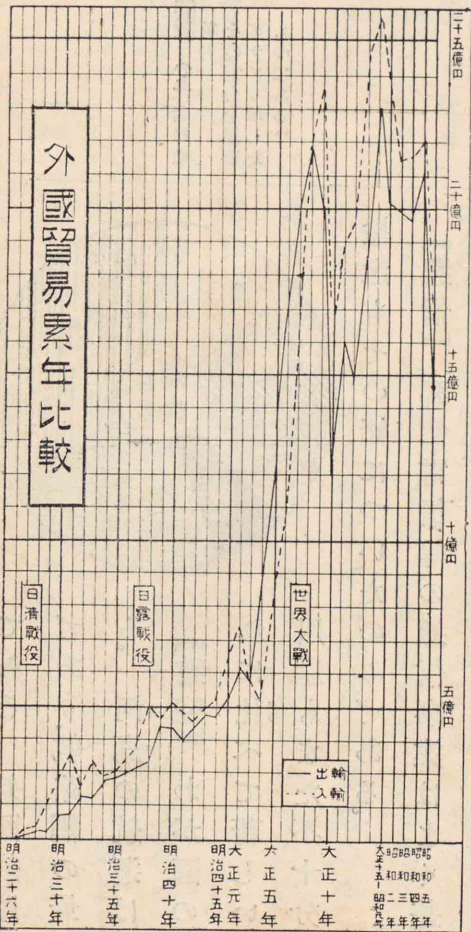


● (下) 旅客飛行機の内部

第三節 商 業

小樽・仙臺・廣島・
門司・福岡・京城・
臺北等は地方商業
の中心である。

外國貿易累
年比較



外國貿易累年比較

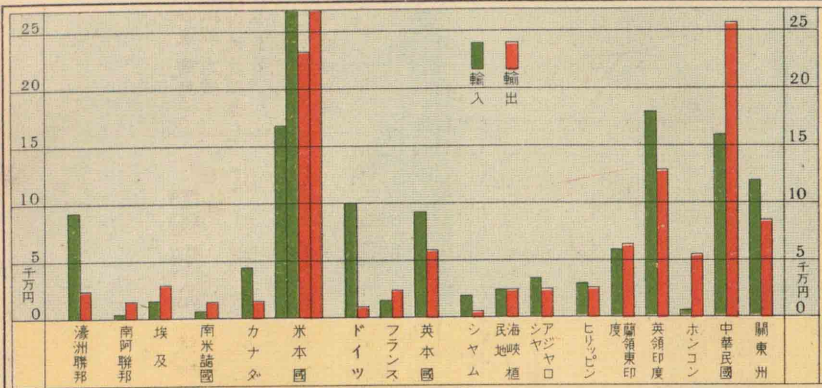
【内國商業】内國商業の大中心は、東京と大阪とである。東京の商區は、關東地方以北であつて、大阪の商區には及ばないが、帝都の地で、銀行會社が多く、殊に金融機關の中心である日本銀行があるから、經濟・金融上の勢力は、大阪を凌駕する。大阪の商區は、主として關西以西で、鮮滿にも及んでゐる。名古屋はこの二大商區の間に、その商區を有する。

【外國貿易】外國貿易は

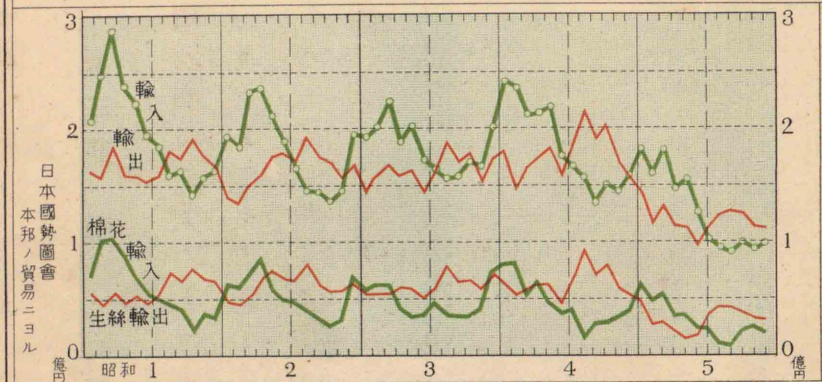
近年著しく發達し、横濱と神戸とは、その額が最も多い。輸出品は生絲・綿織物・絹織物を主とし、輸入品は鐵・煤・石油・紙・羊毛製品・肥料・棉花・鐵製品・銅製品・陶磁器・砂糖類・油脂類・紙製品・絹製品・綿製品・生絲である。

地圖19。

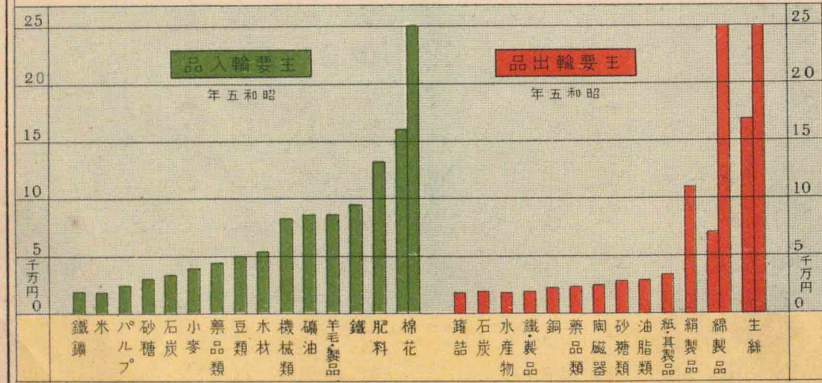
本邦貿易取引國別(昭和五年)

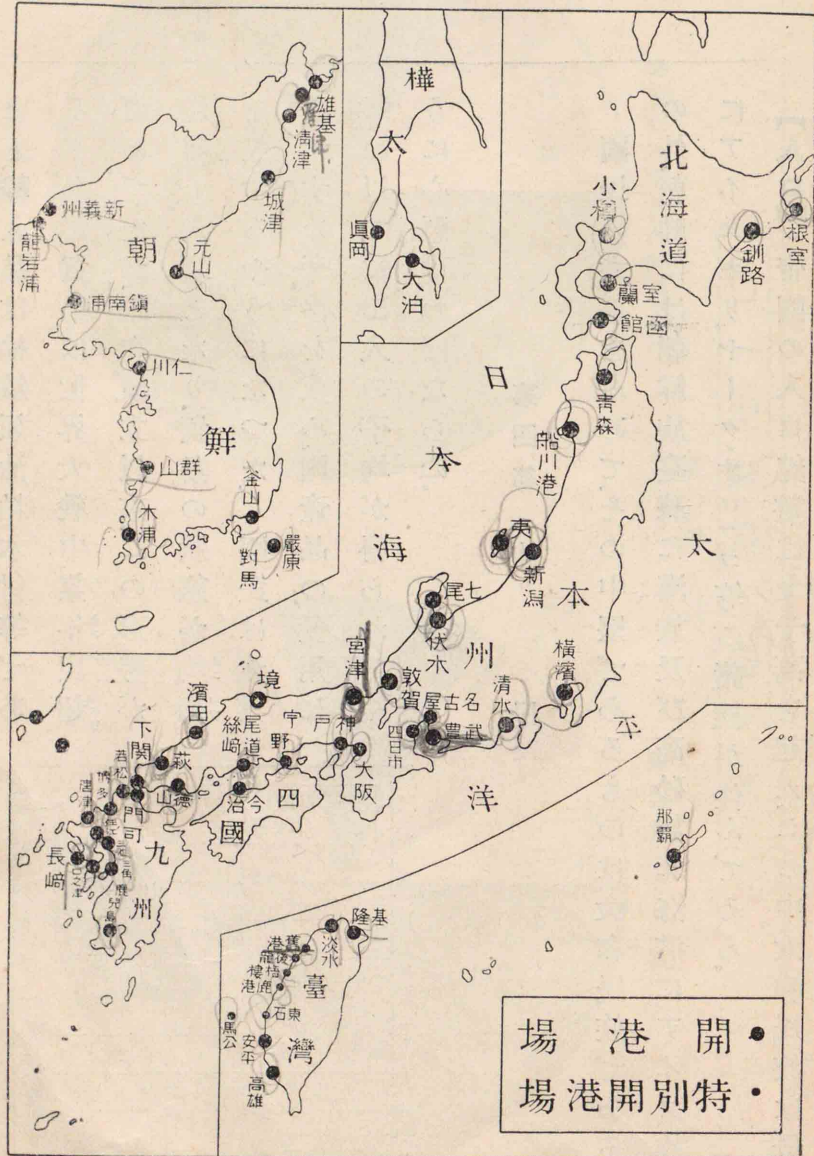


本邦貿易月別



本邦貿易品別





貿易の口

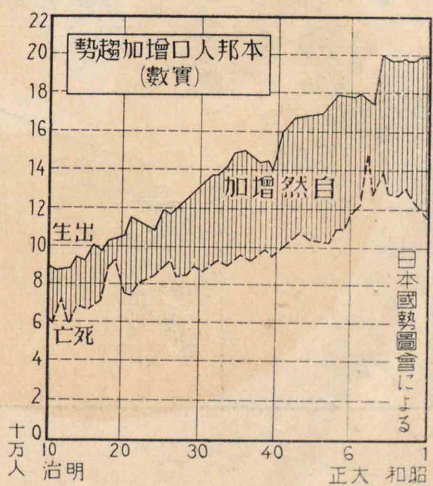
本邦人口増加趨勢

總括人文住民
とし、輸入品は棉鐵類、油粕、木材等である。わが貿易は、世界大戦中、累年出超であつたが、講和成立以來、この形勢が逆轉し、入超となり、貿易の状態が均衡を失するやうになつた。國民は産業をすすめ、奢侈を戒め、國産品の愛用に努め、以て輸出入の平均が得られるやうに心懸けねばならぬ。

第四節 住民

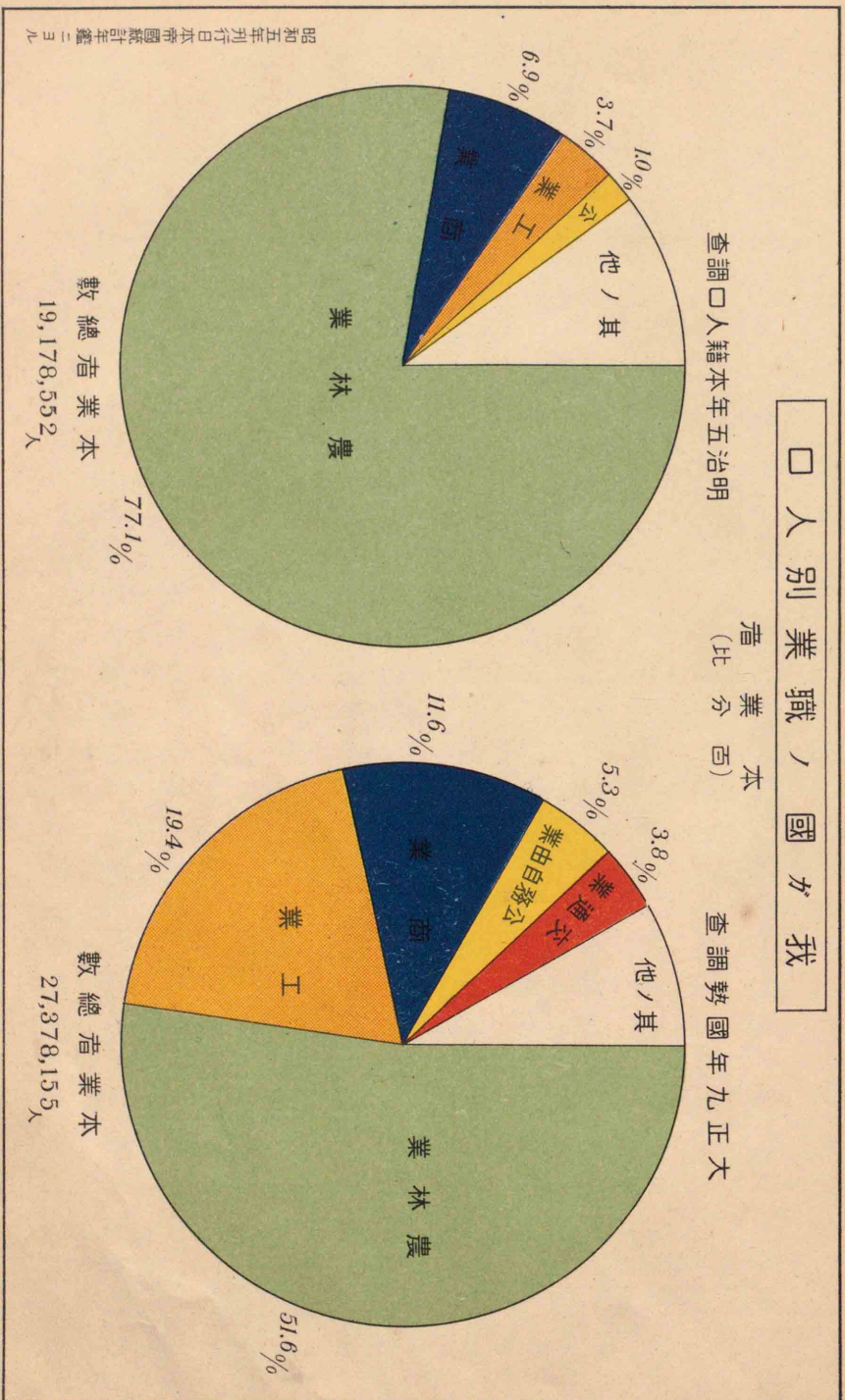
國民の大部を占めて、その中堅であるものは、大和民族である。この外、朝鮮には朝鮮族、臺灣に漢族及び高砂族、北海道にアイヌ族樺太にアイヌ、ギリヤーク、オロツコ等の諸族が住んでゐる。

【人口】帝國の人口總數は九千萬を超え、この中大和民族は最も多



資料的「症候」(二二六)

我が國ノ職業別人口

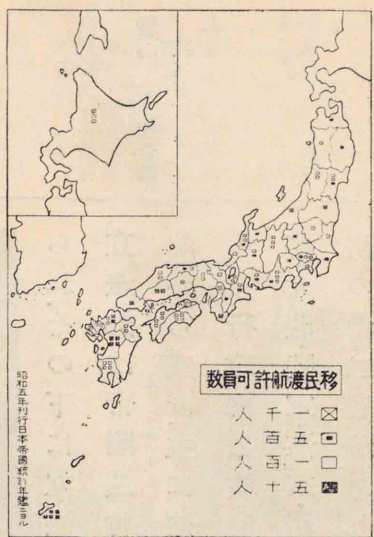


昭和五年刊行日本帝國統計年鑑ニヨル

1 大阪・東京・名古屋・神戸・京都・横浜

度(下)人口密度の比較

航(上)移民渡許可員数の比較

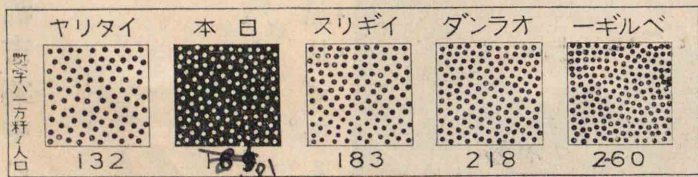


總括人文住民

大阪東京は人口二百萬を超え、世界屈指の大都市である。【都市】舊城下町が多く、その多くは地方政治の中心となつてゐる。人口五十萬以上の大都市は六を算し、就中

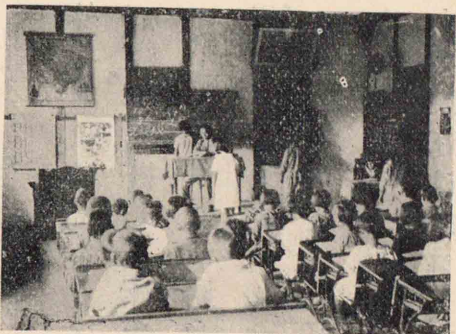
絶し、又は入國を喜ばない。オーストラリアや聯邦等の諸邦では、わが移民の入國を拒絶し、又は入國を喜ばない。外邦人は滿洲・ハワイ・米國本土・ブラジル・カナダ等に多い。これ等は概して農業に従事してゐる。米國本土・カナダ

い。一般に人口密度が大で、内地のみの人口密度は一方、^{百八十一}人、で、世界第四の稠密國である。關東大阪濃尾の諸平野が人口密度が殊に大である。かく人口稠密な上になほ多數の人口が増加するので、政府は新領土への移住と海外移民とを奨励してゐる。在



都市人口別(内地)
 二百萬以上 二
 五十萬以上 九
 二十萬以上 二八
 十萬以上 七四
 五萬以上 七四

(上)ブラジ
 ルに於ける日本
 移民村の小学校



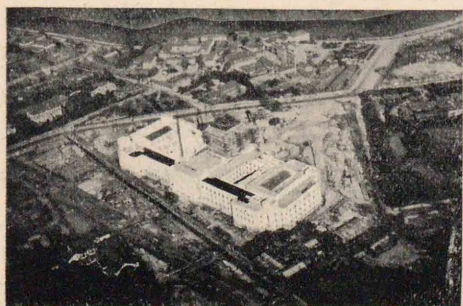
近年商工業の發達につれて、人口の都市集中の傾向が著しくなつてきた。

第五節 政治

わが國は開闢以來、萬世一系の皇室を戴き、古來君臣の關係の美しいことが、萬國無比である。

【政體】立憲政體で、天皇は統治の大權を統べさせ

られ、その下に立法行政司法の三機關がある。立法部は帝國議會であつて、貴族院衆議院の二院から成り、主に法律案歳出入豫算案を議決する。行政部は政府であつて、内閣の外に、外務内務大藏陸軍海軍司法文部農林商工逓信鐵道拓務の十二省があり、主要の政務を分掌する。内



(下)國會議事堂

府縣の下に市町村がある。

(上)司法機關の中樞(K)向つて左より司法大臣官邸・司法省・東京地方裁判所・大審院の建物である。



閣總理大臣は各省大臣と共に、國務大臣として内閣を組織する。地方は、三府四十三縣に知事を、北海道樺太に長官を、臺灣朝鮮には總督を置いて、その部内の行政を掌らせてゐる。

司法部 司法權は天皇の名に於て裁判所が行つてゐる。裁判所は法律によりて訴訟登記の事務を掌り、大審院控訴院地方裁判所區裁判所の別がある。朝鮮臺灣には各特殊な裁判所

がある。

【兵備】わが國は國民皆兵主義をとり、男子は滿十七歳から、兵役の義務を有する。兵役は常備後備補充國民の四種に分れ、常備兵役は更に現役と豫備役とに分ける。

師團	司令部所在地	師團	司令部所在地	師團	司令部所在地
第一	東京	第六	熊本	第十二	久留米
第二	東京	第七	旭川	第十四	宇都宮
第三	仙臺	第八	弘前	第十六	京都
第四	名古屋	第九	金澤	第十九	龍山
第五	大阪	第十	姫路	第二十	龍山
	廣島	第十一	善通寺		

國防用兵を掌る處は陸軍では參謀本部、海軍では海軍司令部である。各要地に要塞を設け、また各地に飛行聯隊を設けてゐる。

陸軍の人員は約十九萬人である。主力艦十隻三十一萬一千噸と補助艦二百六十餘隻とを有する。

海軍區	軍港	鎮守府	要港
第一	橫須賀	同上	大湊
第二	吳	同上	舞鶴
第三	佐世保	同上	公海

天皇は大元帥で、陸海軍をすべさせられる。陸軍は内地を十四師管區に分け、各師管に一師團を置き、別に近衛師團があつて、宮闕を守衛する。また朝鮮に二箇師團を置き、臺灣、關東州、滿洲國、中華民國に

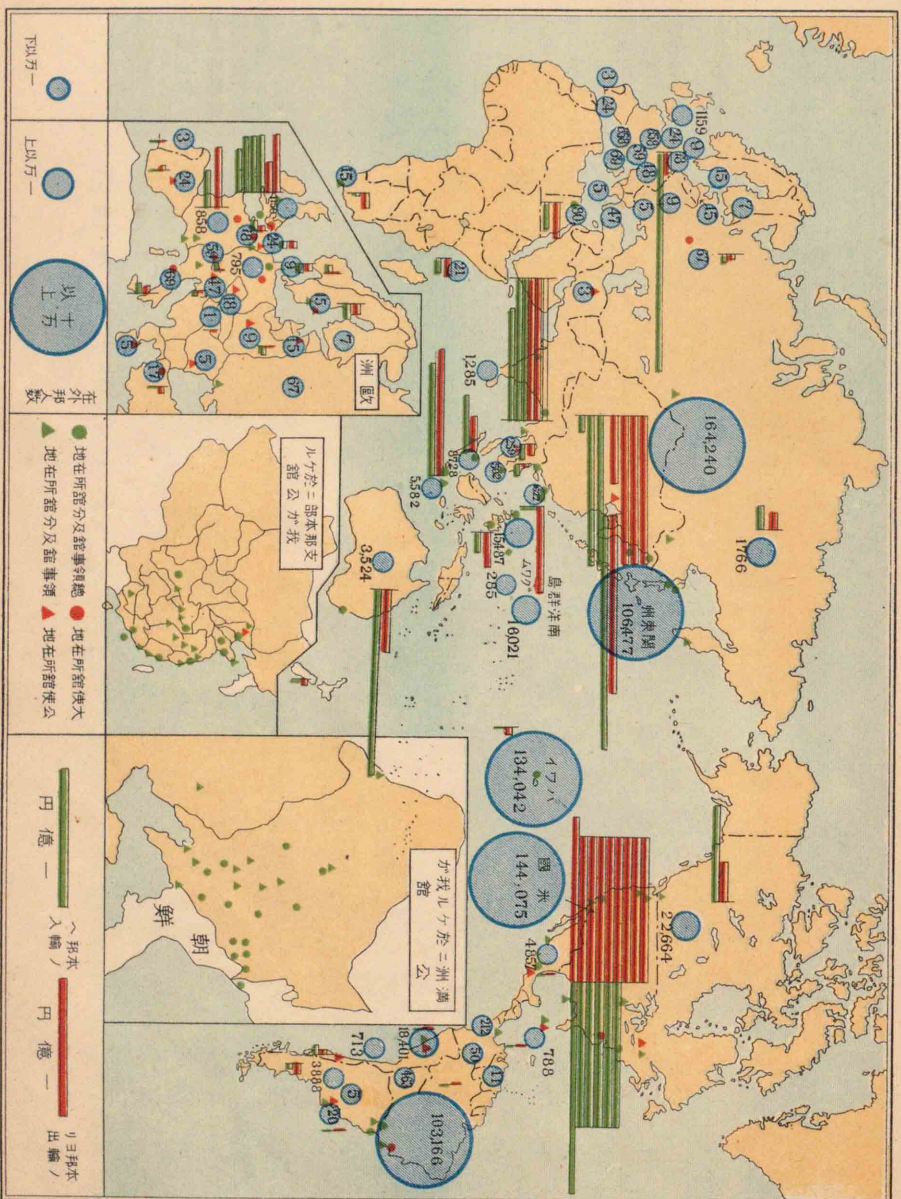
は守備の兵を駐屯せしめる。海軍は、帝國の海岸海面を防備するために、これを第一・二・三の海軍區に分け、軍港に鎮守府、要港に要港部を置いてゐる。ワシントン會議の結果、わが國もその海軍力を縮少したが、なほ英米につき、世界第三位の大海軍をもつてゐる。

【外交】わが條約國は四十有餘あり、世界の主要國を網羅してゐる。その中、英佛伊獨土白及びソヴィエト聯邦並びに米伯の諸國と

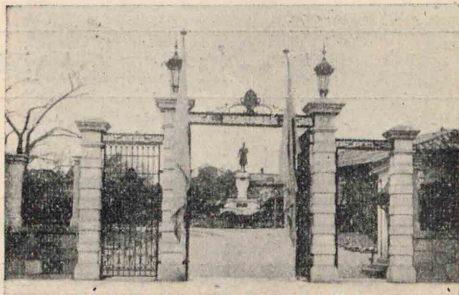
條 約 國	
中華民國	暹羅
英吉利(大)	佛蘭西(大)
白耳義(大)	獨逸(大)
和蘭	瑞典
土耳其(大)	牙利
丁其(大)	芬蘭
葡萄牙	希臘
地抹	希臘
埃地	希臘
チ・ス國	ソヴィエト聯邦(大)
エストニア	ラトヴィヤ
アメリカ合衆國(大)	メキシコ
亞爾然丁	巴拉グワイ
智利	ペル
コロンビヤ	エクワドル
埃及	
	ベルシヤ
	西(大)
	伊(大)
	瑞(大)
	典
	諾威
	ユーゴスラビヤ
	西班牙
	羅馬尼亞
	波蘭
	アイスランド
	ブラジル(大)
	ウルグワイ
	ボリヴィヤ
	エチオピヤ

下表の括弧内の大は大使を交換してゐる國である。カナダとの間に公使を交換してゐる。

圖 別 國 ・ 數 人 地 内 邦 本 外 在 ・ 館 公 外 在 ・ 額 易 貿 邦 本

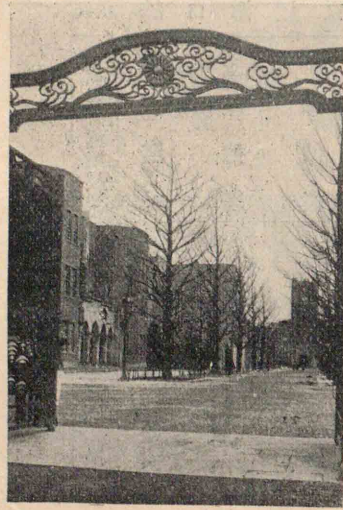


省の正門
前庭に見ゆる銅像は故小村壽太郎侯である。



(下)東京帝國大學正門より安田大講堂を望む

初等教育はよく普及し、内地小學校兒童の就學歩合は著しく進んできた。中等諸學校も多く、實業學校も次第に増加するに至つた。又各地の帝國大學を首め、單科大學各種高等專門學校、高等學校があつて、専門の學術技藝又



は、互に大使を交換し、他は概ね公使を交換し、以て國交を修めてゐる。また通商上の要地には、領事官を派遣してゐる。歐洲大戰後、國際聯盟が成立するや之に加はり、重要な地位を占め、世界大強國の一に數へられるに至つた。

第六節 教育・神社・宗教

【教育】 教育制度はよく整ひ、その進歩は著しい。

は高等教育を授ける。

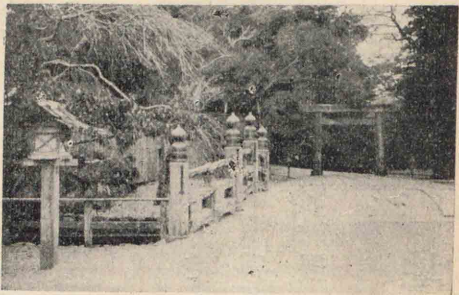
大阪工業大學は、大阪帝國大學の一學部となる豫定である。

府立高等學校とは東京府立の高等學校である。

全 國 主 要 官 立 學 校 一 覽

大帝國學	東京(東京)	京都(京都)	大阪(大阪)	九州(九州)	東北(仙臺)	北海道(札幌)	京城(京城)	臺北(臺北)
大單學科	東京(商科)	名古屋(醫科)	京都(醫科)	新潟(醫科)	岡山(醫科)	熊本(醫科)	千葉(醫科)	金澤(醫科)
大單學科	文理科	大(東京)	廣島	工業	大(東京)	商業	神戶	旅順(工科)
高等學校	第一(東京)	第二(仙臺)	第三(京都)	第四(金澤)	第五(熊本)	第六(岡山)	第七(鹿兒島)	第八(名古屋)
高等學校	佐賀	弘前	松江	小樽	名古屋	大阪	府立	浦和
高等工業學校	東京(工藝)	濱松	盛岡	鹿兒島	三重	宇都宮	熊本	明治專門
高等農林學校	東京(農)	盛岡	鹿兒島	鹿兒島	三	宇都宮	熊本	明治專門
其他	高等師範學校(東京・廣島・奈良)	外國語學校(東京・大阪)	美術學校(東京)	音樂學校(東京)	高等商船學校(東京・神戶)	鑛山專門學校(秋田)	蠶絲專門學校(上田)	高等蠶業學校(京都)

圖解(上)内宮の神域(K)



圖解(下)西本願寺(K)

【神社】伊勢神宮は上下の尊崇が厚くして、社格の外にある。神社には、官幣社、別格官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社等の社格ある神社と無格社とにわけ、官幣社、國幣社は各、大中小の三にわけける。近畿地方は、神社の數が多い。

【宗教】現行はれてゐる宗教には、佛教、神道、キリスト教がある。佛教は國民の多數がこれを信じ、現今十餘宗寺院數七萬餘を算する。神道はわが國固有の宗教で、大社教、黒住教等の十三派にわかれ、キリスト教は内地の都市及び新領土にその信者が多い。



第四編 結論

わが大日本帝國は、世界無比の國體であつて、上

には萬世一系の 天皇を戴き、下には忠良な國民があり、舉國一致其誠を盡し、建國以來未だかつて外國の侮を受けたことがない。しかも國土の位置は、絶東にあつて、世界交通の衝を占め、東西文化の融合點に當つてゐる上に、國土の大部は温帶圈内に横はり、種々の産業は、各地の風土と相應じて、よく發達してゐる。實に地理上でも、國史の上でも、全世界に誇るにたる國である。今やわが國は世界列強に伍し、國運隆々として進むとは云へ、なほ新進國であつて、列強に比べて、産業の發達、國富の程度、學術の普及等、文明富力の點では、多分の遜色がある。しかも太平洋及び東洋方面は、今後益、列強の競争場裡となるであらう。されば國民は舉つて帝國の優良な地位を利用し、國內には産業の振興、教育の普及を圖り、外には貿易の増進に努め、國力の充實、國家の發展に力を盡し、奉公の實を擧げなければならぬ。

新制 日本地理 終

附錄 各地方主要都會一覽

(一) 關 東 地 方 (面積 32,239方呎 人口 13,771,864人 人口密度 427)

府縣名	面積(方呎)	人口(千人)	人口密度	主 要 都 會	(單位千人)
東京府	2,144	5,408	2,522	東京市2071 大王子市52 荏原132 西巢鴨116 澁谷102 瀧野川101	
神奈川縣	2,353	1,619	688	橫濱市620 橫須賀市110 川崎市104 平塚市34 田浦27 鎌倉27 小田原26 浦賀20	
千葉縣	5,078	1,470	289	千葉市49 船橋23 市川21 本郷子21 野田19 佐原17 銚子13 木更津10	
埼玉縣	3,801	1,459	384	川越市34 熊谷34 大宮29 浦和25 川口22 秩父19 本庄18 忍14 所澤11	
群馬縣	6,335	1,186	187	前橋市85 高崎市60 桐生市53 伊勢崎21 館林17 澁川13 沼田13 富岡12	
栃木縣	6,436	1,141	177	宇都宮市31 足利市44 栃木30 足尾24 鹿沼22 日光20 佐野17 小山14 今市13	
茨城縣	6,062	1,487	244	水戸市51 日立28 土浦18 古河18 石岡18 結城15 湊14 下館12 龍ヶ崎7 鹿島2	

(面積單位方呎 人口單位千人、人口密度ハ一平方呎ニ付キテノ人口、主要都市人口單位千人、以下之ニ後ヲ端數ハ切上ゲタルモノナリ)

(二) 奥 羽 地 方 (面積 66,907 人口 6,574,122 人口密度 98)

縣 名	面 積	人 口	人口密度	主 要 都 會
福島縣	13,781	1,508	109	郡山市51 福島市46 若松市44 平25 白河22 須賀川18 中村15 喜多方13 原12
宮城縣	7,273	1,142	157	仙台市190 石巻31 鹽釜23 氣仙沼15 白石13 古川13
岩手縣	15,235	975	64	盛岡市62 釜石31 宮古18 花巻16 水澤13

青森縣	9,630	879	91	青森市77	八戶市53	弘前市43	野邊地12	三本木11		
秋田縣	11,663	987	84	秋田市51	能代港24	横手18	土崎港17	大館16	小坂14	本莊13
山形縣	9,325	1,080	116	山形市63	米澤市45	鶴岡市34	酒田30	新庄20	寒河江12	長井11

(三) 中部地方

(面積 66,462 人口 11,978,929 人口密度 180.2)

縣名	面積	人口	人口密度	主要都會								
靜岡縣	7,769	1,797	231	靜岡市136	濱松市109	清水市56	沼津市44	大宮24	三島23	島田22	燒津20	熱海13
愛知縣	5,081	2,567	508	名古屋市907	豐橋市99	岡崎市66	一宮市42	瀨戶市37	安城23	津島18	西尾17	一色17
岐阜縣	10,464	1,178	113	岐阜市90	大垣市38	高山19	中津18	加納17	多治見12			
山梨縣	4,465	631	141	甲府市79	鹽山11							
長野縣	13,604	1,717	127	長野市74	松本市72	上田市35	上諏訪22	下諏訪21	須坂20	飯田19	伊那18	小諸15
新潟縣	12,578	1,933	154	新潟市125	長岡市58	高田市31	三條31	柏崎24	新發田21	新潟20	直江津14	小千谷11
富山縣	4,237	778	183	富山市75	高岡市52	新湊22	氷見14	伏木13	魚津13	滑川10		
石川縣	4,197	756	180	金澤市157	小松17	輪島14	七尾12					
福井縣	4,017	618	154	福井市64	敦賀23	武生21	大野12					

(四) 近畿地方

(面積 32,982 人口 11,014,843 人口密度 333.9)

府縣名	面積	人口	人口密度	主要都會										
滋賀縣	4,050	691	171	大津市34	彦根22	長濱16	膳所15							
京都府	4,621	1,552	336	京都市798	福知山22	新舞鶴15	綾部14	宮津13	舞鶴12					
三重縣	5,765	1,157	203	津市56	四日市市52	宇治山田市51	松阪26	桑名23	上野20	尾鷲15	龜山13			
奈良縣	3,688	596	160	奈良市53	郡山17	高田15	丹波市14							
和歌山縣	4,723	830	146	和歌山市117	新宮25	田邊24	箕島14	御坊13	黑江11	湯淺11				
大阪府	1,813	3,539	1952	大阪市2454	堺市120	岸和田市35	吹田24	布施24	豐中16	池田15	八尾11			
兵庫縣	8,322	2,646	318	神戸市788	姫路市62	尼夕崎市50	西宮市39	明石市39	洲本24	御影19	加古川14			

(五) 中國・四國地方

(面積 50,442 人口 8,649,989 人口密度 171.5)

縣名	面積	人口	人口密度	主要都會											
鳥取縣	3,489	489	140	鳥取市37	米子市34	倉吉16									
島根縣	6,618	739	112	松江市44	濱田15	今市12	大社9	西郷3							
山口縣	6,082	1,135	187	下關市99	宇部市61	山口市31	萩32	防府24	徳山23	彦島22	小野田17	柳井16	岩國12		
廣島縣	8,436	1,692	201	廣島市270	吳市190	福山市38	尾道市29	三原13	府中12	鞆10	三次6	森崎6	嚴島5		
岡山縣	7,046	1,283	182	岡山市139	津山市34	倉敷市30	玉島21	笠岡15	日比12	連島10					
徳島縣	4,143	716	173	徳島市91	撫養18	小松島18	加茂名12	富岡7	池田7						
香川縣	1,858	732	397	高松市80	丸龜市29	坂出20	善通寺17	觀音寺17							
愛媛縣	5,667	1,142	241	松山市82	宇和島市44	今治市44	八幡濱13	西條16	三津濱11	新居濱10					
高知縣	7,103	718	101	高知市97	清水10	須崎9	安藝9	室戶8	伊野8	中村8	宿毛7				

(六) 九州地方

(面積 44,432 人口 9,645,634 人口密度 217)

縣名	面積	人口	人口密度	主要都會
福岡縣	4,939	2,527	512	福岡市228 八幡市108 門司市108 大牟田市97 小倉市88 久留米市83 若松市57 戸畑市52 直方市40 飯塚市40 宮田32 後藤寺24 行橋10
佐賀縣	2,443	691	283	佐賀市46 唐津市17 鳥栖13 武雄9 伊萬里9
長崎縣	4,075	1,232	299	長崎市204 佐世保市132 島原22 諫早18 平戶13 富江12 茂木11 福江11
熊本縣	7,437	1,333	182	熊本市164 水俣26 荒尾20 八代14 牛深13 隈府9 山鹿9 宮地4 人吉7
大分縣	6,333	945	149	大分市57 別府市43 中津市29 臼杵20 佐賀關14 日田13 佐伯12 大野12
宮崎縣	7,738	760	98	宮崎市55 都城市36 延岡31 小林23 高岡12 富岡12
鹿兒島縣	9,081	1,556	171	鹿兒島市137 川内32 谷山28 枕崎27 阿久根23 鹿屋23 末吉21 名瀬20 川邊18 志布志18 出水16 加治木15 大口13 伊集院11
沖繩縣	2,386	577	242	那覇市61 首里市20 平良24 石垣15 名護13

(七) 北海道地方

(面積 88,775 人口 2,812千人 人口密度 31.6)

支廳名	支廳所在地	支廳名	支廳所在地	主要都會
渡島	函館市	上川	旭川市	(一) 市
檜山	江差町	留萌	留萌町	函館197 札幌169 小樽145 旭川83 室蘭56 釧路52
後志	俱知安町	宗谷	稚内町	(二) 町
膽振	室蘭市	河西	帶廣町	夕張52 美唄37 岩見澤29 帶廣28 野付牛28 網走27 砂川23 苫小牧21 江別20 稚内19 余市19 根室19 名寄16 留萌16
石狩	札幌市	釧路	釧路市	

支廳名	面積	人口	人口密度	主要都會
豐原	4,750	52	11	豐原26 落合13 琴濱村4
大泊	4,842	64	13	大泊29 留多加10
本斗	1,566	17	10	本斗9 内幌村4
真岡	2,490	36	14	真岡14 野田6
泊居	6,902	39	5	泊居9 惠須取村16 名寄村3 鶴城村3
元泊	3,120	23	7	知取16 元泊村4
敷香	12,416	18	1	敷香村8 内路4 海岸村4

(八) 樺太地方

(面積 36,090方新 人口 295,187人 人口密度 8)

支廳名	面積	人口	人口密度	主要都會
空知	岩見澤町	根室	根室町	士別15 八雲15 伊達14 富良野14 俱知安14 上磯14 池田14
浦河	浦河町	網走	網走町	瀧川14 岩内13 森13 豊川13 美幌13 増毛11 紋別10 厚岸10

(九) 朝鮮地方

(面積 221,041 人口 21,658 人口密度 95)

道名	面積	人口	人口密度	主要都會
慶尚南道	12,307	2,135	173.5	釜山府146 馬山府28 蔚山15 東萊19 鎮海18 三浪津14
慶尚北道	18,986	2,416	132.5	大邱府93 慶州19 浦項11
全羅南道	13,881	2,332	168.0	木浦府34 光州33 麗水22 濟州島208

全羅北道	8,529	1,503	176.3	群山府26 全州38 扶餘12
忠清南道	8,097	1,382	170.4	大田21 公州 3 鳥致院8
忠清北道	7,418	900	121.3	清州16
京畿道	12,816	2,157	168.3	京城府394 仁川府68 開城府49 水原13 永登浦8
江原道	26,266	1,487	56.6	奉川10
黃海道	16,734	1,523	91.0	沙里院24 海州23 安岳17 兼二浦12 黃州10
平安南道	14,929	1,331	89.2	平壤府140 鎮南浦府38 安州17 价川10
平安北道	28,440	1,562	54.9	新義州府48 義州10
咸鏡南道	31,988	1,578	49.3	咸興府44 元山府42 西湖11
咸鏡北道	20,343	745	36.6	清津府36 雄基23 羅南19 會寧 9 慶興9

(十) 臺灣地方 (面積 35,973 人口 4,592千人 人口密度 128)

州廳名	面積	人口	人口密度	主要都會
臺北州	4,565	886,234	194.1	臺北市229 基隆市74 淡水23 宜蘭23 蘇澳12
新竹州	4,598	665,383	144.7	新竹48 大溪28 桃園21
臺中州	7,383	1,015,767	137.5	臺中市51 鹿港35 豐原27 埔里23 南投25 彰化22
臺南州	5,421	1,159,818	213.9	臺南市95 嘉義55 斗大30
高雄州	5,722	570,536	99.8	高雄市57 屏東33 旗山17 恒春13

澎湖廳	126	(昭和三年) 61,815	49.1	馬公22
花蓮港廳	4,628	(昭和三年) 67,344	14.5	花蓮港10
臺東廳	3,526	(昭和三年) 57,608	16.3	臺東10

備考 樺太ハ昭和五年六月刊行樺太廳人口總計(昭和四年未現在)ニヨルヲ以テ國勢調査連報ノ數ト符合セズ
臺灣ハ臺灣事情ニヨル從ツテ國勢調査連報ト符合セズ

內地主要物産 (日本帝國統計年鑑昭和六年刊行)

物産	順位	I	II	III	IV	V	內地總額
米		新潟	北海道	兵庫	福岡	茨城	120,633千石
大麥		茨城	埼玉	栃木	千葉	宮城	1,279千石
小麥		茨城	福岡	岡山	兵衛	兵庫	1,104千石
大豆		北海道	岩手	鹿兒島	茨城	新潟	4789千石
粟		北海道	熊本	新	長崎	茨城	1371千石
甘藷		鹿兒島	沖繩	長崎	熊本	千葉	1865千石
馬鈴薯		北海道	青森	宮崎	埼玉	福岡	3,004百萬匁
茶		福岡	鹿兒島	滋賀	宮崎	三重	933百萬匁
葉煙草		栃木	鹿兒島	茨城	福岡	德島	1120千匁
繭		長野	愛知	群馬	岐阜	島根	61百萬匁

牛	兵庫	99	鹿兒島	95	鹿兒島	94	岡山	90	大分	63	1488千頭
馬	北海道	270	岩手	87	鹿兒島	82	福山	81	宮崎	59	1490千頭
羊	北海道	5	(官布)	4	福島	2	宮城	2	岩手	1	20千頭
豚	沖繩	121	鹿兒島	61	茨城	43	千葉	42	靜岡	35	706千頭
雞	愛知	4.8	千葉	2.5	鹿兒島	2.4	茨城	1.8	北海道	1.8	48百萬羽
煉乳	北海道	410	千葉	158	靜岡	81	兵庫	42	石川	19	786萬圓
タ	北海道	192	千葉	18	東京	13	靜岡	5.8	岩手	3	248萬圓
ハ	神奈川	74	長崎	9	愛知	3	東京	3	鹿兒島	2	101萬圓
蜜柑	和歌山	66	靜岡	35	愛媛	23	兵庫	22	廣島	18	257百萬羽
葡萄	大阪	10	山梨	8	岡野	3	廣島	2	新潟	2	48百萬羽
苹果	青森	67	北海道	18	長野	3	秋田	1	岩手	1	88百萬羽
用材	北海道	16	長野	6	秋田	.5	奈良	4	宮崎	4	103百萬圓
炭	北海道	3.9	岩手	2.7	高山	2.4	福山	2.4	廣島	2.4	62百萬圓
獲物	北海道	45	長崎	8.5	山口	8.4	靜岡	8.4	三重	8.3	205百萬圓
鱈	愛媛	5	北海道	4	長崎	1.5	山梨	1.4	三重	1.4	26百萬圓
鯉	和歌山	64	靜岡	55	高山	44	山口	30	宮崎	26	34萬圓
鱒	長崎	167	神奈川	165	三重	153	高知	104	宮崎	84	1005萬圓
鯛	山口	208	愛媛	90	長崎	83	福岡	71	兵庫	65	1272萬圓

鱈	北海道	325	青森	28	新潟	21	石川	18	宮城	13	445萬圓
鮭	北海道	1061									1061萬圓
	北海道	324	新潟	28	岩手	23	宮城	11	青森	8	429萬圓
鱒	北海道	471	新潟	27	富山	17	秋田	8	岩手	7	566萬圓
烏賊	北海道	560	青森	101	岩手	60	長崎	46	山口	38	1231萬圓
昆布	北海道	352	青森	52	岩手	10	宮城	1			415萬圓
水産製造物	北海道	55	靜岡	14	東京	11	千葉	7.8	宮城	7.6	187百萬圓
鱒	靜岡	5	鹿兒島	4.7	宮城	2	沖繩	1	岩手	1	18百萬圓
鮫	北海道	633	岩手	135	山口	52	長崎	50	青森	47	1055萬圓
梓	北海道	815	千葉	111	青森	81	岩手	61	長崎	55	1418萬圓
鹽	香川	177	山梨	99	兵庫	85	廣島	65	岡崎	61	644百萬圓
金	大分	4,845	茨城	2,307	北海道	1,570	鹿兒島	1,562	愛媛	1,094	14765担
銅	秋田	15,432	愛媛	4,308	栃木	12,062	大分	10,207	茨城	7,236	69,400千担
鐵	岩手	7,864	福島	76	岐阜	561					10,024噸
石油	新潟	134	北海道	49	長崎	19	福山	15	山口	11	245百萬噸
石油	新潟	9	秋田	3.8	北海道	0.7					13百萬噸
硫磺	北海道	1,211	岩手	1,173	群馬	586	福山	369	秋田	83	3338噸
陶磁器	愛知	35	岐阜	12	三重	4.6	京都	4.5	佐賀	3.4	74百萬圓

硝子製品計	大阪	15	福岡	8	神奈川	6	兵庫	5.9	東京	5.8	44百萬圓
時	東京	613	大分	282							906萬圓
工業藥品	東京	24	大分	21	新潟	11	福岡	11	宮崎	8.7	116百萬圓
石鹼	東京	19	大分	10	兵庫	3	京都	1	愛知	1	39百萬圓
→ ツ	兵庫	836	愛知	34	大分	24	三重	20	廣島	19	932百萬圓
綿紡績	大阪	138	愛知	79	兵庫	66	京都	49	東京	43	676百萬圓
絹紡績	京都	13	神奈川	8.9	大阪	7	靜岡	7	岐阜	6	81百萬圓
人造絹絲	滋賀	16	山口	13	廣島	5	京都	4	岡山	1	45百萬圓
織物	愛知	261	大阪	213	京都	105	兵庫	99	福井	95	1,459百萬圓
絹織物	京都	90	福井	86	群馬	54	石川	50	東京	37	445百萬圓
絹織物	群馬	12	京都	10.8	愛知	6	新潟	3.7	福井	3	48百萬圓
綿織物	大阪	185	愛知	166	靜岡	51	兵庫	50	岡山	37	736百萬圓
毛織物・其交織	愛知	80	兵庫	45	東京	30	大阪	22	岐阜	13	210百萬圓
× リ +	大分	29	東京	15	愛知	8	兵庫	4	奈良	1	65百萬圓
生絲	長野	218	愛知	81	群馬	58	埼玉	39	山梨	38	857百萬圓
漆器	京都	5	愛知	4	福島	3.7	和歌山	3.2	愛知	3	33百萬圓
紙	京都	36	石川	31	靜岡	19	兵庫	16	大阪	15	190百萬圓
製革	東京	12	北海道	4	和歌山	3.6	大阪	3.5			24百萬圓

蠶表	廣島	3.5	岡山	2.9	大分	2.5	靜岡	1.1	熊本	0.8	13百萬圓
花菱・苧麻粉	岡山	6.7	福岡	0.9	廣島	0.4					8.8百萬圓
麥粉	神奈川	39	兵庫	18	愛知	18	福岡	16	群馬	9	150百萬圓
醬油	千葉	27	香川	7	愛知	5	茨城	3.3	兵庫	2.9	82百萬圓
製茶	静岡	13	京都	1.9	鹿兒島	1.9	埼玉	1.4	三重	1.3	30百萬圓
罐詰	青森	4.7	北海道	2.6	廣島	2.6	東京	1.3	大阪	1.1	19百萬圓
ㄥ	東京	33	大阪	26	兵庫	23	神奈川	20	福岡	18	161萬箱
酒類	兵庫	131	福岡	50	京都	48	廣島	44	北海道	33	960萬箱
砂糖	沖繩	79	北海道	22	鹿兒島	13	東京	1	熊本	0.5	118百萬疋
肥料	東京	84	大阪	22	兵庫	22	福岡	19	新潟	13	210百萬圓
麥稈農田類	岡山	128	香川	111	愛知	53	新潟	52	廣島	33	457萬圓

彙語術理地

附錄 地理術語彙

へ	米國式市街	156	通谷	143	泉都	137
ホ	補給港	127	ツンドラ	161	ソ	
	牧牛地帯	75	低山性	93	壯年開拓高原	93
	北彎	41	出作	68	租借	3
	補助港	66	電化	12	疏水運河	79
	本土	3	ト		粗放農業	68
マ	牧畑	105	特別開港	196	タ	
モ	門前町	19	都市群	80	對向聚落	130
ヤ	燒畑	186	都市集中	228	堆積平原	41
ユ	輸出港	57	島居前町	105	大農式	138
ヨ	熔岩臺地	95	屯田聚落	157	颱風	140
	要港	38	ナ		大陸棚	10
	要塞地帯	139	內陸性氣候	122	大陸的景觀	157
リ	リアス式海岸	27	中繼港	114	多雨地帯	73
	陸繋島	28	南彎	41	多島海	171
	立憲政體	228	ニ		段丘	61
	立法部	228	日照時	99	炭坑町	124
ル	ループ	127	ネ		斷層	61
レ	冷涼氣候帶	28	熱帶	189	斷層崖	61
	連繫砂洲	153	熱帶栽培農業地	200	斷層湖	71
ワ	横谷	27	熱帶性植物	190	炭坑聚落	129
	輪中	42	ハ		斷層線	95
			梅雨	122	チ	
			瀑布線	9	地峽聚落	134
			濱漁業	10	地峽部	43
			ヒ		地塊運動	94
			埤圳	191	地溝帶	44
			標準軌道	177	地方時	91
			フ		沖積平野	46
			複合農業	135	中央標準時	91
			複式火山	18	潮流	96
			副灣	26	直交式都市	82
			武裝聚落	202	地壘	44
			不凍港	162	沈降海岸	72
			噴氣孔	119	ツ	

一三

彙語術理地

附錄 地理術語彙

國際航路	55	キ	機業都市	22	ア	亞寒帶	163
湖底平原	35		氣候區	6		亞熱帶性氣候	122
サ			季節的出稼	90		アプト式軌道	22
砂丘	28		季節風	48	イ	移出入	49
砂質海岸	144		北回歸線	187		一寒六溫	162
三角江	171		休養地帯	7		市場町	66
三寒四溫	172		峡谷	45		移民	109
山塊	71		行政部	228	ウ	裏作	63
珊瑚礁	24		峽流	61		運河	13
散村	105	シ	漁港	19		エ	
司法	229		裾礁	121		驛遞	151
姉妹都市	131		ク			緣海	2
宗教町	84		外港	16		沿岸航路	33
縱谷	26		外帶山脈	96		沿岸潮流	188
集約農業	112		火口原	18		オ	
宿場町	56		火口湖	169		沖漁業	10
準平原	106		火口港	23		溫泉町	137
少雨地帯	162		火田民	186		カ	
城下町	15		軍港	17		海崖	47
商區	14		軍港市	134		海岸段丘	161
城廓市街	181		ケ			海軍區	17
消費町	131		原生保存林	157		開港	11
侵蝕谷	136		コ			海溝	42
深雪地帯	48		工業地帯	9		海蝕臺地	72
神都	85		航空港	13		街村	157
ス			航空路	13		街道町	34
水郷	6		高原避暑地	48		垣内式集村	83
水都	88		鑛山町	39		河港	36
セ			鈎狀砂嘴	42		ガス	28
成層火山	44		後背地	17		河跡港	142
西部標準時	141		開門式船渠	128		乾季	190
石灰洞	111		湖岸平野	71		干拓	108
纖維工業	9		湖脚	61			
扇狀地	23		國際橋	178			

一三

度量衡換算表

米	呎	尺
1.	= 3.2808	= 3.3000
0.3048 = 1		= 1.0058
0.3030 = 1		= 0.9942 = 1

立	ガロツ	升
1.	= 0.2642	= 0.5544
3.7854 = 1		= 2.0985
1.8039 = 1		= 0.4765 = 1

呎	哩	里
1.	= 0.6214	= 0.2546
1.6093 = 1		= 0.4098
3.9273 = 1		= 2.4403 = 1

立方糎	立方吋	立方寸
1.	= 0.0610	= 0.0359
16.3871 = 1		= 0.5889
27.8265 = 1		= 1.6981 = 1

平方糎	平方哩	平方里
1.	= 0.3816	= 0.0648
2.5900 = 1		= 0.1679
15.4235 = 1		= 5.9550 = 1

延	封度	貫
1.	= 2.2046	= 0.2667
0.4536 = 1		= 0.1210
3.7500 = 1		= 8.2672 = 1

文部省檢定濟

昭和七年七月十一日 中學校地理科用

昭和七年五月四日印刷
昭和七年五月廿七日發行
昭和七年十月廿五日訂正再版印刷
昭和七年十月廿八日訂正再版發行



發行所

東京市神田區神保町一丁目二五ノ一
振替口座(東京二六四四番)
大阪市東區博勞町五丁目五十六番地
振替口座(大阪四七一番)

東京修文館
大阪修文館

新制日本地理

(乙表準據)
(一・二學年用)

定價 金壹圓四拾五錢

著者 廣島高等師範學校 長谷川與三治

發行者兼印刷者 東京市神田區神保町壹丁目二五ノ一 鈴木政雄

發行者 大阪市東區博勞町五丁目五十六番地 鈴木常松

中華民國二十一年

中華民國二十一年

中華民國二十一年



中華民國二十一年

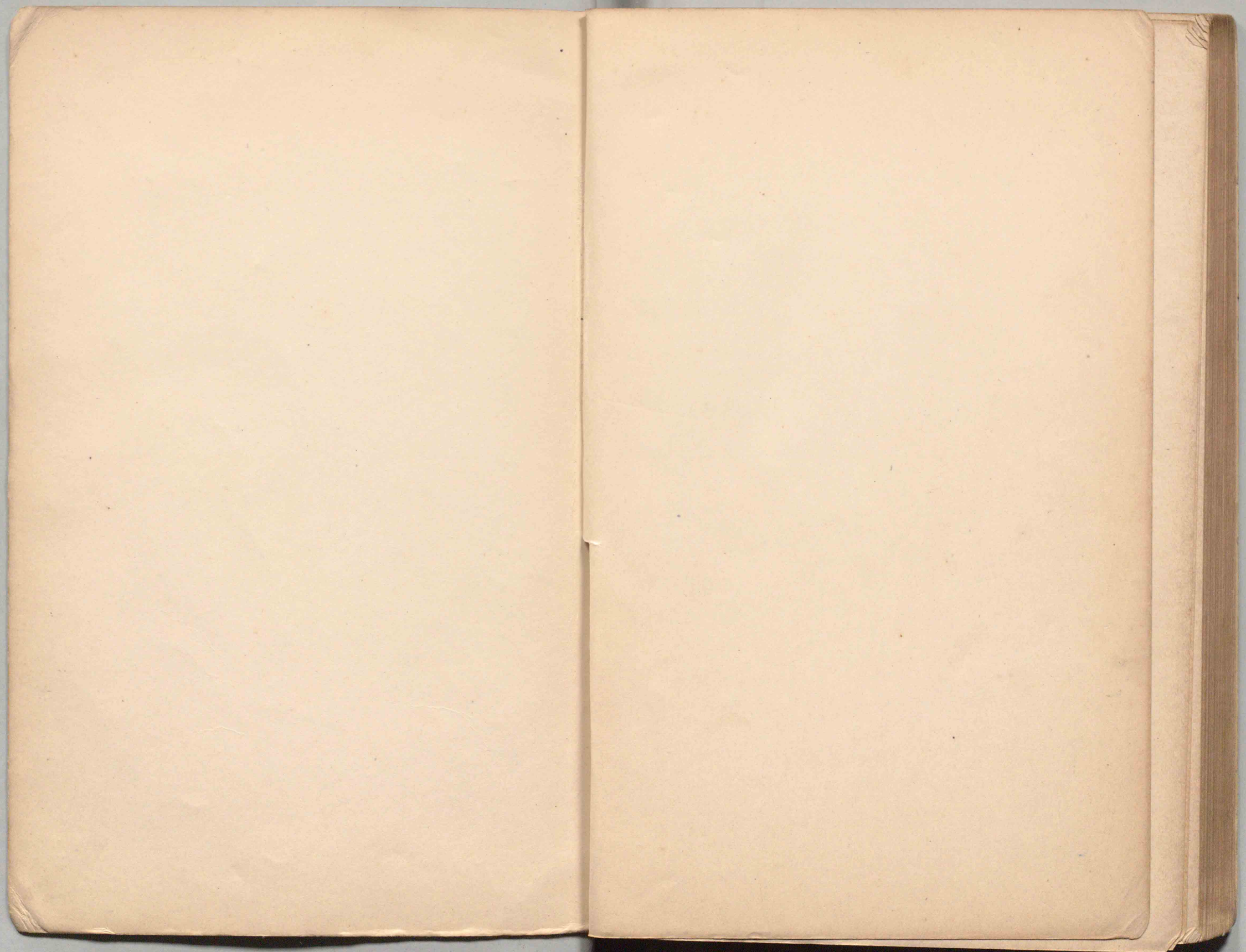
中華民國二十一年

中華民國二十一年

中華民國二十一年

中華民國二十一年

中華民國二十一年





四
南
正

広島大学図書

2000031809

